このたびは DELICA D:5 をお買い上げいただき，ありがとうございます。

J09200102703

この取扱説明書は，お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また，お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので，ご使用前に必ずお読みください。
「安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

- 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

⚠警告　記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

⚠注意　記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

- お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

アドバイス　お車のために守っていただきたいこと。知っておくと便利なこと。
グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

タイプ別装備

- 取扱説明書は車の中に保管してください。
- 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- 三菱マルチコミュニケーションシステム, DVD 内蔵後席 9 インチワイド液晶ディスプレイの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をお読みください。
- 三菱自動車販売会社で取り付けられた装備の取り扱い要領については，その装備に添付の取扱説明書をお読みください。
- お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

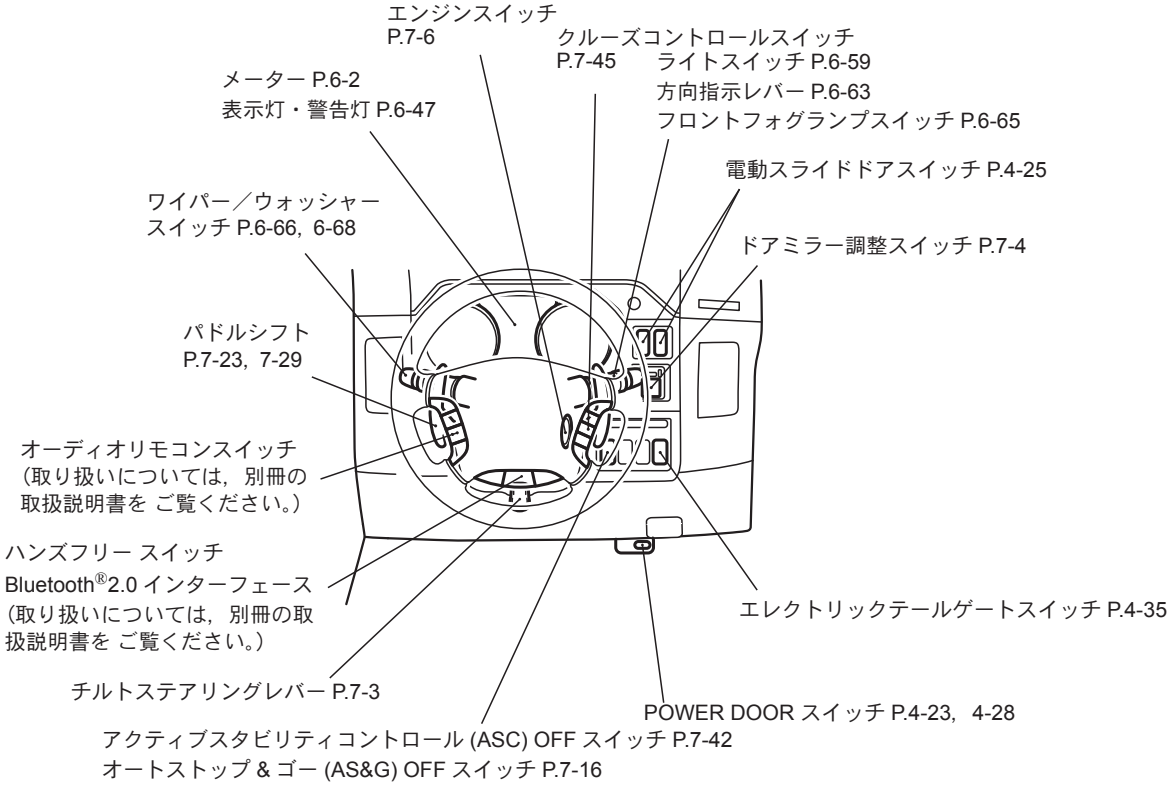
・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

目次

絵で見る目次	1
安全なドライブのために	2
環境にやさしく快適なドライブのために	3
各部の開閉	4
安全装備	5
計器盤・スイッチ	6
運転装置	7
室内装備	8
エアコン	9
オーディオ	10
簡単な整備・車のお手入れ	11
寒冷時の取り扱い	12
もしものときの処置	13
サービスデータ	14
さくいん	15

1 ハンドルまわり

J00100802298

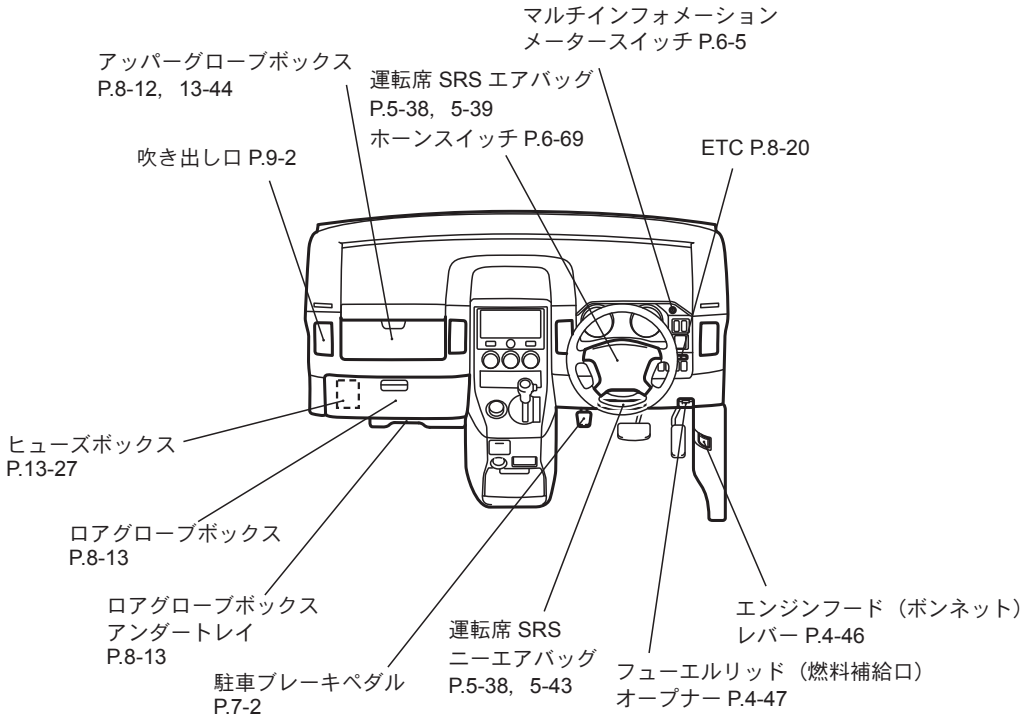


• 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000384

計器盤まわり

J00100103201

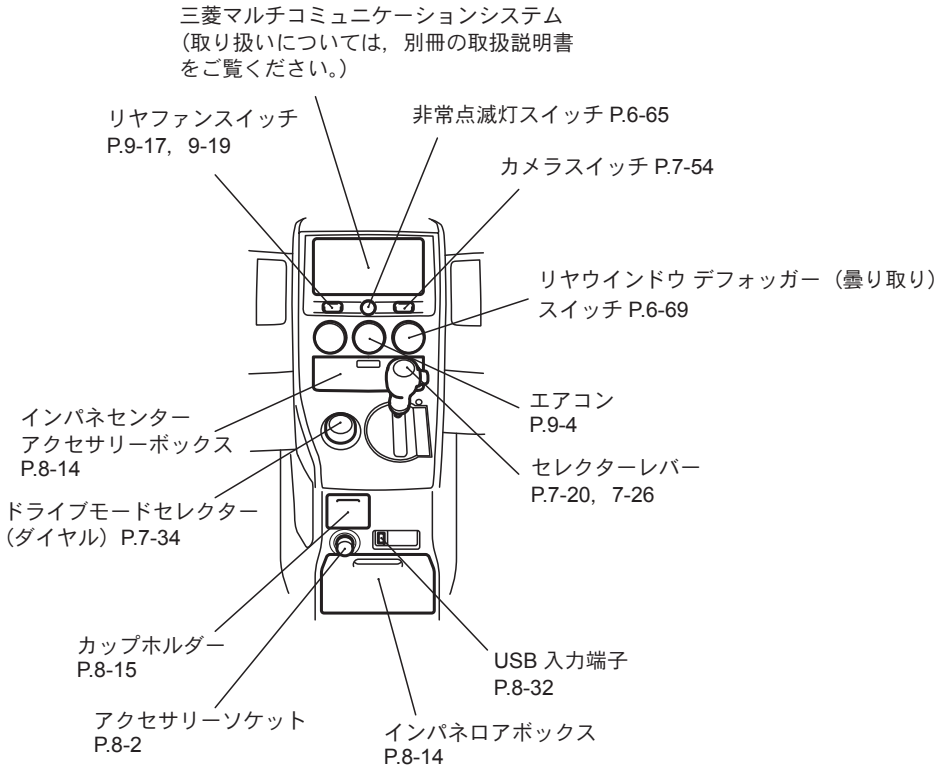


• 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AF5101918

1 センターパネル

J00100200908

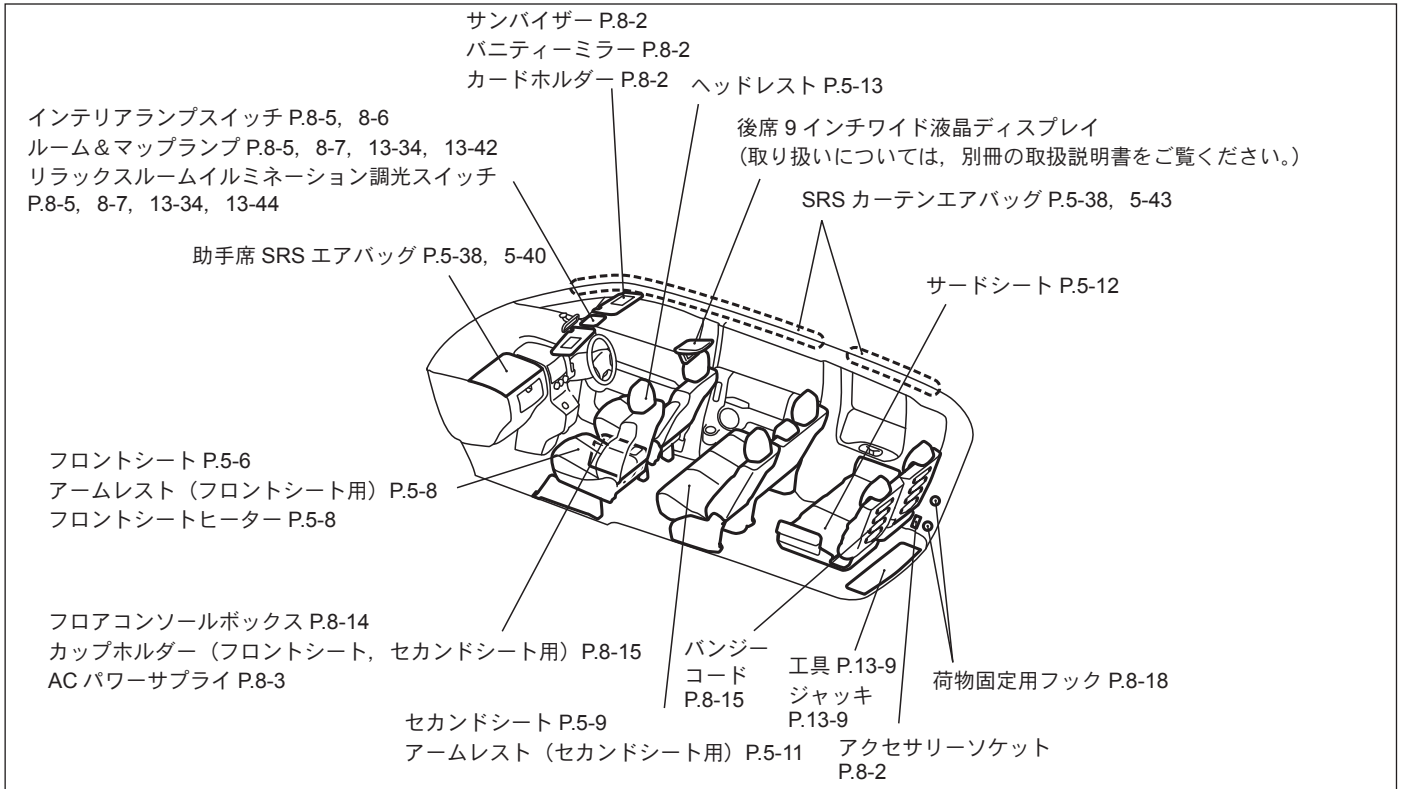


• 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000599

室内

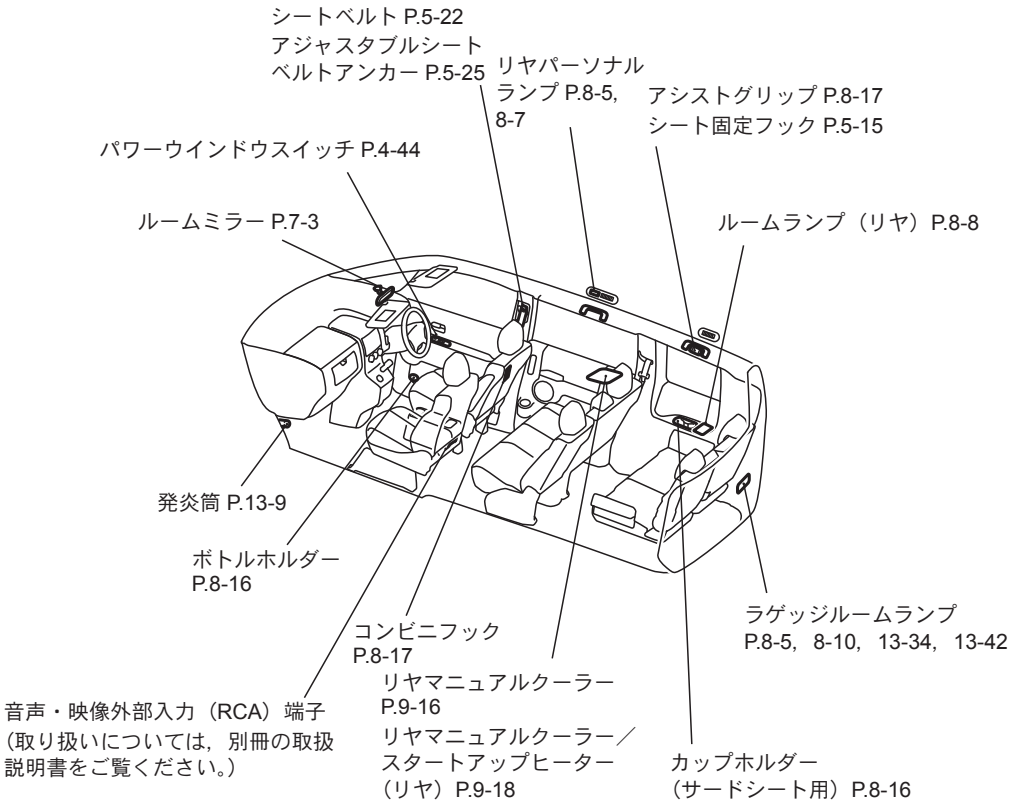
J00100301788



• 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000456

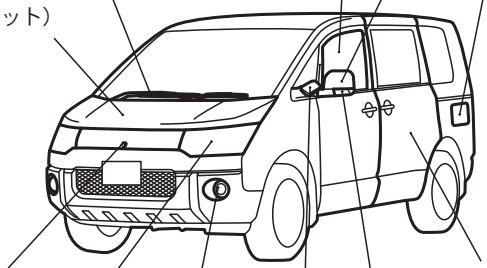
1



• 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

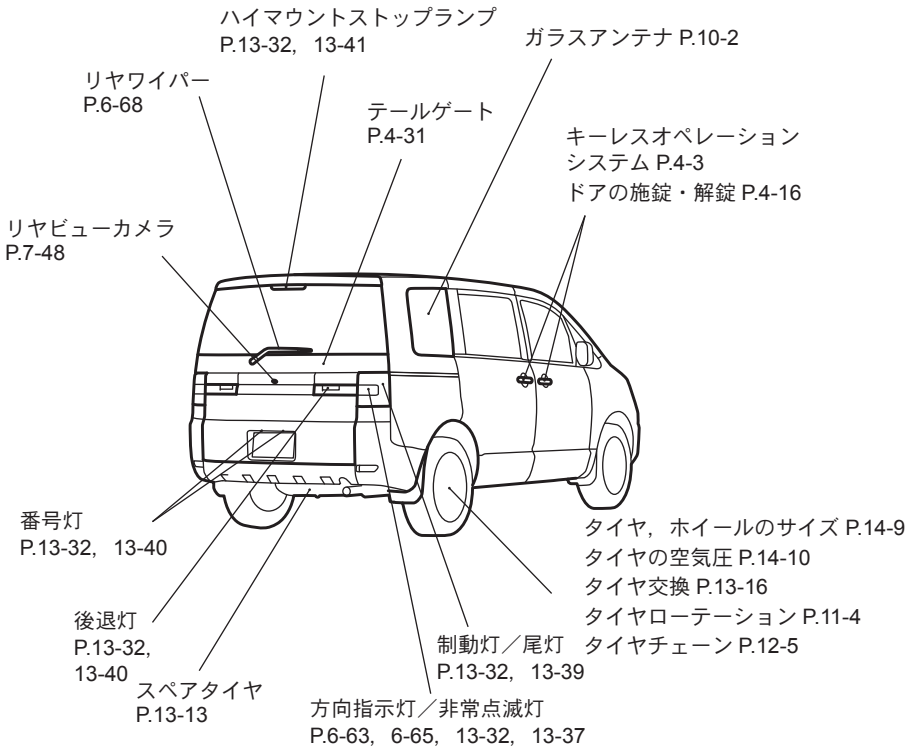
外まわり

J00100401910



• 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000472

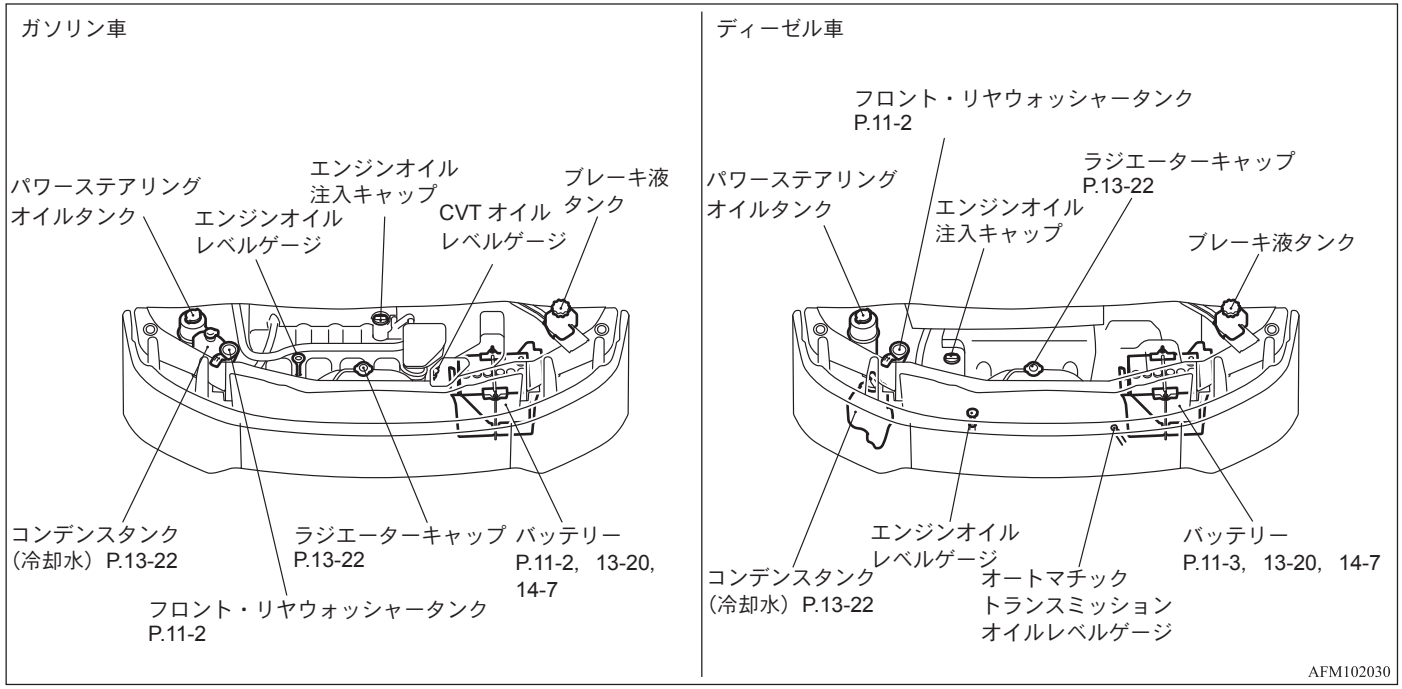


• 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AFF000342

エンジンルーム

J00100502729



⚠警告

- 点検や交換した後は，工具や布などをエンジンルームに置き忘れていないことを確認してください。万一の場合，故障や火災の原因になるおそれがあります。

安全なドライブのために

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

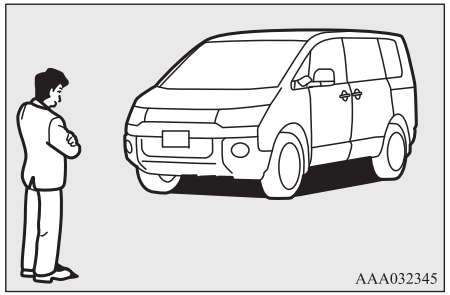
日常点検 2-2
出発前は 2-3
お子さまを乗せるときは 2-5
走行するときは 2-8
走行中に異常に気づいたら 2-10
オートマチック車，CVT 車の取り扱い 2-11
駐停車するときは 2-13
こんなことにも注意 2-15
セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは 2-16

日常点検

J00200101947

点検，整備を忘れずに

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。



- サービスリマインダーが点灯したら三菱自動車販売会社で定期点検整備を受けてください。

サービスリマインダー

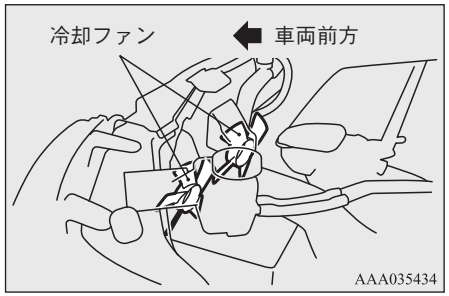
Aタイプ

Bタイプ

- 次回定期点検までの残り月数と残り距離をお知らせする機能です。
  定期点検時期に近づくと，エンジンスイッチをLOCKからONにしたときにメーター内のスパナマークが数秒間表示され，定期点検時期であることをお知らせします。
  →「サービスリマインダーについて」P.6-31

エンジンルームを点検するときは

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
  手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- ディーゼル車は，エンジンを止めてもエンジンルーム内の温度が高い場合，もしくはエンジン停止直前にDPFで集めたすすの燃焼・除去処理中または処理終了直後の場合には冷却ファンがしばらくの間は作動し続けます。
  冷却ファンが作動中にやむを得ず，エンジンルームを点検するときは，冷却ファンに手や衣服などを巻き込まれたり，やけどをするおそれがありますので注意してください。
  一定時間作動した後，冷却ファンは自動的に停止します。
  →「ディーゼルパティキュレートフィルター(DPF)」P.7-14



- エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
  やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。

● 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは

● ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202001807

● ガソリン車は必ず指定のガソリンを，ディーゼル車は必ず指定の軽油を補給してください。
ガソリン車は JIS または揮発油の品質の確保に関する法律が定めたガソリン規格に適合している，「いい！スリー」や「バイオ・ガソリン」などのバイオ燃料混合ガソリンを使用することもできます。
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P.14-2
● つぎのものは使用しないでください。
- ガソリン車：軽油，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，水分除去剤，三菱自動車純正以外のガソリン添加剤
- ディーゼル車：ガソリン，粗悪軽油，混合率が 5 %を超えるバイオディーゼル燃料，アルコール系燃料，水分除去剤，三菱自動車純正以外の軽油添加剤

使用したり，水やその他の油脂類（薬品類）が混入するとつぎのような状態になるおそれがあります。
- エンジンの始動性悪化
- ノッキングの発生
- エンジン出力の低下
- 排気制御システムの機能不良
- 燃料系部品の損傷による燃料漏れ
- 白煙の発生（ディーゼル車）
- 噴射系部品の損傷（ディーゼル車）

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100133

● つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- いつもと違う音や臭いや振動がするとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油の漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200201371

シートベルトは必ず着用

● 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
→「シートベルト」P.5-22
● 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

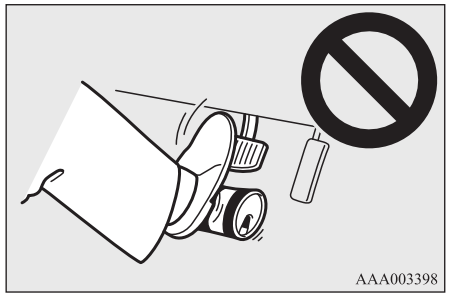
- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
  容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

窓越しにエンジンをかけない

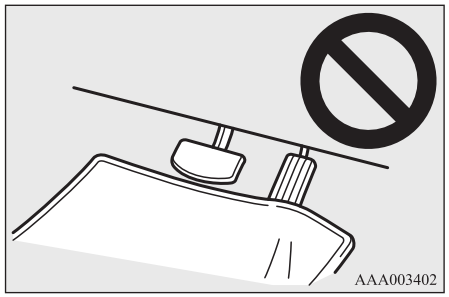
- 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
- セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
  思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
  →「エンジンのかけ方・止め方」P.7-9
- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
  出発前に運転席の足元付近を点検してください。



- フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。
  →「フロアマット」P.8-19
  正しく敷かないと，ペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - ずれないよう固定クリップで確実に固定する。
  - ペダルをおおわない。
  - 重ねて敷かない。
  - アクセルペダルの下に敷かない。



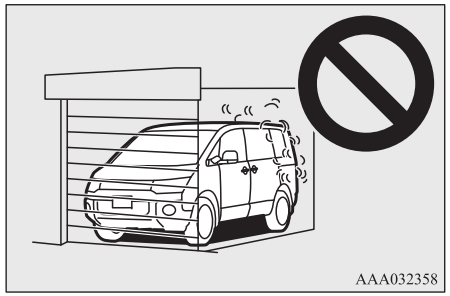
荷物を積むときは

- 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- SRS カーテンエアバッグ付き車では，側面ガラス付近に荷物を積まないでください。SRS カーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

- 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
  後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
- 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

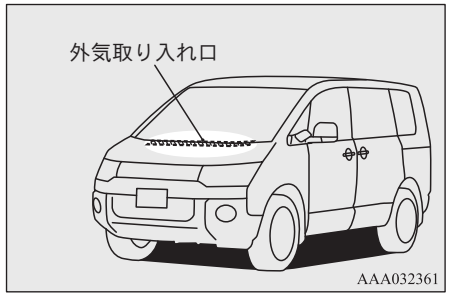
周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

- 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
  排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。



フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
  そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。



お子さまを乗せるときは

J00200301499

お子さまは後席に座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
  - シートをできるだけ後方に下げる
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
- お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 後席でも必ずシートベルトを着用してください。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
  →「チャイルドシート」P.5-29
  通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6 才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

お子さまの安全のための装備

- お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。
  使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカー

- この車は 2006 年 10 月 1 日施行の保安基準（国連の安全基準に準拠）に適合した ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。
  →「チャイルドシート」P.5-29

ロックスイッチ

- ロックスイッチを ON にすると，助手席，後席のパワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
  →「ロックスイッチ」P.4-45

チャイルドプロテクション

- ドアにあるレバーを施錠側にしておくと，スライドドアが車内のドアハンドルで開けられなくなります。
  →「チャイルドプロテクション（スライドドア安全施錠装置）」P.4-30

ドア，ウインドウ，シートの操作は大人が行う

- 手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。
- お子さまが誤って操作しないよう，パワーウインドウにはロックスイッチをお使いください。

窓から手や顔を出させない

- 窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせない

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

車から離れるときはお子さまも一緒に

- お子さまだけを車内に残さないでください。
  炎天下での車内は高温となり，熱中症になるおそれがあります。
- 車内にキーを残したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，パワーウインドウなど電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまを荷室で遊ばせない

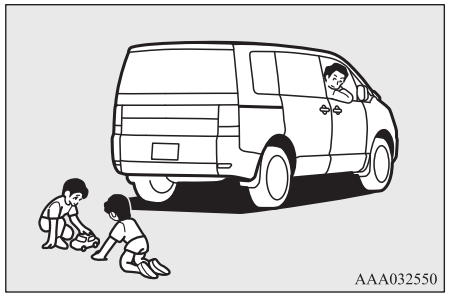
- 荷室は人が乗る構造になっておりません。
  お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。
  万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200401735

発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。



同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
  シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，重大な傷害を受けるおそれがあります。

走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

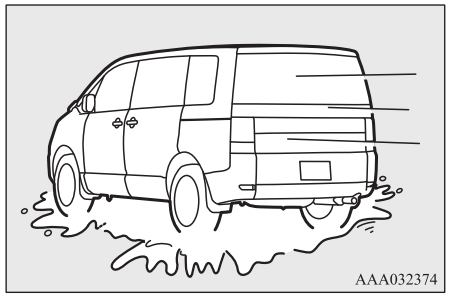
急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200466

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
  特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
- タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。



ハイドロプレーニング現象とは...

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

冠水路などは走行しない

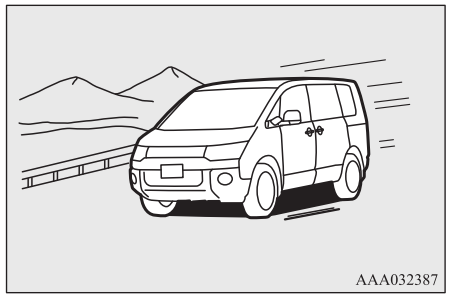
J00204801056

- 冠水した道路や深い水たまりなどは走行しないでください。エンスト，電装品のショート，エンジン破損などの原因になります。
  万一，冠水路などを走行し，水に浸かってしまったときは，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300816

- ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。



エンジンブレーキとは...

- 走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで，低速の変速段ほどよく効きます。

ベーパロックとは...

- ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは...

- ブレーキパッドの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400110

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600268

- スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。

タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
→「タイヤがスリップして発進できない」P.13-4

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700139

● 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00202800374

● 段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合，車体，バンパー，マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
- 駐車場の出入口
- 路肩や車止めのある場所
- 勾配の急な場所
- わだちのある道路
- 水深のある水溜り

走行中に異常に気づいたら

J00200500814

万一，走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
- 万一，スピードが落ちないときは，駐車ブレーキを慎重にかけてください。
このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
- パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドルが非常に重くなります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内に警告表示されたときは

● 警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示されたときは安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「インフォメーション画面表示一覧」P.6-48
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P.13-2

点灯または点滅もしくは表示したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

- 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
  ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

オートマチック車，CVT 車の取り扱い

J00200601694

オートマチック車，CVT 車の特性

クリープ現象とは...

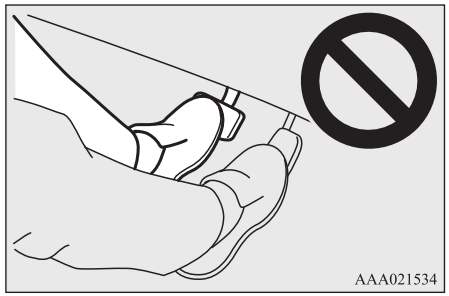
- セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車および CVT 車特有の現象。

キックダウンとは...

- 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，オートマチック車は自動的に低速ギヤに切り換わり（CVT 車は，自動的に変速比が切り換わり）急加速ができます。これをキックダウンといいます。

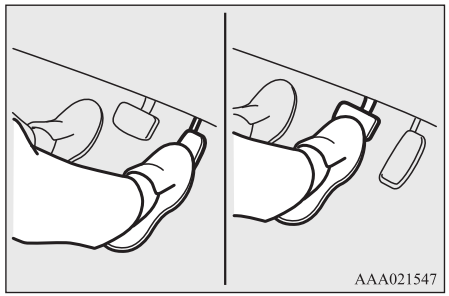
ブレーキペダルは右足で

- 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



エンジンをかける前に

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



- セレクターレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

エンジンをかけるときは

- ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
  アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくいときは，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。
  →「エンジンのかけ方・止め方」P.7-9

エンジン始動後

J00201300095

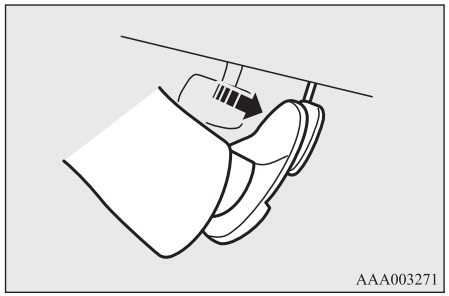
- エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

発進するときは

J00201500169

- ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。

- アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
  急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
  ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。
- 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。



走行中は

J00201600173

- 走行中は，セレクターレバーをⓃに入れないでください。
  誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故の原因になります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。

停車中は

J00201700116

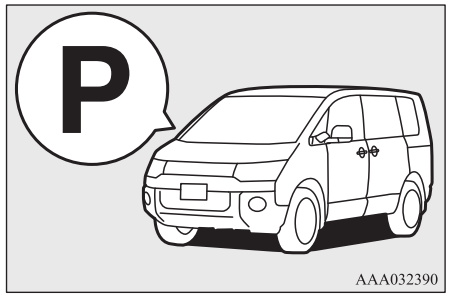
- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。

万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00201800380

- 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 車から離れるときは，必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。



その他に気をつけること

J00201900118

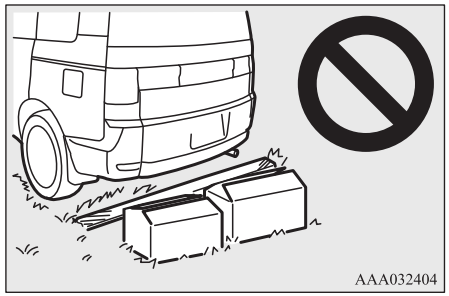
- 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
  後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
- 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
  車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

駐停車するときは

J00200700760

燃えやすいものの近くには車を止めない

- 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
  走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。



長時間のアイドリングは避ける

- 長く停車するときは，エンジンを止めてください。
  燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

- 車から離れるときは，必ずセレクターレバーをⓅに入れ，駐車ブレーキをかけ，エンジンを止め，キーを携帯し，ドアを施錠してください。
  無人で車が動き出したり，盗難のおそれがあります。
  また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

- エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- 排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
  無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

- エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

- パワーステアリング装置が損傷するおそれがあります。

こんなことにも注意

J00200902476

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオまたはカーナビゲーションの操作は停車してから

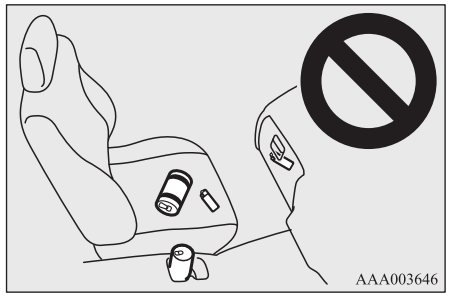
- 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
  操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
  注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

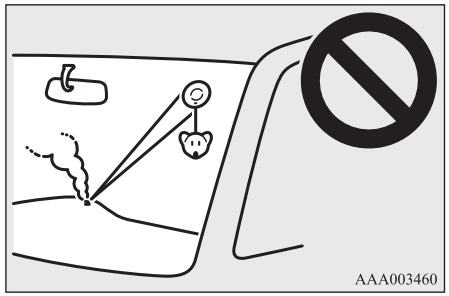


灰皿を使用したあとは

- 灰皿を使用したあとは，マッチやタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
  万一の場合，火災になるおそれがあります。

アクセサリー取り付け時の注意

- ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
  運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。



- 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
  吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ, ホイールは指定サイズを使用

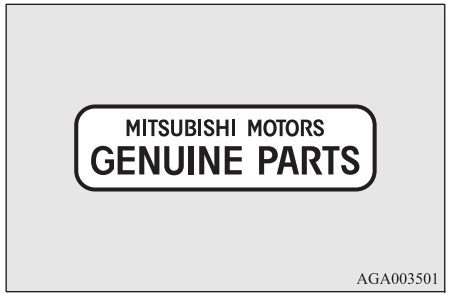
- タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
→「タイヤ，ホイールのサイズ」P.14-9
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エンジンをかけたままジャッキアップをしない

- エンジンをかけたままジャッキアップをすると，ジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

- 法律で認められている改造以外は行わないでください。
また，三菱自動車純正以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。



電装品などを取り付けるときは

- 電装品などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でないと，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お客様のお車には，電子制御システムの点検整備をするための故障診断コネクターが装備されています。
そのコネクターに，点検整備用の故障診断機以外の機器を取り付けると，バッテリーが上がったり，車両の電子機器に悪影響をおよぼすなど思わぬトラブルの原因となりますので，取り付けないでください。
また，故障診断機以外の取り付けによる故障は，保証の対象外となることがあります。

無線機を取り付けるときは

- 無線機を取り付けるときは，必要な情報（周波数，送信出力，取付条件）について三菱自動車販売会社にお問い合わせください。周波数，送信出力，取付条件などが適切でない場合，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000412

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。

•たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。

- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  停止後につぎ足すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

環境にやさしく快適なドライブのために

3

経済的な運転をするために 3-2
機能を上手く使うために 3-2
環境保護のために守っていただきたいこと 3-3

経済的な運転をするために

J00300200362

無駄な荷物を載せない

J00300500017

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

J00300600018

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

J00300700019

- 変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

J00300800010

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

J00300900011

- 空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

J00301000019

- 携帯電話の使用や休憩などで，長い間車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

J00301100010

- タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

J00301200011

- エアコンは燃費に影響します。
  冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

J00301300012

- 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300158

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

J00301400013

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400162

廃棄物を処理するときは

J00301500014

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと有害なガスが発生します。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

J00301600015

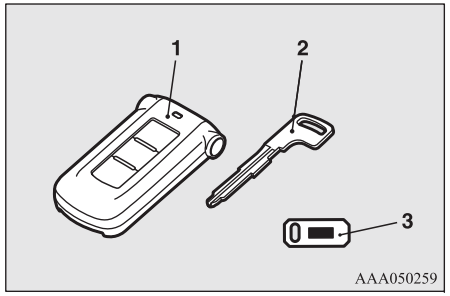
- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガスHFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

各部の開閉

キー 4-2
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）..... 4-2
キーレスオペレーションシステム 4-3
ドア 4-15
フロントドア 4-16
センタードアロック 4-17
スライドドア 4-19
チャイルドプロテクション
（スライドドア安全施錠装置）..... 4-30
テールゲート 4-31
セキュリティーアラーム 4-39
パワーウインドウ 4-44
エンジンフード（ボンネット）..... 4-46
フューエルリッド（燃料補給口）..... 4-47

キー

J00400101431



1- キーレスオペレーションキー（エンジンイモビライザーおよびキーレスエントリー機能付き）
2- エマージェンシーキー
3- キーナンバープレート

⚠警告

- 航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
  - 分解，改造をしない
  - キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
  - オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
  - 携帯電話や無線機，高周波医療機器など強い電波を発する機器の近くに置かない
  - 超音波洗浄器などで洗浄しない
- 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，キーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。
- あらかじめ登録されたキーレスオペレーションキー以外ではエンジンがかかりません。
  →「エンジンイモビライザー」P.4-2

アドバイス

- セキュリティーアラームを「作動する」に設定したときは，つぎの点にご注意ください。
  →「セキュリティーアラーム」P.4-39
  - セキュリティーアラームをシステム作動可能状態にしているときは，エマージェンシーキーやドアのロックノブを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
  - セキュリティーアラームを「作動する」に設定していても，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

J00400200422

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）は，車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキーレスオペレーションキー以外ではエンジンがかからないようにした装置です。

アドバイス

- つぎのようなときは，車がキーからの信号を受信できずエンジンスイッチをSTARTに回してもエンジンがかからないことがあります。

アドバイス

- キーが金属製のもの，または磁気を帯びたものに接しているとき
- キーが他のエンジンイモビライザー用キーと重なっている，または近いとき

このようなときは，キーに接している金属や他のキーを取り除いてからエンジンスイッチを ACC または LOCK に戻し，再度エンジンをかけます。
エンジンがかからないときは，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- 強い電波を発する物や設備の近くでは正しく作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーを紛失したときや，新しいキーレスオペレーションキーを作りたいときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。最大 4 個まで登録することができます。このとき残りのすべてのキーレスオペレーションキーとお車を三菱自動車販売会社へお持ちください。

キーレスオペレーションシステム

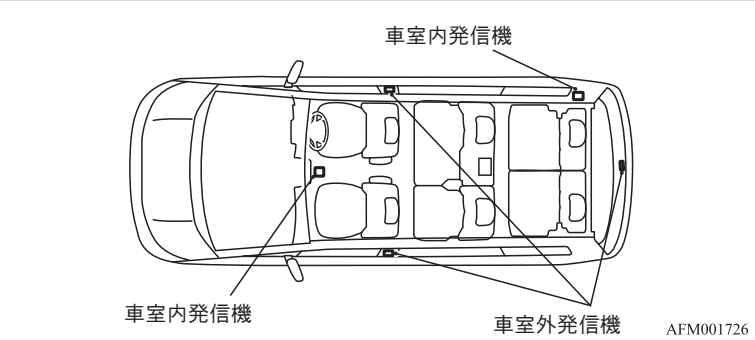
J00407401909

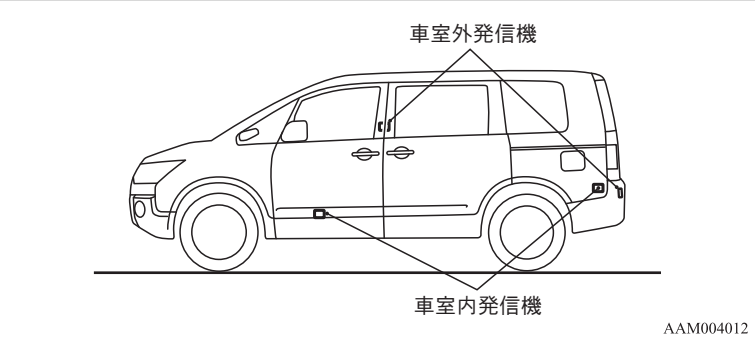
キーレスオペレーションシステムは，キーレスオペレーションキーを携帯するだけで，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作ができるシステムです。
また，キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーのリモコンスイッチとしても使えます。
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P.4-12

キーレスオペレーションキーは必ず運転者が携帯してください。ドアおよびテールゲートの施錠・解錠やエンジンの始動など車を操作するために必要ですので，車から離れるときは必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方は，車室外発信機・車室内発信機から約 22cm 以内に近づかないようにしてください。キーレスオペレーションシステムに使用している電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。





- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用している方は，キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

キーレスオペレーションシステムでできる操作をつぎのように変更することができます。（キーレスエントリーとしての操作は可能です）
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみできるようにする
- エンジンの始動操作のみできるようにする
- キーレスオペレーションシステムを働かなくする

キーレスオペレーションシステムでできる操作を変更した場合，作動している発信機はつぎの通りです。
- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみ：車室外発信機および車室内発信機
- エンジンの始動操作のみ：車室内発信機

アドバイス

● キーレスオペレーションキーは微弱な電波を使用しています。
つぎのような場合，正しく作動しなかったり，不安定な作動となることがあります。
- 近くに TV 塔や変電所，放送局，空港，電気自動車の急速充電器など強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品と一緒に携帯しているとき
- キーレスオペレーションキーが金属製のものに接したり，覆われているとき
- 近くでキーレスエントリーを使用しているとき
- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき
- 強い電波，ノイズのある場所に置いたとき
- 電波で車両の検出を行っているコインパーキングに駐車したとき

このようなときは，つぎのいずれかの方法でドアの施錠・解錠を行ってください。
- キーレスオペレーションキーの LOCK または UNLOCK スイッチを押す
  →「キーレスエントリー」P.4-12
- エマージェンシーキーを使用する
  →「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」P.4-12

また，キーレスオペレーションキーをドアスイッチに近づけてドアスイッチを押すと作動する場合もあります。
なお，エンジンの始動は，エマージェンシーキーを使用してください。
→「エンジンのかけ方・止め方：エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるときは」P.7-9

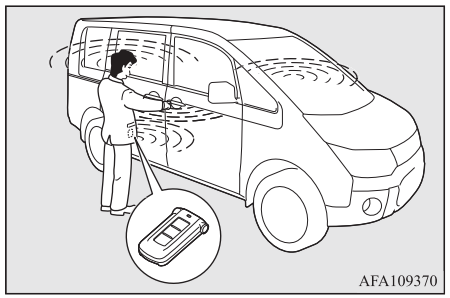
アドバイス

- キーレスオペレーションキーは，車両との通信のために常時受信動作をしているため，キーレスオペレーションキーの使用に関係なく常に電池を消耗しています。使用状況にもよりますが，電池の寿命は約 1 年～ 3 年です。電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
→「電池交換のしかた」P.4-15
- キーレスオペレーションキーは，常時受信動作をしているため，強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ，パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

キーレスオペレーションシステムの作動範囲について

J00407501681

キーレスオペレーションキーを携帯してキーレスオペレーションシステムの作動範囲内に入り，ドアまたはテールゲートのスイッチを押すと ID コードの照合を行います。
車両とキーレスオペレーションキーの ID コードが一致した場合のみ，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作が可能になります。

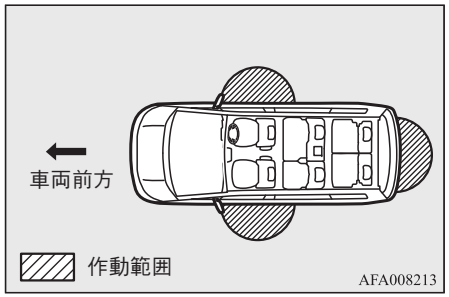


アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているときや，強い電波またはノイズのある場所などでは，作動範囲が狭くなったり，不安定な作動となることがあります。

ドアおよびテールゲートを施錠・解錠するときの作動範囲

作動範囲は運転席ドア，助手席ドアおよびテールゲートのハンドルから周囲約 70 cm 以内です。



アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあれば，キーレスオペレーションキーを携帯していない人でも，運転席ドアや助手席ドアのスイッチおよびテールゲートスイッチの操作でドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。
ただし，キーレスオペレーションキーを検知しているドアおよびテールゲート以外では，ドアおよびテールゲートの施錠・解錠はできません。

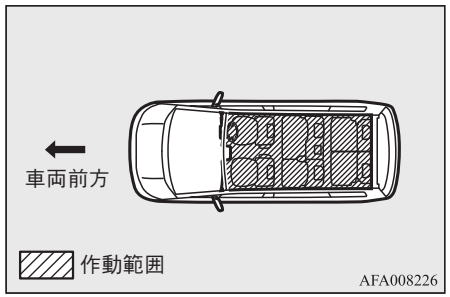
アドバイス

- キーレスオペレーションキーがフロントドア，ドアガラス，テールゲートに近づきすぎているときは作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが運転席ドア，助手席ドアおよびテールゲートのハンドルから周囲約 70 cm 以内でも，地面の近くや高い場所にあるときは，作動しないことがあります。

エンジンを始動するときの作動範囲

J00407600281

作動範囲は車室内です。



アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあっても，グローブボックスなどの小物入れ，インストルメントパネル周辺，ドアポケット，サードシート用カップホルダー周辺またはラゲッジルームなどにあるときは，エンジン始動ができないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが車外にあっても，ドアやドアガラスに近づきすぎているときは，エンジン始動ができることがあります。

キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

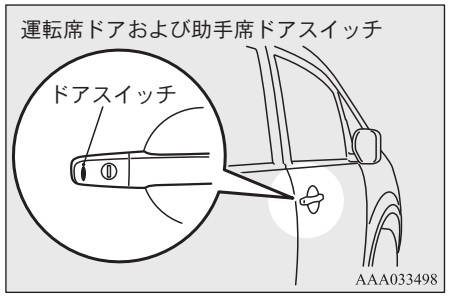
J00407700237

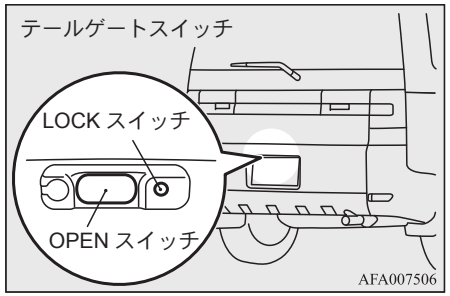
ドアおよびテールゲートの施錠

J00412500158

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドアおよび助手席ドアのドアスイッチを押す，またはテールゲートの LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠します。

「各部の開閉：ドア，フロントドア，センタードアロック，スライドドア，テールゲート」も合わせてお読みください。
→P.4-15，4-16，4-17，4-19，4-31





アドバイス

- ドアスイッチおよびテールゲートの LOCKスイッチで施錠すると，ドアミラーは自動格納します。
  詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P.7-4
- つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。

アドバイス

- 車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
- ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- エンジンスイッチが LOCK 以外のとき
- エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき

● セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P.4-39

● 施錠の確認をテールゲートでしたいときは，施錠後約 3 秒以内にテールゲートの OPEN スイッチを押してください。施錠後約 3 秒以上過ぎて OPEN スイッチを押すと，ドアおよびテールゲートは解錠されます。

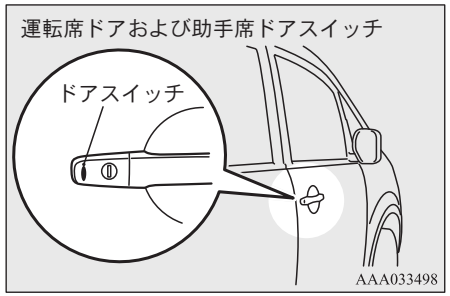
● 施錠の確認ができる時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

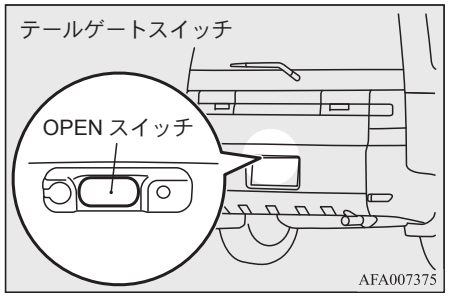
ドアおよびテールゲートの解錠

J00412600191

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドアおよび助手席ドアのドアスイッチを押す，またはテールゲートの OPEN スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
運転席ドアまたは助手席ドアのドアスイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内にドアまたはテールゲートを開けないと自動的に施錠されます。

「各部の開閉：ドア，フロントドア，センタードアロック，スライドドア，テールゲート」も合わせてお読みください。
→P.4-15，4-16，4-17，4-19，4-31





アドバイス

● ドアスイッチおよびテールゲートの OPEN スイッチで解錠すると，ドアミラーは自動復帰します。
詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P.7-4

● テールゲートの OPEN スイッチを押すと，解錠と同時にテールゲートが少し開くため，約 30 秒間操作をしなくても，自動的に施錠されることはありません。

● つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。
- ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき
- エンジンスイッチが LOCK 以外のとき
- エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき

アドバイス

- 解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。

施錠時：非常点滅灯が 1 回点滅し，ブザーが 1 回鳴る

解錠時：ルーム＆マップランプ，リヤパーソナルランプ，ルームランプ（リヤ）およびリラックスルームイルミネーション（タイプ別装備）が約 15 秒点灯し，非常点滅灯が 2 回点滅し，ブザーが 2 回鳴る

ただし，ルーム＆マップランプ，リヤパーソナルランプ，ルームランプ（リヤ）およびリラックスルームイルミネーション（タイプ別装備）の点灯は，つぎの場合に限られます。

- **ルーム＆マップランプ，リヤパーソナルランプ**
  インテリアランプスイッチが中間 (DOOR) 位置のとき。
- **ルームランプ（リヤ）**
  インテリアランプスイッチが中間 (DOOR) 位置およびルームランプ（リヤ）のスイッチが中間（●）位置のとき。
- **リラックスルームイルミネーション**
  [リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車]
  リラックスルームイルミネーション調光スイッチが消灯以外の状態に設定してあるとき。
  [除く，リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車]
  インテリアランプスイッチの位置が〇（消灯）以外のとき。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

アドバイス

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

警告作動について

J00407800384

キーレスオペレーションシステムでは誤操作や車両盗難防止のため，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面の表示およびブザーで注意を促します。
警告作動をしたときは，必ず車両およびキーレスオペレーションキーの確認を行ってください。また，キーレスオペレーションシステムに異常がある場合も表示します。

つぎのような警告作動の場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

A タイプ B タイプ 	● キーレスオペレーションシステムに異常があるとき

A タイプ B タイプ 	● キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき

つぎのようなときにも警告作動しますが，正しい使い方をすれば表示は消えます。

● キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったとき

A タイプ B タイプ 	ID コードの異なるキーレスオペレーションキーを携帯している，またはキーレスオペレーションキーが作動範囲内にないことが考えられます。
A タイプ B タイプ 	→「キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構」P.4-10

● ドアスイッチまたはテールゲートの LOCK スイッチを押しても施錠できないとき

A タイプ B タイプ 	→「キー閉じ込め防止機構」P.4-11
A タイプ B タイプ 	→「半ドア防止機構」P.4-11
A タイプ B タイプ 	→「エンジンスイッチ切り忘れ防止機構」P.4-11

キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構

J00410600272

A タイプ

B タイプ

駐車中，かつエンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，いずれかのドアを開けてキーレスオペレーションキーを車内から持ち出した後ドアを閉めると，警告表示と 4 回鳴るブザーで警告します。

アドバイス

● ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出すと，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構は働きません。

アドバイス

- ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出したとき，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構を働かせることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- エンジン始動の作動範囲内でキーレスオペレーションキーを携帯していても，周囲の環境または電波状態などにより，キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったときは，警告が作動することがあります。

キー閉じ込め防止機構

J00410700332

A タイプ

B タイプ

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき，車内にキーレスオペレーションキーを置いたまますべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアスイッチおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，警告表示と約 3 秒間のブザーで警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

アドバイス

- 必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。
  車内にキーレスオペレーションキーを置いたままでも，周囲の環境または電波状態などにより，施錠されることがあります。

半ドア防止機構

J00410800274

A タイプ

B タイプ

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき，いずれかのドアまたはテールゲートを完全に閉めずにドアスイッチおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，警告表示と約 3 秒間のブザーで警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

エンジンスイッチ切り忘れ防止機構

J00410900259

A タイプ

B タイプ

エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，すべてのドアおよびテールゲートを閉め，ドアスイッチおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，警告表示と

約 3 秒間のブザーで警告し，ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

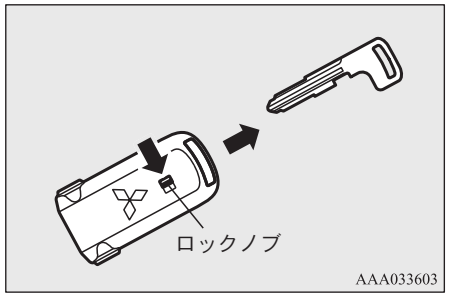
キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは

J00407900675

エマージェンシーキー

エマージェンシーキーはキーレスオペレーションキーに内蔵されています。
キーレスオペレーションキーの電池切れやバッテリー上がりなどによりキーレスオペレーション機能が使用できないとき，ドアの施錠・解錠操作をすることができます。

ロックノブを矢印の方向に押しながら，キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外します。



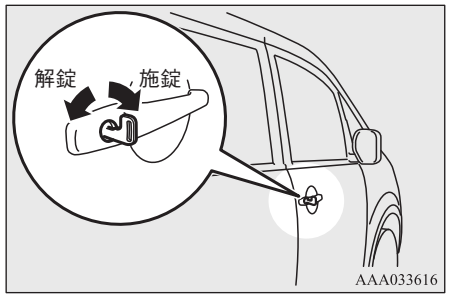
アドバイス

- エマージェンシーキーは緊急を要する場合のみご使用ください。
  キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして，キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。
  →「電池交換のしかた」P.4-15
- エマージェンシーキーを使用した後は，必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。

ドアの施錠・解錠

エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

「各部の開閉：ドア」も合わせてお読みください。→P.4-15

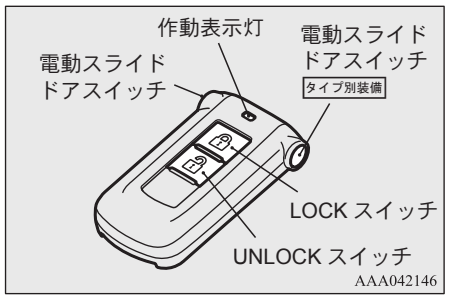


キーレスエントリー

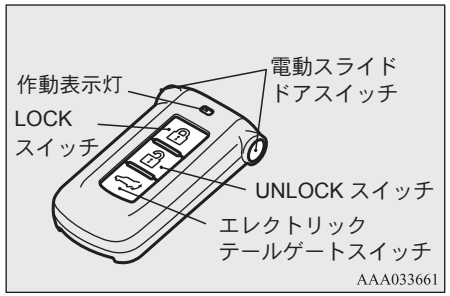
J00408901682

キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠，およびドアミラー，電動スライドドアを操作することができます。
また，エレクトリックテールゲート付き車は，テールゲートを開閉することもできます。

除く，エレクトリックテールゲート付き車



エレクトリックテールゲート付き車



アドバイス

- 近くに TV 塔や変電所, 放送局があるなど周囲の状況によりリモコンスイッチの作動距離が変わることがあります。
- キーレスオペレーションキーを紛失したときや，新しいキーレスオペレーションキーを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大 4 個まで作ることができます。
- つぎのときはリモコンスイッチの電池の消耗が考えられます。
  - 作動距離が短くなったとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-15

■ ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

J00434000023

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，UNLOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- つぎのようなときキーレスオペレーションキーのスイッチは作動しません。
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき（解錠操作のみ可能）
- キーレスオペレーションキーのスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- UNLOCK　スイッチを押すと車幅灯が約30 秒点灯します。
  詳しくは「ウェルカムライト」をお読みください。→P.6-62
- キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠すると，ドアミラーは自動格納・自動復帰します。
  詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P.7-4

アドバイス

- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P.4-39
- UNLOCK スイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

■ 施錠・解錠時の作動確認

J00434100024

つぎの通り作動を確認することができます。

施錠時：　非常点滅灯が 1 回点滅
解錠時：　ルーム＆マップランプ，リヤパーソナルランプ，ルームランプ（リヤ）およびリラックスルームイルミネーション（タイプ別装備）が約 15 秒点灯し，非常点滅灯が 2 回点滅

ただし，ルーム＆マップランプ，リヤパーソナルランプ，ルームランプ（リヤ）およびリラックスルームイルミネーション

（タイプ別装備）の点灯は，つぎの場合に限られます。

- **ルーム＆マップランプ，リヤパーソナルランプ**
  インテリアランプスイッチが中間(DOOR) 位置のとき。
- **ルームランプ（リヤ）**
  インテリアランプスイッチが中間(DOOR) 位置およびルームランプ（リヤ）のスイッチが中間（●）位置のとき。
- **リラックスルームイルミネーション**
  ［リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車］
  リラックスルームイルミネーション調光スイッチが消灯以外の状態に設定してあるとき。
  ［除く，リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車］
  インテリアランプスイッチの位置が○（消灯）以外のとき。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

アドバイス

- キーレスエントリー操作時にブザーを鳴らす。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

■ テールゲートの開閉

J00434200041

エレクトリックテールゲート付き車

エレクトリックテールゲートスイッチを押してテールゲートを開閉することができます。
→「テールゲート：スイッチによる自動操作」P.4-33

■ 電動スライドドアの開閉

J00434300026

電動スライドドアスイッチを押してスライドドアを開閉することができます。
→「スライドドア：自動操作」P.4-23

■ ドアミラーの格納・復帰

J00434400043

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。

UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

工場出荷時は上記の操作をしても作動しません。
作動させたいときは，ドアミラーの設定を「キーレスオペレーションシステムに連動（LOCK で格納，UNLOCK で復帰）」以外に変更する必要があります。
→「ドアミラー」P.7-4
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

- つぎのようなときキーレスオペレーションキーのスイッチによるドアミラーの格納・復帰はできません。
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
  - ドア，テールゲートが開いている，または半ドアのとき

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのスイッチによるドアミラーの操作をできなくすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

電池交換のしかた

J00408001221

警告

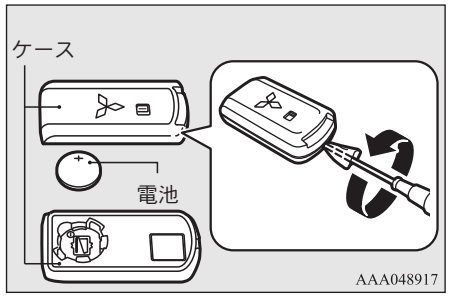
- 電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意し てください。

アドバイス

- 電池交換をする際は，キーレスオペレーションキーを破損するおそれがあるため，三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
- キーレスオペレーションキーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
- 電池は三菱自動車販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR2032

1. 電池交換をする前に部屋のドアノブ等の金属部分に触れて，身体の静電気を除去してください。
2. エマージェンシーキーを取り外します。
   →「エマージェンシーキー」P.4-12
3. 三菱マークを上にして，先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを開きます。



アドバイス

- 必ず三菱マークを上にしてケースを外してください。内部の部品が外れるおそれがあります。

4. 新しい電池は＋極を上にして取り付けます。
5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

ドア

J00400400570

警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
  法的にも義務づけられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。
- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
  半ドアのときは，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に半ドア警告が表示されます。
  確実に閉まっていないと，走行中にドアが開いて乗員が車外に放り出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- サイドガーニッシュ内側に足を掛けないでください。サイドガーニッシュが破損するおそれがあります。（ROADEST 車）

アドバイス

- コインパーキング駐車時，輪止めのフラップが上がった状態でドアを開閉すると，サイドガーニッシュがフラップと干渉し破損するおそれがあります。ドアの開閉は，フラップが下がっていることを確認して行なってください。（ROADEST車）

フロントドア

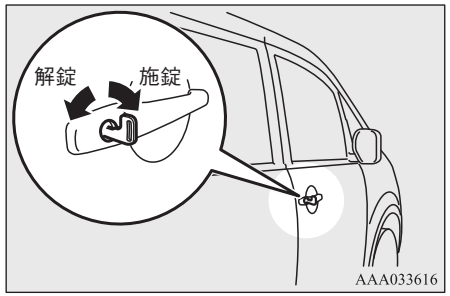
J00400400091

車外から施錠･解錠するときは

J00404400842

エマージェンシーキーを使って施錠・解錠するときは（運転席ドア）

エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

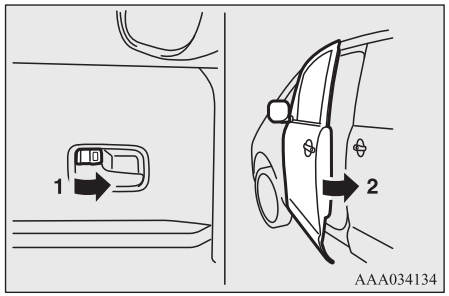


アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため，エマージェンシーキーを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

エマージェンシーキーを使わずに施錠するときは（助手席ドア）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアを閉じます。



キー抜き忘れ防止機構

J00404500641

エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているとき

A タイプ

B タイプ

エンジンを止めた後，エマージェンシーキーを差したままで運転席ドアを開くと，キー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

エンジンスイッチ戻し忘れ防止機構

J00408700306

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

A タイプ

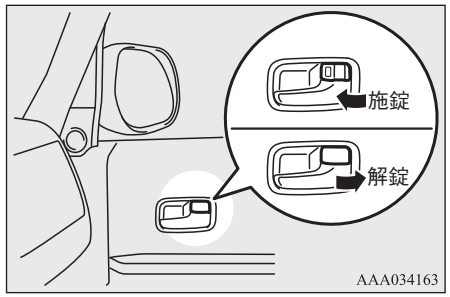
B タイプ

エンジンを止めた後，エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置のままで運転席ドアを開くと，エンジンスイッチ戻し忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，エンジンスイッチの戻し忘れを知らせます。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

車内から施錠･解錠するときは

J00404600671

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。



アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため，運転席ドアのロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを車両前方に倒したままでも，室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。また，同時にすべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。

センタードアロック

J00400500757

つぎの操作ですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

アドバイス

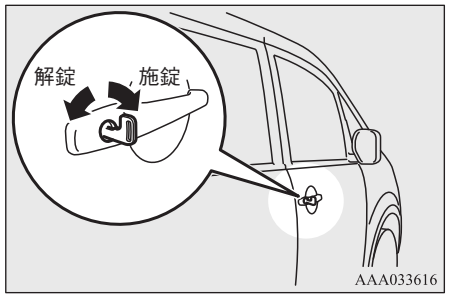
- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため，運転席ドアのロックノブまたはキーを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約 1 分後）操作してください。

エマージェンシーキーを使って施錠・解錠するときは（運転席ドア）

J00411000084

4

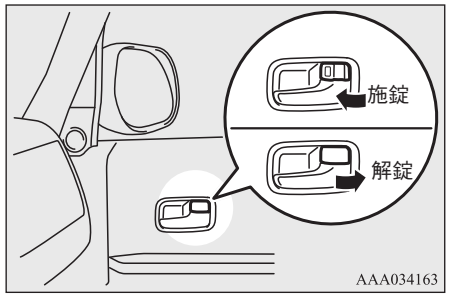
エマージェンシーキーを車両前方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。



ロックノブを使って施錠・解錠するときは

J00411100072

運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し，車両後方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。



解錠するときは

J00415300115

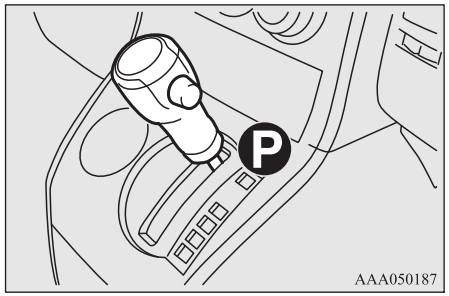
エンジンスイッチを使って解錠する機能と，セレクターレバーを使って解錠する機能のいずれかを設定することができます。これらの機能は工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS) 付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

エンジンスイッチを使って解錠するときは

エンジンスイッチを LOCK にするとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

セレクターレバーを使って解錠するときは

エンジンスイッチが ON のときにセレクターレバーをⓅに入れるとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

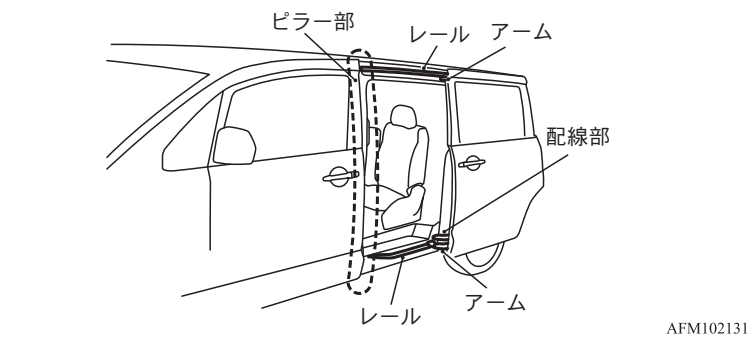


スライドドア

J00409001156

⚠警告

- 安全のためスライドドアの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
  また，車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手，足，首などをはさむおそれがあります。
- スライドドアを開けたり閉めたりするときは，つぎのことをお守りください。
  スライドドアに手，足，首などをはさまれたり，引き込まれたりして重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - スライドドア周辺の安全を十分確認してから操作してください。
  - 車外や車内にいる人がスライドドアに寄りかかったり，触れたりしていないことを十分確認してから操作してください。
  - ドアガラスを開けた状態でスライドドアを開閉するときは，窓から手，足，顔などを出さないでください。
  - 手動操作をするときは，車外または車内のドアハンドルをしっかり持って開閉してください。
    ドア本体を持ったり，車体に手をかけて開閉したりしないでください。
  - スライドドア本体，レール，アーム，ピラー部または配線部に手や足などをかけないでください。



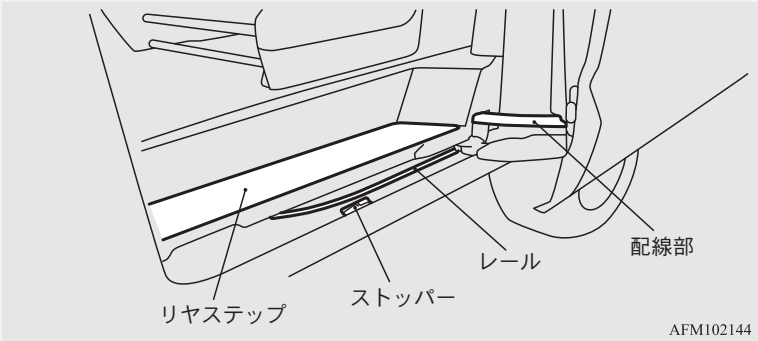
  - スライドドアは全開位置まで開けると固定されます。
    開けるときは，必ず全開位置まで開けて確実に固定してください。
    固定されていないとスライドドアが急に開閉するおそれがあります。

⚠警告

- 坂道などでスライドドアを開けたままにしないでください。
  スライドドアが急に開閉するおそれがあります。
- 走行する前にスライドドアが確実に閉まっていることを確認してください。
  半ドアのときは，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に半ドア警告が表示されます。確実に閉まっていないと，走行中にスライドドアが開いて乗員が車外に放り出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- スライドドアを閉めるときは，リヤステップ下のレール付近およびストッパー付近に異物がないことを確認してください。
  異物が入るとスライドドアが正常に閉まらなくなるおそれがあります。
  また，ストッパーが正常に作動せず，フューエルリッドとスライドドアが干渉するおそれがあります。
  →「フューエルリッド（燃料補給口）」P.4-47
- 乗り降りするときは，配線部を踏みつけないように注意してください。踏みつけたりすると，配線類を傷つけ，作動不良となるおそれがあります。



スライドドアの施錠・解錠

J00409900116

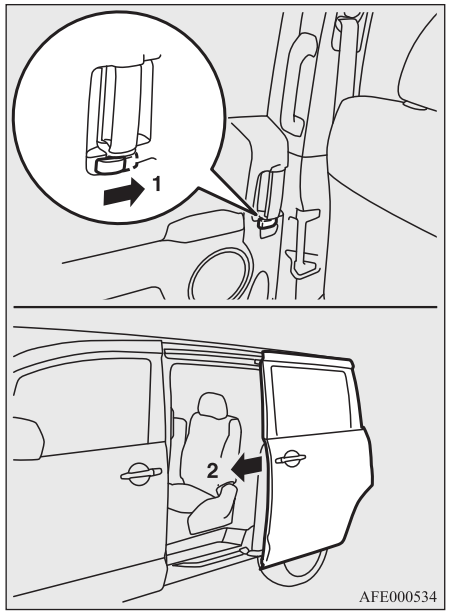
車外から施錠・解錠するときは

センタードアロックまたはキーレスオペレーションシステムの操作で，スライドドアの施錠・解錠をすることができます。

詳しくはつぎの項をお読みください。
→「センタードアロック」P.4-17
→「キーレスオペレーションシステム」P.4-3

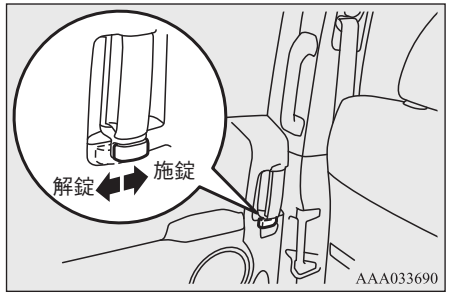
センタードアロックまたはキーレスオペレーションシステムを使わずに施錠するときは

1. 車内のロックノブを車両前方に動かし，
2. スライドドアを閉じます。



車内から施錠・解錠するときは

車内のロックノブを車両前方に動かすと施錠し，車両後方に動かすと解錠します。

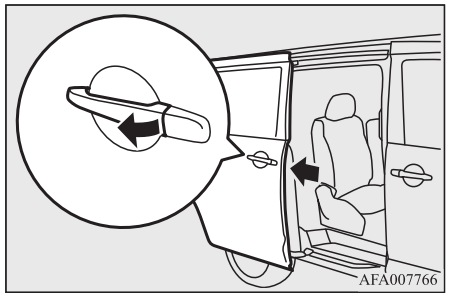


スライドドアの操作 (除く，電動スライドドア)

J00411401160

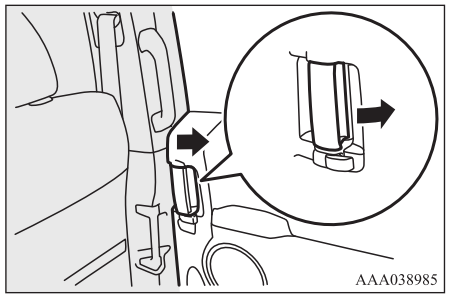
車外から開けるときは

解錠後，車外のドアハンドルを手前に引いてスライドドアを少し開きます。
その後，スライドドアを車両後方に動かして全開位置まで開きます。
全開にするとスライドドアが固定されます。



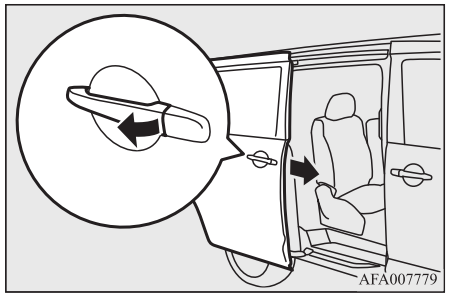
車内から開けるときは

解錠後，車内のドアハンドルを車両後方に引いて，全開位置までスライドドアを開きます。
全開にするとスライドドアが固定されます。



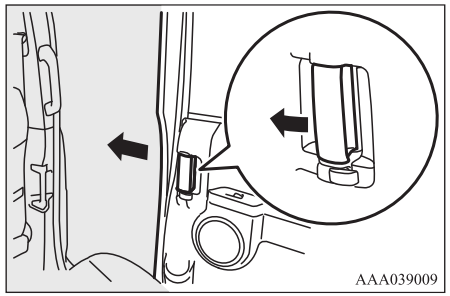
車外から閉めるときは

車外のドアハンドルを手前に引いてスライドドアの固定を解除します。
その後，スライドドアを車両前方に動かして全閉位置まで閉じます。



車内から閉めるときは

車内のドアハンドルを車両前方に押して，全閉位置までスライドドアを閉じます。



スライドドアイージークローザー

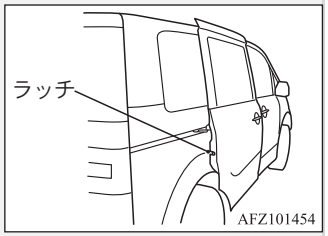
スライドドアイージークローザーはスライドドアを閉めるのを補助する装置です。スライドドアを半ドアの位置まで閉めると自動的にスライドドアが全閉します。

⚠警告

- 半ドアの位置から自動的にスライドドアが閉まるため，手や指などをはさまないように十分注意してください。スライドドアイージークローザー作動中に手や指などをはさみそうになったときは，スライドドアのドアハンドルを引いてください。スライドドアイージークローザーが作動を中止します。
  ただし，スライドドアのロックノブが施錠状態のとき，またはチャイルドプロテクションのレバーが施錠状態のときは，ドアハンドルを使ってスライドドアイージークローザーの作動を中止することはできません。
  →「スライドドアの施錠・解錠」P.4-20
  →「チャイルドプロテクション（スライドドア安全施錠装置）」P.4-30

⚠注意

- スライドドア内側のラッチに触れないでください。スライドドアイージークローザーが作動して指などをはさむおそれがあります。



アドバイス

- 車内のドアハンドルを車両後方に引いたままドアを閉めると，スライドドアイージークローザーが作動しないことがあります。
- スライドドアイージークローザーを連続で作動させると保護回路が働いてスライドドアイージークローザーが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

スライドドアの操作(電動スライドドア)

J00411501044

警告

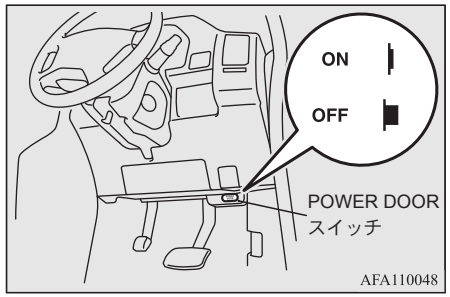
- 電動スライドドアは走行中に自動で開閉できないようになっていますが，走行中の電動スライドドア操作は大変危険ですので，電動スライドドアが確実に閉まっていることを確認してから，車両を発進させてください。
- 自動開閉中に電動スライドドアに触ったり，近づいたりしないでください。また，カバン，服などの巻き込みにも注意してください。電動スライドドアに手，足，首などをはさみ重大な傷害を受けるおそれがあります。

自動操作

J00411601175

運転席インストルメントパネルの右下奥にあるPOWER DOORスイッチがONで，作動条件（P.4-24 に記載）がそろったときに，キーレスオペレーションキー，電動スライドドアスイッチまたはスライドドアのハンドルを使って電動スライドドアを開閉することができます。

→「キーレスオペレーションキーを使って開閉するときは」P.4-24
→「電動スライドドアスイッチを使って開閉するときは」P.4-25
→「スライドドアハンドルを使って開閉するときは」P.4-26
→「ワンタッチスイッチを使って開閉するときは」P.4-26



警告

- 後輪タイヤの交換など電動スライドドアのまわりで作業をするときは，POWER DOOR スイッチを OFF にしてください。POWER DOOR スイッチを ON のままにしておくと，誤ってドアハンドルなどに触れたとき電動スライドドアが動き，ドアにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 開閉作動中にPOWER DOORスイッチをOFF にしたときは，作動が停止して手動操作に切り換わります。
  このとき，車両の傾きによっては電動スライドドアが急に開閉するおそれがあります。

注意

- 開閉作動中に電動スライドドアに無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
- 開閉作動中にエンジンを始動しないでください。急開閉防止機構が働き電動スライドドアが正常に作動しないことがあります。

アドバイス

- つぎのようなときは，電動スライドドアが正常に作動しないことがあります。
  - 車が大きく傾いた状態で駐車しているとき

アドバイス

- バッテリー電圧が低いとき
- 開閉作動を交互に連続操作すると保護回路が働いて手動操作に切り換わることがあります。
- 開閉作動中に電動スライドドアのハンドルを操作すると電動スライドドアが作動している方向と反対方向に作動します。
- 電動スライドドアを開けている途中で車両が動き始めると，警報ブザーが鳴り続け，電動スライドドアは停止します。
  このような場合は，停車して電動スライドドアをいったん全開状態にしてから閉めてください。
- 電動スライドドアを開けたままバッテリーやヒューズを交換した後は，自動操作で電動スライドドアを閉めることができなくなります。このような場合は，手動操作で電動スライドドアを閉めてください。
  これにより，元通りに自動操作ができるようになります。

■ 作動条件

J00429900040

電動スライドドアはつぎの条件がそろったときに自動で開閉することができます。
なお，作動条件を満たさない場合は警報ブザーが 4 回鳴り，自動操作できないことを知らせます。

開けるとき

- POWER DOORスイッチがONのとき
- つぎのいずれかの状態のとき
  - セレクターレバーがⓅに入っている
  - 駐車ブレーキをかけている
  - 車が止まっていてブレーキペダルを踏んでいる
- 電動スライドドアが全閉のとき
- 電動スライドドアのロックノブが解錠状態のとき
- チャイルドプロテクションのレバーが解錠状態のとき
- フューエルリッド（燃料補給口）が閉じているとき（助手席側電動スライドドア）
  →「フューエルリッド（燃料補給口）」P.4-47

アドバイス

- チャイルドプロテクションのレバーが施錠状態のときは，車内のドアハンドルを使って自動で開けることはできません。
  →「チャイルドプロテクション（スライドドア安全施錠装置）」P.4-30

閉めるとき

- POWER DOORスイッチがONのとき
- つぎのいずれかの状態のとき
  - セレクターレバーがⓅに入っている
  - 駐車ブレーキをかけている
  - 車が止まっていてブレーキペダルを踏んでいる
- 電動スライドドアが全開のとき
- 人や荷物などがセンサーに触れていないとき
- フューエルリッド（燃料補給口）が閉じているとき（助手席側電動スライドドア）
  →「フューエルリッド（燃料補給口）」P.4-47

⚠警告

- 自動開閉中に作動条件を満たさなくなったときも警報ブザーが 4 回鳴り電動スライドドアがその場で停止して手動操作に切り換わることがあります。
  このとき車両の傾きによっては電動スライドドアが急に開閉するおそれがあります。

■ キーレスオペレーションキーを使って開閉するときは

J00429800065

電動スライドドアを解錠した後，キーレスオペレーションキーのスイッチを押して，電動スライドドアを開閉することができます。

アドバイス

- 運転席側，助手席側共に電動スライドドアが装着されている車は，片側ずつ開閉できます。
  また，キーレスオペレーションキーの運転席側，助手席側の電動スライドドアスイッチを同時に押しても，電動スライドドアは作動しません。

電動スライドドアが全閉位置のとき，電動スライドドアスイッチを続けて 2 回押すと警報ブザーが 1 回鳴り，全開位置まで電動スライドドアが開きます。
電動スライドドアが全開位置のとき，電動スライドドアスイッチを続けて 2 回押すと警報ブザーが断続的に鳴り続け，全閉位置まで電動スライドドアが閉じます。
開閉作動中，電動スライドドアスイッチを 1 回押すと警報ブザーが 1 回鳴り，電動スライドドアが作動している方向と反対方向に動きます。

アドバイス

- つぎのようなときは，キーレスオペレーションキーを使って電動スライドドアを開閉することはできません。
  - エンジンスイッチが LOCK 以外のとき
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
- 3 回以上続けて電動スライドドアスイッチを押すと，正常に開閉作動しないことがあります。
  このようなときは，しばらくしてから再度電動スライドドアスイッチを続けて 2 回押してください。

■電動スライドドアスイッチを使って開閉するときは

J00429700048

計器盤右にある電動スライドドアスイッチを押して電動スライドドアを開閉することができます。

電動スライドドアが全閉位置のときに，電動スライドドアスイッチを約 1 秒以上押すと警報ブザーが 1 回鳴り，全開位置まで電動スライドドアが開きます。
電動スライドドアが全開位置のときに，電動スライドドアスイッチを約 1 秒以上押すと警報ブザーが断続的に鳴り続け，全閉位置まで電動スライドドアが閉まります。

開閉作動中，電動スライドドアスイッチを押すと警報ブザーが 1 回鳴り，電動スライドドアが作動している方向と反対方向に動きます。

4

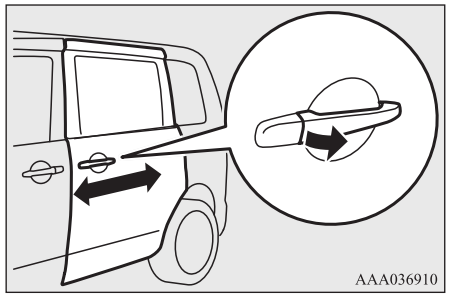
■ スライドドアハンドルを使って開閉するときは

J00429600063

車外または車内のドアハンドルの操作で電動スライドドアを開閉することができます。

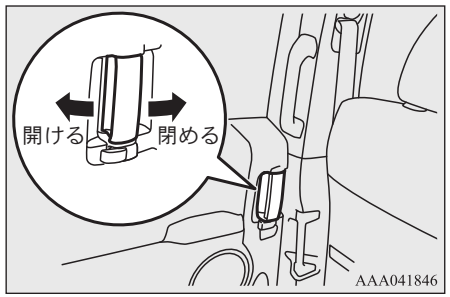
車外のドアハンドルを使って

電動スライドドアが全閉位置のときに，警報ブザーが鳴る位置までドアハンドルを手前に引くと，電動スライドドアが全開位置まで開きます。
電動スライドドアが全開位置のときに，警報ブザーが鳴る位置までドアハンドルを手前に引くと，電動スライドドアが全閉位置まで閉まります。



車内のドアハンドルを使って

電動スライドドアが全閉位置のときに，警報ブザーが鳴る位置までドアハンドルを車両後方に引くと，電動スライドドアが全開位置まで開きます。
電動スライドドアが全開位置のときに，警報ブザーが鳴る位置までドアハンドルを車両前方に押すと，電動スライドドアが全閉位置まで閉まります。



開閉作動中，車外または車内のドアハンドルを操作すると警報ブザーが1回鳴り，電動スライドドアが作動している方向と反対方向に動きます。

⚠警告

- 電動スライドドアが開閉作動しているときは，車内のドアハンドルを車両前方または後方のどちらに動かしても，作動している方向と反対方向に電動スライドドアが動きます。
  手，足，首または物などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- 電動スライドドアが全開位置のときは，車内のドアハンドルを開ける方向に操作しても，電動スライドドアが全閉位置まで閉まります。

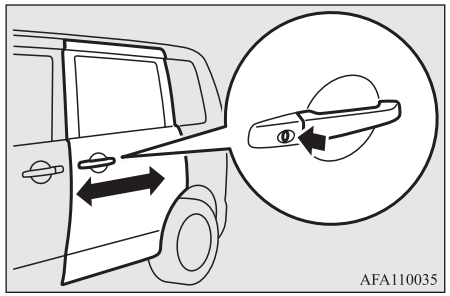
■ ワンタッチスイッチを使って開閉するときは

J00429300044

電動スライドドアを解錠してから操作します。

電動スライドドアが全閉状態のときに，ワンタッチスイッチを長押しすると，警報ブザーが 1 回鳴り全開位置まで動きます。

電動スライドドアが全開状態のときに，ワンタッチスイッチを長押しすると，警報ブザーが断続的に鳴り続け全閉位置まで動きます。



⚠警告

- 電動スライドドアが開閉作動しているときにワンタッチスイッチを押すと，作動している方向と反対方向に電動スライドドアが動きます。
  手，足，首または物などをはさまないように注意してください。

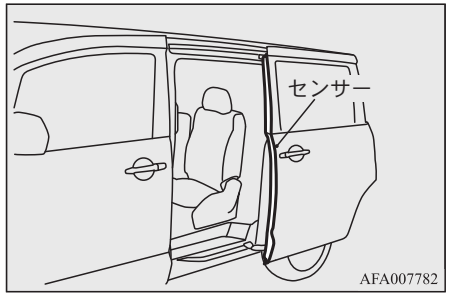
⚠注意

- 電動スライドドアを開けるときは，警報ブザーが鳴ったらスイッチから指を離してください。
  ドアが動き出すときに指を押され，けがをするおそれがあります。

■ セーフティー機構

J00429500062

自動開閉中，電動スライドドアに人や荷物などをはさんだ場合，または電動スライドドアの前端部にあるセンサーに人や荷物などが触れた場合は，安全のため自動的に電動スライドドアが，動いている方向と反対の方向に動きます。このとき警報ブザーが 1 回鳴ります。



⚠警告

- はさまれた物の形状や，はさまれ方によってはセーフティー機構が働かないことがあります。手，足，首または物などをはさまないように注意してください。
- 電動スライドドアを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。手，足，首または物などをはさまないように注意してください。

⚠注意

- 連続してセーフティー機構が働いた場合は，電動スライドドアがその場で停止して手動操作に切り換わることがあります。このとき，電動スライドドアの位置によっては急に開閉することがありますので注意してください。
  手動操作に切り換わった場合は，電動スライドドアを一度全開または全閉にすれば元通りに自動操作ができるようになります。

アドバイス

- 環境や使用条件により，人や物などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 人が乗り降りするときや荷物を出し入れするときなどは，センサーを傷つけないように注意してください。センサーが切断されると自動で開閉することができなくなります。
  また，自動で電動スライドドアが開閉しているときにセンサーが切断されると，電動スライドドアはその場で停止します。

■ 急開閉防止機構

J00429400045

坂道などで自動操作をするとき，車両の傾きによっては電動スライドドアが小刻

みに止まりながら動いて急な開閉を防止します。

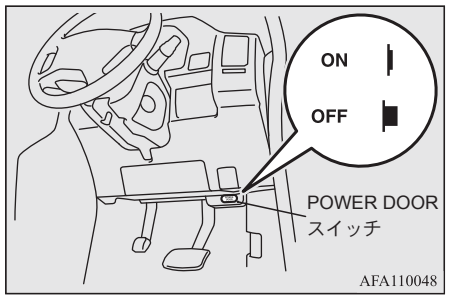
⚠警告

- POWER DOORスイッチをOFFにしたときは，急開閉防止機構が働かなくなります。
  このとき車両の傾きによっては電動スライドドアが急に開閉することがあります。手，足，首をはさまないように注意してください。

手動操作

J00411701121

運転席インストルメントパネルの右下奥にある POWER DOOR スイッチが OFF のときは，手動で電動スライドドアを操作することができます。



⚠警告

- POWER DOORスイッチをOFFにしたときは，急開閉防止機構が働かなくなります。
  このとき車両の傾きによっては電動スライドドアが急に開閉することがあります。手，足，首などをはさまないように注意してください。

⚠注意

- POWER DOOR スイッチが OFF でも，電動スライドドアを半ドアの位置まで閉めるとスライドドアイージークローザーが作動します。手や指などをはさまないように注意してください。
  →「スライドドアイージークローザー」P.4-29

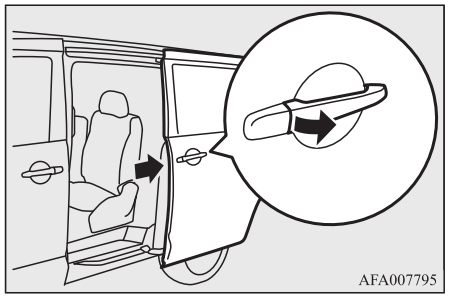
アドバイス

- フューエルリッド（燃料補給口）が開いているときに助手席側の電動スライドドアを手動で開こうとしても，フューエルリッドとの干渉を防ぐため途中までしか開きません。

車外から開けるときは

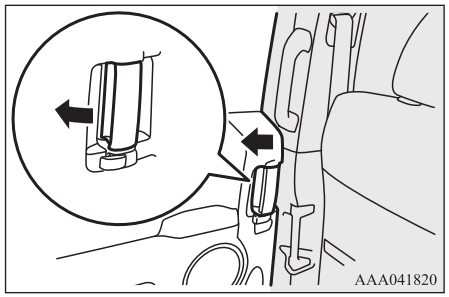
解錠後，車外のドアハンドルを手前に引いて電動スライドドアを少し開きます。その後，スライドドアを車両後方に動かして全開位置まで開きます。

全開にすると電動スライドドアが固定されます。



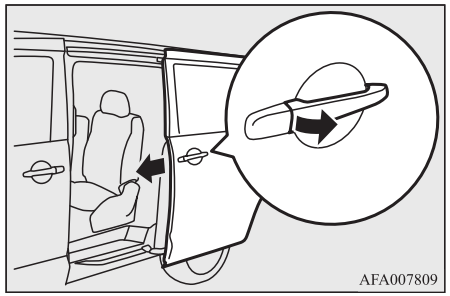
車内から開けるときは

解錠後，車内のドアハンドルを車両後方に引いて，全開位置まで電動スライドドアを開きます。
全開にすると電動スライドドアが固定されます。



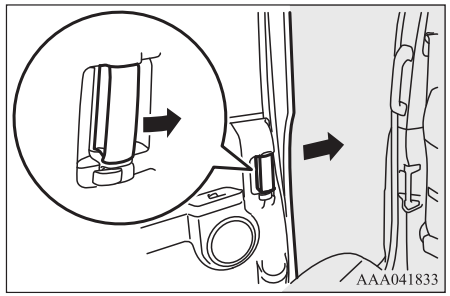
車外から閉めるときは

車外のドアハンドルを手前に引いて電動スライドドアの固定を解除します。
その後，スライドドアを車両前方に動かして全閉位置まで閉じます。



車内から閉めるときは

車内のドアハンドルを車両前方に押して，全閉位置まで電動スライドドアを閉じます。



スライドドアイージークローザー

J00411801106

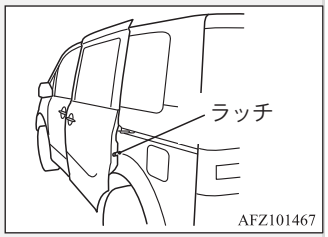
スライドドアイージークローザーは電動スライドドアを閉めるのを補助する装置です。電動スライドドアを半ドアの位置まで閉めると自動的に電動スライドドアが全閉します。

⚠警告

- 半ドアの位置から自動的に電動スライドドアが閉まるため，手や指などをはさまないように十分注意してください。スライドドアイージークローザー作動中に手や指などをはさみそうになったときは，電動スライドドアのドアハンドルを引いてください。スライドドアイージークローザーが作動を中止します。
  ただし，電動スライドドアのロックノブが施錠状態のとき，またはチャイルドプロテクションのレバーが施錠状態のときは，ドアハンドルを使ってスライドドアイージークローザーの作動を中止することはできません。
  →「スライドドアの施錠・解錠」P.4-20
  →「チャイルドプロテクション（スライドドア安全施錠装置）」P.4-30

⚠注意

- 電動スライドドア内側のラッチに触れないでください。スライドドアイージークローザーが作動して指などをはさむおそれがあります。



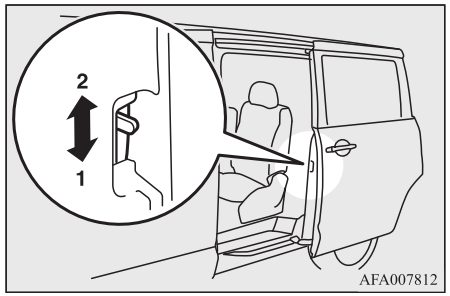
アドバイス

- POWER DOORスイッチがOFFのときでもスライドドアイージークローザーは作動します。
- 車内のドアハンドルを車両後方に引いたままドアを閉めると，スライドドアイージークローザーが作動しないことがあります。
- スライドドアイージークローザーを連続で作動させると保護回路が働いてスライドドアイージークローザーが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

チャイルドプロテクション（スライドドア安全施錠装置）

J00400601797

レバーを施錠側(1)にしてスライドドアを閉めると，スライドドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはスライドドアが開けられなくなります。
安全上，お子さまを乗せるときにご使用ください。



1- 施錠
2- 解錠

スライドドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

警告

- レバーを施錠側(1)にしているときに車外のドアハンドルでスライドドアを開けるときは，お子さまが窓から顔や手を出さないように注意してください。手，足，首などをはさみ重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- 電動スライドドア付き車は，レバーを施錠側 (1) にしているときにも，車外のドアハンドル以外につぎの操作でスライドドアを開けることができます。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電動スライドドアスイッチを押す。
  →「キーレスオペレーションキーを使って開閉するときは」P.4-24
- 計器盤右にある電動スライドドアスイッチを押す。
  →「電動スライドドアスイッチを使って開閉するときは」P.4-25
- ワンタッチスイッチを押す。
  →「ワンタッチスイッチを使って開閉するときは」P.4-26

- 万一の場合，車内から手動でスライドドアを開けたいときは，つぎの操作で開けてください。
  [除く，電動スライドドア付き車]
  スライドドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引きます。
  [電動スライドドア付き車]
  POWER DOOR スイッチを OFF にして手動操作に切り換えた後，スライドドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引きます。

テールゲート

J00401102259

⚠警告

- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。
  開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
  また，走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲッジルームは人が乗る構造になっておりません。人を乗せたり，お子さまを遊ばせたりしないでください。万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。
- テールゲートを開閉するときは，周囲の安全や車両の後方および上方に十分なスペースがあることを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。
- テールゲートに積雪や氷の付着があるときは，テールゲートを開ける前に雪や氷を取り除いてください。取り除かずに開けておくと雪や氷の重みでテールゲートが突然閉じるおそれがあります。

⚠警告

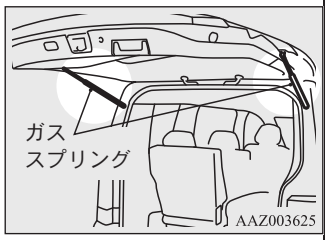
- テールゲートを開けたときは，テールゲートが必ず全開で静止していることを確認してください。途中までしか開いていないと，突然閉まるおそれがあります。特に傾斜地では，平坦な場所よりもテールゲートの開閉がしにくかったり，急に開いたり閉じたりするおそれがあります。

⚠注意

- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
  排気熱によりやけどをするおそれがあります。
- テールゲートが損傷しないように，テールゲートを開ける前にテールゲートの上や後ろに障害物がないか確認してください。

アドバイス

- テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。



損傷や作動不良を防止するため，つぎのことをお守りください。

- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

テールゲートの施錠・解錠

J00411900038

センタードアロックまたはキーレスオペレーションシステムの操作で，テールゲートの施錠・解錠をすることができます。

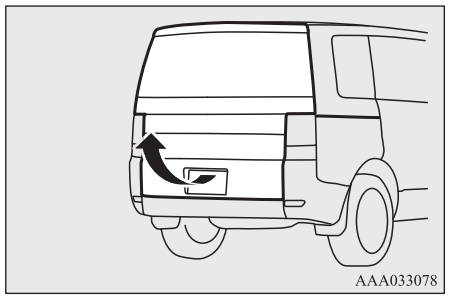
詳しくは，つぎの項をお読みください。
→「センタードアロック」P.4-17
→「キーレスオペレーションシステム」P.4-3

4 テールゲートの操作 (除く，エレクトリックテールゲート)

J00408101147

車外から開けるときは

解錠後，テールゲートを持ち上げます。



アドバイス

- OPEN スイッチを押した後すぐに開けないと，テールゲートは持ち上がりません。その場合はもう一度 OPEN スイッチを押してテールゲートを持ち上げます。

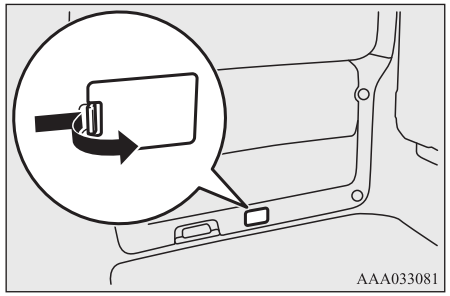
アドバイス

- バッテリーが上がったり，または外しているときは，テールゲートを開けることはできません。

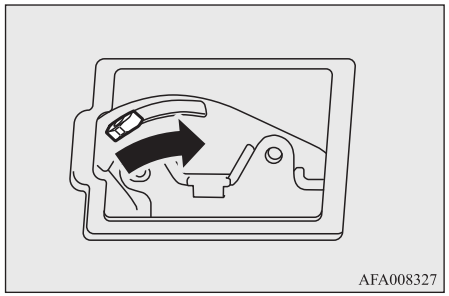
車内から開けるときは

車内からもテールゲートを開けることができます。
バッテリー上がりなどで車外から開けられなくなったときにご使用ください。

1. 車内からインサイドリリースレバーのカバーを外します。



2. インサイドリリースレバーを矢印の方向に動かします。



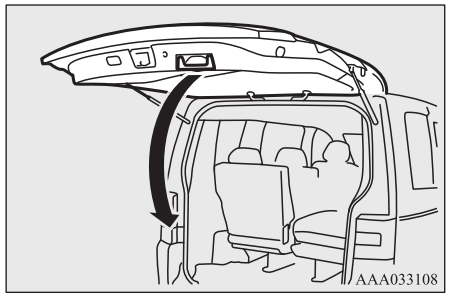
3. テールゲートを押しながら開けます。

⚠警告

- 通常はインサイドリリースレバーのカバーは閉じておいてください。カバーが開いたままだと荷物などがレバーに当たり，テールゲートが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

テールゲートの取っ手に手をかけてテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してテールゲートを軽く押しつけます。



テールゲートの操作(エレクトリックテールゲート)

J00408201180

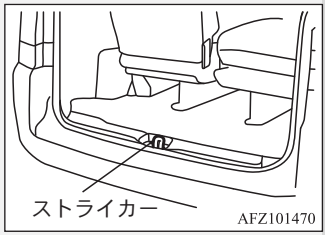
エレクトリックテールゲートの開閉

⚠警告

- 安全のため，エレクトリックテールゲートの開閉操作はお子さまでなく大人が行ってください。
- エレクトリックテールゲートが完全に開いたことを確認してから荷物を出し入れしてください。

⚠注意

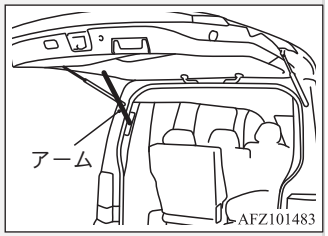
- エレクトリックテールゲートを閉めるときは，ストライカー付近に異物がないことを確認してください。
  異物が入るとエレクトリックテールゲートが正常に閉まらなくなるおそれがあります。



- エレクトリックテールゲートには，三菱自動車純正以外のアクセサリーなどを取り付けないでください。種類によっては重みがかかり，落下防止機構が作動することがあります。
  →「落下防止機構」P.4-37
  また，三菱自動車純正品でも種類によっては取り付けられない場合があります。詳しくは，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- エレクトリックテールゲートを開閉するときは，エレクトリックテールゲートのアーム付近に手をかけないようにしてください。手や指などをはさみ，けがをするおそれがあります。

⚠注意

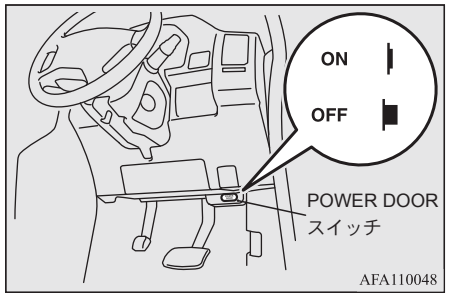
- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，エレクトリックテールゲートのアーム付近に頭をぶつけないようにしてください。けがをするおそれがあります。



スイッチによる自動操作

J00408301237

エレクトリックテールゲートは，POWER DOORスイッチがON のときに，3 つの方法で自動操作を行うことができます。
詳しくは , つぎの項をお読みください。
→「キーレスオペレーションキーを使って開閉するときは」P.4-34
→「運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは」P.4-35
→「クローズスイッチを使って閉じるときは」P.4-36



⚠警告

- 開閉作動中にPOWER DOORスイッチをOFF にしたときは，作動が停止して手動操作に切り換わります。
  このとき，エレクトリックテールゲートの位置によっては急に開閉することがあります。

⚠注意

- 開閉作動中にエレクトリックテールゲートに無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
- 開閉作動中にエンジンを始動しないでください。急開閉防止機構が働き，エレクトリックテールゲートが小刻みに止まりながら動くことがあります。

アドバイス

- POWER DOORスイッチがOFFのときに各スイッチを使って操作をすると，警報ブザーが 4 回鳴り，エレクトリックテールゲートが開閉できないことを知らせます。
- つぎのようなときは，エレクトリックテールゲートが正常に作動しないことがあります。
  - 車が大きく傾いた状態で駐車しているとき
  - 風の強いとき
  - エレクトリックテールゲートに積雪があるとき
- 開閉作動を交互に連続操作すると保護回路が働いて手動操作に切り換わります。
- 開閉作動中にエレクトリックテールゲートの OPEN スイッチを押すとエレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。
- エレクトリックテールゲートを自動で全開にしたときや，開閉作動中にセレクターレバーをⓅ以外に入れたとき，警報ブザーが約 10 秒間鳴り続け，エレクトリックテールゲートが開いていることを知らせます。
- エレクトリックテールゲートが開いている状態でバッテリーやヒューズを交換した場合は，自動では閉まらなくなります。その場合は，手動でエレクトリックテールゲートを閉めてください。

■キーレスオペレーションキーを使って開閉するときは

J00416900088

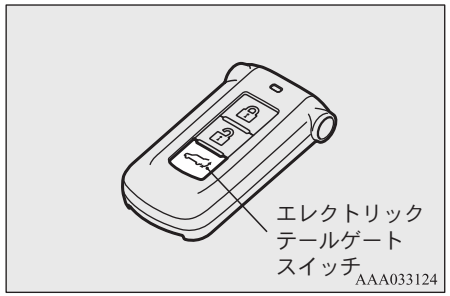
つぎの条件がそろったときに，キーレスオペレーションキーのエレクトリックテールゲートスイッチを押して，エレクトリックテールゲートを自動で開閉することができます。

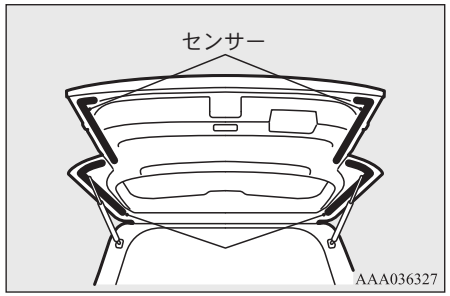
開けるときの条件

- エンジンスイッチが LOCK のとき
- エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差していないとき
- エレクトリックテールゲートが全閉で，解錠されているとき

閉めるときの条件

- エンジンスイッチが LOCK のとき
- エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差していないとき
- エレクトリックテールゲートが全開のとき
- 人や荷物などがセンサーに触れていないとき





エレクトリックテールゲートスイッチを続けて 2 回押すと警報ブザーが鳴り，非常点滅灯が 2 回点滅してエレクトリックテールゲートがつぎの通り作動します。

- 閉まっているとき：警報ブザーが 4 回鳴り，全開します。
- 開いているとき：警報ブザーが 3 回鳴り，全閉します。

開閉作動中，エレクトリックテールゲートスイッチを 1 回押すと警報ブザーが 1 回鳴り，エレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。

アドバイス

- 3 回以上続けてエレクトリックテールゲートスイッチを押すと，正常に開閉作動しないことがあります。
  このようなときは，しばらくしてから再度エレクトリックテールゲートスイッチを続けて 2 回押してください。

■運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを使って開閉するときは

J00417000086

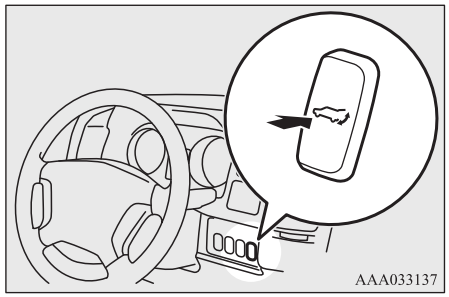
つぎの条件がそろったときに，運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを押して，エレクトリックテールゲートを自動で開閉することができます。

開けるときの条件

- エンジンスイッチが ON でセレクターレバーがⓅのとき，またはエンジンスイッチが LOCK あるいは ACC のとき
- エレクトリックテールゲートが全閉で，解錠されているとき

閉めるときの条件

- エンジンスイッチが ON でセレクターレバーがⓅのとき，またはエンジンスイッチが LOCK あるいは ACC のとき
- エレクトリックテールゲートが全開のとき
- 人や荷物などがセンサーに触れていないとき



運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを約 1 秒以上押すと警報ブザーが鳴り，非常点滅灯が 2 回点滅してエレクトリックテールゲートがつぎの通り作動します。

- 閉まっているとき：警報ブザーが 4 回鳴り，全開します。
- 開いているとき：警報ブザーが 3 回鳴り，全閉します。

開閉作動中，運転席側エレクトリックテールゲートスイッチを 1 回押すと警報ブザーが 1 回鳴り，エレクトリックテールゲートが作動している方向と反対方向に作動します。

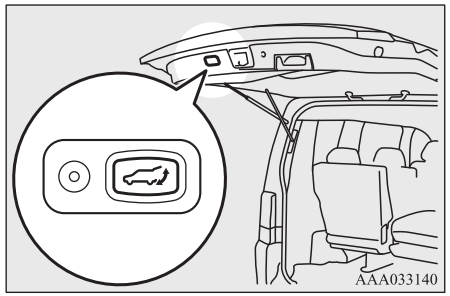
■ クローズスイッチを使って閉じるときは

J00417100087

つぎの条件がそろったときに，エレクトリックテールゲート内側のクローズスイッチを押して，エレクトリックテールゲートを自動で閉じることができます。

条件

- エンジンスイッチが ON でセレクターレバーがⓅのとき，またはエンジンスイッチが LOCK あるいは ACC のとき
- エレクトリックテールゲートが全開のとき
- 人や荷物などがセンサーに触れていないとき



クローズスイッチを押すと警報ブザーが 3 回鳴り，非常点滅灯が 2 回点滅してエレクトリックテールゲートが閉まります。
閉じている途中でクローズスイッチを 1 回押すと警報ブザーが 1 回鳴り，エレクトリックテールゲートが開きます。

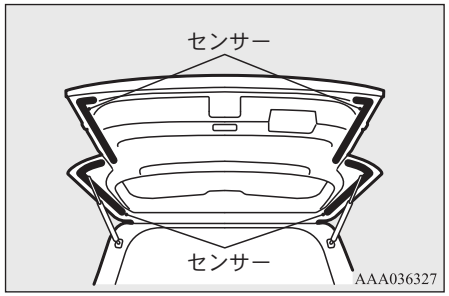
アドバイス

- エレクトリックテールゲートが開く方向に作動している途中で再度クローズスイッチを 1 回押すと警報ブザーが 1 回鳴り，エレクトリックテールゲートが閉じます。

■ セーフティー機構

J00417300076

自動開閉中，エレクトリックテールゲートに人や荷物などをはさんだ場合，またはエレクトリックテールゲートの両側にあるセンサーに人や荷物などが触れた場合は，安全のため自動的にエレクトリックテールゲートが，動いている方向と反対の方向に動きます。このとき警報ブザーが 1 回鳴ります。



⚠注意

- はさまれた物の形状や，はさまれ方によってはセーフティー機構が働かないことがあります。手，身体または物などをはさまないように注意してください。
- つぎの場合はセーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。
  - 閉め切り直前（エレクトリックテールゲートを確実に閉めるため）
  - エレクトリックテールゲートを手動で閉めるとき

⚠注意

- 連続してセーフティー機構が働いた場合は，手動操作に切り換わることがあります。このとき，エレクトリックテールゲートの位置によっては急に開閉することがありますので注意してください。
  手動操作に切り換わった場合は，エレクトリックテールゲートを一度全開または全閉すれば元通りに自動操作ができるようになります。

アドバイス

- 環境や使用条件により，人や物などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 荷物を出し入れするときやリヤガラスを清掃するときなどは，センサーを傷つけないようにしてください。自動で閉められなくなります。

■ 落下防止機構

J00417400077

エレクトリックテールゲートを自動で開けたとき，積雪などの重みによるエレクトリックテールゲートの落下を感知すると，自動的にエレクトリックテールゲートが閉まります。
落下防止機構が作動しているときは警報ブザーが鳴り続けます。

アドバイス

- エレクトリックテールゲートに積雪等がある場合は，エレクトリックテールゲートを作動させる前に積雪などを取り除いてください。
- エレクトリックテールゲートを自動で全開した後すぐに手動で閉めようとすると，落下防止機構が作動することがあります。

■ 急開閉防止機構

J00417500049

エレクトリックテールゲートの自動開閉中にエンジンを始動すると，バッテリーの電圧不足により手動操作に切り換わり，エレクトリックテールゲートが小刻みに止まりながら動くことがあります。これは，エレクトリックテールゲートが急に開閉することを防止するためであり，一度全閉または全開して約 10 秒後に自動操作ができるようになります。

⚠注意

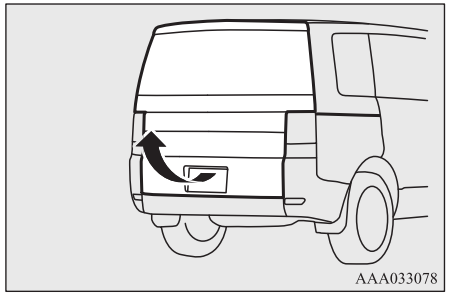
- 急開閉防止機構が作動しているときは，セーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。

手動操作

J00408401124

車外から開けるときは

解錠後，テールゲートを持ち上げます。



アドバイス

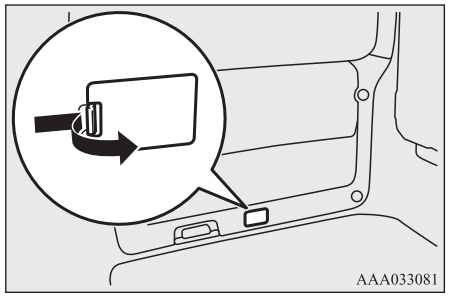
- OPEN スイッチを押した後すぐに開けないと，エレクトリックテールゲートは持ち上がりません。
  その場合はもう一度 OPEN スイッチを押してエレクトリックテールゲートを持ち上げます。
- バッテリーが上がったり，または外しているときは，エレクトリックテールゲートを開けることはできません。

車内から開けるときは

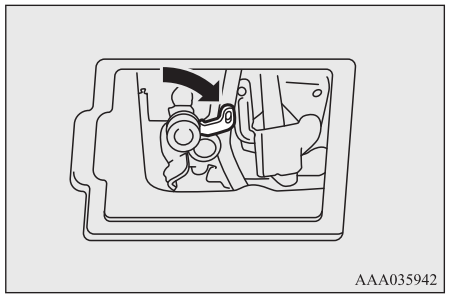
車内からもエレクトリックテールゲートを開けることができます。

バッテリー上がりなどで車外から開けられなくなったときにご使用ください。

1. 車内からインサイドリリースレバーのカバーを外します。



2. インサイドリリースレバーを矢印の方向に下げます。



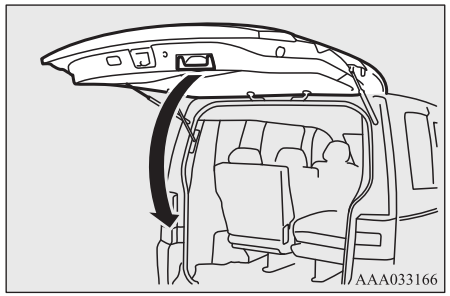
3. エレクトリックテールゲートを押しながら開けます。

⚠警告

- 通常はインサイドリリースレバーのカバーは閉じておいてください。カバーが開いたままだと荷物などがレバーに当たり，エレクトリックテールゲートが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

エレクトリックテールゲートの取っ手に手をかけてエレクトリックテールゲートを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してエレクトリックテールゲートを軽く押しつけます。



⚠注意

- エレクトリックテールゲートの取っ手に手をかけたまま直接エレクトリックテールゲートを閉じないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。
- エレクトリックテールゲートを手動で閉めるときは，セーフティー機構が働かないようになっています。手や指などをはさまないように注意してください。

テールゲートイージークローザー

J00408501053

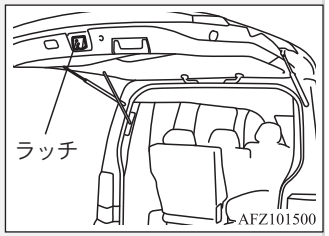
テールゲートイージークローザーはエレクトリックテールゲートを閉めるのを補助する装置です。
エレクトリックテールゲートを半ドアの位置まで閉めると自動的にエレクトリックテールゲートが閉まります。

⚠警告

- テールゲートイージークローザー作動中に手や指などをはさまないように注意してください。作動中に手や指などをはさみそうになったときは，エレクトリックテールゲートの OPEN スイッチを押してください。エレクトリックテールゲートが半ドアの位置まで戻ります。

⚠注意

- エレクトリックテールゲート内側のラッチに触れないでください。テールゲートイージークローザーが作動してラッチで指などをはさむおそれがあります。



アドバイス

- POWER DOORスイッチがOFFのときでもテールゲートイージークローザーは作動します。
- OPEN スイッチを連続で押すと保護回路が働いてテールゲートイージークローザーが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約 1 分後）OPEN スイッチを押すとエレクトリックテールゲートが開きます。

セキュリティーアラーム

J00401202234

セキュリティーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，キーレスエントリー，またはキーレスオペレーション機能で解錠せずにドアやテールゲートを開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。

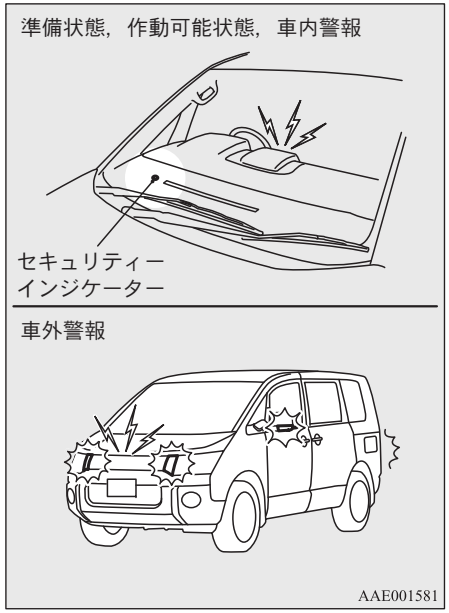
工場出荷時は，セキュリティーアラームが「作動しない」に設定されています。設定を変更するときは「セキュリティーアラームの設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P.4-40
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（エマージェンシーキーやドアのロックノブを使って）すべてのドアおよびテールゲートを施錠したときは，このシステムは働きません。
- 三菱自動車純正以外の部品を装着すると，セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。
- リモコンスイッチを押しても施錠，解錠およびセキュリティーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P.4-15

システムの基本状態

セキュリティーアラームにはシステム準備状態，システム作動可能状態，警報作動，システム作動解除の 4 つの状態があります。
それぞれの状態に応じて，ブザー，セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーンがつぎの通り作動します。



システム準備状態 : 約 20 秒間

（ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーインジケーターが点滅する）

4

キーレスエントリーの LOCK スイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。
車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にキーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わずにドアを開けたときに警報しないよう，この状態を設定しています。

システム作動可能状態

（ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターの点灯時間が短くなり，点滅し続ける）

システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
作動可能状態のとき，不正にドアなどが開けられると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。

警報作動

車内警報（約 10 秒間）：

ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。

車外警報（約 30 秒間）：

非常点滅灯が点滅し，ホーンが鳴り，周囲に異常を知らせます。

→「警報作動」P.4-43

アドバイス

- 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

システム作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。
また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。
→「システム作動の解除のしかた」P.4-43
→「警報作動の解除のしかた」P.4-44

アドバイス

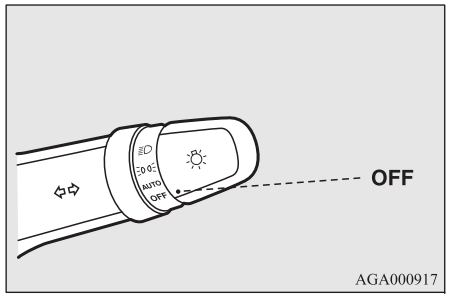
- 他の人にお車を貸されるときや，セキュリティーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，セキュリティーアラームについて十分ご説明いただくか，セキュリティーアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周囲への迷惑となります。

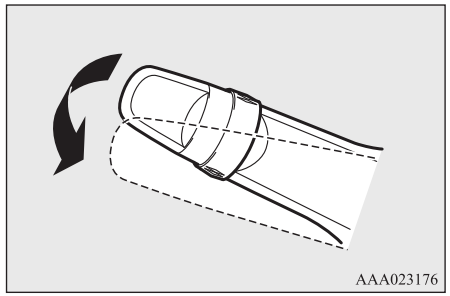
セキュリティーアラームの設定変更のしかた

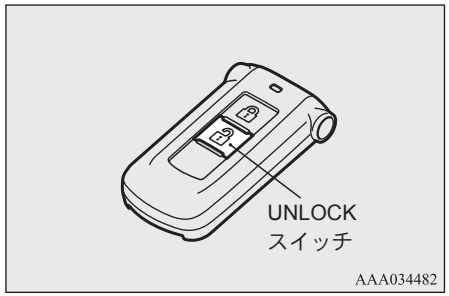
J00402701053

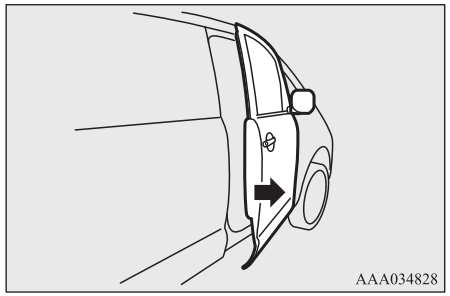
セキュリティーアラームの設定を「作動する」または「作動しない」のいずれかに変更することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

1. エンジンスイッチを LOCK にします。さらに，エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチを OFF 位置にして，運転席ドアを開いたままにします。









3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
（エンジンスイッチが LOCK にあるため，ウォッシャー液は出ません。）

4. 約 10 秒経過するとブザーが鳴りますが，フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
（フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。）

5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押してセキュリティーアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。

ブザーの回数	セキュリティーアラームの設定状態
1 回	警報作動しない
2 回	警報作動する

6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
- フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
- 運転席ドアを閉じる
- エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差す
- ライトスイッチを OFF 位置以外にする
- 設定を変更しないまま約30秒経過する
- エンジンスイッチを LOCK (PUSH ON) 位置に押す

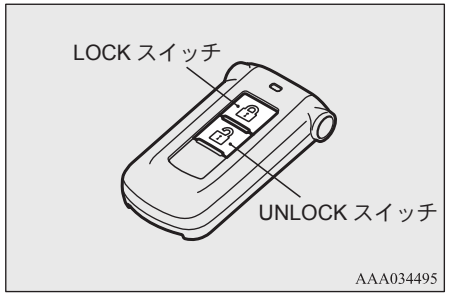
アドバイス

- セキュリティーアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

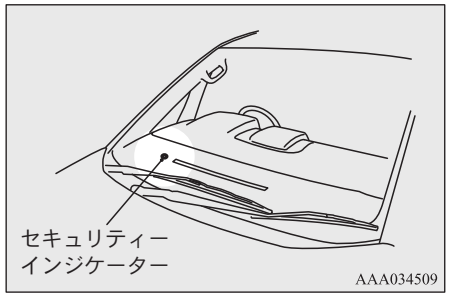
セキュリティーアラームのセットのしかた

J00402800956

あらかじめセキュリティーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。



1. エンジンスイッチを LOCK にします。
さらに，エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. 車両から出てすべてのドア，テールゲートおよびエンジンフードを閉じます。
3. キーレスエントリーのLOCKスイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能による施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に鳴り，インストルメントパネル上のセキュリティーインジケーターが点滅します。



アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（エマージェンシーキーやドアのロックノブを使って）すべてのドアおよびテールゲートを施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
エンジンフードを閉めるとシステム準備状態になり，約 20 秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約 20 秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。

システム作動の解除のしかた

J00402901882

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

- キーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押す
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- システム準備状態のとき，いずれかのドア，テールゲートを開けるか，エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差し込む
- キーレスオペレーションキーを携帯し，ドアスイッチまたはテールゲートの OPEN スイッチで解錠する

アドバイス

- システム準備状態のときにエンジンフードを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。

アドバイス

- キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチは 4 個まで登録できます。
  登録済みのリモコンスイッチであれば，セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。
  リモコンスイッチの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- UNLOCKスイッチまたはドアスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。
  UNLOCKスイッチまたはドアスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

警報作動

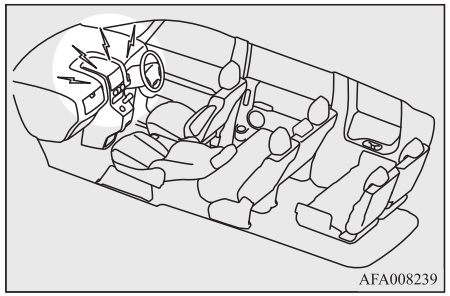
J00403001024

システム作動可能状態のときに，キーレスエントリーの操作またはキーレスオペレーション機能で解錠せずに，いずれかのドア，テールゲートまたはエンジンフードを開けると警報作動します。

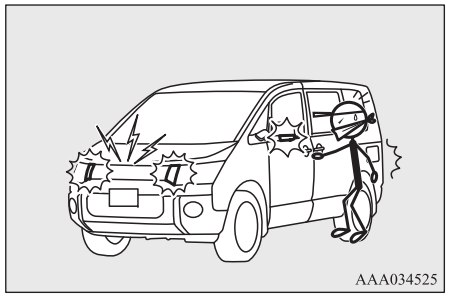
1. 車内警報が約 10 秒間作動します。

アドバイス

- システム作動可能状態のときにエンジンフードを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。
- 車内警報の時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。



2. 車外警報が約 30 秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅し，ホーンが断続的に鳴ります。



3. 警報が停止した後も警報作動する状況が繰り返されると，車外警報が再び作動します。

アドバイス

- 警報作動中はマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に表示されます。
  A タイプ

  B タイプ

警報作動の解除のしかた

J00403100695

つぎの方法で警報作動を止めることができます。

- キーレスエントリーのLOCKスイッチまたは UNLOCK スイッチ を押す〔LOCK スイッチを押したとき，すべてのドアおよびテールゲートが閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- キーレスオペレーションキーを携帯し，キーレスオペレーション機能でドアおよびテールゲートを施錠または解錠する

アドバイス

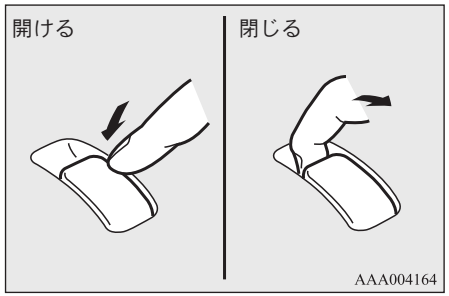
- 車内警報中にドアまたはテールゲートを閉じても警報作動は解除されません。
- エンジンスイッチを ON にしたときブザーが 4 回鳴り，セキュリティーインジケーターが 4 回点滅したときは，駐車中に警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。

アドバイス

- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
  一時的にバッテリーを外して警報作動しないようにしても，バッテリーを再び接続するとすぐに警報し，周囲に異常を知らせます。

パワーウインドウ

J00401500813



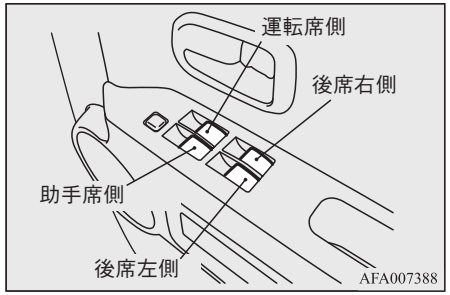
⚠警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。

⚠警告

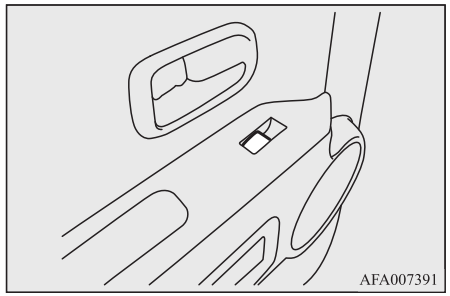
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

運転席スイッチ



運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。
エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
運転席ドアガラスは，運転席側のスイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを反対方向に操作します。

助手席 , 後席スイッチ



エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
後席ドアガラスは全開しません。

タイマー機構

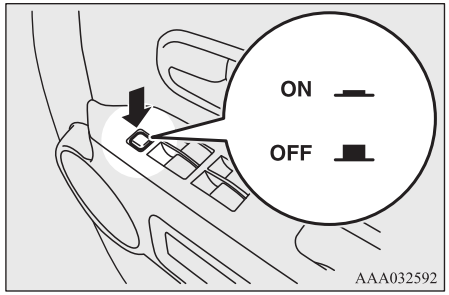
J00405200788

エンジンスイッチを切った後でも約30秒間はドアガラスを開閉することができます。ただし，この時間内に運転席ドアまたは助手席ドアを開けるとドアガラスの開閉はできなくなります。

ロックスイッチ

J00404300779

お子さまを乗せるときはロックスイッチを ON にしてください。
助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。



アドバイス

- ロックスイッチが ON のときは，運転席スイッチでは運転席ドアガラスのみ開閉することができます。

セーフティー機構

J00403200537

運転席ドアガラス

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。
- パワーウインドウスイッチを引き上げている間は，セーフティー機構は働きません。
  手や首をはさまないように注意してください。
- 手や首などをはさんで故意にセーフティー機構を働かせないでください。
  万一，手や首をはさんだ場合，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 3 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，セーフティー機構が解除され，ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
  つぎの方法でドアガラスを処置してください。
  ドアガラスが開いているときは，パワーウインドウスイッチを繰り返し引き上げて，ドアガラスを一度全閉します。全閉後，いったんスイッチから手を離し，再度約 1 秒間スイッチを引き上げてください。これにより，元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

エンジンフード（ボンネット）

J00402100861

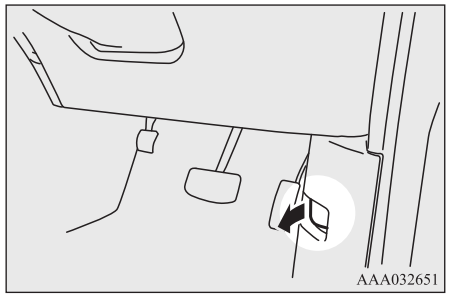
開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

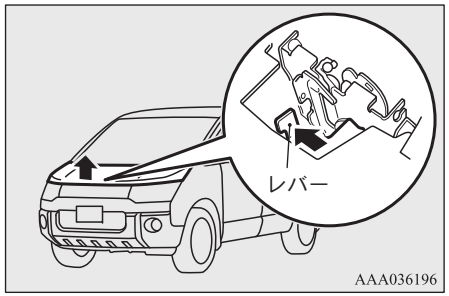
アドバイス

- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

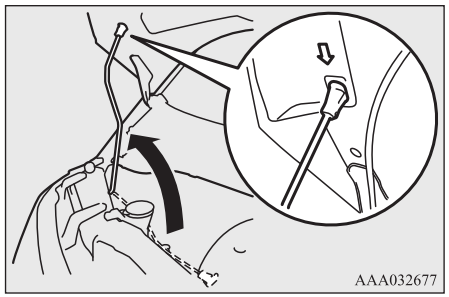
2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。



3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。



4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。



⚠注意

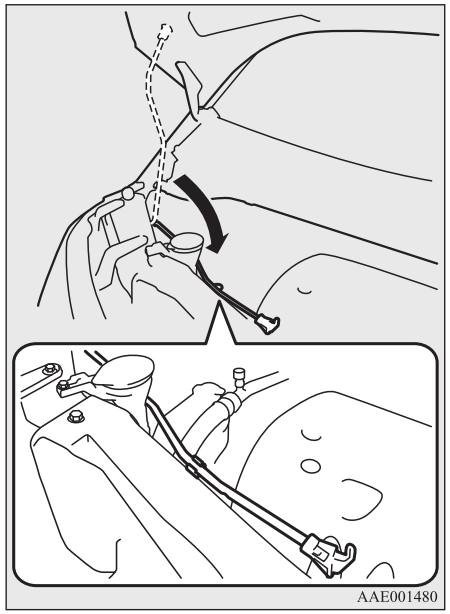
- 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。

⚠注意

- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。



2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約 30cm）から離します。

⚠注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。
  完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。
- エンジンフードが開いたまま走行するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。
  A タイプ

B タイプ

アドバイス

- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

4

フューエルリッド（燃料補給口）

J00402300704

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

⚠警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。

⚠警告

- フューエルリッドの開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

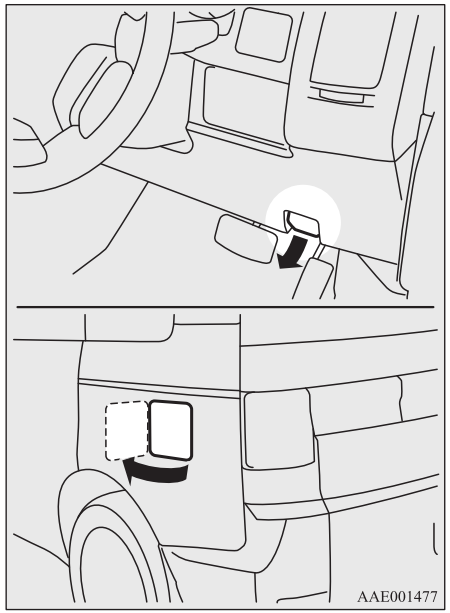
アドバイス

- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
  →「燃料は指定されたものを補給」P.2-3
  →「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」P.14-2
- フューエルリッドが開いているときに助手席側の電動スライドドアを手動で開こうとしても，フューエルリッドとの干渉を防ぐため途中までしか開きません。
- フューエルリッドが開いていると，助手席側の電動スライドドアを自動で開閉することはできません。
  フューエルリッドを閉めてから操作してください。

開けるときは

J00405000382

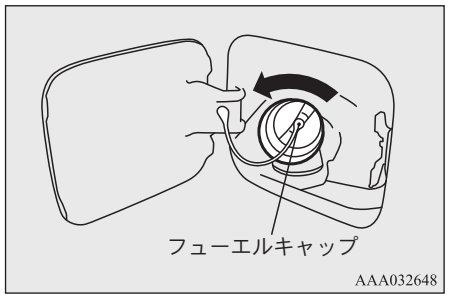
1. 計器盤右下のレバーを引いてフューエルリッドを開けます。



アドバイス

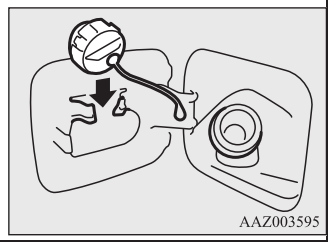
- 助手席側のスライドドアが開いているときは，フューエルリッドを開けないでください。スライドドアにフューエルリッドが当たり，傷または汚れをつけるおそれがあります。

2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。



アドバイス

- フューエルキャップをリッドの裏側に置くことができます。



⚠警告

- 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

閉めるときは

J00405100022

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

⚠警告

- フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。

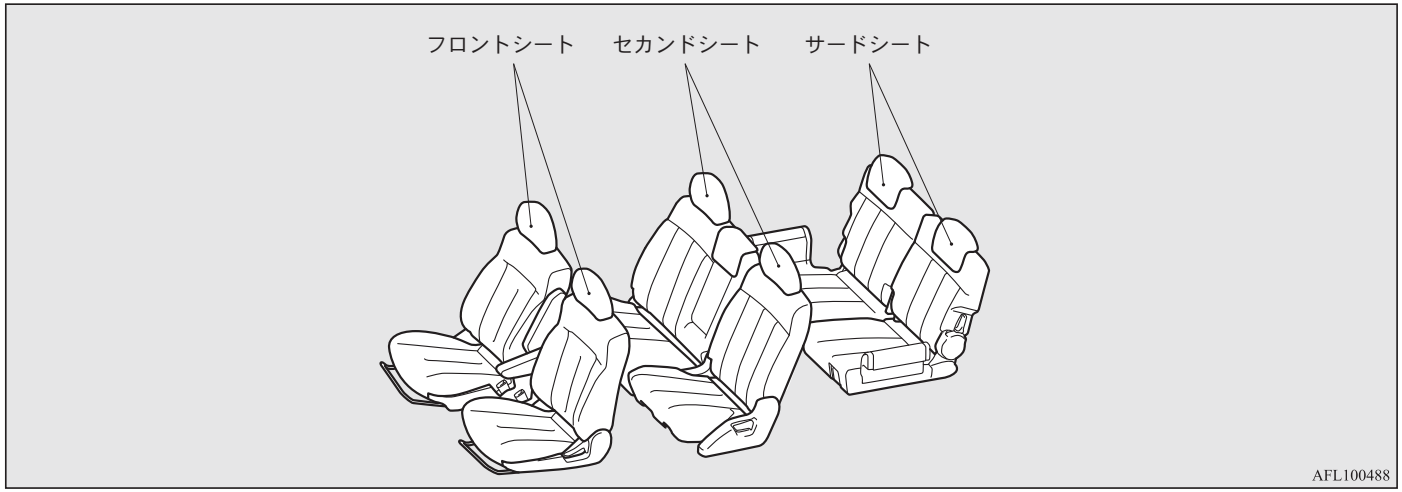
2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

安全装備

シート 5-2
シートアレンジ 5-3
シート調整 5-5
フロントシート 5-6
セカンドシート 5-9
サードシート 5-12
ヘッドレスト 5-13
荷室の作り方 5-14
フラットシートの作り方 5-19
シートベルト 5-22
プリテンショナー機構／
　フォースリミッター機構付シートベルト 5-28
チャイルドシート 5-29
SRS エアバッグ 5-38

シート

J00509902368



フロントシート

- 前後調整 P.5-6
- 背もたれの角度調整 P.5-7
- 上下調整（運転席）P.5-7
- アームレスト（ひじ掛け）P.5-8
- フロントシートヒーター タイプ別装備 P.5-8

セカンドシート

- 前後調整 P.5-9
- 背もたれの角度調整 P.5-9
- シートクッションの角度調整 P.5-10
- アームレスト（ひじ掛け）P.5-11
- サードシートへの乗り降り P.5-11

サードシート

- 前後調整 P.5-12
- 背もたれの角度調整 P.5-12

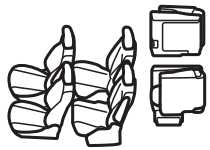
シートアレンジ

J00500100608

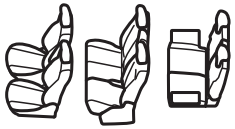
お好みに合わせて，つぎのようなシートアレンジをすることができます。

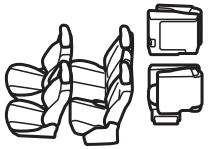
7 人乗り車

通常の使い方	AAM005644
フラットシート （フロント，セカンド） →P.5-19	AAM005657
フラットシート （セカンド，サード） →P.5-21	AAM005660

荷室の作り方	セカンドシートクッションのはね上げ →P.5-14	AAM005673
	サードシートのはね上げ →P.5-15	 AAM005686

8 人乗り車

通常の使い方	 AFM001667
フラットシート（フロント，セカンド）→P.5-19	AFM001670

フラットシート （セカンド，サード） →P.5-21		 AFM001683
荷室の作り方	セカンドシートクッションのはね上げ →P.5-14	 AFM001696
	サードシートのはね上げ →P.5-15	 AFM001700

シート調整

J00500201534

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠警告

- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- シートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，シートなどの故障の原因になります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。

⚠注意

- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。
- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。
- シートの下に落とした物を拾うときや車内を清掃するときなど，シートの下に手を入れるときは十分注意してください。シートレールやシートフレームなどでけがをするおそれがあります。

フロントシート

J00500300756

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠警告

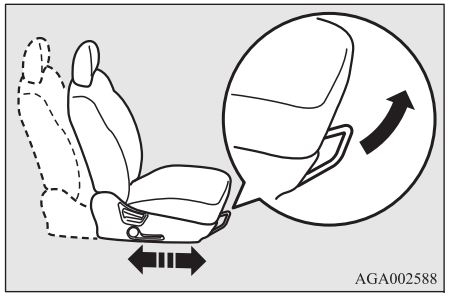
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

前後調整

J00500400467

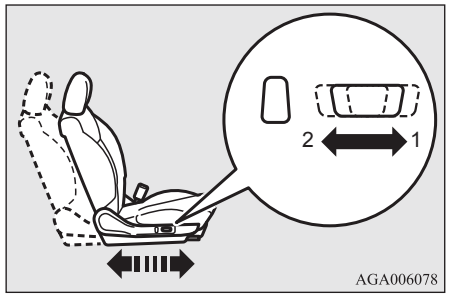
手動式

レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。



電動式

スイッチを前後に操作して調整します。



1- シートが前側へ動きます。
2- シートが後側へ動きます。

アドバイス

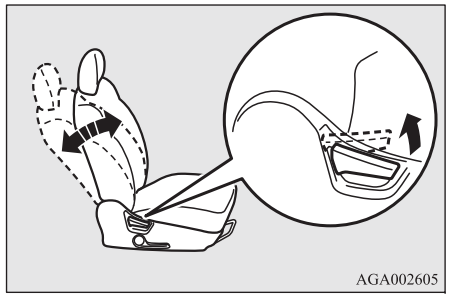
- バッテリ上がりを防止するため，パワーシートはエンジンをかけた状態で操作してください。

背もたれの角度調整

J00500500585

手動式

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

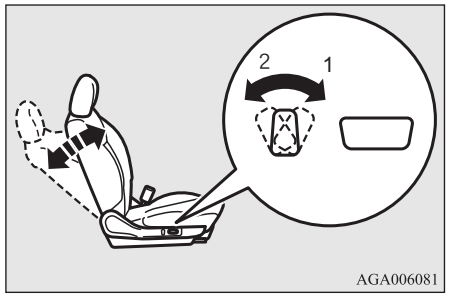


⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

電動式

スイッチの上部を前後に操作して調整します。



1- 背もたれが起きます。
2- 背もたれが倒れます。

アドバイス

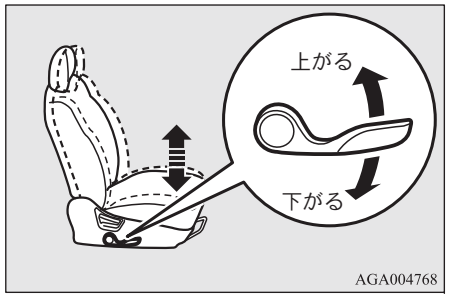
- バッテリ上がりを防止するため，パワーシートはエンジンをかけた状態で操作してください。

上下調整（運転席）

J00500600661

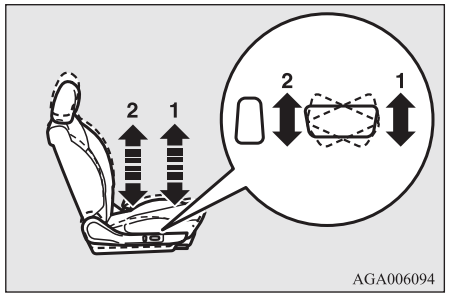
手動式

レバーを繰り返し操作して調整します。



電動式

スイッチを上下に操作して調整します。スイッチ全体を上下させるとシート全体が動きます。



1- 前側を操作するとシート前端が動きます。

2- 後側を操作するとシート後端が動きます。

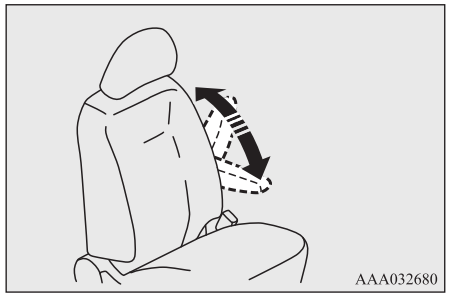
アドバイス

- バッテリ上がりを防止するため，パワーシートはエンジンをかけた状態で操作してください。

アームレスト（ひじ掛け）

J00501000314

手前に倒し，持ち上げて角度を調整します。
元に戻すときは，後ろに起こします。



アドバイス

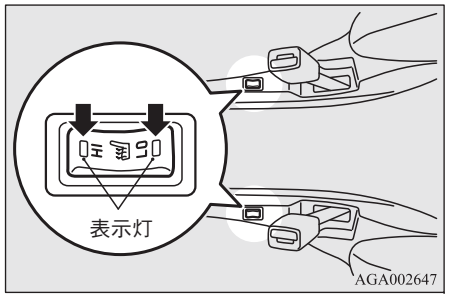
- アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

フロントシートヒーター

タイプ別装備

J00501300128

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを LO または HI にするとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。



HI	- 急速暖房
LO	- 通常暖房
OFF（中立）	- 暖房停止

⚠注意

- エンジン停止状態での連続使用はバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - 乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方

⚠注意

- 皮膚の弱い方
- 疲労の激しい方
- 飲酒した方およびねむけをさそう薬を飲んだ方（かぜ薬など）

- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- 水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

- ご使用にならないときはスイッチを OFF（中立）にしてください。
- スイッチのHI 側は消費電力が大きいのでシートが適温に暖められたら LO または OFF にしてください。

セカンドシート

J00502100149

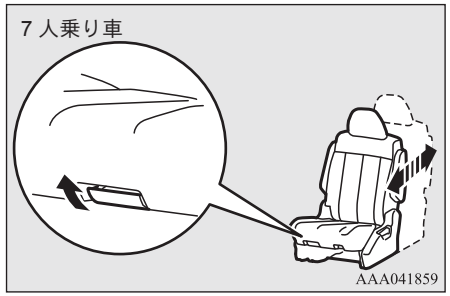
⚠警告

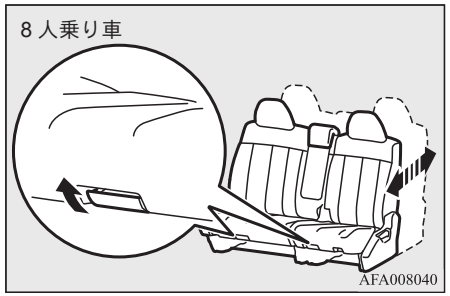
- セカンドシートの中央席に座る場合は，ヘッドレストを下げた状態で走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ずヘッドレストを上げてください。
→「ヘッドレスト：上下調整」P.5-13

前後調整

J00502200153

レバーを手前に引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。





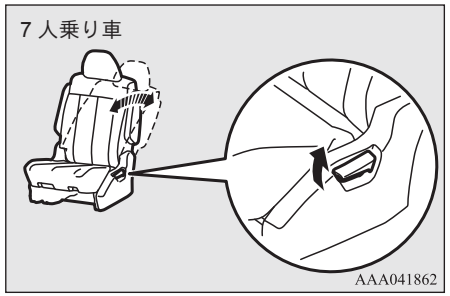
アドバイス

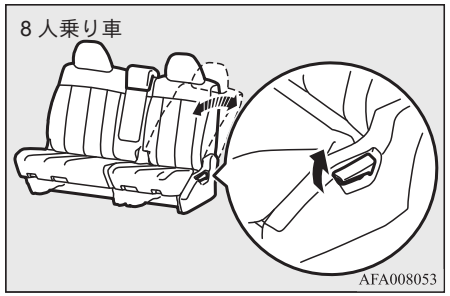
- 前後調整は片側ずつできます。

背もたれの角度調整

J00502300196

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。





アドバイス

- 背もたれ角度の調整は片側ずつできます。

⚠注意

- レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

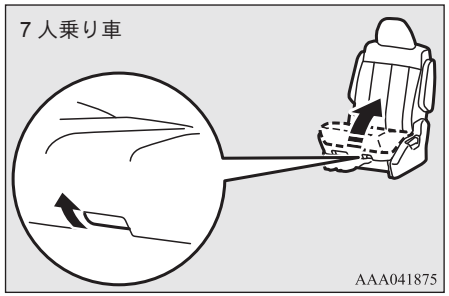
アドバイス

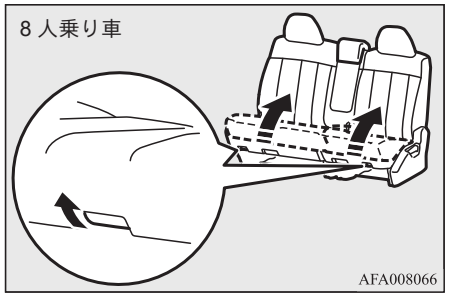
- 背もたれの角度を調整するときは，前に倒し過ぎないようにしてください。
  背もたれを一定角度以上前に倒すと，スライドのロックが解除されます。
  →「サードシートへの乗り降り」P.5-11

シートクッションの角度調整

J00508200113

レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートクッションを上下に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。





アドバイス

- シートクッションの角度調整は片側ずつできます。

アームレスト（ひじ掛け）

J00502500231

⚠警告

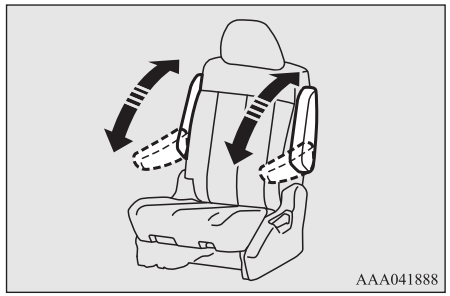
- シートベルトを着用するときは，シートベルトがアームレストにかからないように正しく着用してください。アームレストにかかった状態で着用すると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。

アドバイス

- アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

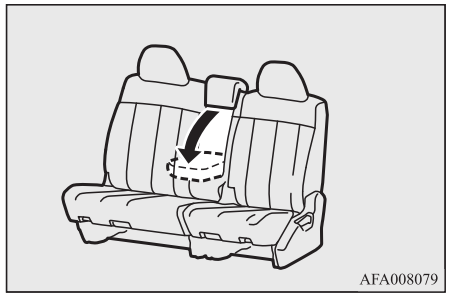
7 人乗り車

手前に倒し，持ち上げて角度を調整します。
元に戻すときは，後ろに起こします。



8 人乗り車

手前に倒して使用します。
元に戻すときは，確実に固定するまで後ろに押しつけます。



サードシートへの乗り降り

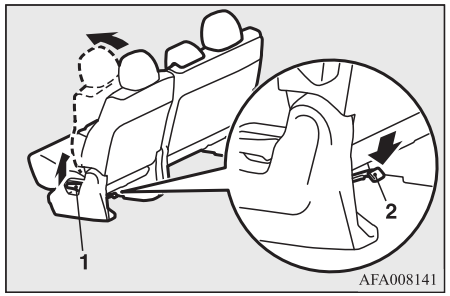
J00502600229

⚠警告

- 背もたれを前に倒した状態やシートクッションが固定していない状態で運転しないでください。シートが固定されていないため，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

乗り降りするときは

1. アームレストを元の位置に戻します。
   →「アームレスト」P.5-11
2. レバー (1) を引き上げるか，またはペダル(2)を踏むと背もたれが倒れます。



⚠注意

- レバー(1) またはペダル (2) を操作するときは，背もたれに手を添えて操作してください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。
- ペダル (2) の操作は足で行ってください。

3. シート全体を前方へ移動させます。

アドバイス

- フロントシートが後方にある場合は，セカンドシートのシートクッションをはね上げることで，広い乗降スペースを作ることができます。
  →「セカンドシートクッションのはね上げ」P.5-14

乗り降りした後は

シート全体を後方へ移動させて背もたれを起こし，確実に固定されていることを確認します。

サードシート

J00502800104

⚠警告

- サードシートの外側席に座る場合は，ヘッドレストを下げた状態で走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ずヘッドレストを上げてください。
  →「ヘッドレスト：上下調整」P.5-13
- サードシートの中央席に座る場合は，左右のシートの前後位置と背もたれの角度をそろえて使用してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。

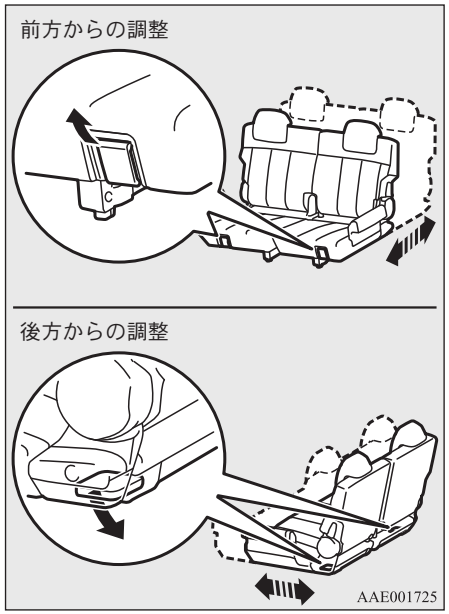
前後調整

J00512700018

前後どちらかのレバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

アドバイス

- シートの調整は片側ずつできます。



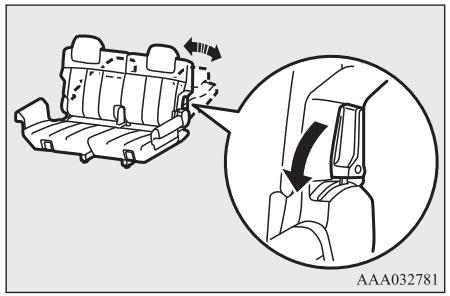
背もたれの角度調整

J00502900033

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

アドバイス

- 背もたれの角度は片側ずつ調整できます。



ヘッドレスト

J00503401827

警告

- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
  万一のとき安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

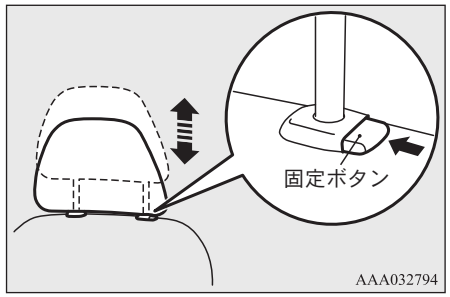
上下調整

J00532401249

フロントシートおよびセカンドシート左右席

ヘッドレストの中央部をできるだけ耳の高さになるように調整します。
耳の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

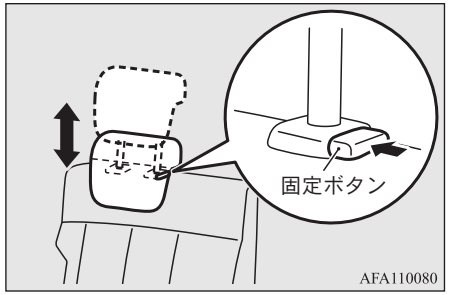
上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



セカンドシート中央席（8 人乗り車）およびサードシート

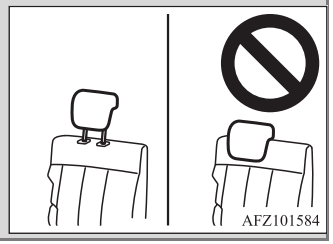
カチッと音がするまで引き上げます。

上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



警告

- セカンドシート中央席およびサードシートに座る場合は，ヘッドレストを下げた状態で走行しないでください。
  衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ずヘッドレストを固定できる高さまで引き上げてください。



取り外すときは

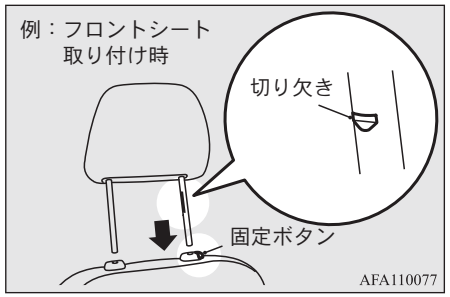
J00508900019

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509001593

切り欠きのあるヘッドレストステーが固定ボタン側になるように，固定ボタンを押しながら差し込みます。



⚠注意

- 前後の向きを間違えて取り付けると，ヘッドレストは固定できません。

⚠注意

- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

荷室の作り方

J00503500313

⚠警告

- 荷室を作るときは，走行中や傾斜地でのシート操作は絶対に行わないでください。シートが必要以上に動いたり，不意に動き重大な事故につながるおそれがあります。
- シートをはね上げたり，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- SRS カーテンエアバッグ付き車では，側面ガラス付近に荷物を積まないでください。SRS カーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また，荷物は確実に固定してください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは，必ず大人が行ってください。
  お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

セカンドシートクッションのはね上げ

J00509800116

シートクッションをはね上げ，シートを前方へ移動することで，荷室を作ることができます。

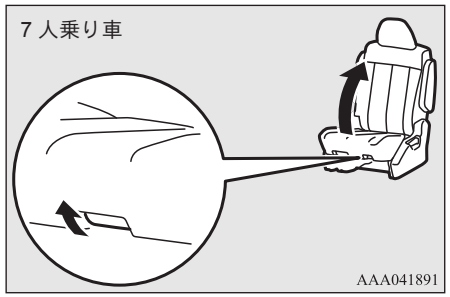
⚠警告

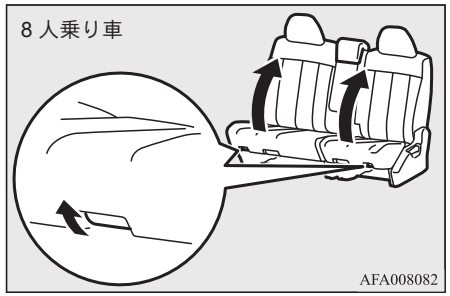
- シートクッションをはね上げた状態で人を乗せたり，お子さまを遊ばせないでください。
  急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. アームレストを元の位置に戻します。
   →「アームレスト」P.5-11
2. シートが固定されていることを確認してからレバーを引いたまま，シートクッションをはね上げます。

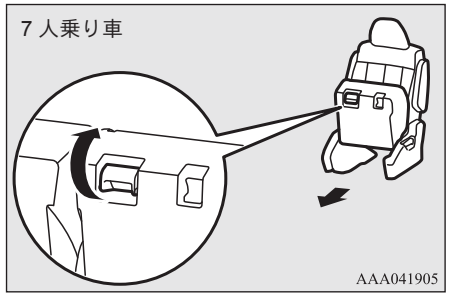
アドバイス

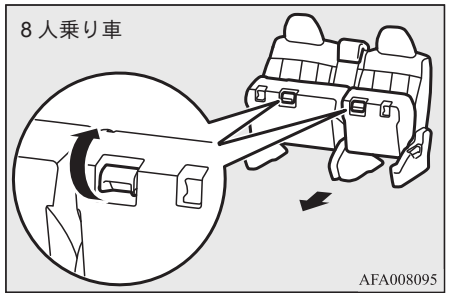
- シートクッションのはね上げは片側ずつできます。





3. 背もたれを倒しているときは初段ロック位置にします。
   →「背もたれの角度調整」P.5-9
4. レバーを引いたまま前方へ移動します。
   調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。





5. これでシートクッションのはね上げは完成です。
   戻すときは逆の手順で行います。
   元に戻した後は，シートが確実に固定されたことを確認します。

アドバイス

- シートが一番前の位置では，シートクッションは戻りません。
  クッションが戻らないときは無理に下ろさず，シートを後方に移動させてください。

サードシートのはね上げ

J00513100051

サードシートをはね上げて荷室を作ることができます。

⚠注意

- テールゲートを開けて車両後方から操作する場合は，排気管にさわらないように注意してください。排気管はエンジンを止めてもしばらくの間は高温になっています。

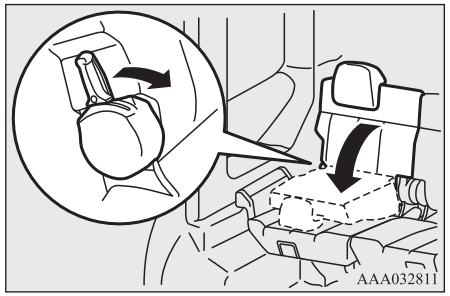
5

アドバイス

- シートは片側ずつはね上げできます。

はね上げるときは

1. サードシート中央席の分離格納式シートベルトを格納します。
   →「分離格納式シートベルト」P.5-25
2. ヘッドレストを一番下の位置まで下げます。
   →「ヘッドレスト：上下調整」P.5-13
3. レバーを引いたまま背もたれをロックするまで前に倒します。



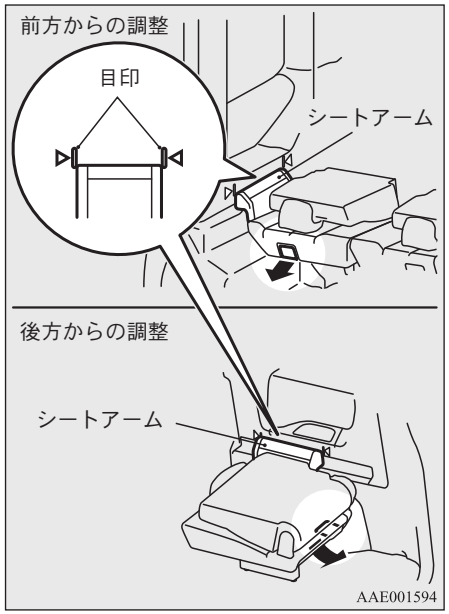
⚠警告

- 背もたれを前に倒した状態で，上に荷物や人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。背もたれが壊れたり，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- 背もたれとシートクッションの間に何かをはさんだ状態では固定できません。
- 背もたれを前倒しする時は，あらかじめシートベルトを収納してください。
  →「セカンドシートベルト，サードシートベルトの収納のしかた」P.5-27

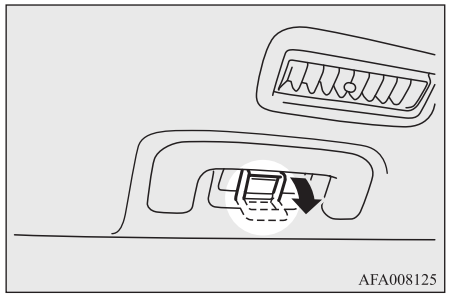
4. 前後どちらかのレバーを引きながらシートアームが目印（▷|, |◁）内にくるように調整します。



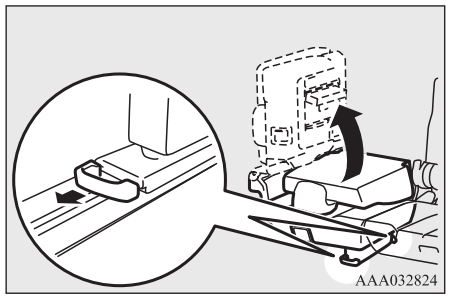
アドバイス

- シートをはね上げることのできる位置は目印内（最後方より 2 段前）のみです。

5. アシストグリップ下のシート固定フックを引き出します。



6. 前後どちらかのシート下にあるレバーを引いて固定を解除し，シートを窓側へ起こします。



⚠警告

- シートの背面に荷物を収納したままシートをはね上げたり，はね上げたシートとガラスの間に荷物をはさまないでください。SRS カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

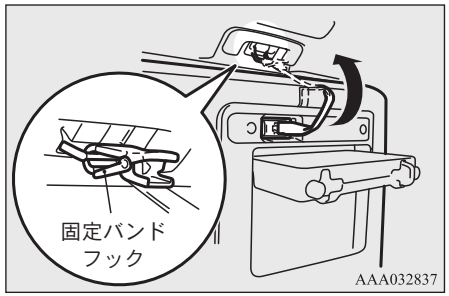
⚠注意

- フロアのシート固定穴にゴミや異物を入れないでください。シートが車両に固定できなくなるおそれがあります。

アドバイス

- シートをはね上げるときは，前後調整をしないでください。元に戻すときシートの脚が確実に固定されません。

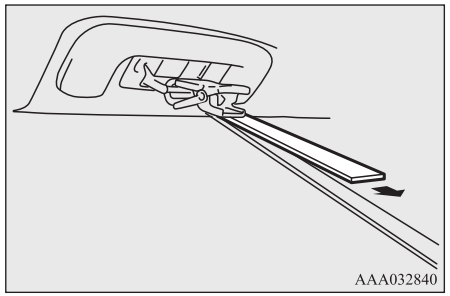
7. 固定バンドフックをシート下から外し，固定バンドにねじれがないことを確認して，アシストグリップ下のシート固定フックにかけて固定します。



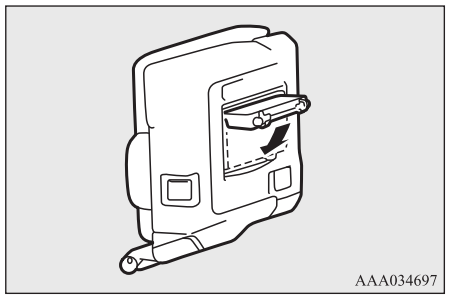
アドバイス

- シート固定フックはシートを固定する以外の目的で使用しないでください。また，はね上げた状態でシートや固定バンドに物をかけたり，ぶら下がったりしないでください。シート固定フックが破損し，シートをはね上げることができなくなるおそれがあります。

8. シートを手で押さえながら固定バンドをたるみがなくなるまで引っぱり，マジックテープを密着させてシートを確実に固定します。



9. シートの脚を折りたたみます。



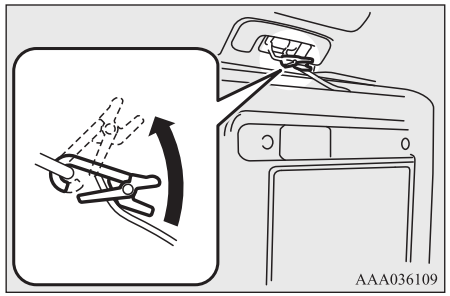
10. 固定後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されていることを確認します。

⚠警告

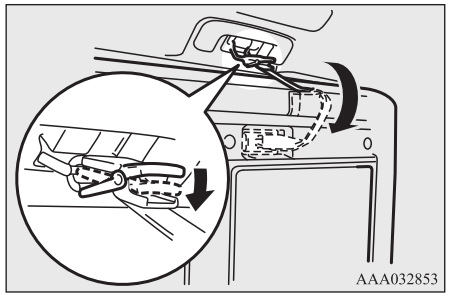
- 折りたたんだシートは必ず固定バンドで確実に固定してください。固定されていないとシートが倒れ，重大な事故につながるおそれがあります。

戻すときは

1. 固定バンドのマジックテープを外してから，固定バンドフックを引き上げて固定バンドをゆるめます。



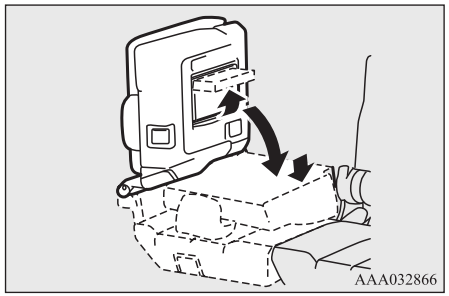
2. シートを手で支えながら固定バンドフックをシート固定フックから外し，シート下に収納します。



⚠警告

- 固定バンドフックをシート固定フックから外した後は，シートを手でしっかりと支えてください。しっかり支えていないとシートの重みでシートが急に倒れ，重大な傷害を受けるおそれがあります。

3. シートの脚を出してゆっくり元の位置に戻し，ロックするまで押し付けます。



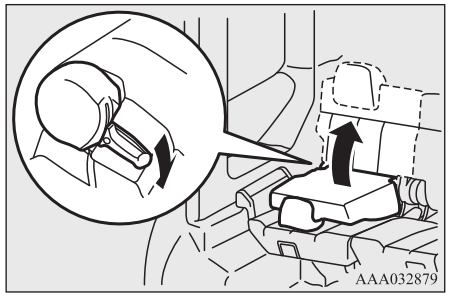
⚠注意

- シートを着座状態に戻すときは，シートの脚を出してから行ってください。シートが損傷することがあります。

アドバイス

- シートを着座状態に戻すときは，前後調整をしないでください。
  シートの脚が確実に固定されません。

4. シート後部を持ち上げ，シートが確実に固定されていることを確認します。
5. シートの前後位置を調整し，レバーを下に押しながら背もたれを確実にロックするまで起こします。
   操作後はシートを軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。



フラットシートの作り方

J00504500541

シートを倒して大きな空間を作ることができます。

⚠警告

- フラットにした状態で人や荷物を乗せて走行しないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，重大な傷害を受けたり，荷物が飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。
- フラットにしたとき，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが確実に固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- フラットにするときは，必ず車を安全な場所に止めてから行ってください。
- フラットにする操作は必ず大人が行ってください。
  お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを移動するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- 背もたれを元に戻すときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて操作してください。背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

⚠注意

- フラットにしたときは，シートの上を歩き回らないでください。セカンドシート中央席のシートベルトに足を引っかけたり，シートから足を踏み外すと危険です。必ずシートの中央を踏んで，ゆっくり移動してください。

アドバイス

- フラットにしたときは，背もたれ上部に飛び乗ったり，強い衝撃を与えないでください。シートが損傷することがあります。

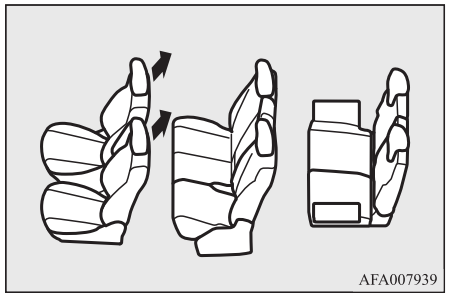
フロントシートとセカンドシートのフラットシート

J00508500161

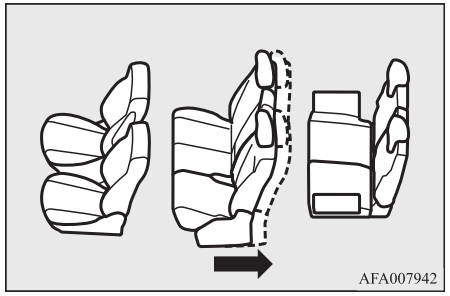
アドバイス

- アームレストは元の位置に戻してから操作します。
  →「アームレスト」P.5-8，5-11

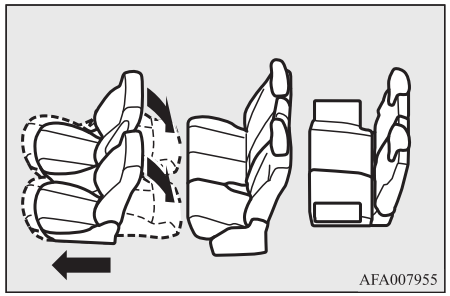
1. フロントシートのヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト：取り外すときは」P.5-14



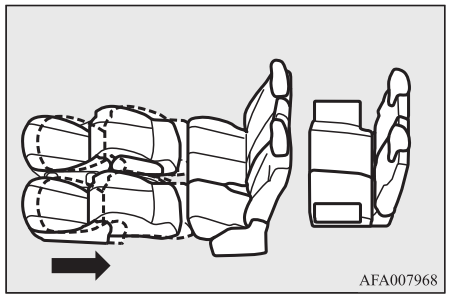
2. セカンドシートを後方へいっぱいまで移動させます。
→「前後調整」P.5-9



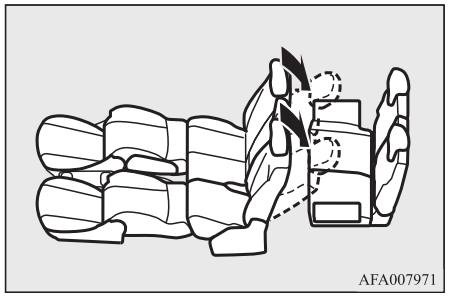
3. フロントシートを前方へいっぱいまで移動させ，背もたれを倒します。
→「前後調整」P.5-6
→「背もたれの角度調整」P.5-7



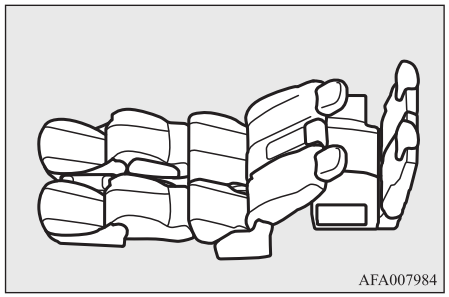
4. フロントシートとセカンドシートに隙間がなく，フロントシートが固定できる位置までフロントシートを後方へ移動させます。
→「前後調整」P.5-6



5. セカンドシートの背もたれを倒します。
→「背もたれの角度調整」P.5-9



6. 各シートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。
これでフラットシートの完成です。
戻すときは逆の手順で行います。



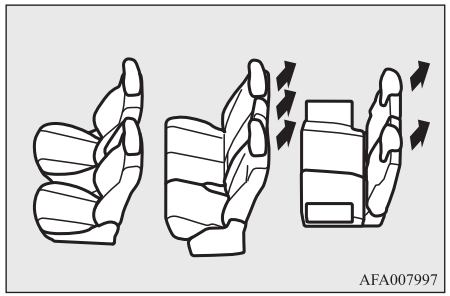
セカンドシートとサードシートのフラットシート

J00508601185

アドバイス

- アームレストは元の位置に戻してから操作します。
  →「アームレスト」P.5-11

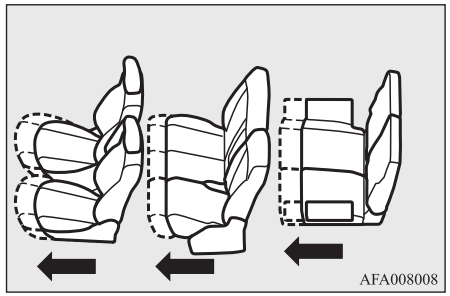
1. セカンドシートとサードシートのヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト：取り外すときは」P.5-14



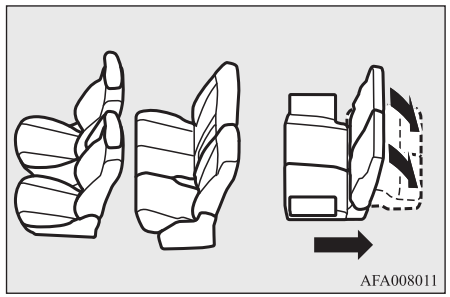
2. フロントシート，セカンドシート，サードシートを前方へいっぱいまで移動させます。
   →「フロントシート：前後調整」P.5-6
   →「セカンドシート：前後調整」P.5-9
   →「サードシート：前後調整」P.5-12

アドバイス

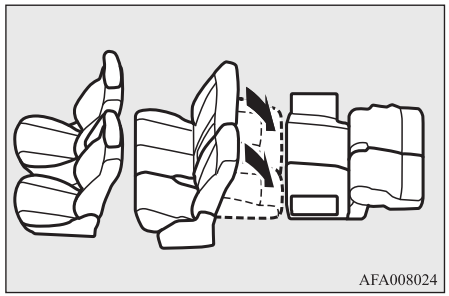
- セカンドシートは，前方へいっぱいまで移動させると，シート位置は固定されません。



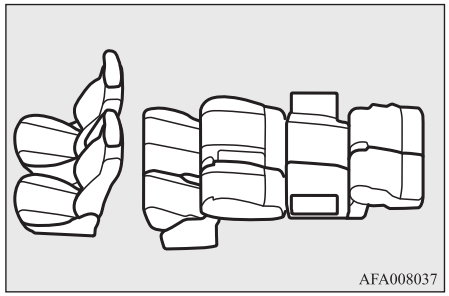
3. サードシートの背もたれを倒し，左側のシートを後方に 1 段移動させ，右側のシートを後方へ 2 段移動させます。
   →「背もたれの角度調整」P.5-12
   →「前後調整」P.5-12



4. セカンドシートの背もたれを倒します。
   →「背もたれの角度調整」P.5-9



5. セカンドシートの背もたれと，サードシートの座面に隙間がないことを確認します。
   これでフラットシートの完成です。
   戻すときは逆の手順で行います。



⚠注意

- サードシートが指定以外の位置にあると，セカンドシートとサードシートの間に隙間が生じます。

5

シートベルト

J00505101769

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- シートベルトを着用するときは，シートベルトがアームレストにかからないように正しく着用してください。アームレストにかかった状態で着用すると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ベルトは 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P.5-6

⚠警告

- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

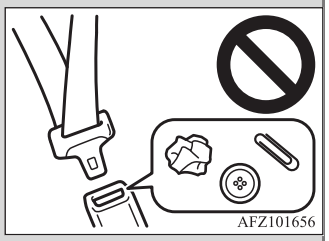
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。

⚠警告

- バックルや巻き取り装置の内部に異物（ビニール片，クリップ，ボタンなど）を入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り外し，取り付けをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。



- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3 点式シートベルト

J00505200301

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

- ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

着用するときは

J00507800138

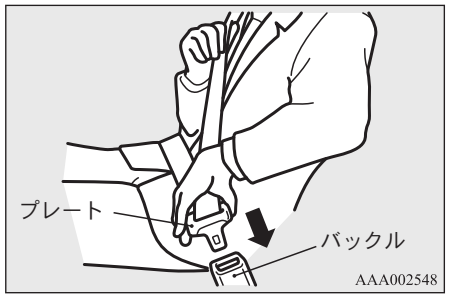
5

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

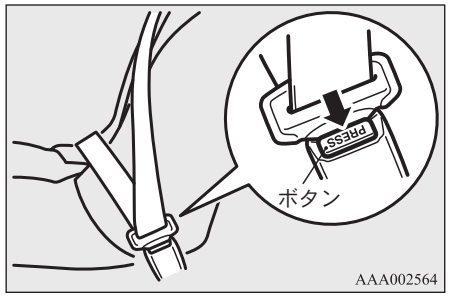


3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

外すときは

J00507901527

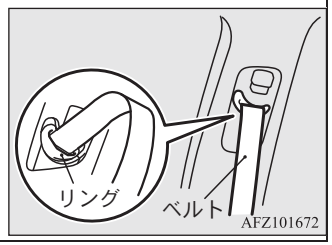
1. プレートを持ってバックルのボタンを押します。



2. ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えてゆっくり戻します。

アドバイス

- ベルトやリングが汚れていると，ベルトがスムーズに巻き取られないことがあります。ベルトやリングが汚れていれば，中性洗剤を使用して汚れをふき取ってください。



シートベルト警告

J00509700610

警告灯

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

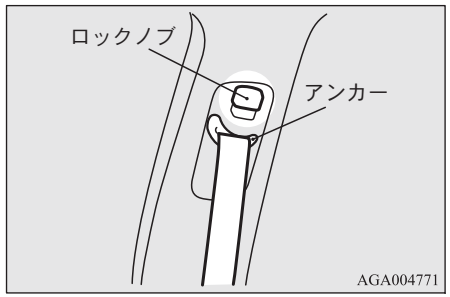
運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチを ON にすると，警告灯が点灯し，約6秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき，エンジンスイッチを ON にしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。また，同時にマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。
警告灯／警告表示とブザーの警告は約 90 秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯／警告表示とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。

ベルトが首，顔に当たるときは（アジャスタブルシートベルトアンカー）

J00508000283

フロントシート

肩部ベルトの高さを調整することができます。
ベルトが首，顔に当たったり，肩から外れて腕にかかってしまうときは，ロックノブを押したままアンカーを操作して調整してください。
調整後はアンカーが固定されていることを確認します。



⚠警告

- アンカーを調整するときは，肩部ベルトが首に当たらず，肩の中央に十分かかるように調整してください。また，調整後はアンカーが確実に固定されていることを確認してください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮できず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

分離格納式シートベルト

J00513400054

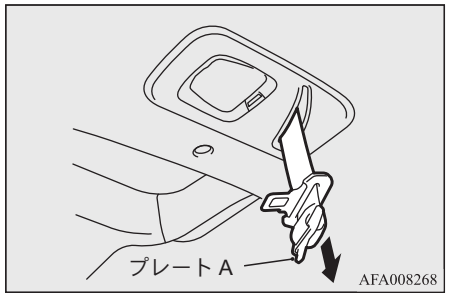
分離格納式シートベルトは，サードシート 中央席に装備されています。
ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

- ベルトをすばやく引き出すことにより，ベルトがロックするか確認できます。

着用するときは

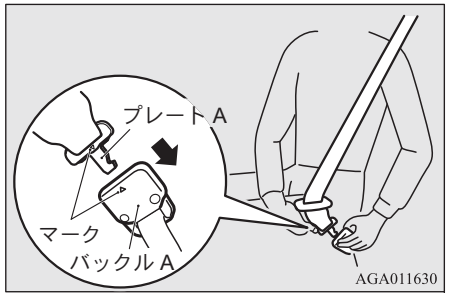
1. プレート A を持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。



アドバイス

- シートベルトがロックして引き出せないときは，ベルトを強く引いてから一度ベルトをゆるめて，再度ゆっくりと引き出してください。

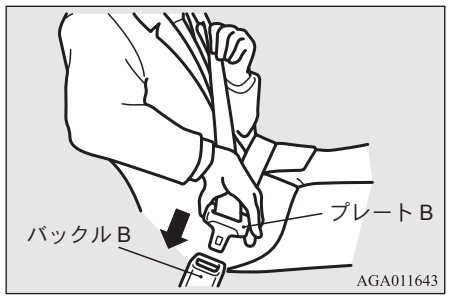
2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレート A とバックル A のマークを合わせてカチッと音がするまではめ込みます。



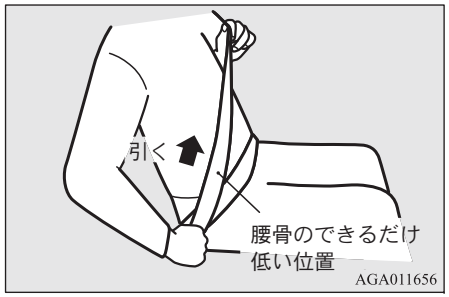
警告

- シートベルトを使用するときは，必ずプレート A がバックル A に差し込まれた状態にしてください。結合しない状態で使用すると，シートベルトが十分な効果を発揮できず，命にかかわる重大な障害を受けるおそれがあります。

3. プレート B をバックル B にカチッと音がするまではめ込みます。

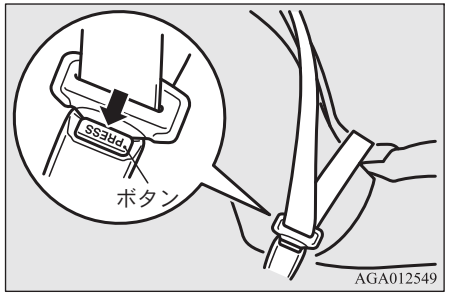


4. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

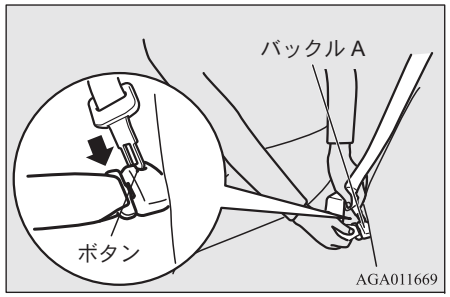


外すときは

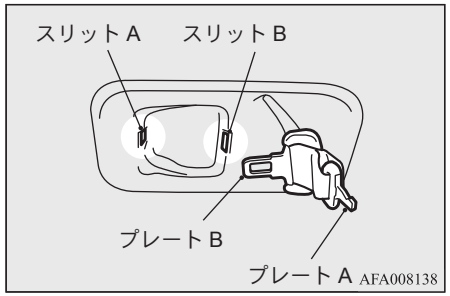
1. プレート B を持って，バックル B のボタンを押します。



2. プレート B を使ってバックル A のボタンを押し，シートベルトとバックルを分離します。



3. シートベルトを格納します。シートベルトがすべて巻き取られたら，プレート A をスリット A へ，プレート B をスリット B へ差し込みます。



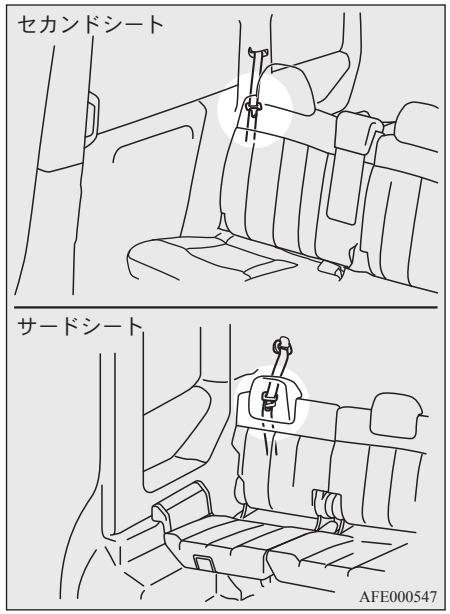
セカンドシートベルト，サードシートベルトの格納のしかた

J00508700206

シートベルトを使用しないときは，プレートとバックルを図のように格納してください。

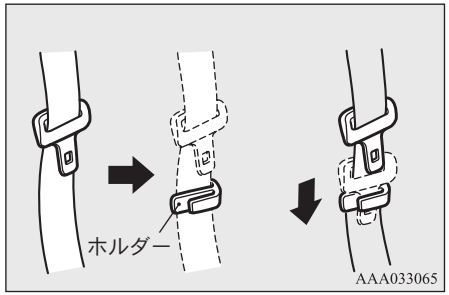
プレート

格納場所



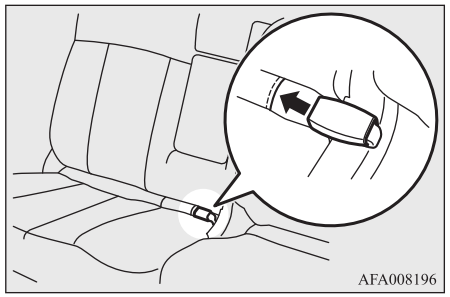
格納方法

セカンドシート，サードシートの中央を除く 3 点式シートベルトは，ホルダーの前側と後ろ側の切り込みに格納することができます。
後ろ側の切り込みにベルト部を通した後，前側の切り込みにプレートを差し込みます。



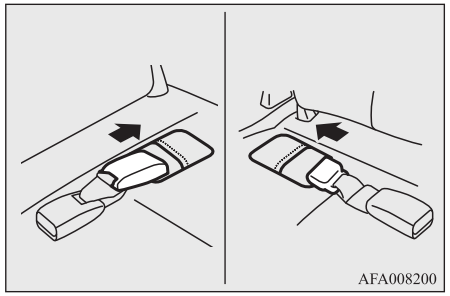
バックル

セカンドシート（8 人乗り車）



サードシート

中央席用シートベルトバックルのみ格納できます。



プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505700696

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

J00512800019

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P.5-6
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P.5-22

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

フォースリミッター機構

J00510100021

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告

J00510000280

警告灯

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

正常なとき警告灯は，エンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるとき，警告灯は点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。

⚠警告

- 警告灯がエンジンスイッチを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合，または走行中に警告表示される場合は，事故のときに SRS エアバッグやプリテンショナー付シートベルトが正しく作動せず，重大な傷害を受けたり，死亡したりするおそれがあります。
  ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

チャイルドシート

J00506001169

⚠警告

- シートベルトは，大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- チャイルドシートは後席に装着してご使用ください。

⚠注意

- 取り付けたチャイルドシートの前にあるシートを調整するときは，チャイルドシートと干渉しないように注意してください。
- 後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。
  お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

ISO FIX 対応 * チャイルドシート

J00506101900

チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシートです。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。
* この車は 2006 年 10 月 1 日施行の保安基準（国連の安全基準に準拠）に適合した ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。

選択の目安

下の表から，着席位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表
（ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよび テザーアンカーでの取り付け）

質量グループ（お子さまの体重）		サイズ等級	固定具	車両 ISO FIX 位置
				セカンドシート 左右席
キャリコット		F	ISO/L1	X
		G	ISO/L2	X
0	10 kgまで	E	ISO/R1	X
0+	13 kgまで	E	ISO/R1	IL*1
		D	ISO/R2	X
		C	ISO/R3	X

質量グループ（お子さまの体重）		サイズ等級	固定具	車両 ISO FIX 位置
				セカンドシート 左右席
I	9 ～ 18 kg	D	ISO/R2	X
		C	ISO/R3	X
		B	ISO/F2	IUF
		B1	ISO/F2X	IUF, IL*2
		A	ISO/F3	IUF
II	15 ～ 25 kg			X
III	22 ～ 36 kg			X

サイズ等級の説明

サイズ等級	固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状，大きさ
A	ISO/F3	幼児	前	全高
B	ISO/F2	幼児	前	低型
B1	ISO/F2X	幼児	前	低型
C	ISO/R3	幼児	後ろ	大型
D	ISO/R2	幼児	後ろ	小型
E	ISO/R1	乳児	後ろ	ー
F	ISO/L1	乳児	左	キャリコット
G	ISO/L2	乳児	右	キャリコット

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときは，ヘッドレストを取り外してください。

⚠注意

- 8 人乗り車のセカンドシート右側にチャイルドシートを取り付けたときは，セカンドシート中央席に座らないでください。
  チャイルドシートがシートベルトに干渉するため，シートベルトが正しく着用できません。

記号の説明

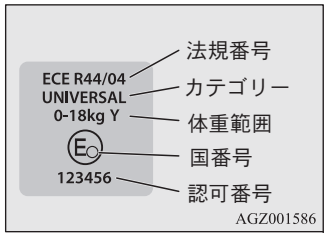
- IUF: 国連の安全基準 UN-R44 に適合している汎用型（ユニバーサル）ISO FIX 対応の前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- IL: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

三菱自動車純正チャイルドシート
ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	UN-R44 認可番号
IL*1	MZ525277 (チャイルドシート本体) MZ525276 (ベースシート)	E1-04301146
IL*2	MZ525280	E1-04301133

アドバイス

- UN-R44 に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。



除く，ISO FIX 対応チャイルドシート

J00506202243

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。

選択の目安

下の表から，着席位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表
（シートベルト使用による取り付け）

質量グループ（お子さまの体重）		助手席	セカンドシート			サードシート	
			7 人乗り車	8 人乗り車			
			左右席	左右席	中央席	左右席	中央席
0	10 kgまで	X	U	U	X	X	X
0+	13 kgまで	X	U, L*1	U, L*1	L*1	L*1	L*1
I	9 ～ 18 kg	L*2	U, L*2	U, L*2	L*2	L*2	L*2
II & III	15 ～ 36 kg	L*3	U, L*3	U, L*3	L*3	L*3	L*3, #1

#1：チャイルドシートを取り付けるときは，サードシートの前後位置を最後方から 1 段以上前方に調整してください。

前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける場合は可能な限り助手席を後方へ移動してください。

⚠注意

- チャイルドシートを取り付けるときは，ヘッドレストを取り外してください。
- 8 人乗り車のセカンドシート右側にチャイルドシートを取り付けたときは，セカンドシート中央席に座らないでください。
  チャイルドシートがシートベルトに干渉するため，シートベルトが正しく着用できません。

記号の説明

- U: 国連の安全基準 UN-R44 に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- L: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

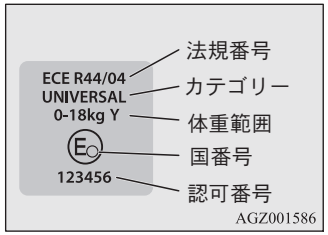
三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入，ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

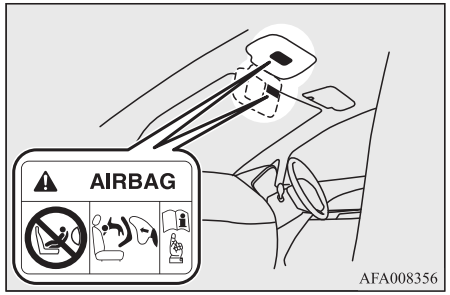
記号	純正部品番号	UN-R44 認可番号
L*1	MZ525277	E1-04301146
L*2	MZ525280	E1-04301133
L*3	MZ525298	E1-04301312

アドバイス

- UN-R44 に適合したチャイルドシートには，つぎの認可マークが表示されています。



助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意



⚠警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，お子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

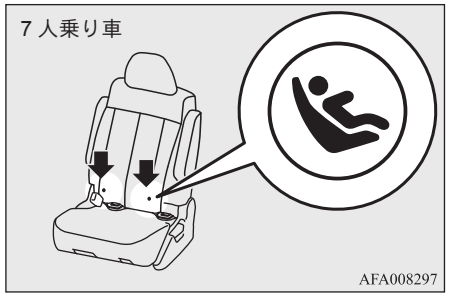
- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にし，前向き装着のチャイルドシートを取り付けてください。

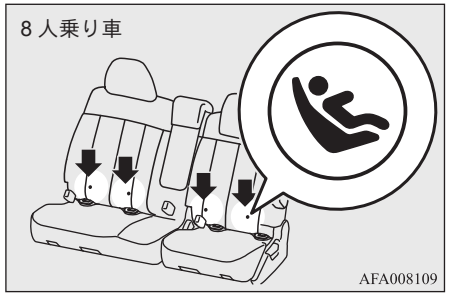
ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

J00506300921

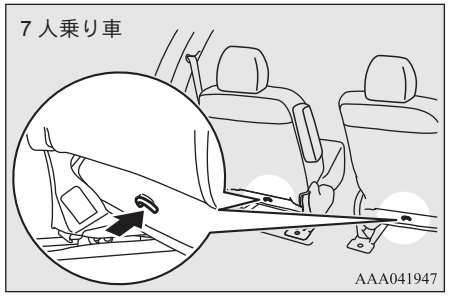
固定専用バーはセカンドシートクッションと背もたれの間に，テザーアンカーはセカンドシートのシートクッション後方に，それぞれ装備されています。

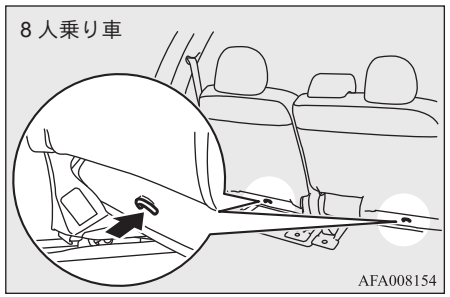
固定専用バー





テザーアンカー





⚠警告

- 固定専用バーおよびテザーアンカーはチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には使用しないでください。

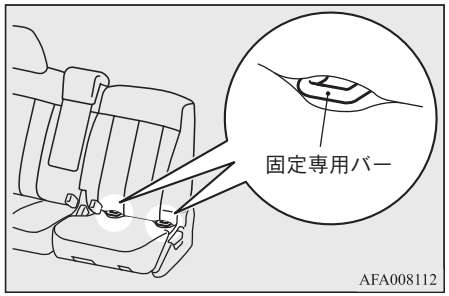
取り付けるときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。

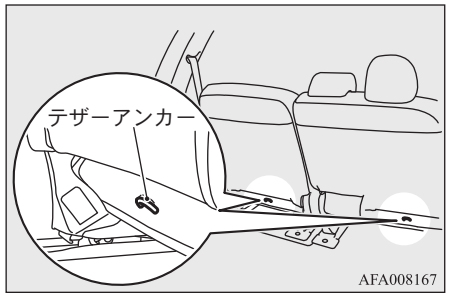
⚠警告

- チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バーおよびテザーアンカー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セカンドシートの背もたれを倒した状態でチャイルドシートを取り付けないでください。
  また，チャイルドシートが取り付けられているときは，シートの調整はしないでください。

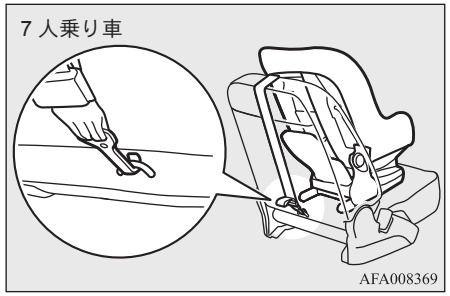
1. チャイルドシートを取り付けたい側のヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト」P.5-13
2. セカンドシートクッションと背もたれのすき間を手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。

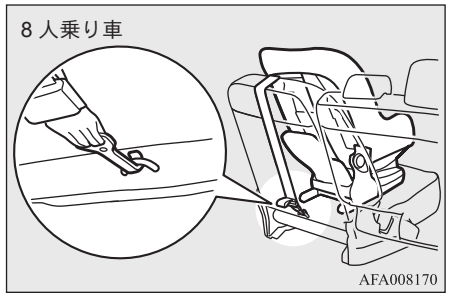


3. チャイルドシートを固定専用バーに取り付けます。
4. シートの背もたれおよびシートクッションと，チャイルドシートとの間にすき間ができないように，シートの背もたれおよびシートクッションの角度を調整します。
   →「背もたれの角度調整」P.5-9
   →「シートクッションの角度調整」P.5-10
   トップテザー付きチャイルドシートの場合は，手順 5. から 7. を行ってください。
   トップテザーが無いチャイルドシートの場合は, 手順7.を行ってください。
5. セカンドシートクッション後方のテザーアンカーの位置を確認します。



6. テザーベルトのフックをテザーアンカーに掛け，テザーベルトを締めて確実に固定します。
   テザーアンカーへの取り付けは，図の要領で行います。





7. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

取り外すときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り外します。

シートベルトでの取り付け方

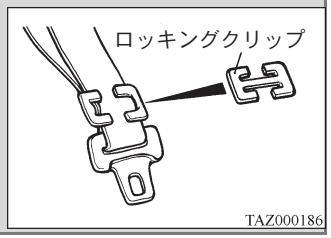
J00506501106

チャイルドシートを取り付けるときは，つぎの手順で確実に取り付けてください。

取り付けるときは

⚠警告

- チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって，正しく取り付けてください。
  チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。



1. チャイルドシートを取り付けたい席に置き，ヘッドレストを取り外します。
   →「ヘッドレスト」P.5-13
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

SRS エアバッグ

J00506602393

SRS とは Supplemental Restraint System の略語で補助拘束装置の意味です。

運転席, 助手席SRSエアバッグ

エンジンスイッチが ON のとき，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

運転席 SRS ニーエアバッグ

エンジンスイッチが ON のとき，運転者に重大な危害が及ぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，シートベルトの働きを補って，運転者の脚部を受け止めることで姿勢を制御し，身体全体の保護効果を高めるための装置です。

SRS カーテンエアバッグ

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のとき，運転者および同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

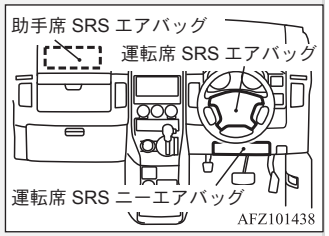
- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際に SRS エアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRS エアバッグが膨らんだとき, シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。

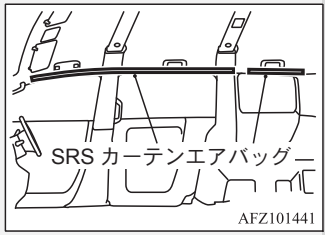
⚠警告

- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車しているとSRSエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠注意

- SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。





アドバイス

- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。

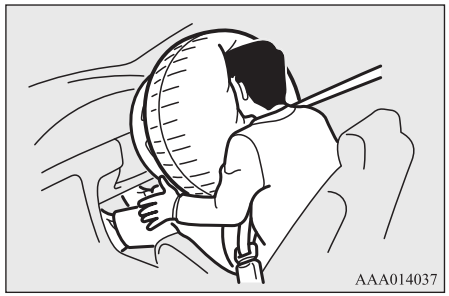
アドバイス

- SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので運転席および助手席SRSエアバッグは視界を妨げません。
- SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社で SRS エアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席 SRS エアバッグ

J00506700651

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。



⚠警告

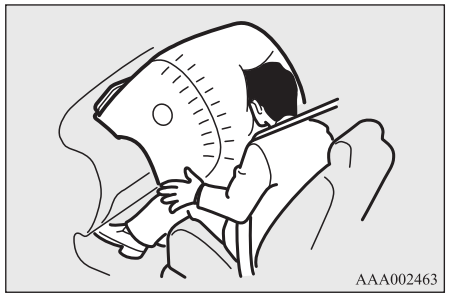
- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席 SRS エアバッグ

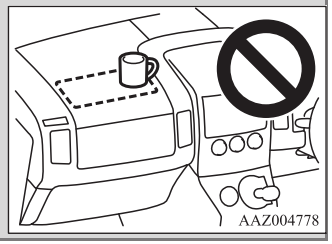
J00506802382

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。



⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
  また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったり，アッパーグローブボックスを開けたまま走行しないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。



⚠警告

- お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
  - シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
  - 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

⚠警告

- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，お子さまが死亡，または重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

⚠警告

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にし，前向き装着のチャイルドシートを取り付けてください。

⚠警告

- 助手席同乗者はシートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

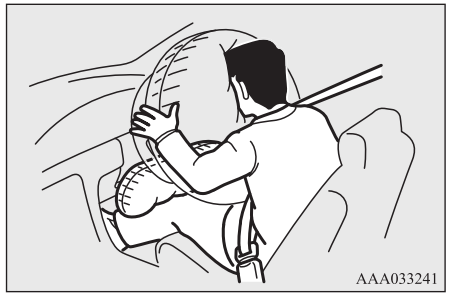
⚠警告

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

運転席 SRS ニーエアバッグ

J00512900108

運転席SRSニーエアバッグはハンドル下のインストルメントパネルの中に装備されています。



⚠警告

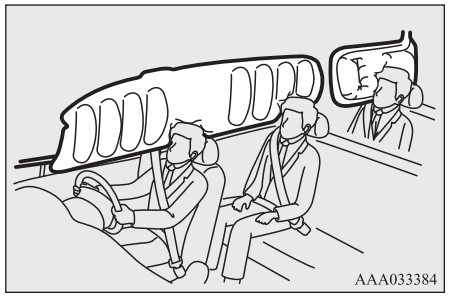
- ハンドル下のインストルメントパネルにステッカーなどを貼ったり，アクセサリーを取り付けたりしないでください。また，キーに重い物やとがった物，かたい物を取り付けないでください。
  SRS ニーエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらのものが飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS カーテンエアバッグ

タイプ別装備

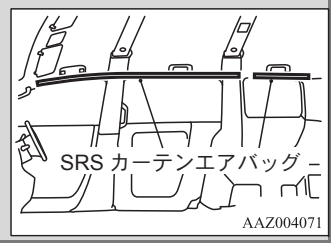
J00507500340

SRS カーテンエアバッグはフロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。



⚠警告

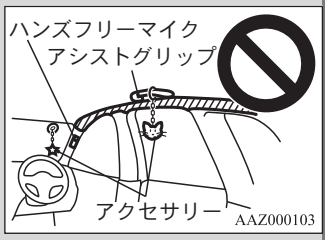
- フロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の SRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
  SRS カーテンエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
  特にお子さまには注意してください。



⚠警告

⚠警告

- 前面ガラス，側面ガラス，フロントピラー，センターピラー，リヤピラー，ルーフサイド部およびアシストグリップなどのSRSカーテンエアバッグ展開部周辺にステッカー等を貼りつけたり，アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。
  SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。



- 荷物を積むときは，側面ガラス付近に積まないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告

J00507300872

警告灯

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

正常なとき警告灯は，エンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるとき，警告灯は点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。

⚠警告

- 警告灯がエンジンスイッチを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合，または走行中に警告表示される場合は，事故のときに SRS エアバッグやプリテンショナー付シートベルトが正しく作動せず，重大な傷害を受けたり，死亡したりするおそれがあります。
  ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

5

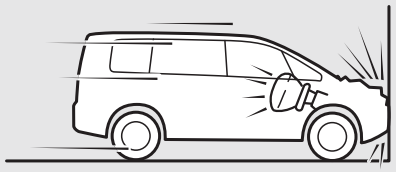
運転席，助手席 SRS エアバッグおよび運転席 SRS ニーエアバッグの作動条件

J00506900419

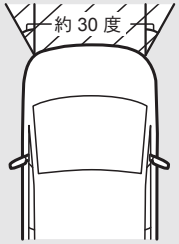
作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

約 25km/h 以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき



車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃（左記と同等）を受けたとき



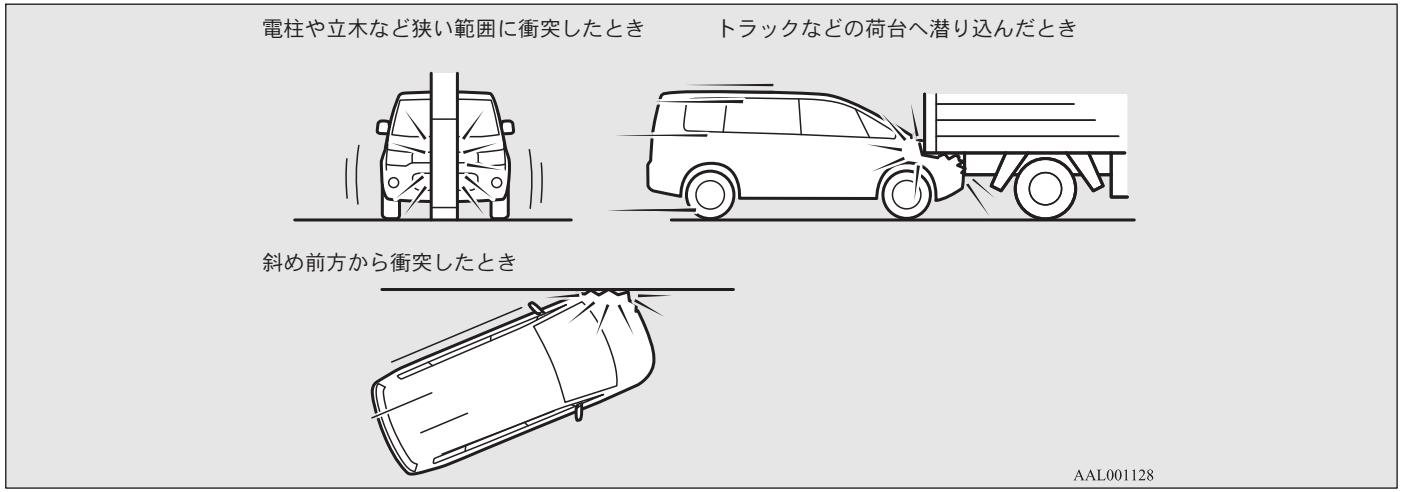
AAJ003610

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

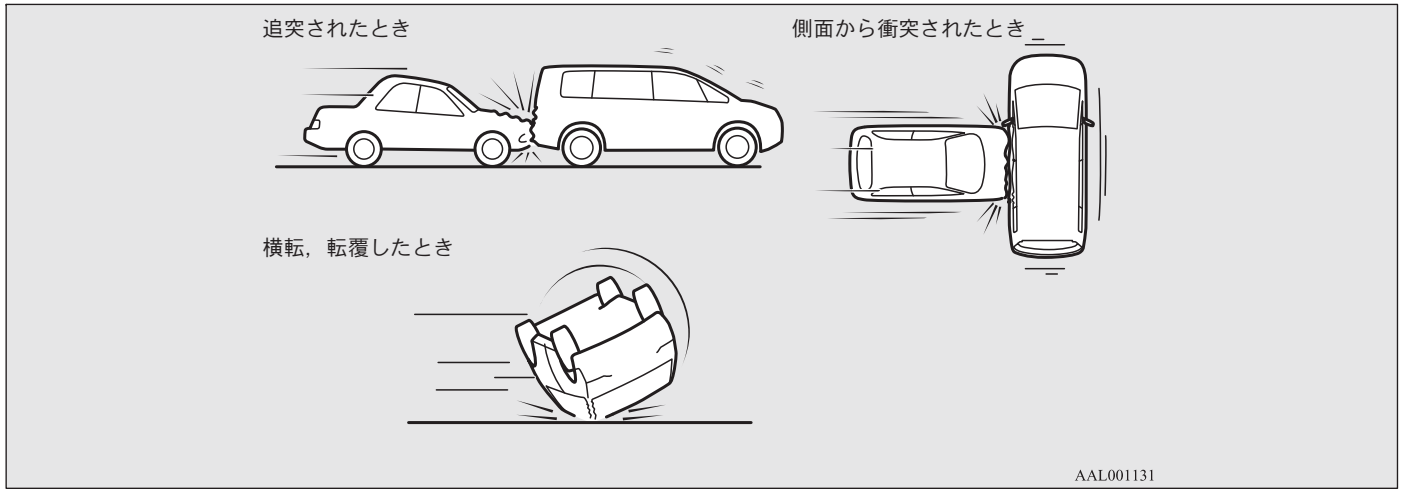
作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによって SRS エアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。



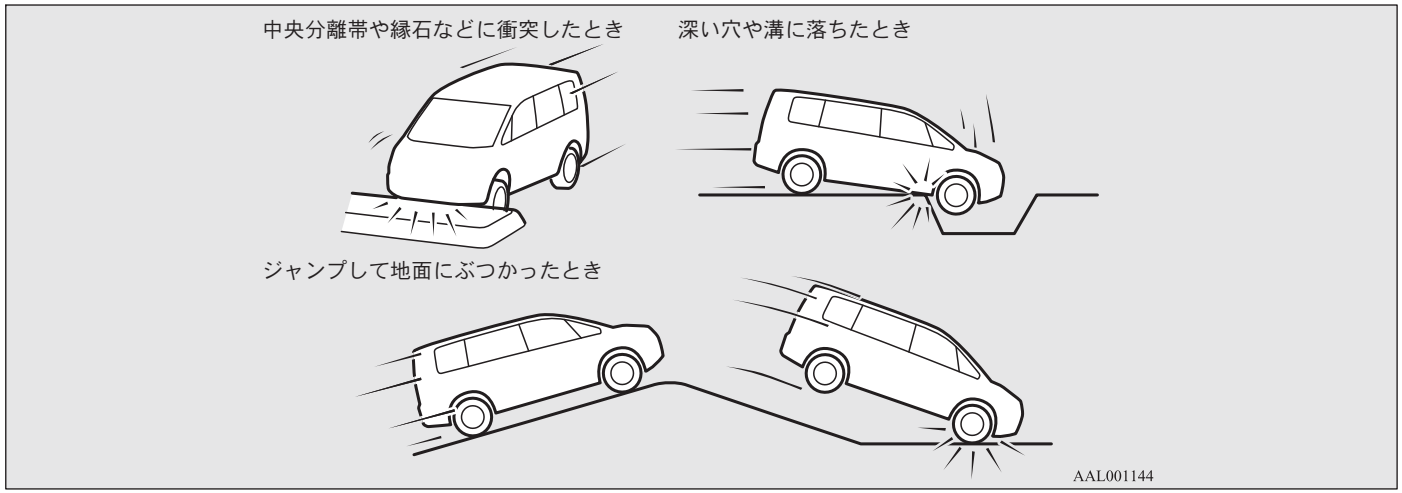
作動しないとき

SRS エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動した SRS エアバッグは，2 回目以降の衝突では再作動しません。



作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。



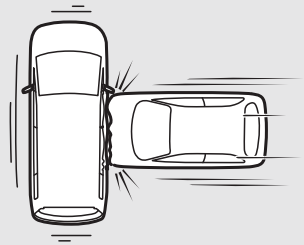
SRS カーテンエアバッグの作動条件

J00513000018

作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

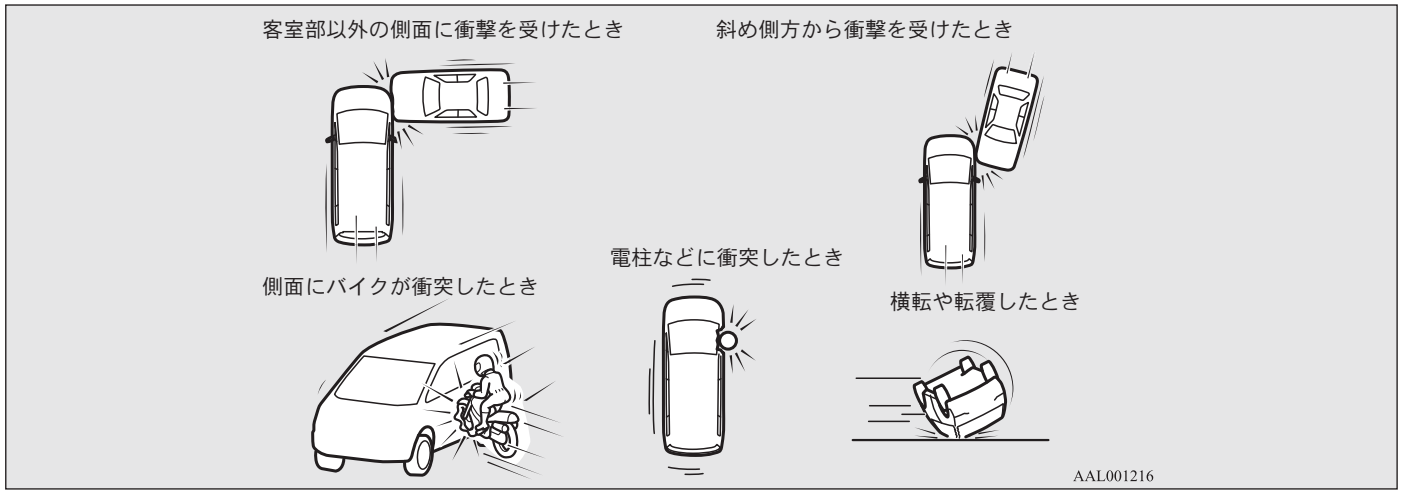
横方向から車体中央に強い衝撃を受けたとき



AAJ003711

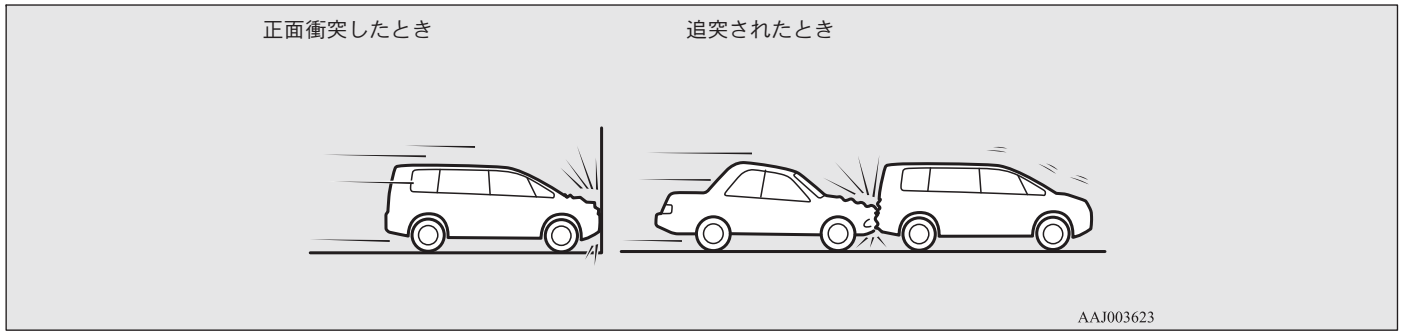
作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによって SRS カーテンエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS カーテンエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



作動しないとき

SRS カーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動した SRS カーテンエアバッグは，2 回目以降の衝突では再作動しません。



取り扱い上の注意

J00507400642

⚠警告

- つぎの修理または部品の取り付けをするときは，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
  - 運転席，助手席 SRS エアバッグ：
    ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付け，および車両前部の修理
  - 運転席 SRS ニーエアバッグ：
    ハンドル下インストルメントパネル，およびその付近の修理
  - SRS カーテンエアバッグ（タイプ別装備）：
    フロントピラー，センターピラー，リヤピラー，ルーフサイド部，およびその付近の修理
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わると SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- つぎの SRS エアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。
  SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ステアリングパッド
  - インストルメントパネル上部

⚠警告

- ハンドル下インストルメントパネル
- フロントピラー
- センターピラー
- リヤピラー
- ルーフサイド部

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

イベントデータレコーダー (EDR) について

J00512600062

本車両は，SRS エアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。
当該コンピューターは，当システムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに，強い衝撃を車両前方から受けてエアバッグが展開したときにおいて車両の速度やブレーキペダルの状態などのデータを記録・蓄積する EDR を備えています。

EDR は，一般的なデータレコーダーとは異なり，会話などの音声や映像は記録しません。
三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，EDR に記録されたデータを，車両衝突安全性能の向上などを目的として取得・利用することがあります。

なお，三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，取得したデータをつぎの場合を除き，第三者へ提示することはありません。

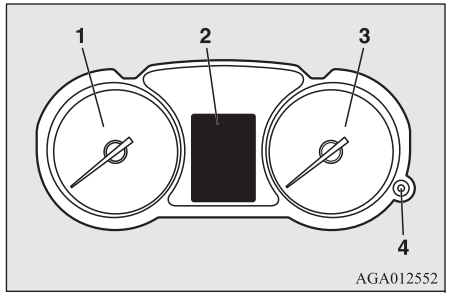
- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など，法的強制力のある要請に基づく場合
- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

計器盤・スイッチ

メーター 6-2
マルチインフォメーションディスプレイ 6-3
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧 6-47
表示灯 6-55
警告灯 6-56
インフォメーション画面表示 6-57
ライトスイッチ 6-59
方向指示レバー 6-63
ACL（アクティブコーナリングライト）..... 6-64
非常点滅灯スイッチ 6-65
フロントフォグランプスイッチ 6-65
ワイパー／ウォッシャースイッチ 6-66
リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ 6-69
ホーンスイッチ 6-69

メーター

J00600100915



1- タコメーター →P.6-2
2- マルチインフォメーションディスプレイ → P.6-3
インフォメーション画面表示一覧 → P.6-47
3- スピードメーター →P.6-2
4- メーター照度調整ボタン →P.6-2

スピードメーター

J00600200189

走行速度を示します。

タコメーター

J00600300148

毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）にはいらないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

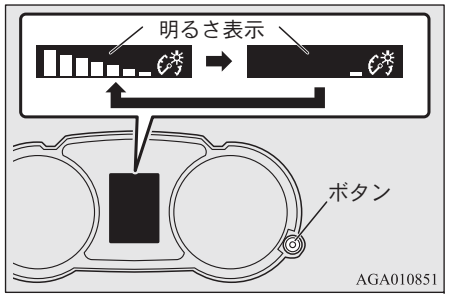
メーター照度調整ボタン

J00606601586

ボタンを押すたびに音が鳴り，メーターの明るさを変えることができます。

アドバイス

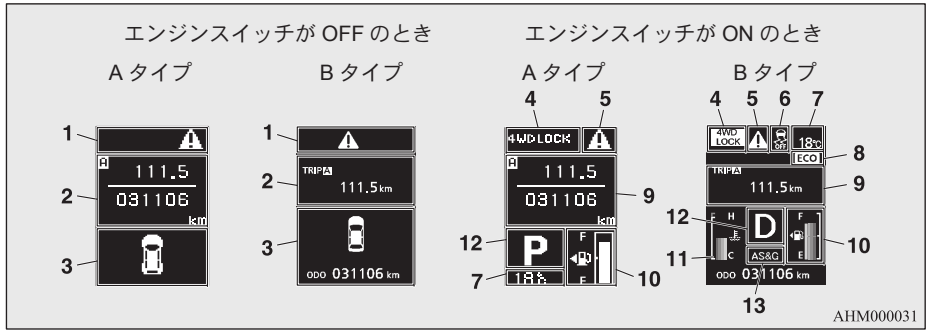
- 尾灯の点灯･消灯に応じてそれぞれ8段階ずつ調整することができます。
- ライトスイッチがOFF以外の位置にあるときは，車外の明るさに応じてメーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。
- エンジンスイッチを切っても，メーターの明るさの状態を記憶しています。
- 車幅灯点灯時にボタンを約 2 秒以上押すと，照明の明るさが一番明るい状態に変わります。
  もう一度ボタンを約 2 秒以上押すと，元の明るさに戻ります。
  三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，照明の明るさが一番明るい状態では，MMCS の地図画面が夜画面（暗い色）に切り換わらない場合があります。



マルチインフォメーションディスプレイ

J00607101663

マルチインフォメーションディスプレイは各種警告，オドメーター／トリップメーター，サービスリマインダー，エンジン冷却水温，燃料残量，外気温，セレクターレバー位置，4WD 作動状態，平均・瞬間燃費，航続可能距離，平均車速，メーター照度などを表示します。
また，マルチインフォメーションディスプレイに表示される言語，単位などを変更することができます。



1- ⚠マーク表示画面
(エンジンスイッチ OFF のとき）
→ P.6-5

2- インフォメーション画面
（エンジンスイッチ OFF のとき）
→ P.6-6
割り込み表示画面
（エンジンスイッチ OFF のとき）
→ P.6-9

3- 半ドア警告表示画面
（エンジンスイッチ OFF のとき）
→ P.6-11

4- ドライブモードインジケーター表示画面 タイプ別装備
→ P.6-15

5- ⚠マーク表示画面
（エンジンスイッチ ON のとき）
→ P.6-15

6- ASC OFF 表示画面 タイプ別装備
→ P.6-16

7- 外気温表示画面
→ P.6-28

8- ECO（エコ）ランプ タイプ別装備
→ P.6-26

9- インフォメーション画面
（エンジンスイッチ ON のとき）
→ P.6-16
割り込み表示画面
（エンジンスイッチ ON のとき）
→ P.6-26

10- 燃料残量表示画面
→ P.6-29
11- エンジン冷却水温表示
→ P.6-19
12- セレクターレバー位置表示画面
→ P.6-28
13- オートストップ＆ゴー(AS&G) 表示画面 タイプ別装備
→P.7-16
オートストップ＆ゴー (AS&G)OFF 表示画面 タイプ別装備
→P.7-19

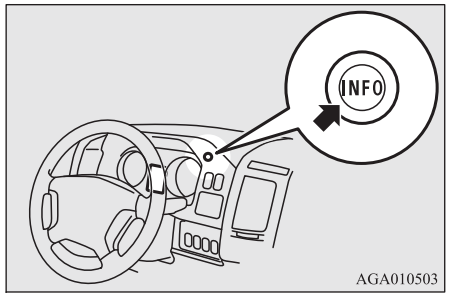
アドバイス

- 燃料単位，温度単位や表示言語などの設定を変更することができます。
「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」→ P.6-34
- エンジンスイッチが OFF のときと ON のときで表示画面が異なります。
「インフォメーション画面（エンジンスイッチ OFF のとき）」
→ P.6-6
「警告表示一覧（エンジンスイッチ OFF のとき）」
→ P.6-49
「インフォメーション画面（エンジンスイッチ OFF から ON にしたとき）」
→ P.6-12
「インフォメーション画面（エンジンスイッチ ON のとき）」
→ P.6-16
「警告表示一覧（エンジンスイッチ ON のとき）」
→ P.6-50

マルチインフォメーション メータースイッチ

J00607200263

マルチインフォメーションメータースイッチを操作するたびに音が鳴り，マルチインフォメーションディスプレイの各種警告，サービスリマインダー，平均・瞬間燃費，平均車速などの表示を切り換えることができます。
また，マルチインフォメーションディスプレイに表示される言語，および単位をマルチインフォメーションメータースイッチで操作することにより変更することができます。



⚠マーク表示画面（エンジンスイッチ OFF のとき）

J00609501195

マルチインフォメーション メータースイッチを押して，警告表示画面を警告表示する前の画面に戻したときに⚠マークを表示します。
→「警告表示する前の画面表示に戻すときは」P.6-10
もしくは，表示されている以外に警告がある場合にも表示します。警告表示の要因が解消されると，⚠マークは自動的に消えます。

アドバイス

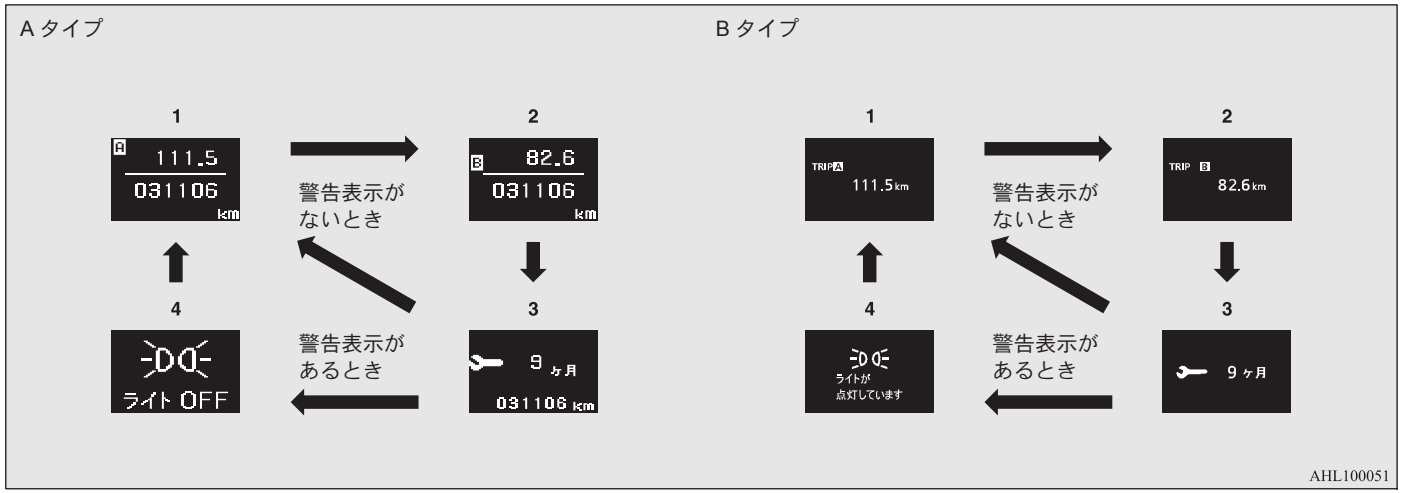
- ⚠マークが表示されているときにインフォメーション画面に警告表示画面を再表示することができます。
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチ OFF のとき）」P.6-6
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-16

インフォメーション画面（エンジンスイッチ OFF のとき）

J00607401363

6

マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。



1- オドメーター（A タイプ）／トリップメーター A

2- オドメーター（A タイプ）／トリップメーターB
3- サービスリマインダー
4- 警告表示画面の再表示

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

J00609600199

マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すたびに表示画面が切り換わります。

オドメーター／トリップメーターA → オドメーター／トリップメーターB → サービスリマインダー → 警告表示画面の再表示 → オドメーター／トリップメーターA

オドメーター

走行した総距離を表示します。

トリップメーター

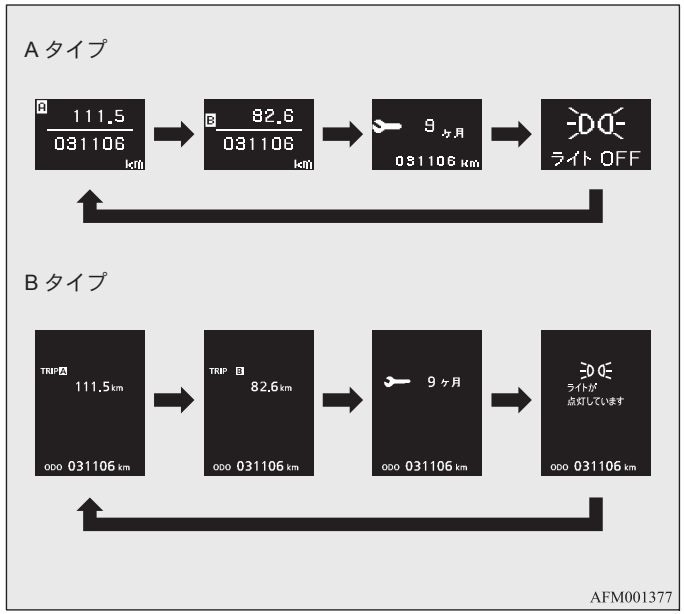
2 地点間の走行距離を表示します。

＜トリップメーターA，トリップメーターBの使用例＞
トリップメーターAで自宅を出発してからの距離を測りながら，トリップメーターBで途中の経由地からの距離を測ることができます。

● リセットするときは

表示を 0 に戻すときはマルチインフォメーション メータースイッチを約 2 秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

＜例＞
トリップメーターAが表示されていれば，トリップメーターAだけリセットされます。



アドバイス

- 警告表示がない場合はオドメーター／トリップメーター A → オドメーター／トリップメーター B → サービスリマインダー → オドメーター／トリップメーター A と切り換わります。
- トリップメーター A, B 共に 9999.9km まで計測する事ができます。
  9999.9km をこえると 0.0km に戻ります。
- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示, B 表示とも記憶が消去され，表示が 0.0km に戻ります。

サービスリマインダー

J00609701168

A タイプ

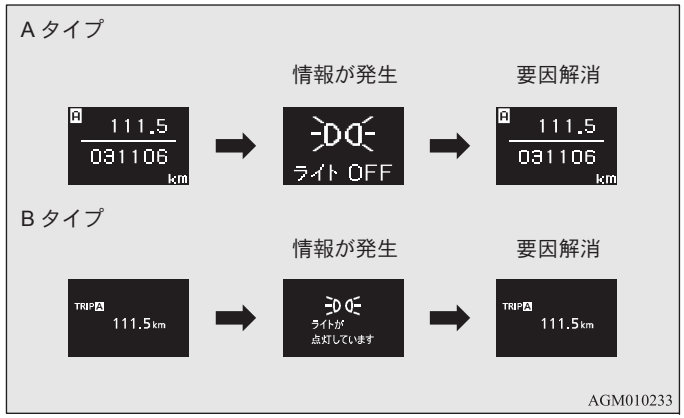
B タイプ

次回定期点検までの距離数と月数を表示します。
→「サービスリマインダーについて」P.6-31

割り込み表示画面（エンジンスイッチ OFF のとき）

J00607600124

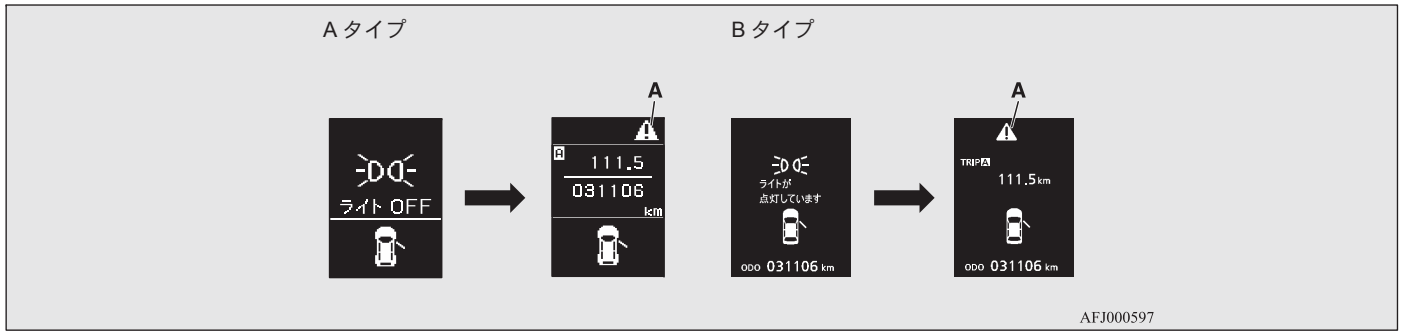
キー抜き忘れなどお知らせしたい情報が発生したとき，ブザーが鳴って警告表示画面に切り換わります。該当ページを参照して必要な処置を行ってください。
警告表示の要因が解消されると，警告表示は自動的に消えます。
→「警告表示一覧（エンジンスイッチ OFF のとき）」P.6-49



警告表示する前の画面表示に戻すときは

J00614300149

警告表示の要因が解消されなくても警告表示する前の画面表示に戻すことができます。
マルチインフォメーション メータースイッチを押すと警告表示する前の画面に切り換わり⚠マーク (A) を表示します。



アドバイス

- 画面右上に⚠または⚠マークが表示されている警告表示画面を切り換えることができます。切り換えたいときはつぎの通りマルチインフォメーション メータースイッチを押します。

  ⚠: 軽く押します。

  ⚠: 約 2 秒以上押します。

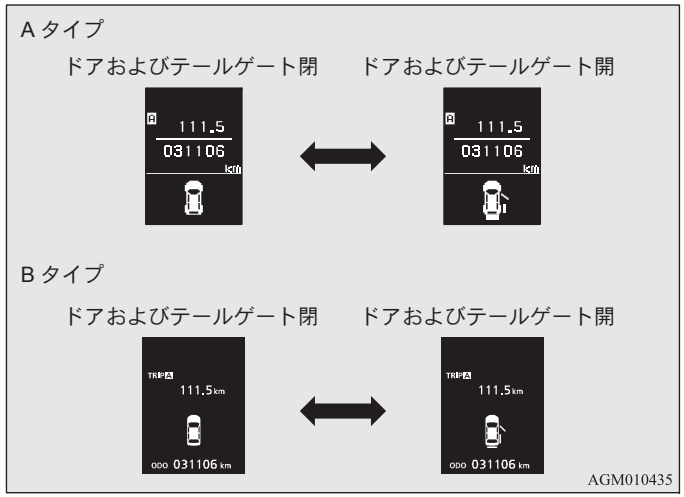
警告表示画面の再表示

⚠マーク (A) が表示されているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押すと，いったん切り換えた警告表示画面を再表示することができます。
→「インフォメーション画面（エンジンスイッチ OFF のとき）」P.6-6

半ドア警告表示（エンジンスイッチ OFF のとき）

J00607800184

いずれかのドアおよびテールゲートが完全に閉められていないときに開いているドアまたはテールゲートを表示します。

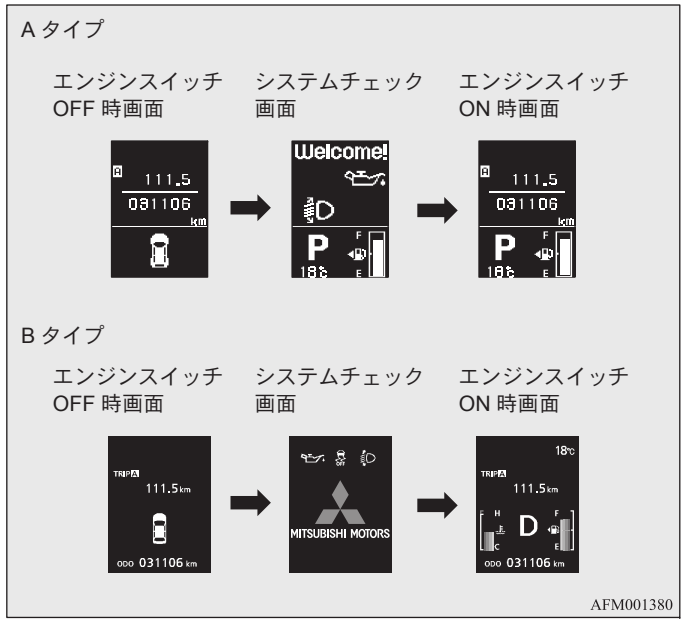


6

インフォメーション画面（エンジンスイッチ OFF から ON にしたとき）

J00607300352

エンジンスイッチを ON にすると，つぎの順で表示画面が切り換わります。

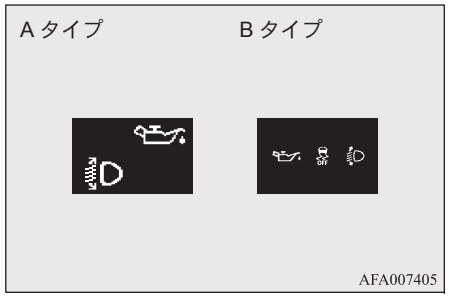


システムチェック画面

エンジンスイッチを ON にすると約 4 秒間システムチェック画面を表示します。異常がなければエンジンスイッチ ON 時画面を表示します。

異常があるときは警告表示画面に切り換わります。
→「警告表示一覧（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-50

マルチインフォメーションディスプレイ



6

アドバイス

- お客様の装備によりシステムチェック画面表示は異なります。

サービスリマインダー

定期点検時期がきている場合，エンジンスイッチ ON 時画面の後，数秒間警告表示が表示されます。
→「サービスリマインダーについて」P.6-31
A タイプ

B タイプ

ドライブモードインジケーター表示画面

タイプ別装備

J00607900172

A タイプ

B タイプ

4WD の動作状態を表示します。
ドライブモードセレクター（ダイヤル）で「4WD ロック」モードを選択すると「4WD LOCK」，「4WD オート」モードを選択すると「4WD」と表示します。
2WD モードを選択したときは表示されません。
→「ドライブモードセレクター（ダイヤル）」P.7-34

⚠マーク表示画面（エンジンスイッチ ON のとき）

J00608000226

マルチインフォメーション メータースイッチを押して警告表示画面を切り換えると表示されます。
もしくは表示されている以外に警告がある場合にも表示します。
警告表示の要因が解消されると, ⚠マークは自動的に消えます。

アドバイス

- ⚠マークが表示されているときにインフォメーション画面に警告表示画面を再表示することができます。
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチ OFF のとき）」P.6-6
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-16

ASC OFF 表示画面

タイプ別装備

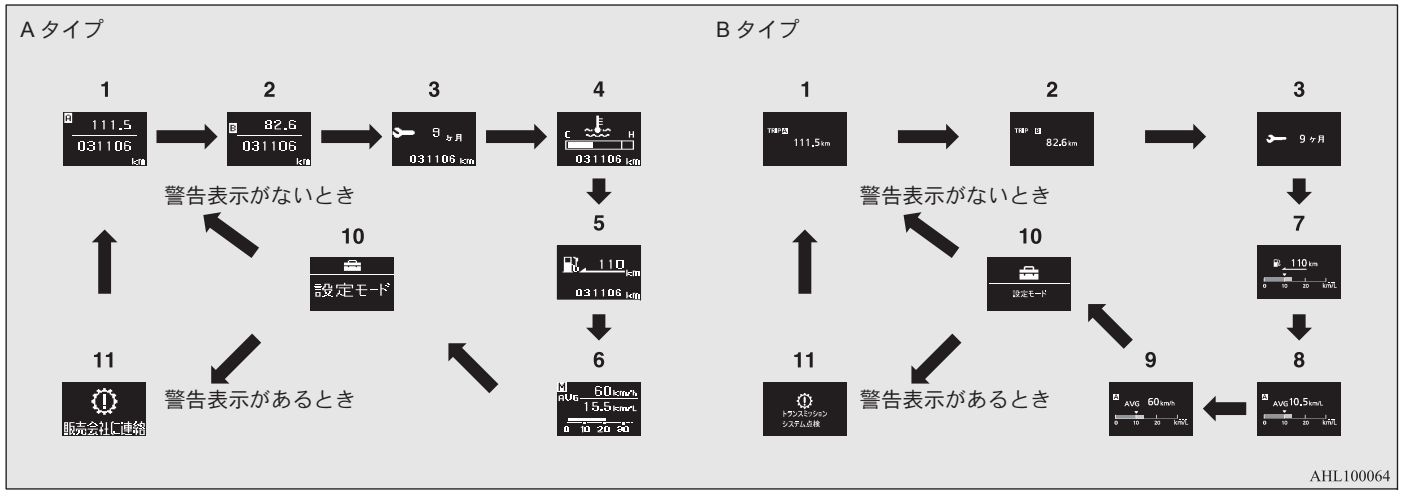
J00608100230

ASC OFF スイッチでアクティブスタビリティコントロール (ASC) を OFF にすると表示されます。
もしくは ASC に異常があるときにも表示します。
→「ASC の ON/OFF 作動切り換え」P.7-42

インフォメーション画面（エンジンスイッチ ON のとき）

J00608201560

マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。



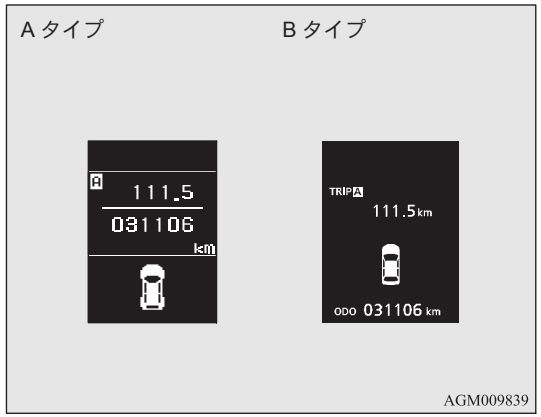
1- オドメーター（A タイプ）／トリップメーター A
2- オドメーター（A タイプ）／トリップメーター B
3- サービスリマインダー
4- エンジン冷却水温表示（A タイプ）
5- 航続可能距離表示（A タイプ）
6- 平均車速表示・平均燃費表示・瞬間燃費表示（A タイプ）
7- 航続可能距離表示・瞬間燃費表示（B タイプ）
8- 平均燃費表示・瞬間燃費表示（B タイプ）
9- 平均車速表示・瞬間燃費表示（B タイプ）
10- 機能設定画面
11- 警告表示画面の再表示

アドバイス

- 機能設定画面は運転中にマルチインフォメーション メータースイッチで操作しても表示されません。必ず安全な場所に車を止めてから操作してください。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
- 各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴って表示画面が切り換わります。
  →「割り込み表示画面（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-26

6 オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

J00624100065



操作方法はエンジンスイッチが OFF のときと同じです。
詳しくは「オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）」をお読みください。→ P.6-7

サービスリマインダー

J00624200066

A タイプ

B タイプ

次回定期点検までの距離数と月数を表示します。
→ 「サービスリマインダーについて」P.6-31

エンジン冷却水温表示

J00624300067

A タイプ

B タイプ

エンジン冷却水の温度を示します。
冷却水の温度が高くなると が点滅します。

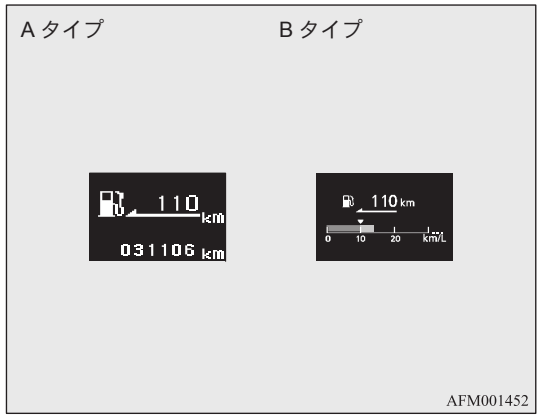
水温表示に注意して走行してください。

⚠注意

- オーバーヒートしたときには が点滅表示します。この場合，バーグラフはレッドゾーンにかかっています。
  ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
  →「オーバーヒートしたときは！」P.13-22

6 航続可能距離表示

J00624400068



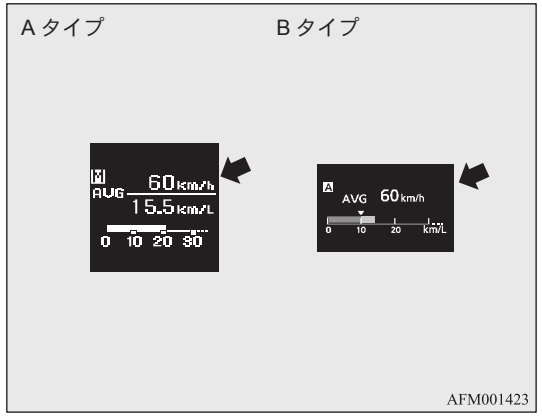
おおよその航続可能距離（あと何 km または何 miles 走行できるか）を表示します。航続可能距離が約 50km (30miles) 未満になると “---” を表示します。
早めに燃料を補給してください。

アドバイス

- 航続可能な距離は，燃費データをもとに割り出しますが，道路状況，運転のしかたなどにより変動しますので表示された値はあくまでも参考としてご利用ください。
  また，バッテリー端子を外したときは，今までの燃費データが消去されそれまでとは異なった値が表示されることがあります。
- 燃料を補給すると航続可能距離が更新されます。
  ただし，給油量が少ないと正しい数値が表示されませんので，給油するときはできるだけ満タンにしてください。
- 非常に急な坂道で停車した場合，まれに航続可能距離の値が変動することがあります。これは坂道でタンク内の燃料が移動したためで，故障ではありません。
- 単位表示をお好みの設定（km または miles）に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34

平均車速表示

J00624500069



リセットしてから現在までの平均車速を表示します。
モード設定にはつぎの 2 種類の方法があります。

平均車速表示設定の変更方法は「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」をお読みください。→ P.6-34

マニュアルリセットモード

- 平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均車速表示をリセットします。

オートリセットモード

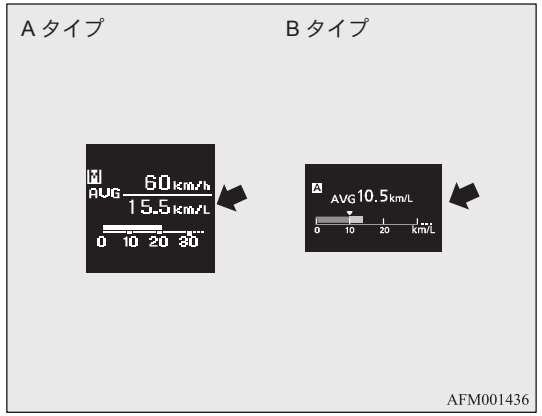
- 平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均車速表示をリセットします。
- エンジンスイッチを約 4 時間以上 ACC または LOCK した場合に，平均車速表示を自動でリセットします。

アドバイス

- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示と平均燃費表示をリセットすることができます。
- 平均車速が測定できないときは “---” を表示します。
- 単位表示をお好みの設定（km/h または mph）に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
- バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均車速表示の記憶は消去されます。

平均燃費表示

J00624600060



リセットしてから現在までの平均燃費を表示します。
モード設定にはつぎの 2 種類の方法があります。
平均燃費表示設定の変更方法は「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」をお読みください。→ P.6-34
瞬間燃費計にある印は，平均燃費を表します。（B タイプ）

マニュアルリセットモード

- 平均燃費を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。

オートリセットモード

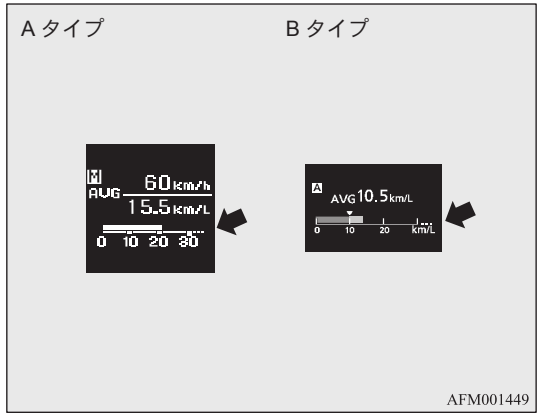
- 平均燃費を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。
- エンジンスイッチを約 4 時間以上 ACC または LOCK した場合に，平均燃費表示を自動でリセットします。

アドバイス

- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示と平均燃費表示をリセットすることができます。
- 平均燃費が測定できないときは “---” を表示します。
- 平均燃費は走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。実際の燃費と表示燃費が異なることがありますので，あくまでも参考としてご利用ください。
- バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均燃費表示の記憶は消去されます。
- 単位表示をお好みの設定（L/100km，mpg (US)，mpg (UK) または km/L）に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34

瞬間燃費表示

J00624700061



走行中，バーグラフで瞬間燃費を表示します。
平均燃費より瞬間燃費が上回わると瞬間燃費のバーグラフは緑色で表示されます。（B タイプ）
瞬間燃費が平均燃費を上回るように意識することで燃費の良い運転をこころがけることができます。

アドバイス

- 瞬間燃費が測定できないときはバーグラフは表示されません。
- 単位表示をお好みの設定（L/100km，mpg (US)，mpg (UK) または km/L）に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
- バーグラフの緑表示をやめることができます。（B タイプ）
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34

ECO（エコ）ランプ

タイプ別装備

J00621701067

燃費に良い運転状態のときに表示されます。

機能設定画面

J00621801055

「表示言語」,「温度単位」,「燃費単位」,「平均燃費・車速リセット方法」などをお好みの設定に変更することができます。
詳しくは，「機能設定するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」をお読みください。→ P.6-34

割り込み表示画面（エンジンスイッチ ON のとき）

J00608300245

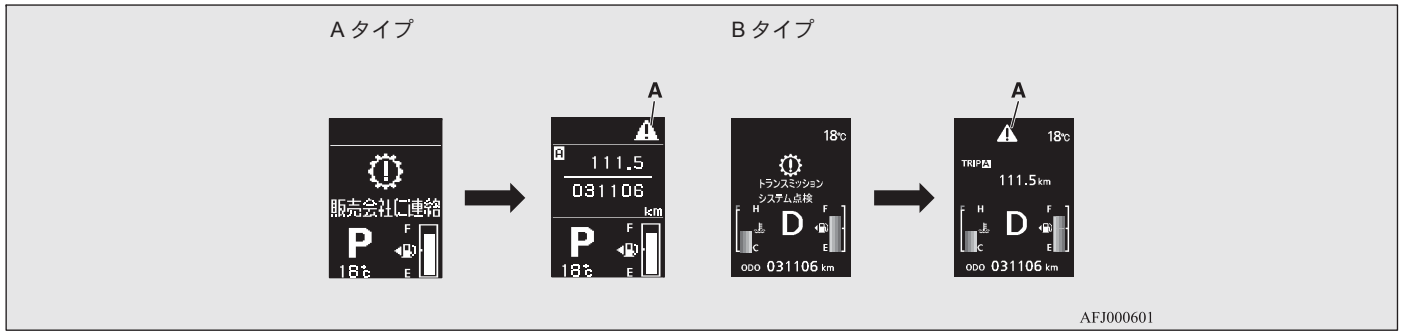
警告表示

各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってインフォメーション画面が警告表示画面に切り換わります。
警告一覧を参照して必要な処置を行ってください。
→ 「警告表示一覧（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-50
警告表示の要因が解除されると，警告表示は自動的に消えます。

警告表示する前の画面表示に戻すときは

警告表示の要因が解消されなくても，警告表示する前の画面表示に戻すことができます。

マルチインフォメーション メータースイッチを押すと警告表示する前の画面に切り換わり，⚠マーク (A) を表示します。



アドバイス

- 画面右上に⚠または⚠マークが表示されている警告表示画面を切り換えることができます。切り換えたいときはつぎの通りマルチインフォメーション メータースイッチを押します。
  - ⚠：軽く押します。
  - ⚠：約 2 秒以上押します。

警告表示画面の再表示

⚠マーク (A) が表示されているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押すと，いったん切り換えた警告表示画面を再表示することができます。

その他の割り込み表示

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは警告一覧表示の該当ページをお読みください。
→「その他割り込み表示（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-53

セレクターレバー位置表示画面

J00608400086

6

セレクターレバーの位置を表示します。
→「セレクターレバーの動かし方」P.7-20，7-26

外気温表示画面

J00608500133

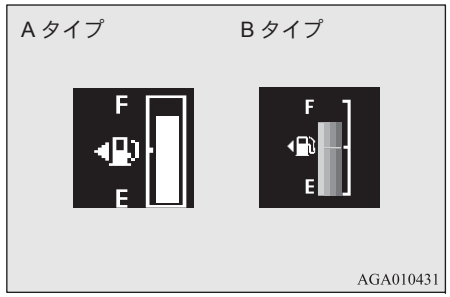
車外温度を表示します。

アドバイス

- 表示単位をお好みの設定（°C または °F）に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
- 走行条件などにより，実際の車外温度と異なった表示をすることがあります。

燃料残量表示画面

J00608601580



燃料の残量を表示します。
F- 満タンです（ガソリン車：約 66L，ディーゼル車：約 64L）
E- 燃料を補給してください。

⚠警告

- 燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。

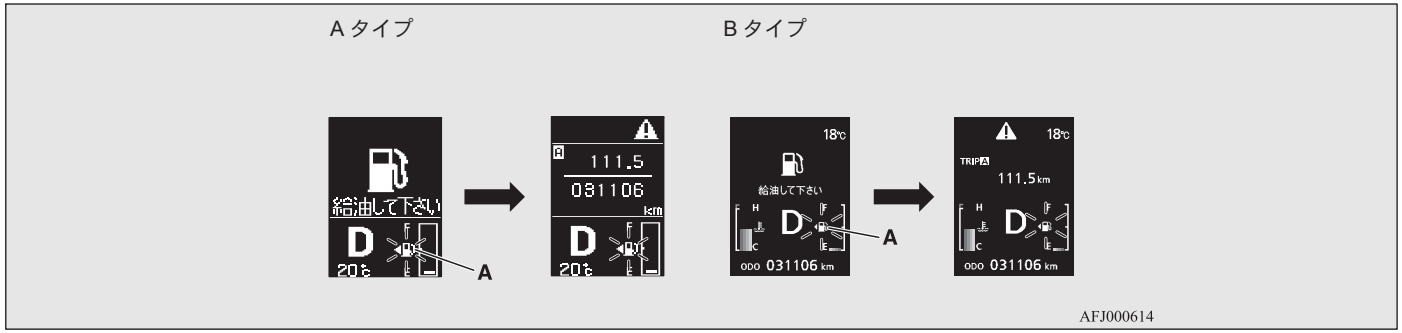
⚠注意

- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告表示が出たらただちに燃料を補給してください。

アドバイス

- 燃料補給後，表示が安定するまで少し時間がかかります。
- エンジンスイッチが ON のまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。

燃料残量警告表示



燃料が約 10L 以下になると，インフォメーション画面が燃料残量警告表示の割り込み表示に切り換わり，燃料残量表示の（ マーク(A)がゆっくり(1秒間に約1回)点滅します。インフォメーション画面の燃料残量警告表示は数秒後にもとの画面に戻ります。さらに燃料が少なくなると，インフォメーション画面が燃料残量警告表示に切り換わり，燃料残量表示の（ マーク (A) が速く点滅（1 秒間に約 2 回）します。

警告表示が出たらただちに燃料を補給してください。
→「フューエルリッド（燃料補給口)」P.4-47
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P.14-2

アドバイス

- 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないことがあります。

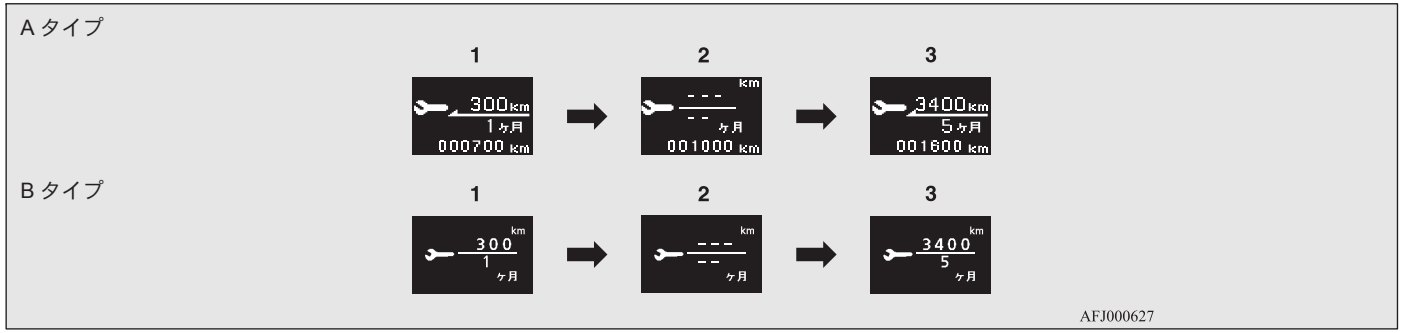
フューエルリッド位置表示

フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側についていることを示しています。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P.4-47

サービスリマインダーについて

J00609800407

新車 1ヶ月点検，新車 6ヶ月点検とその後の 12ヶ月ごとの定期点検までの時期を表示します。
点検時期が近づいたときは，“---” を表示して知らせます。



1. つぎの定期点検までの時期を表示します。
2. 点検時期が近づいたことを知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

A タイプ

このときエンジンスイッチを OFF から ON にするとインフォメーション画面に警告表示が数秒間表示されます。

B タイプ

3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると，つぎの定期点検までの時期を表示します。

アドバイス

- 距離は 100km 単位，期間は 1ヶ月単位で減少します。
- 新車 6ヶ月点検を過ぎると，期間のみを表示します。
- サービスリマインダーの設定を変更することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リセットするときは

エンジンスイッチが OFF のときに，“---” 表示をリセットすることができます。リセットするとつぎの定期点検までの時期を表示し，エンジンスイッチが OFF から ON にしたときに表示されていた「定期点検」は表示されなくなります。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押して，インフォメーション画面をサービスリマインダー表示画面に切り換えます。

A タイプ　B タイプ

2. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して🔧を点滅表示させます。（点滅中，約 10 秒間何も操作しないともとの表示画面に戻ります。）

A タイプ　B タイプ

3. 点滅中にマルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すと “---” が “CLEAR” 表示にかわります。その後，つぎの定期点検までの時期を表示します。

A タイプ　B タイプ

⚠注意

- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
  事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

アドバイス

- “---” 表示はエンジンスイッチが ON のときはリセットできません。
- “---” 表示後，一定距離及び一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。
- 誤ってリセットした場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

半ドア警告表示（エンジンスイッチ ON のとき）

J00614200135

A タイプ

B タイプ

いずれかのドアおよびテールゲートが完全に閉められていないときに開いているドアまたはテールゲートを表示します。
半ドアのまま車速が約 8km/h 以上になるとブザーが 4 回鳴り，半ドアを知らせます。

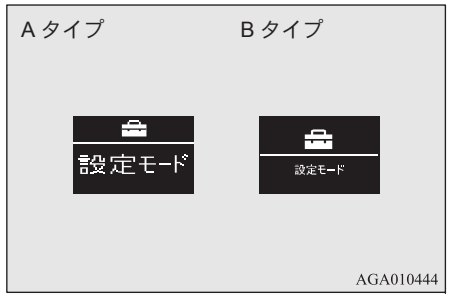
⚠警告

- 走行する前に，警告表示が消灯していることを確認してください。

機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）

J00608700281

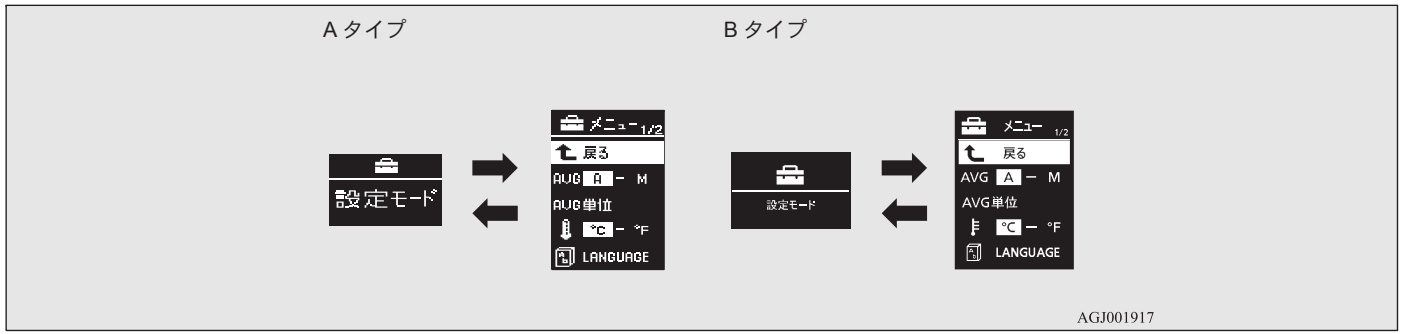
1. 安全な場所に停車します。
   駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れます。
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押してインフォメーション画面を機能設定画面に切り換えます。
   →「インフォメーション画面（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-16



アドバイス

- 安全のため停車してから操作してください。
  走行中にマルチインフォメーション メータースイッチを押しても機能設定画面は表示されません。

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。



アドバイス

- メニュー画面を機能設定画面に戻すときは再度マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押します。

アドバイス

- メニュー画面を表示した後，何も操作をしないで約 15 秒以上放置すると機能設定画面に戻ります。

4. メニュー画面で変更したい項目を選択し，お好みの設定に変更します。
   詳しい操作方法についてはつぎの項をお読みください。

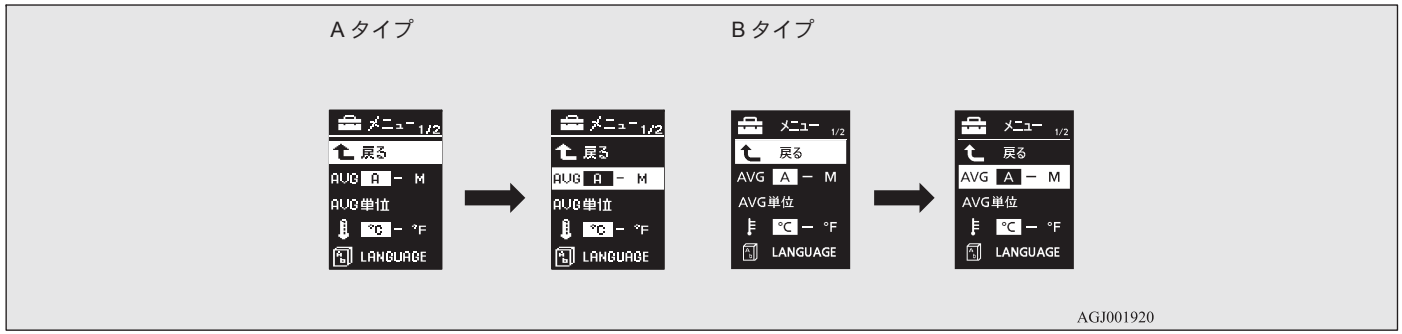
→「平均燃費・平均車速のリセットモードの変更」P.6-36
→「燃費表示単位の変更」P.6-38
→「温度単位の変更」P.6-40
→「表示言語の変更」P.6-40
→「操作音の設定」P.6-41
→｛「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更｝P.6-42
→「出荷時の設定に戻す」P.6-45
→「方向指示音の変更」P.6-44
→「瞬間燃費表示の変更（カラーマルチインフォメーションディスプレイ付き車）」P.6-44

平均燃費・平均車速のリセットモードの変更

J00610600173

平均燃費・平均車速表示のモード条件を「オートリセット」または「マニュアルリセット」に切り換えることができます。

1. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「AVG（平均燃費・平均車速設定）」を選択します。



3. マルチインフォメーションメータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すごとに，A（オートリセットモード）→M（マニュアルリセットモード）→A（オートリセットモード）と切り換わります。
選択したモード条件に設定が変更されます。

マニュアルリセットモード

- 平均燃費及び平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーションメータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費及び平均車速表示をリセットします。

オートリセットモード

- 平均燃費及び平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーションメータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示及び平均車速表示をリセットします。
- エンジンスイッチを約 4 時間以上 ACC または LOCK した場合に，平均燃費表示及び平均車速表示を自動でリセットします。

アドバイス

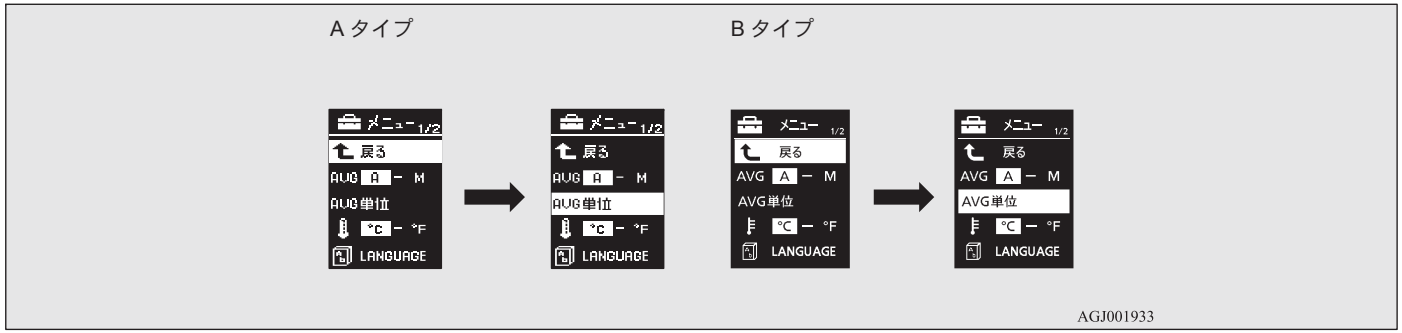
- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示と平均燃費表示をリセットすることができます。
- バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均車速表示，平均燃費表示の記憶は消去されます。

燃費表示単位の変更

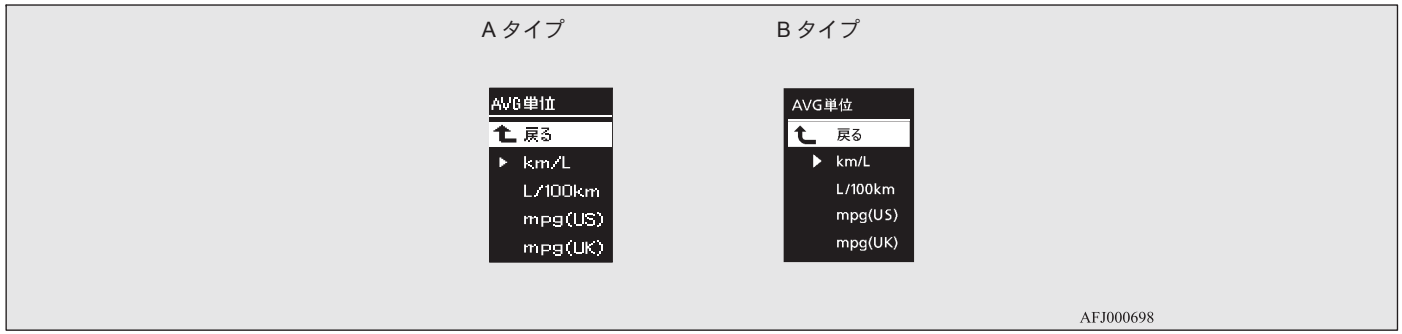
J00610700318

燃費の表示単位を切り換えることができます。選択した燃費単位に合わせて，距離，速度，量の単位も合わせて切り換わります。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「AVG 単位（燃料表示単位設定）」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して，「AVG　単位（燃料表示単位設定）」を表示します。
4. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すごとに，km/L →L/100km →mpg (US) →mpg (UK) → 戻る →km/L と切り換わり希望の表示を選択します。



5. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すと，選択した単位に設定が変更されます。

アドバイス

- 航続可能距離，平均燃費，平均車速，瞬間燃費の表示単位は切り換わりますが指針（スピードメーター），オドメーター（積算距離計），トリップメーター（区間距離計）の単位は切り換わりません。
- バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的に km/L に設定されます。

選択した燃費単位に合わせて，つぎの組み合わせで距離・速度の単位も切り換わります。

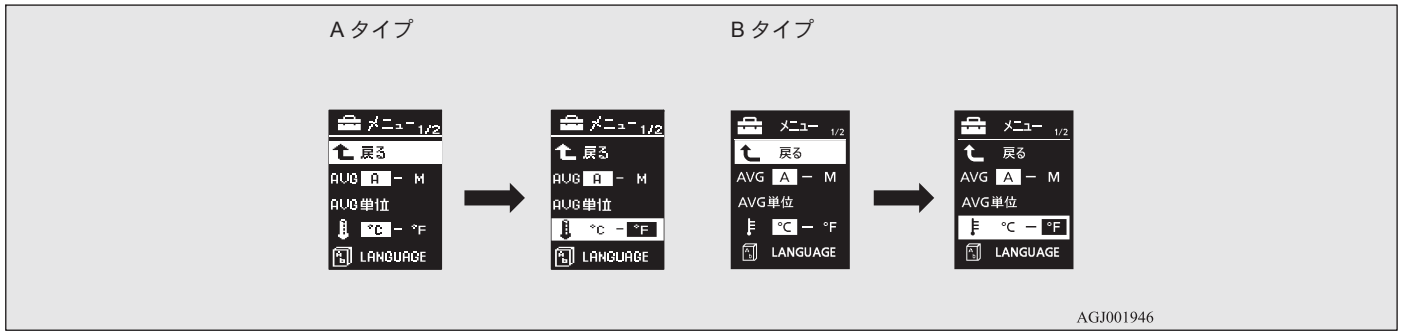
燃費	距離（航続可能距離）	速度（平均速度）
km/L	km	km/h
L/100km	km	km/h
mpg (US)	mile (s)	mph
mpg (UK)	mile (s)	mph

温度単位の変更

J00610800117

温度の表示単位を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「(温度単位設定)」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すごとに，°C→ °F→ °C と切り換わります。
   選択した温度単位に設定が変更されます。

アドバイス

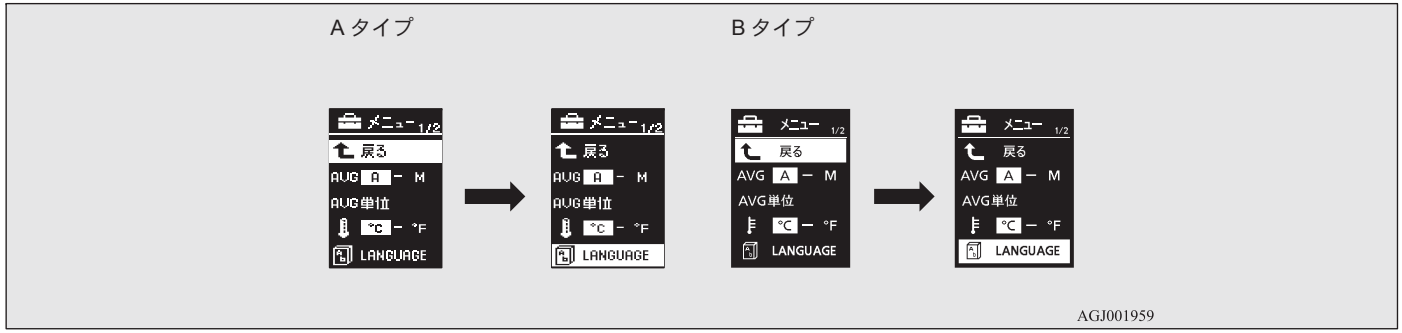
- バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的に °C に設定されます。

表示言語の変更

J00610900323

マルチインフォメーションディスプレイに表示する言語を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「LANGUAGE（言語設定）」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して，「LANGUAGE（言語設定）」を表示します。
4. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して，希望の言語を選択します。
5. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すと，選択した言語に設定が変更されます。

アドバイス

- バッテリーを外すと言語設定の記憶は消去され，自動的に日本語に設定されます。
- 言語設定で “---” を選択すると警告表示や割り込み表示のときに警告メッセージを表示しません。

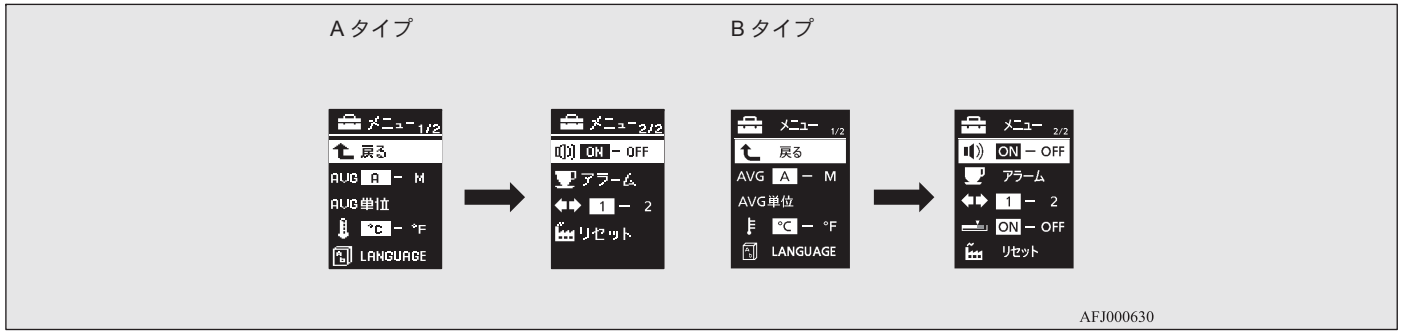
操作音の設定

J00611000217

マルチインフォメーション メータースイッチ，メーター照度調整ボタンの操作音を鳴らなくすることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34

2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「(操作音の設定)」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すたびに，ON（操作音あり）→ OFF（操作音なし）→ ON（操作音あり）と切り換わります。選択した条件に設定が変更されます。

アドバイス

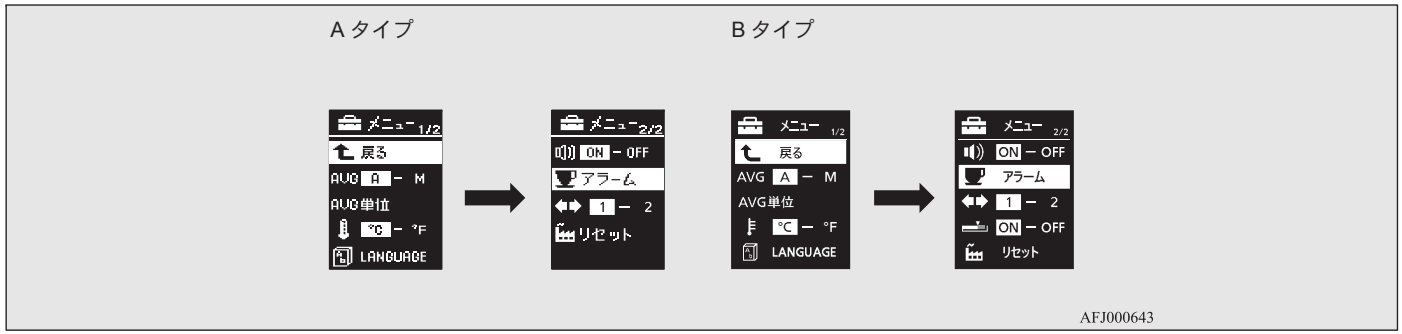
- バッテリーを外すと操作音設定の記憶は消去され，自動的に ON（操作音あり）に設定されます。
- 操作音の設定はマルチインフォメーション メータースイッチ，メーター照度調整ボタンの操作音を消すだけのもので警告表示等の音を消すことはできません。

「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更

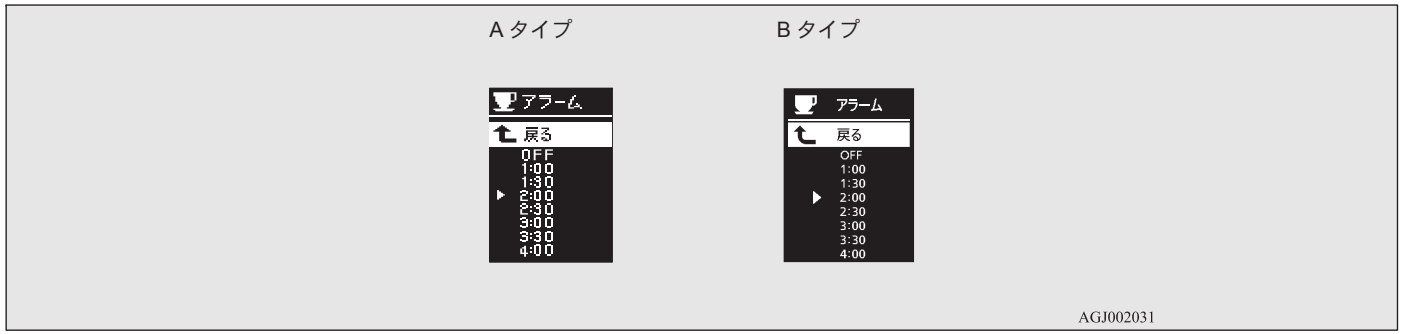
J00611100218

表示が出るまでの時間を変更することができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「アラーム（休憩時間の設定）」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して「アラーム（休憩時間の設定）」を表示します。



4. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して，表示が出るまでの時間を選択します。
5. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すと，選択した時間に設定が変更されます。

アドバイス

● バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的に OFF に設定されます。

アドバイス

- エンジンスイッチを止めると運転時間はリセットされます。

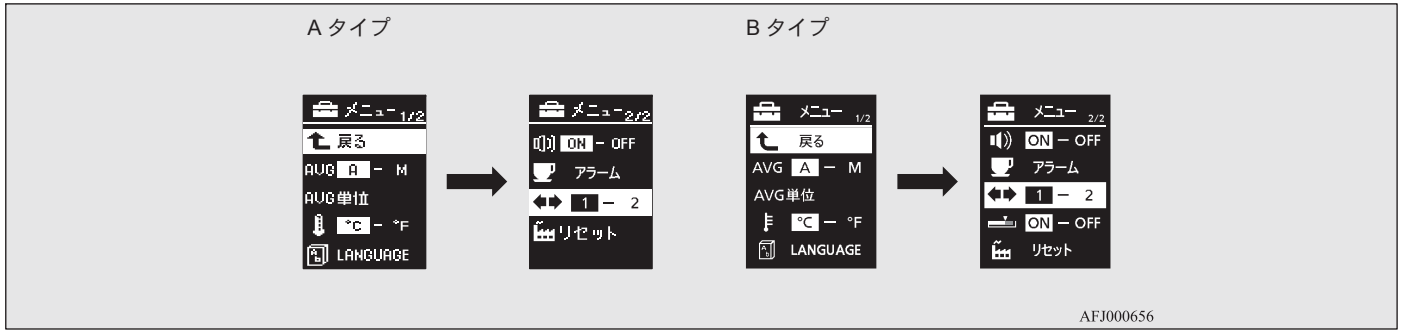
方向指示音の変更

J00619000196

方向指示器の音色を変更することができます。

6

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「（方向指示音の変更）」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すたびに 1（方向指示音 1）→ 2（方向指示音 2）→ 1（方向指示音 1）と選択した方向指示音に設定が変更されます。

瞬間燃費表示の変更（カラーマルチインフォメーションディスプレイ付き車）

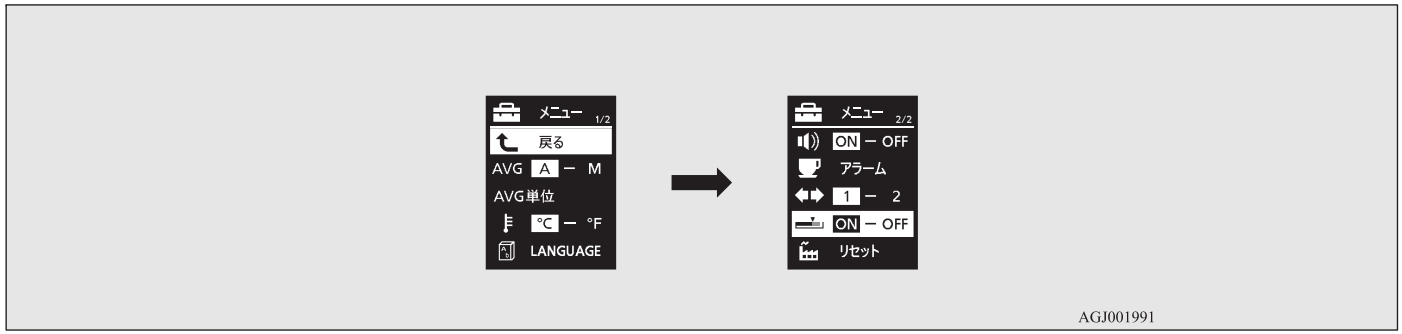
J00619100025

瞬間燃費のバーグラフ表示を変更することができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。

→「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34

2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「(瞬間燃費表示の変更)」を選択します。



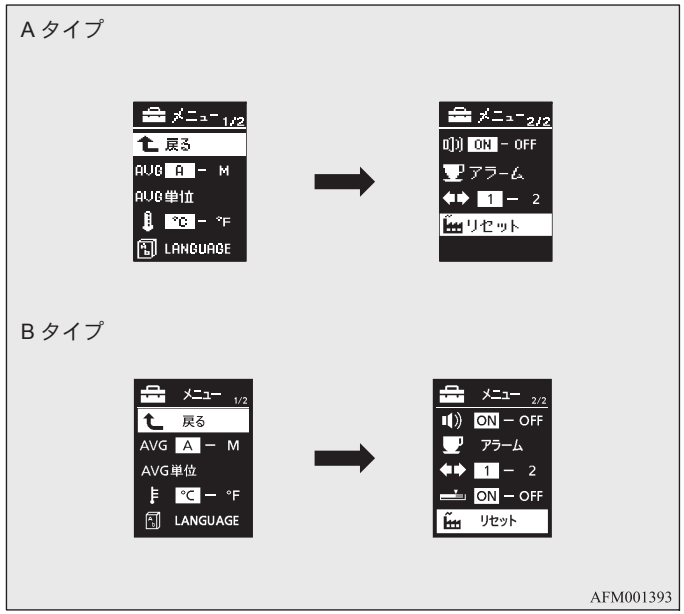
3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すたびに ON（バーグラフ緑表示 有り）→ OFF（バーグラフ緑表示 無し）→ ON（バーグラフ緑表示 有り）と選択したバーグラフ緑表示に設定が変更されます。

出荷時の設定に戻す

J00611201359

各種機能設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
→「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「リセット（工場出荷時の設定に戻す）」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 5 秒以上）押すと，ブザーが鳴りすべての機能設定が工場出荷時の設定に戻ります。

アドバイス

- 工場出荷時の設定はつぎのとおりです
  - 平均燃費・平均車速のリセットモード：A（AUTO リセット）
  - 燃費表示単位:：km/L
  - 温度単位 :°C（摂氏）
  - 表示言語：日本語

アドバイス

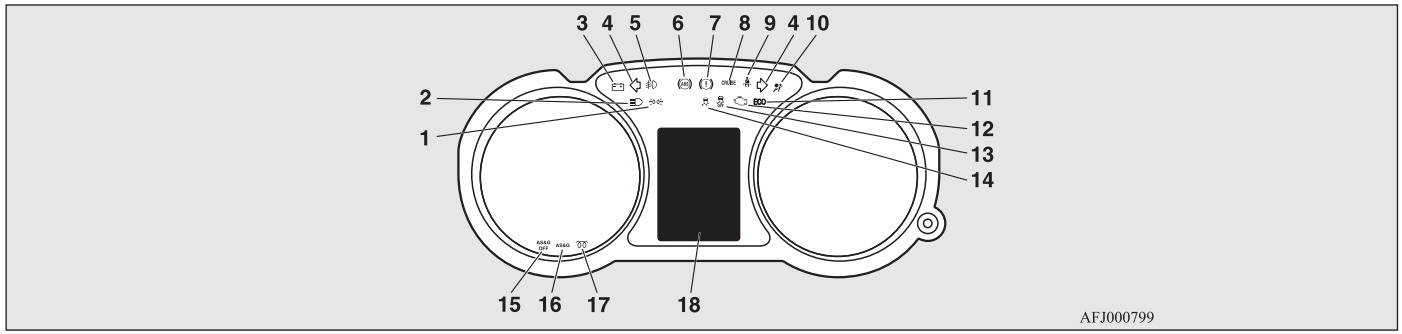
- 操作音：ON（操作音あり）
- 「休憩して下さい」表示：OFF
- 「方向指示音」：方向指示音 1
- 「瞬間燃費色替え（B タイプ）」：ON

表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

J00601500411

表示灯・警告灯一覧

J00609901551



1- 車幅灯表示灯 → P.6-56
2- ヘッドライト上向き表示灯 → P.6-55
3- 充電警告灯 → P.6-57
4- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 → P.6-55
5- フロントフォグランプ表示灯 タイプ別装備 → P.6-56
6- ABS 警告灯 → P.7-40
7- ブレーキ警告灯 → P.6-56
8- クルーズコントロール表示灯 タイプ別装備 → P.7-45
9- シートベルト警告灯 → P.5-24
10- SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 → P.5-44
11- ECO(エコ)ランプ タイプ別装備 → P.6-56
12- エンジン警告灯 → P.6-57
13- アクティブスタビリティコントロール (ASC)OFF 表示灯 タイプ別装備 → P.7-43

14- アクティブスタビリティコントロール (ASC) 作動表示灯 → P.7-43
15- オートストップ＆ゴー (AS&G)OFF 表示灯 タイプ別装備 →P.7-19
16- オートストップ＆ゴー(AS&G) 表示灯 タイプ別装備 →P.7-16
17- グロー（予熱）スタート表示灯（ディーゼル車） タイプ別装備 → P.6-56
18- インフォメーション画面表示一覧 → P.6-48

インフォメーション画面表示一覧

J00609400113

ランプ類の消し忘れなどお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってつぎの画面に切り換わります。該当ページを参照して必要な処置を行ってください。
警告表示の要因が解消されると，警告表示は自動的に消えます。
→「警告表示一覧（エンジンスイッチ OFF のとき）」P.6-49
→「警告表示一覧（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-50
→「その他の割り込み表示（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-53

アドバイス

- つぎのようなとき，まれに数秒間，警告ブザーとともにインフォメーション画面に警告を表示することがあります。
  これは，強い電磁波，ノイズ等を受けたことによって起こるもので，機能上の問題はありません。
  - 違法無線や電線の火花，レーダー施設等の非常に強い電磁波を受けたとき
  - 車載電気機器（後付け品含む）の作動時に発生する異常電圧や静電気の放電などがあったとき

  ただし，何回も警告表示したときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

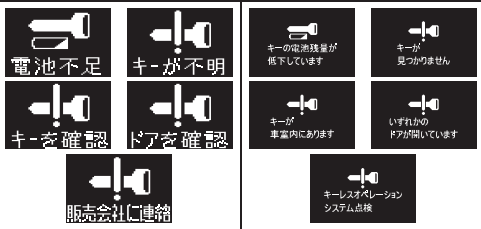
警告表示一覧（エンジンスイッチ OFF のとき）

J00610000340

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
		●エンジンスイッチからエマージェンシーキーを抜き忘れています。	●エマージェンシーキーを抜いてください。 「キー抜き忘れ防止機構」 →P.4-16
		●ライト類を消し忘れています。	「ヘッドライトオートカット機能（自動消灯）」 →P.6-60
		●セキュリティーアラームが警報作動しています。	「セキュリティーアラーム」→P.4-39
		●エンジンを止めた後，エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，運転席ドアを開けようとしています。	●エンジンスイッチを LOCK (PUSH OFF) 位置にしてください。 「エンジンスイッチ戻し忘れ防止機構」→P.4-17
		●エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，すべてのドアおよびテールゲートを施錠しようとしています。	●エンジンスイッチを LOCK (PUSH OFF) 位置にしてください。 「エンジンスイッチ切り忘れ防止機構」 →P.4-11
		●キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。	「キーレスオペレーションシステム」 →P.4-3

警告表示一覧（エンジンスイッチ ON のとき）

J00610101524

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
		●キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。	「キーレスオペレーションシステム」→P.4-3
		●ブレーキ液が不足しています。 ●ブレーキ装置に何らかの異常が発生しています。	●ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。 「ブレーキ警告表示」→P.6-57
		●ABS に何らかの異常が発生しています。	●急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に停車して処置してください。 「ABS 警告」→P.7-40
		●いずれかのドアおよびテールゲートが完全に閉められていません。 開いているドアが表示されています。	●ドアおよびテールゲートを閉めてください。 「半ドア警告表示（エンジンスイッチ ON のとき）」→P.6-34
		●エンジンフード（ボンネット）が開いています。	●エンジンフード（ボンネット）を閉めてください。 「エンジンフード（ボンネット）」→P.4-46

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
		●オーバーヒートしています。	●安全な場所に停車し，処置を行ってください。「オーバーヒートしたときは！」→P.13-22
		●オートマチックトランスミッション (A/T または CVT) オイルの温度が高くなっています。	「INVECS- Ⅱ スポーツモード 6A/T」→P.7-20 「INVECS- Ⅲ CVT」→P.7-25
		●運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチを ON にしています。	●シートベルトを着用してください。「シートベルト警告」→P.5-24
		●燃料系統に何らかの異常が発生しています。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
		●駐車ブレーキをかけたまま走行しています。	●駐車ブレーキを解除してください。「ブレーキ警告表示」→P.6-57
		●エンジンオイルの循環系統に何らかの異常が発生しています。	●ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。「油圧警告表示」→P.6-58
		●充電系統に何らかの異常が発生しています。	●ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。「充電警告表示」→P.6-58
		●SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に何らかの異常が発生しています。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告」→P.5-29，5-44

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
販売会社に連絡	ヘッドライトレベリング システム点検	●ヘッドライトオートレベリングに何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「ヘッドライトオートレベリング」→P.6-63
販売会社に連絡	コーナリングライト システム点検	●ACL（アクティブコーナリングライト）に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「ACL（アクティブコーナリングライト）」→P.6-64
販売会社に連絡	ASCシステム点検	●アクティブスタビリティコントロール (ASC) に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「アクティブスタビリティコントロール (ASC)」→P.7-41
		●ヒルスタートアシストシステムに何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「ヒルスタートアシスト」→P.7-37
販売会社に連絡	4WDシステム点検	●電子制御 4WD 機構に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「電子制御 4WD 機構」→P.7-34
販売会社に連絡	トランスミッション システム点検	●A/TまたはCVTに何らかの異常が発生しています。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「INVECS- II スポーツモード 6A/T」→P.7-20 「INVECS- III CVT」→P.7-25
減速して下さい	4WDシステム油温警告 減速して下さい	●電子制御 4WD 機構が高温になっています。	「電子制御 4WD 機構」→P.7-34
給油して下さい	給油して下さい	●燃料の残量が少なくなっています。	●ただちに燃料を補給してください。「燃料残量警告表示」→P.6-29

画面		要因	処置（参照先）
A タイプ	B タイプ		
—	DPF異常	●ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) に規定値以上のすすがたい積しています。	「ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF)」→P.7-14
—	エンジンオイルを 点検して下さい	●エンジンオイルの量が規定値より多くなっています。	●ただちに，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「エンジンオイル量警告表示」 →P.6-59
—	燃料フィルターの 水抜きをして下さい	●フューエルフィルター内に規定値以上の水がたまっています。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「フューエルフィルター警告表示」→P.6-57
凍結注意	路面の凍結に 注意して下さい	●車外温度が 0 °C (32 °F) 以下になっています。	●路面の凍結に注意して走行してください。 ●警告表示が出ていなくても路面が凍結している場合がありますので，走行には気をつけてください。

その他の割り込み表示（エンジンスイッチ ON のとき）

J00610200283

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは各システムの該当ページをお読みください。

画面		システムの作動状態	参照先
A タイプ	B タイプ		
		● ドライブモードセレクター（ダイヤル）で「2WD」モードを選択したとき	「電子制御 4WD 機構」→P.7-34
		● ドライブモードセレクター（ダイヤル）で「4WD オート」モードを選択したとき	
		● ドライブモードセレクター（ダイヤル）で「4WD ロック」モードを選択したとき	
		● アクティブスタビリティコントロール (ASC) が作動したとき	「アクティブスタビリティコントロール (ASC)」→P.7-41

定期点検の時期をお知らせします。

画面		処置
A タイプ	B タイプ	
		三菱自動車販売会社で点検を受けてください。詳しくは「サービスリマインダーについて」P.6-31 をお読みください。

休憩時間を設定することができます。

画面		処置
A タイプ	B タイプ	
		安全な場所に停車し，エンジンを止めて休憩してください。 長距離走行の途中で休憩をとるための目安としてご使用ください。 運転を開始してから表示がでるまでの時間を設定することができます。 →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」P.6-34 設定した時間が経過すると，表示とブザーで知らせます。その後休憩しないまま運転を続けると，約 5 分ごとにブザーが鳴り，休憩をとるように促します。 ● つぎの場合は，運転した時間がリセットされ，もとの表示画面に戻ります。その後，再び設定した時間が経過すると表示とブザーで休憩をとるように促します。 • 3 回目のブザーが鳴る • エンジンスイッチを OFF にする • マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押し続ける

表示灯

J00601600119

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700354

つぎの場合に点滅します。

- 方向指示レバーを操作し，方向指示灯を作動させたとき。
  →「方向指示レバー」P.6-63
- 非常点滅灯スイッチを押し，非常点滅灯を作動させたとき。
  →「非常点滅灯スイッチ」P.6-65
- 走行中に急ブレーキを踏んで，自動的に非常点滅灯が作動したとき。
  →「緊急制動信号システム」P.7-37

アドバイス

- 急ブレーキ以外の操作で点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800081

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100010

車幅灯を点灯させると表示灯が点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

タイプ別装備

J00601900268

フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

ECO（エコ）ランプ

タイプ別装備

J00620500120

燃費に良い運転状態のときに表示されます。

グロー（予熱）スタート表示灯

J00602400042

ディーゼル車

- グロープラグの予熱状態を表示します。エンジンスイッチを ON にすると点灯し，グロープラグの予熱が完了すると消灯します。
  消灯したら，エンジンをかけてください。
- DPF　警告表示が表示したときに, DPF が自動的にすすの燃焼・除去を開始したら点灯します。
  →「DPF 警告表示」P.7-15

アドバイス

- エンジン冷却水の温度によって消灯するまでの時間が異なります。
- エンジンが暖かいときは，エンジンスイッチを ON にしても表示灯は点灯しません。
  そのままエンジンスイッチをSTARTにしてエンジンをかけてください。

警告灯

J00602500115

ブレーキ警告灯

J00602600868

エンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ力配分機能の異常

⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなったり，急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避けただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき。
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき。

⚠注意

- ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したとき。
  →「ABS 警告とブレーキ警告を表示したときは」P.7-40
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続け てください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J00602702007

エンジン制御システム，オートマチックトランスミッション制御システムまたは CVT 制御システムに異常があると点灯または点滅します。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，クリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800134

充電系統に異常があると点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイにも警告表示します。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

インフォメーション画面表示

J00608900010

フューエルフィルター警告表示

J00623901021

ディーゼル車

エンジンスイッチが ON のときにフュ ーエルフィルター内に規定値以上の水がたまると警告表示します。

⚠注意

- 警告表示したときは，ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  警告表示したまま走行を続けると，エンジンを損傷するおそれがあります。

ブレーキ警告表示

J00609001347

警告表示 A タイプ

警告表示 B タイプ

駐車ブレーキをかけたまま走行すると警告表示します。警告表示がでたときは駐車ブレーキを解除してください。また，メーター内の警告灯は駐車ブレーキをかけているだけで点灯します。

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

警告表示 A タイプ

警告表示 B タイプ

エンジンスイッチが ON のときにブレーキ液が不足していると警告表示します。またメーター内の警告灯も点灯します。

⚠注意

- 走行中，警告表示したまま消灯しないときはブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキ警告表示がブレーキ警告灯，ABS 警告灯と同時に警告表示したときは，ブレーキ力の配分機能も作動しないため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。急ブレーキや高速走行を避け，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意を促すため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

充電警告表示

J00609200124

警告表示 A タイプ

警告表示 B タイプ

充電系統に異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。また，メーター内の警告灯も点灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に警告表示したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告表示

J00609300125

警告表示 A タイプ

警告表示 B タイプ

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても警告表示したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジンの回転中に警告表示したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイルの量を点検してください。
（点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で警告表示したときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告表示はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

エンジンオイル量警告表示

J00624001029

ディーゼル車

エンジンスイッチが ON のときにエンジンオイルの量が規定値より多くなった場合警告表示します。

⚠注意

- 警告表示したときは，ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ライトスイッチ

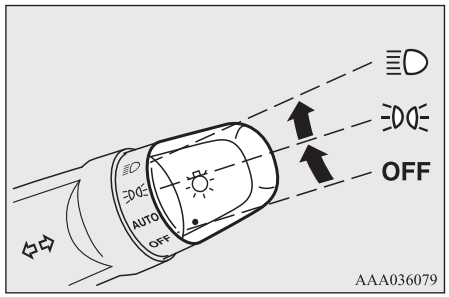
J00604000895

手動で使うときは

J00616700020

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置		
ヘッドライト	○	―
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○



⚠注意

- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

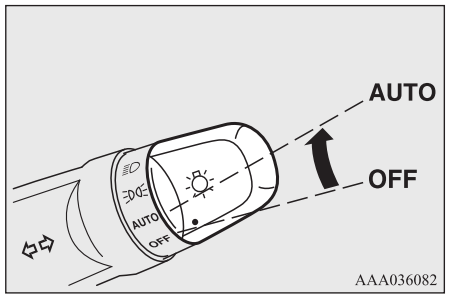
アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは（オートライトコントロール）

J00616800034

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。
エンジンスイッチを OFF にすると自動的に消灯します。

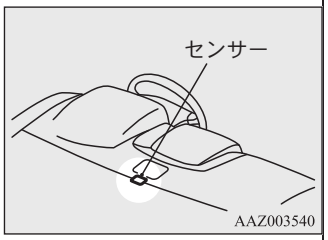


アドバイス

- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

- フロントフォグランプ付き車は, AUTOの位置でフロントフォグランプが点灯しているとき，エンジンスイッチを OFF にすると，フロントフォグランプも自動消灯します。
- 自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり，ガラスクリーナーなど吹きかけないでください。



- AUTO の位置で点灯・消灯しないときは，手動スイッチを操作し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト *1 オートカット機能（自動消灯）

J00606000873

*1 ヘッドライトやフォグランプなどの車外照明

- ライトスイッチが≡Dまたは≡DOFFの位置でも, エンジンスイッチを LOCK にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  [エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているとき]
  - エマージェンシーキーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - エマージェンシーキーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
  [キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき]
  - エンジンスイッチを LOCK にして運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - エンジンスイッチが LOCK 以外で運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，エンジンスイッチの戻し忘れを知らせます。
- ライトスイッチが≡Dまたは≡DOFFの位置でも, エンジンスイッチを LOCK にし，運転席ドアを開かないまま約 3 分たつとランプ類が自動的に消灯します。

降車後，照明として利用するときは

J00615600064

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを OFF，エンジンスイッチを LOCK にします。
   さらに，エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているときはエンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチを≡Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを≡DDE位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときキーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。（マルチインフォメーションディスプレイ内にも警告表示します。）
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときエンジンスイッチが LOCK 位置ではライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，LOCK 位置以外ではエンジンスイッチ戻し忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。（マルチインフォメーションディスプレイ内にも警告表示します。）

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - ライトスイッチが≡DDE位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ライト消し忘れブザー

J00606100311

エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているとき

ライトスイッチが≡Dまたは≡DDEの位置のままでエマージェンシーキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

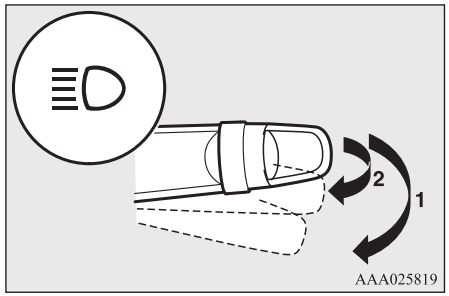
ライトスイッチが≡Dまたは≡DDEの位置のままでエンジンスイッチを LOCK にして運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

どちらのときも，ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチを OFF にする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200295

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを (2) まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。



アドバイス

- ライトスイッチが OFF 位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。

アドバイス

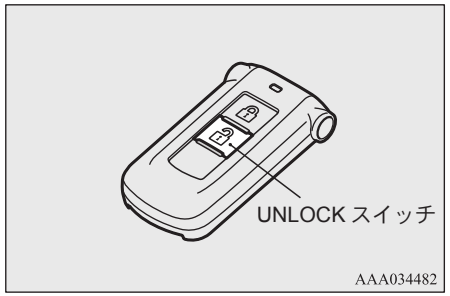
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ウェルカムライト

J00618800201

6

ライトスイッチがOFFまたはAUTOの位置のとき，キーレスオペレーションキーの UNLOCK スイッチを押すと，車幅灯が約 30 秒間点灯します。車外が暗いときのみ点灯します。



アドバイス

- ウェルカムライトが作動中に，つぎの操作を行うとウェルカムライトが停止します。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのLOCKスイッチ を押したとき

- ライトスイッチを≣DOEまたは≣Dの位置にしたとき
- エンジンスイッチをONの位置にしたとき

- つぎのとおり機能を変更することができます。
  - ヘッドライト（ロービーム）の点灯を追加する。
  - ウェルカムライトを働かなくする。

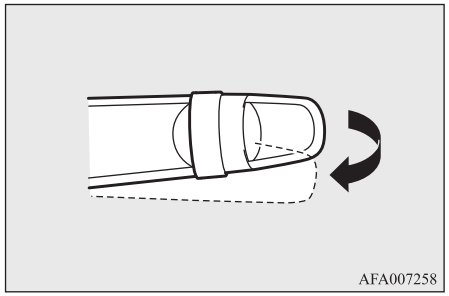
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

カミングホームライト

J00618900198

エンジンスイッチを LOCK にした後，約 30 秒間ヘッドライト (ロービーム) を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを OFF または AUTO の位置にします。
2. エンジンスイッチを LOCK にします。さらに，エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているときはエンジンスイッチからキーを抜きます。
3. エンジンスイッチをLOCKにしてから約 60 秒以内に，方向指示レバーを手前に引きます。



4. ヘッドライト (ロービーム) が約 30 秒間点灯します。消灯した後，再度約 30 秒間点灯させたい場合は，エンジンスイッチを LOCK にしてから約 60 秒以内のときは，レバーを手前に引いてください。また，約 60 秒以上のときは，手順 1 から操作してください。

アドバイス

- カミングホームライトが作動中に，つぎの操作を行うとカミングホームライトが停止します。
  - レバーを手前に引いたとき
  - ライトスイッチを⁝D◁⁝または≣Dの位置にしたとき
  - エンジンスイッチをONの位置にしたとき
- つぎの機能を変更することができます。
  - ヘッドライトの点灯時間を調整する。
  - カミングホームライトを働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ヘッドライトオートレベリング

J00611500052

乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて，ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
エンジンスイッチが ON のときにヘッドライトが点灯すると，停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

ヘッドライト（光軸調整機構付）警告表示

J00615700036

警告表示 A タイプ

警告表示 B タイプ

ヘッドライトオートレベリングに何らかの異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

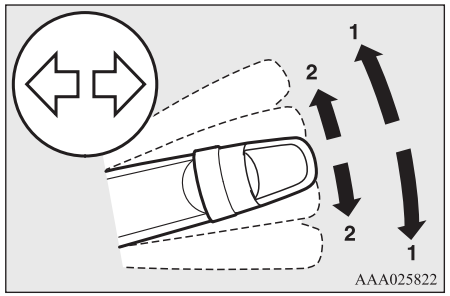
⚠注意

- 警告表示したときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

方向指示レバー

J00604200956

エンジンスイッチが ON のときにレバーを (1) まで操作すると, 方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは, レバーを (2) まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。また，レバーを (2) まで軽く操作し，すぐ離すと 3 回，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



1- 方向指示
2- 車線変更

アドバイス

- 急ブレーキ以外の操作で点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- レバー操作で ACL（アクティブコーナリングライト）を点灯させることができます。
  →「ACL（アクティブコーナリングライト）」P.6-64
- つぎの機能を変更することができます。
  - エンジンスイッチがONまたはACCのときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。
  - 車線変更時，方向指示灯の 3 回点滅機能を働かなくする。
  - 車線変更時，方向指示灯の 3 回点滅機能のレバー操作時間を調整する。

アドバイス

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

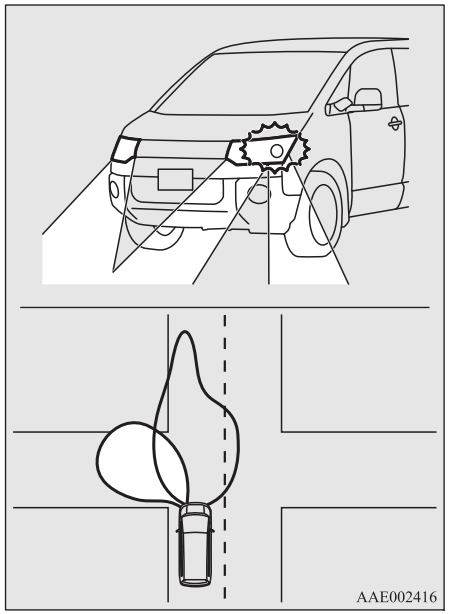
- 方向指示器の音色を変更することができます。
  →「方向指示音の変更」P.6-44

ACL（アクティブコーナリングライト）

J00614400081

ACL（アクティブコーナリングライト）は，方向指示レバーやハンドルの操作に応じて，進行方向内側の路面を照らす装置です。
つぎの条件がそろったときに点灯し，夜間の交差点などで視認性を高めます。

- エンジンスイッチが ON のとき
- 車速が約 40km/h 以下のとき
- ライトスイッチが≡Dのとき，またはAUTOの位置でヘッドライトが点灯しているとき



⚠注意

- ACLは約15分以上点灯させておくと消し忘れを防止するため自動的に消灯します。再び点灯させるには方向指示レバーを戻してから操作してください。

アドバイス

- つぎの場合，ACL は点灯しません。

アドバイス

- ライトスイッチを⇒OFFまたはOFFの位置にしたとき
- 一度走行した後，停車時にハンドル操作したとき
- 車速が 40km/h 以上のとき

● ライトが点灯しない場合はお近くの三菱自動車販売会社にご相談ください。

● 点灯条件を満たしているときにセレクターレバーをⓇに入れると，ACL は左右同時に点灯します。

ACL（アクティブコーナリングライト）表示

J00615000042

警告表示 A タイプ

警告表示 B タイプ

ACL に何らかの異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示します。

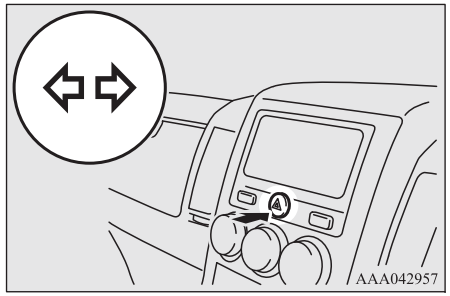
⚠注意

● 警告表示したときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

非常点滅灯スイッチ

J00604300638

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

● エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。

アドバイス

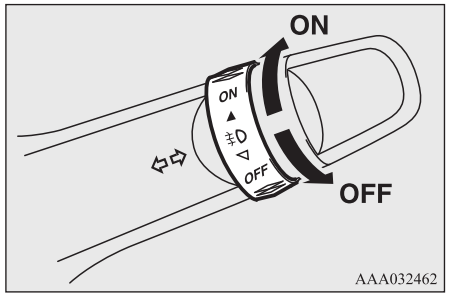
● スイッチを押して非常点滅灯を点滅させているときは，緊急制動信号システムは作動しません。
→「緊急制動信号システム」P.7-37

フロントフォグランプスイッチ

タイプ別装備

J00604500483

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにノブを上に回すと，フロントフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはノブを下に回します。



6

アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フロントフォグランプも自動消灯します。
  再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに，もう一度ノブを上に回します。

6

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604802190

注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。

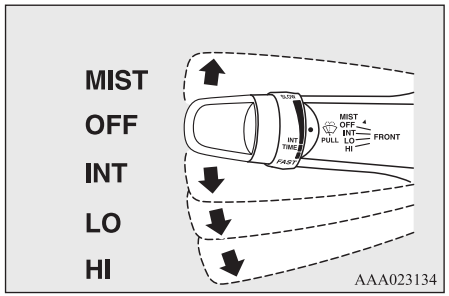
アドバイス

- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P.11-2
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪などによりワイパーブレードが途中で止まったときは，モーターの過熱を防ぐためワイパーの作動が一時的に停止することがあります。このようなときは必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチを LOCK にして積雪などを取り除いてください。
  モーターが冷えればワイパーは再び使用できるようになりますので，ワイパーが作動することを確認してからご使用ください。

フロントワイパースイッチ

J00615400176

エンジンスイッチが ON または ACC のときに使用できます。



MIST	1 回作動（ワイパーミスト機能）
OFF	停止
INT	間けつ作動（車速感応） 車速に応じてワイパーが間けつ作動します。 車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
LO	低速作動
HI	高速作動

アドバイス

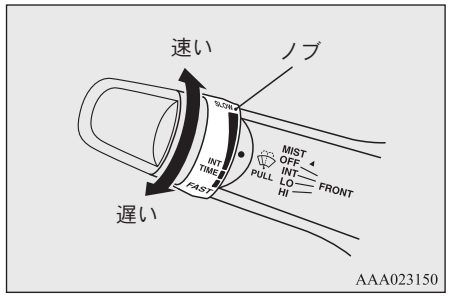
- つぎの機能を変更することができます。
  - 車速感応の機能を働かなくする。

アドバイス

- ワイパーが作動している間，ヘッドライトを自動的に点灯させる。（ライトスイッチが AUTO 位置のときのみ）
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- 後方の視界を確保するため，フロントワイパーが作動中にセレクターレバーをⓇに入れると，リヤワイパーが自動的に数回作動します。
  →「リヤワイパー / ウォッシャースイッチ」P.6-68

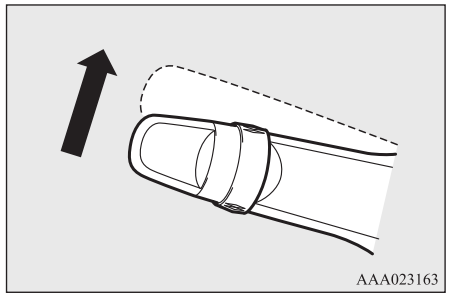
間けつ時間の調整のしかた

レバーが INT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。



ワイパーミスト機能

レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが 1 回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

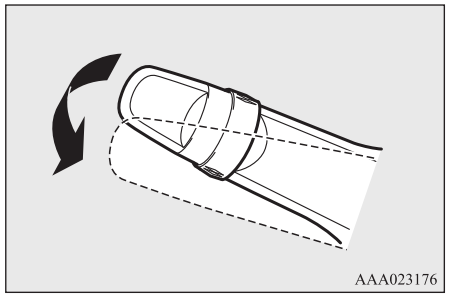


フロントウォッシャースイッチ

J00604900793

エンジンスイッチが ON または ACC のときに使用できます。
レバーを手前に引いている間，ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。さらに約 3 秒後にワイパーがもう 1 回作動します。

また，レバーを手前に引いてすぐに離すと，ウォッシャー液が数回噴射します。このときワイパーが連動して数回作動します。（インテリジェントウォッシャー）
さらに約 3 秒後にワイパーがもう 1 回作動します。
ワイパー作動中にレバー操作すると，インテリジェントウォッシャーは停止します。



アドバイス

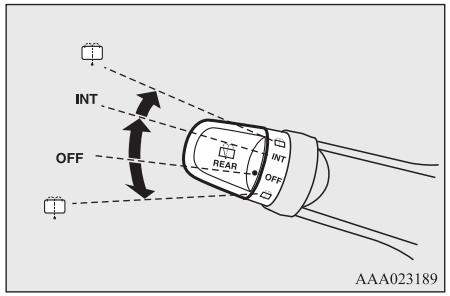
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- つぎの機能を変更することができます。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにする。
  - インテリジェントウォッシャーを働かなくする。
  - 約 3 秒後にワイパーがもう 1 回作動する機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

J00605002085

エンジンスイッチが ON または ACC のときに使用できます。



レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

INT　間けつ作動
　　数回作動し，その後約 8 秒おきに作動

OFF　停止

この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- フロントワイパーまたはリヤワイパーが作動中にセレクターレバーをⓇに入れると，リヤワイパーが自動的に数回作動します。（自動作動モード）
  リヤワイパーは自動的に作動した後，レバー先端のツマミが OFF 位置にあれば停止し，INT 位置にあれば間けつ作動に戻ります。
  また，リヤワイパーが INT 位置で作動中にセレクターレバーをⓇに入れるときだけ 自動作動モードが作動するように変更すること ができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミをの位置に回した状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- レバー先端のツマミが OFF 位置にあるとき，約 1 秒以内に INT 位置に 2 回繰り返し回して INT 位置で止めると，リヤワイパーが連続作動します。（連続作動モード）
  ツマミを OFF の位置にすると連続作動は止まります。

アドバイス

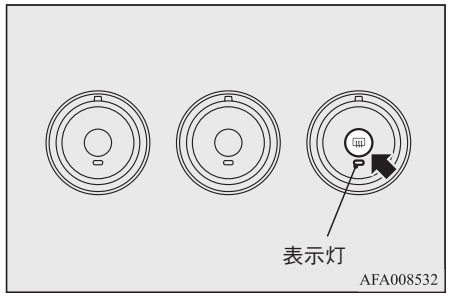
- つぎの機能を変更することができます。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605500754

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンがかかっているときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。
スイッチを押すたびに音が鳴ります。



ヒーテッドドアミラー付車は，デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーテッドドアミラー」P.7-5

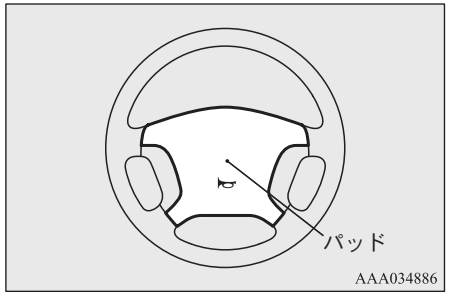
アドバイス

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  万一，スイッチを切り忘れても約 20 分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600540

ハンドルのパッドを押すとホーン（警音器）が鳴ります。



運転装置

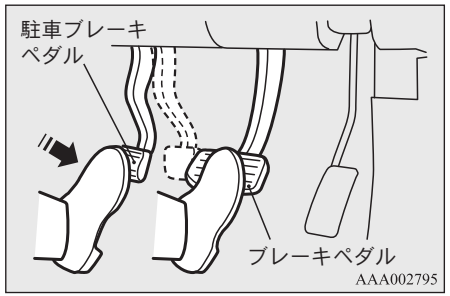
駐車ブレーキ 7-2
チルトステアリング 7-3
ルームミラー 7-3
ドアミラー 7-4
サイドアンダーミラー 7-5
エンジンスイッチ 7-6
エンジンのかけ方・止め方 7-9
ターボ車の取り扱い 7-14
ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) 7-14
燃料噴射量学習機能 7-16
NOx トラップ触媒 7-16
オートストップ＆ゴー (AS&G) 7-16
オートマチックトランスミッション 7-20
CVT 7-25
オートマチック車，CVT 車の運転のしかた 7-31
電子制御 4WD 機構 7-34
4WD 車の上手な運転 7-35
4WD 車取り扱い上の注意 7-36
緊急制動信号システム 7-37
ヒルスタートアシスト 7-37
ブレーキアシスト 7-39
アンチロックブレーキシステム (ABS) 7-39
油圧パワーステアリング 7-41
アクティブスタビリティコントロール (ASC) 7-41
クルーズコントロール（自動定速走行装置）..... 7-44
マルチアラウンドモニター 7-48

駐車ブレーキ

J00700100987

かけるときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま左足で駐車ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。



⚠注意

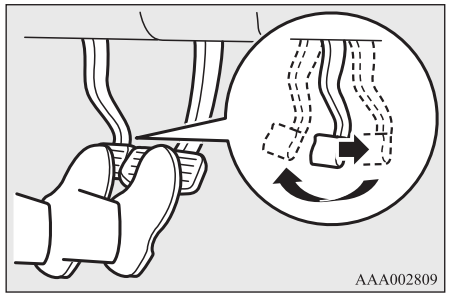
- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れてください。
- 駐車ブレーキの効きを強くするときは，ブレーキペダルをしっかりと踏んだまま，一度駐車ブレーキを解除してから再度駐車ブレーキをかけ直してください。駐車ブレーキがかかった状態で駐車ブレーキペダルを踏み込むと駐車ブレーキは解除されます。

⚠注意

- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキペダルを踏んでください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキペダルを踏むと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま，左足で駐車ブレーキペダルを踏み込みます。カチッと音がしたら駐車ブレーキペダルをゆっくりと戻します。
解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

アドバイス

- 駐車ブレーキが完全に解除されていない状態で運転すると，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。
  A タイプ

  B タイプ

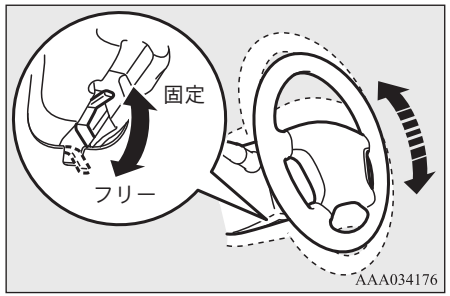
チルトステアリング

J00700200425

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
  走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ，ハンドルを上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。
調整後はハンドルを上下に動かして固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



ルームミラー

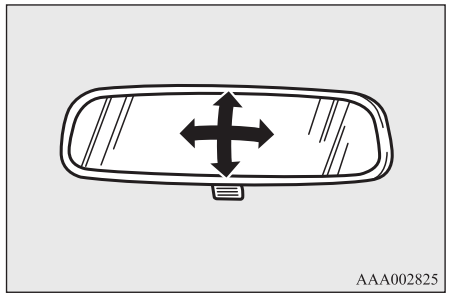
J00700300442

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
  走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

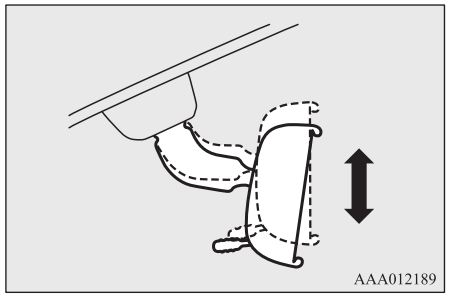
ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。



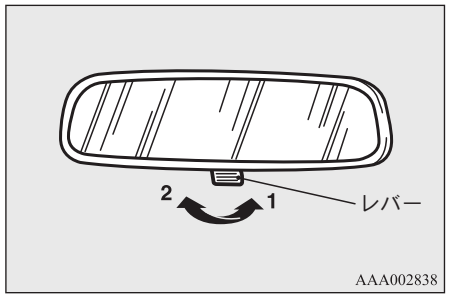
ミラーの上下位置調整

ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。



防眩切り換え

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えることができます。



1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。
2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

ドアミラー

J00700500792

ミラーの角度調整

J00718200020

⚠注意

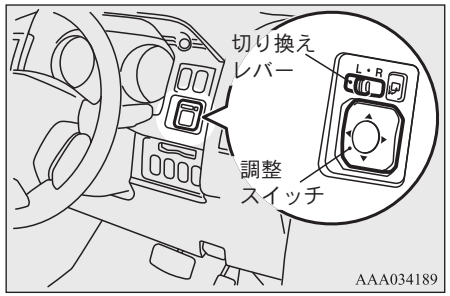
- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
   L：左側ミラーの調整
   R：右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。



ドアミラーの格納・復帰

J00718300021

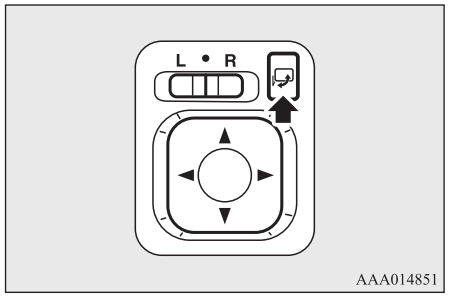
⚠注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

格納スイッチによるミラーの格納・復帰

J00718400110

エンジンスイッチがONまたはACCのとき，格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。
エンジンスイッチを切った後でも，約30秒間はミラーを格納・復帰することができます。



⚠注意

- ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが，格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
  格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- 手でミラーを動かしたり，人や物に当たってミラーが動いたあとは，格納スイッチでミラーを元の位置に戻せないことがあります。
  このようなときは，一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

格納スイッチの操作以外によるミラーの格納・復帰

J00722100020

キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使ってすべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するとミラーが自動格納・自動復帰します。

→「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P.4-12

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 運転席ドアを閉め，エンジンスイッチをONにすると自動復帰，エンジンスイッチをOFFにした後，運転席ドアを開くと自動格納する。

アドバイス

- 走行スピードが30 km/hになると自動復帰する。
- 格納スイッチ以外での操作をできなくする。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ヒーテッドドアミラー

タイプ別装備

J00706800234

エンジン回転中にリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ることができます。
ヒーターは約 20 分後に自動的に切れます。

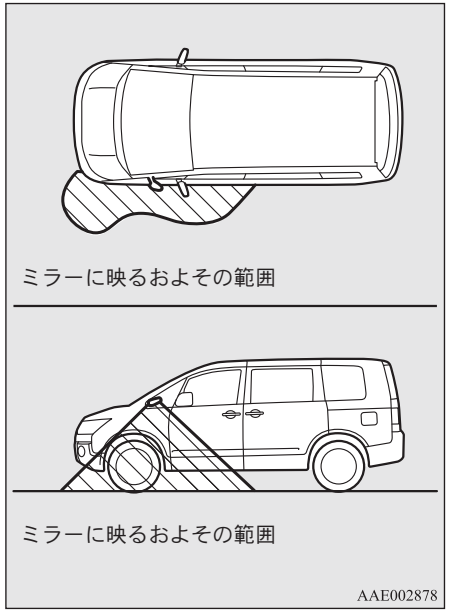
→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P.6-69

サイドアンダーミラー

J00700600197

除く，マルチアラウンドモニター付き車

発進時またはごく低速時に助手席側の車両前方および車両側面を確認するときに使用します。



⚠注意

- 後方の確認はルームミラー，ドアミラーで行ってください。
- 車の直前，後方および左斜め前方は運転席からでは十分に確認しにくい箇所です。駐車場などで前進または後退を行うときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況をよく確認して車を動かしてください。
- 信号待ちなどでいったん停止したときでも周りの状況に注意し，安全を十分に確認してから発進してください。

サイドアンダーミラーの倒し方，起こし方

サイドアンダーミラーを手で車両後方に倒すことができます。
起こすときは，サイドアンダーミラーが固定する位置まで戻します。

⚠注意

- サイドアンダーミラーを倒したままで運転しないでください。

アドバイス

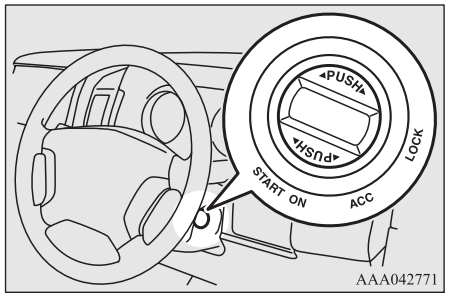
- サイドアンダーミラーの鏡面は固定式です。鏡面を動かしてミラーの調整はできません。

エンジンスイッチ

J00700802151

キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

J00731700035



各位置の働き

J00731800036

LOCK (PUSH OFF)	ハンドルがロックされる位置
LOCK (PUSH ON)	車室内でのIDコードの照合が一致したとき，ハンドルロックが解除されてエンジンスイッチを回すことができます

ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらエンジンスイッチから手を離してください。自動的に ON の位置へ戻ります

アドバイス

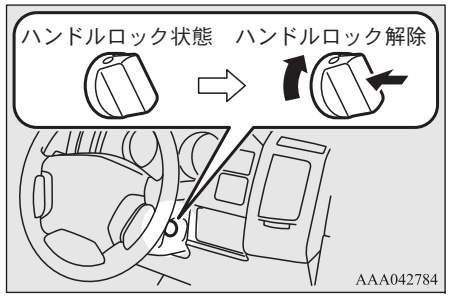
- エンジン停止時はエンジンスイッチを LOCK (PUSH OFF) にしてください。エンジンスイッチを ON または ACC のままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンスイッチがACCのままで約30分経過すると，ACC の位置で作動する装備の電源を自動的にカットします。
→「ACC 電源オートカット機能」P.7-9

アドバイス

- キーレスオペレーションキーをいったん車外に持ち出した後は，エンジンスイッチをSTARTに回してもエンジンがかからないことがあります。このようなときは，エンジンスイッチを確実にLOCK (PUSH OFF) に戻し，再度エンジンをかけます。
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。

■ LOCK (PUSH OFF) から ACC に回すときは

エンジンスイッチを押しながらゆっくりまわします。



アドバイス

- エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) から ACC に回らないときは，再度エンジンスイッチを押し，ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回します。
- キーレスオペレーションキーが車室内にないとエンジンスイッチを回すことはできません。
→「エンジンを始動するときの作動範囲」P.4-7

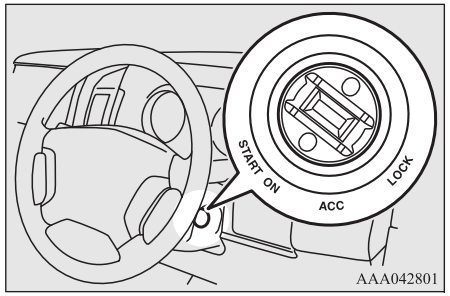
■ ACC から LOCK に回すときは

J00731900037

セレクターレバーをⓅに入れ，LOCK までゆっくり押しながら回します。
セレクターレバーがⓅでないとエンジンスイッチを LOCK まで回すことはできません。

エマージェンシーキーを使って操作するときは

J00732000022



各位置の働き

J00732100023

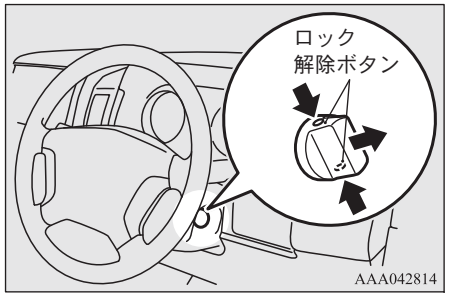
LOCK	ハンドルがロックされる位置 エマージェンシーキーが抜き差しできます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，アクセサリーソケットなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらエンジンスイッチから手を離してください。自動的に ON の位置へ戻ります

アドバイス

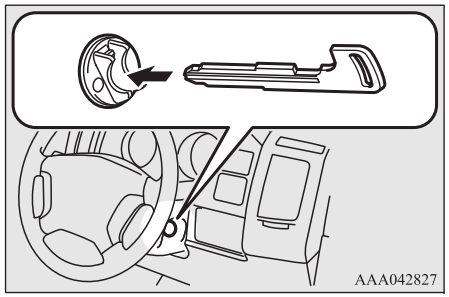
- エンジン停止時はエンジンスイッチを LOCK にしてください。エンジンスイッチを ON または ACC のままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンスイッチがACCのままで約30分経過すると，ACC の位置で作動する装備の電源を自動的にカットします。
  →「ACC 電源オートカット機能」P.7-9
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。

■ LOCK から ACC に回すときは

1. キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り出します。
   →「エマージェンシーキー」P.4-12
2. ロック解除ボタンを押しながらエンジンスイッチのカバーを取り外します。



3. エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差し込み，押しながら回します。



アドバイス

- エンジンスイッチがLOCKからACCに回らないときはハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回します。

■ACC から LOCK に回すときは

J00732200024

1. セレクターレバーをⓅに入れ，LOCK まで押しながら回して抜きます。
2. エンジンスイッチのカバーを取り付けます。
3. エマージェンシーキーをキーレスオペレーションキーに戻します。

アドバイス

- エマージェンシーキーを使用しないときは必ずエンジンスイッチのカバーを取り付けておいてください。エンジンスイッチのキー穴にほこりなどが入り故障の原因になるおそれがあります。

ACC 電源オートカット機能

J00713800122

エンジンスイッチが ACC のままで約 30 分経過すると，オーディオなど ACC の位置で作動する装備の電源を自動的にカットする機能です。
ACCの位置からエンジンスイッチを操作すると，再び電源が入ります。

アドバイス

- つぎの通り機能を変更することができます。
  - 電源カットするまでの時間を約 60 分間に変更する。
  - 電源カットの機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

エンジンのかけ方・止め方

J00717101162

警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

注意

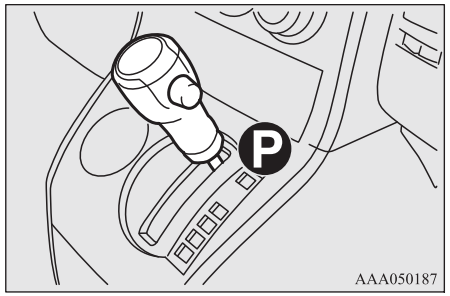
- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは，高速走行を避けてただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  →「エンジン警告灯」P.6-57

アドバイス

- バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため, START にして 10 秒以上スターチングモーターを回さないでください。10 秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，いったんエンジンスイッチを LOCK に戻し，2 ～ 3 秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- エンジンルームから，エンジン始動直後に特有の音が聞こえることがあります。エンジンが暖まれば音は止まります。
- 外気温が低いときは，暖房効果を高めるために，通常の走行時よりもエンジン回転数が高くなることがありますが異常ではありません。

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるときは

1. 正しい運転姿勢がとれるように，シートを調整します。
   →「フロントシート」P.5-6
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。



アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

4. ブレーキペダルを右足でしっかり踏みます。

警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

5. つぎの方法でエンジンをかけます。

ガソリン車

エンジンスイッチを LOCK (PUSH OFF) から LOCK (PUSH ON) に押しながら START にゆっくり回してエンジンをかけます。

アドバイス

- エンジンをかけている途中でエンジンスイッチから手をはなしても，エンジン始動のために数秒間スターチングモーターが回り続けます。
- エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
  - ブレーキペダルを踏んだままアクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

ディーゼル車

エンジンが暖かいとき

1. エンジンスイッチを LOCK (PUSH OFF) から LOCK (PUSH ON) に押しながら ON の位置まで回します。
2. メーター内のグロー（予熱）スタート表示灯が消灯していることを確認します。
   →「グロー（予熱）スタート表示灯」P.6-56
3. アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。

エンジンが冷えているとき

1. エンジンスイッチを LOCK (PUSH OFF) から LOCK (PUSH ON) に押しながら ON の位置まで回します。
   エンジンの予熱が始まり，メーター内のグロー（予熱）スタート表示灯が点灯します。
   →「グロー（予熱）スタート表示灯」P.6-56
2. グロー（予熱）スタート表示灯が消灯するまで，エンジンスイッチを ON のまま保持します。
   エンジンの予熱が完了すると，グロー（予熱）スタート表示灯は自動的に消灯します。
3. アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。

アドバイス

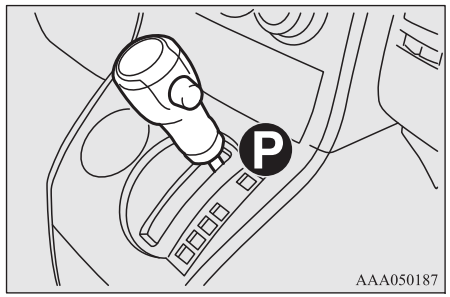
- エンジンをかけている途中でエンジンスイッチから手をはなしても，エンジン始動のために数秒間スターチングモーターが回り続けます。
- エンジン冷却水の温度が低いほど，グロー（予熱）スタート表示灯の点灯時間が長くなります。

アドバイス

- グロー（予熱）スタート表示灯が消灯した後，しばらくの間エンジンをかけなかったときは，エンジンスイッチを ACC に戻し，再度グロープラグの予熱を行ってからエンジンをかけてください。

エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるときは

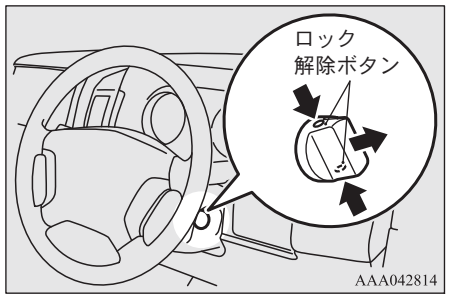
1. 正しい運転姿勢がとれるように，シートを調整します。
   →「フロントシート」P.5-6
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがⓅにあることを確認します。



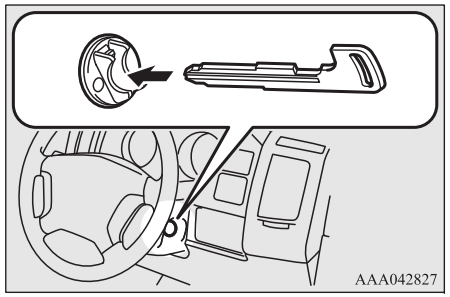
アドバイス

- セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

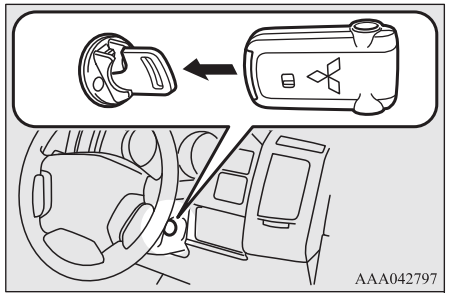
4. ロック解除ボタンを押しながらエンジンスイッチのカバーを取り外します。



5. エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差し込みます。



6. エマージェンシーキーにキーレスオペレーションキーを差し込みます。



7. ブレーキペダルを右足でしっかり踏みます。

⚠警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

8. つぎの方法でエンジンをかけます。

アドバイス

- エマージェンシーキーにキーホルダーなどを取り付けていると，キーレスオペレーションキーをエマージェンシーキーに差し込めなくなり，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
  エマージェンシーキーを使用してエンジンをかけるときは，キーホルダーなどを取り外してから使用してください。

ガソリン車

1. エンジンスイッチを押しながらSTART に回してエンジンをかけます。
2. エンジンがかかったら，キーレスオペレーションキーをエマージェンシーキーから取り外します。

⚠警告

- エンジンがかかった後は，必ずエマージェンシーキーからキーレスオペレーションキーを取り外してください。取り付けたままにしておくと，キーレスオペレーションキーが足元に落ち，ペダル操作を妨げるおそれがあります。
  また，運転席 SRS ニーエアバッグが膨らむ際，正常に膨らむのを妨げたり，キーレスオペレーションキーが飛ばされて重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- エンジンをかけている途中でエンジンスイッチから手をはなしても，エンジン始動のために数秒間スターチングモーターが回り続けます。
- エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
  - ブレーキペダルを踏んだままアクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。

アドバイス

- エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

ディーゼル車

エンジンが暖かいとき

1. エンジンスイッチを押しながら　ON の位置まで回します。
2. メーター内のグロー（予熱）スタート表示灯が消灯していることを確認します。
   →「グロー（予熱）スタート表示灯」P.6-56
3. アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。
4. エンジンがかかったら，キーレスオペレーションキーをエマージェンシーキーから取り外します。

エンジンが冷えているとき

1. エンジンスイッチを押しながら ON の位置まで回します。
   エンジンの予熱が始まり，メーター内のグロー（予熱）スタート表示灯が点灯します。
   →「グロー（予熱）スタート表示灯」P.6-56
2. グロー（予熱）スタート表示灯が消灯するまで，エンジンスイッチを ON のまま保持します。
   エンジンの予熱が完了すると，グロー（予熱）スタート表示灯は自動的に消灯します。
3. アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。
4. エンジンがかかったら，キーレスオペレーションキーをエマージェンシーキーから取り外します。

アドバイス

- エンジンをかけている途中でエンジンスイッチから手をはなしても，エンジン始動のために数秒間スターチングモーターが回り続けます。
- エンジン冷却水の温度が低いほど，グロー（予熱）スタート表示灯の点灯時間が長くなります。
- グロー（予熱）スタート表示灯が消灯した後，しばらくの間エンジンをかけなかったときは，エンジンスイッチを ACC に戻し，再度グロープラグの予熱を行ってからエンジンをかけてください。

エンジンの止め方

J00717300082

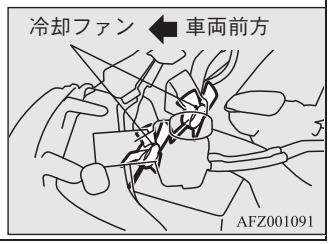
1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをⓅに入れてから，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠警告

- 緊急を要する場合以外は走行中にエンジンを止めないでください。ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ディーゼル車は，エンジンを止めてもエンジンルーム内の温度が高い場合，もしくはエンジン停止直前にDPFで集めたすすの燃焼・除去処理中または処理終了直後の場合には冷却ファンがしばらくの間は作動し続けます。
  そのため，エンジンを止めてからも冷却ファンの作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
  一定時間作動した後，冷却ファンは自動的に停止します。
  →「ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF)」P.7-14



ターボ車の取り扱い

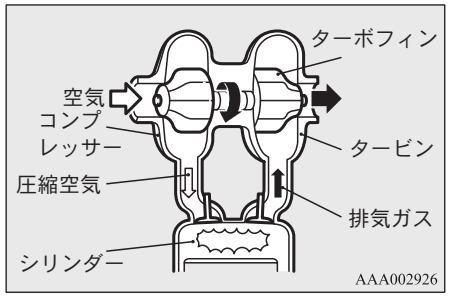
J00701200291

ディーゼル車

⚠注意

- エンジンをかけた直後は，空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は，低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

ターボとは ...



正式にはターボチャージャーといい，シリンダー内へ大量の空気を過給してより大きなパワーを引きだします。ターボフィンは超高速で回転し，高温下で使われ，潤滑と冷却はエンジンオイルで行っています。エンジンオイルは定められた時期に交換しないとターボ軸受部の固着，異音の発生などの原因となります。

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF)

J00721000022

ディーゼル車

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) は，ディーゼルエンジンの排気ガスに含まれるすすを燃焼・除去する装置です。
DPF で集めたすすは，運転中に自動的に燃焼・除去されます。
ただしつぎのような場合，燃焼・除去されないことがあります。

- 低速で長時間走行を続けたとき。
- 短時間または短距離走行を繰り返したとき。

⚠警告

- 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
  走行後の DPF および排気管は，高温になっているため，火災になるおそれがあります。

⚠注意

- 指定以外の燃料およびエンジンオイルを補給しないでください。また，燃料添加剤や水抜き剤などを使用しないでください。DPF に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  →「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P.14-2
  →「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P.14-3

アドバイス

- 運転中に自動ですすを燃焼・除去しているとき，排気ガスの臭いが変化したりアイドル回転数が高くなることがありますが異常ではありません。

DPF 警告表示

J00721101046

DPF 警告表示

警告表示したときは，つぎの方法で処置してください。

DPF 警告表示したときは

DPF で集めたすすを，燃焼・除去する必要があります。
DPF に集めたすすの燃焼・除去を促進させるため，低速での連続走行や短距離走行の繰り返しを避け，つぎのことを目安に走行してください。

< 走行の目安 >
水温計の中間近くで指針が安定した状態で，20km/h 以上で約 30 分間走行する。

通常であれば数分後に，DPF にたまったすすの燃焼・除去を開始します。
燃焼・除去中は，グロー（予熱）スタート表示灯が点灯します。通常 30 分程度の走行で DPF 警告表示とグロー（予熱）スタート表示灯が消え，燃焼・除去を終了します。
→「グロー（予熱）スタート表示灯」P.6-56

上記の条件で走行しても DPF 警告表示したままのときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

⚠注意

- 必ず目安の条件で連続走行をしなければならないわけではありません。常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。

アドバイス

- DPF 警告表示しても，すぐに問題があるわけではありません。
  警告表示してからも, 50km 以内の距離であればそれまで通りの使用を続けても問題ありません。

DPF 警告表示とエンジン警告灯が同時に表示 / 点灯したときは

エンジン警告灯

DPF 警告表示

DPF 関連システムに何らかの異常が発生しています。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- DPF 警告表示とエンジン警告灯が同時に表示 / 点灯したまま走行を続けると, エンジンの不調および DPF の破損につながるおそれがあります。

燃料噴射量学習機能

J00721200011

ディーゼル車

排気ガスの濃度およびエンジン音を低く抑えておくために，燃料噴射量の学習を自動的に行ないます。
学習中，エンジン音がわずかに変化しますが異常ではありません。

NOx トラップ触媒

J00729000015

ディーゼル車

NOx（窒素酸化物）トラップ触媒は，ディーゼルエンジンの排気ガスに含まれる NOx を吸蔵する触媒です。
NOx 吸蔵機能を維持するために，走行中定期的に燃料を供給し，吸蔵した NOx を無害な N_2（窒素）に浄化します。
浄化中，瞬間燃費表示やエンジン音が変化しますが，異常ではありません。

オートストップ＆ゴー (AS&G)

タイプ別装備

J00723000013

オートストップ＆ゴー (AS&G) は，信号待ちや渋滞などで停車する際に，エンジンスイッチを使用することなく自動的にエンジンを停止および再始動して，排気ガスの排出を削減するとともに燃費効率を向上させます。

⚠注意

- 車を長時間停車させたり，車から離れるときは，エンジンスイッチを LOCK にしてエンジンを停止させてください。

AS&G を起動するには

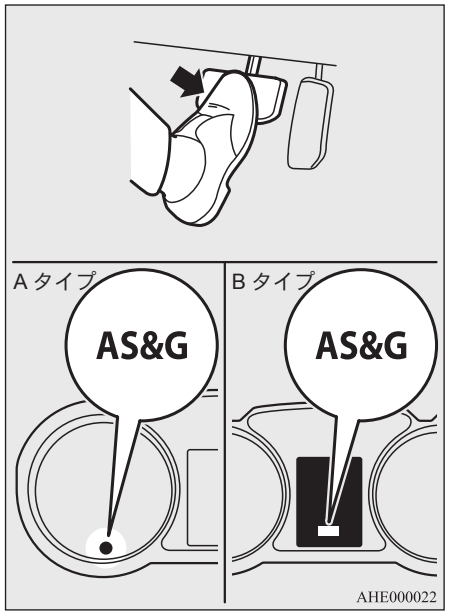
J00723100014

AS&G は，エンジンスイッチを ON にすると自動的に起動します。
AS&G を非作動にするには AS&G OFF スイッチを押します。詳しくは「AS&G を非作動にするには」をお読みください。→ P.7-19

エンジンを自動で停止させるには

J00723201520

1. 走行中にブレーキペダルを踏み込んで，停車させます。
2. 完全に停車し，ブレーキペダルがしっかり踏み込まれていると，AS&G表示／表示灯が点灯して，エンジンが自動的に停止します。



アドバイス

- エンジンが自動的に停止すると，運転操作に変化が起きます。つぎの点に十分注意してください。
  - パワーアシストが作動しなくなり，ハンドルが重くなります。

⚠注意

- エンジンが自動的に停止しているときは，車外に出ようとしないでください。運転者がシートベルトを外したり，運転席ドアを開けたりすると，エンジンが自動的に再始動するため，車両が動き出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのようなときは，車を停止しても AS&G は作動せず，エンジンは自動的に停止しません。
  - 運転者がシートベルトを着用していないとき
  - 運転席のドアが開いているとき
  - 駐車ブレーキをかけているとき
  - エンジンフードが開いているとき
  - エンジンが自動的に再始動してから，速度が 5km/h 以上になっていないとき
  - ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
  - ブレーキペダルを繰り返し踏み込んだり，通常より強めに踏み込んだりして，ブレーキの負圧が低いとき
  - 勾配が急な場所で停車したとき
  - エンジンスイッチをONからSTARTに回してエンジンをかけてから，30 秒未満のとき
  - エンジンが自動的に再始動してから 10 秒以内に再停車したとき

アドバイス

- セレクターレバーがⒹ以外のとき
- エンジン冷却水の温度が低いとき
- 車外の気温が低いとき
- 車内の温度が高いときに，エアコンを使用しているとき
- エアコンの吹き出し口切り換えダイヤルが（曇り取り）の位置にあるとき
  詳しくは「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」をお読みください。→P.9-11
- 温度調整ダイヤルを最高温度または最低温度に設定して，エアコンを AUTO 作動させているとき
- リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）や電装品が作動している場合や，エアコンの風量調整ダイヤルが風量強に設定されている場合など，消費電力が大きいとき
- バッテリー性能が劣化などの理由により低下しているときや，バッテリー上がりなどにより充電した直後に走行したとき
- エンジン警告灯が点灯しているとき
- AS&G OFF表示／表示灯が点滅しているとき
- 警告表示が点灯したとき
- 作動表示／表示灯が点灯しているとき
- ハンドル操作をしているとき

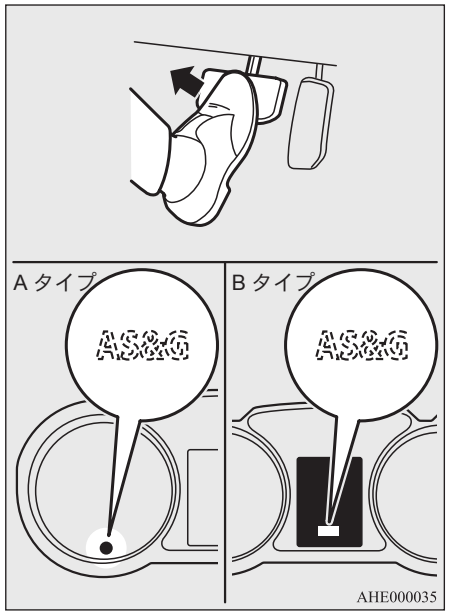
アドバイス

- エアコン作動中にエンジンが自動停止すると，エアコンコンプレッサーが停止し送風のみとなるため，ウインドウガラスが曇ることがあります。
  ウインドウガラスが曇ったときは，吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）の位置にして，エンジンを再始動させてください。
  →「吹き出し口の切り換え」P.9-3
- エンジンが停止するたびにウインドウガラスが曇る場合は，AS&G OFF スイッチを押して AS&G を非作動にすることをおすすめします。
  →「AS&G を非作動にするには」P.7-19
- 車外の温度が高いときにエアコンが作動しているときは，温度調整ダイヤルを高めに設定すると，エンジンの自動停止時間が延長されます。

エンジンを自動で再始動させるには

J00723301257

ブレーキペダルから足を離すと，AS&G表示／表示灯が消灯して，エンジンが自動的に再始動します。



アドバイス

- エンジンを自動で再始動させたときに，ブレーキをかけた状態を一時的に保持して，クリープ現象などによる車両の不意な飛び出しを防ぐ機能が装備されています。セレクターレバーをⓃにすると，機能は解除されます。
  機能作動中に，車体下から作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これは機能が正常に作動していることを示すもので，異常ではありません。
- エンジンが自動的に再始動しない場合やエンストした場合，充電警告灯およびエンジン警告灯が点灯して，警告ブザーが鳴ります。この状態になると，ブレーキペダルから足を離してもエンジンは自動で再始動しません。
  ブレーキペダルを踏み込みながら，セレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチを START に回して，エンジンを手動で始動してください。詳しくは「エンジンのかけ方・止め方」をお読みください。
  →P.7-9

⚠注意

- つぎのようなときは，ブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが自動的に再始動します。エンジンの再始動時に思わぬ事故につながるおそれがありますので，十分ご注意ください。

⚠注意

- エンジンが自動停止してから約3分経過したとき
- 坂道を惰性で下るなど，車両が動き出したとき
- ブレーキペダルを繰り返し踏み込んだり，通常より強めに踏み込んだりして，ブレーキの負圧が低いとき
- エンジン冷却水の温度が低いとき
- セレクターレバーをⓇに入れたとき
- エアコンスイッチを押して，エアコンを作動させたとき
- 温度調整ダイヤルを使用して，エアコンの設定温度を大きく変更したとき
- エアコンの吹き出し口切り換えダイヤルが（曇り取り）の位置にあるとき
  詳しくは「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」をお読みください。→P.9-11
- 温度調整ダイヤルを最高温度または最低温度に設定して，エアコンを AUTO 作動させているとき
- エアコンが作動しているときに，車内の温度が上昇して，エアコンのコンプレッサーが作動したとき
- リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）や電装品が作動している場合や，エアコンの風量調整ダイヤルが風量強に設定されている場合など，消費電力が大きいとき
- バッテリーの充電量が低下したとき
- ハンドル操作をしたとき

⚠注意

- 運転者がシートベルトを外したとき
- 運転席のドアを開けたとき

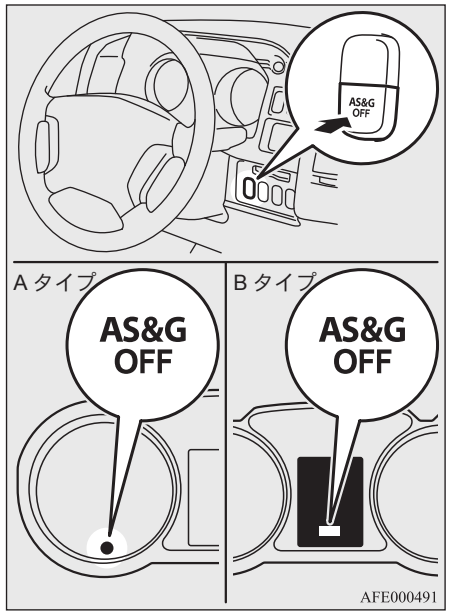
アドバイス

- エンジンが自動停止しているときにブレーキペダルを強く踏み込み，セレクターレバーをすばやくⒹからⓅへ操作して，ブレーキペダルから足を離すと，AS&G表示／表示灯が点滅し，エンジン停止状態を保持することができます。
  この状態から，エンジンを自動で再始動させるときは，もう一度ブレーキペダルを踏み込みます。
- エンジンが自動的に停止しているときにエンジンフードを開けると，AS&G表示／表示灯が点滅してブザーが鳴り，エンジンは自動で再始動しません。再始動する場合は，ブレーキペダルを踏み込みながら，セレクターレバーをⓅに入れ，エンジンスイッチを START に回して，エンジンを手動で始動してください。詳しくは「エンジンのかけ方・止め方」をお読みください。
  →P.7-9
- エンジンが自動的に再始動するとき，一時的にオーディオの音量が下がることがありますが，故障ではありません。
- エンジンが自動で停止している間，一時的にエアコンの風量が変化することがありますが，故障ではありません。

AS&G を非作動にするには

J00723400046

AS&G が起動しているときに AS&G OFF スイッチを押すと，AS&G OFF表示／表示灯が点灯して AS&G が非作動状態になります。もう一度 AS&G OFF スイッチを押すと，AS&G OFF表示／表示灯が消灯して，AS&G が再度起動します。



アドバイス

- この表示／表示灯は，エンジンスイッチを ON にした時も，数秒間点灯します。
- AS&G を使ってエンジンを自動停止させているときは，AS&G OFF スイッチを押しても，AS&G を非作動にすることはできません。

走行中に AS&G OFF 表示／表示灯が点滅したときは

J00723501262

走行中にAS&G OFF表示／表示灯が点滅したときは，AS&G に異常があるため，AS&G が正常に作動しません。

AS&G OFF表示／表示灯が点滅したまま消えないときは，ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

オートマチックトランスミッション

タイプ別装備

J00701900272

INVECS-II　スポーツモード 6A/T

INVECS: Intelligent & Innovative Vehicle Electronic Control System

INVECS-II スポーツモード 6A/T は，路面や走行状況に応じて，適切にシフトチェンジを行い，低燃費でスムーズな走行を実現します。

上り坂では

アクセルペダルを戻しても不必要なシフトアップを防止し，スムーズな走りを実現します。

下り坂では

状況に応じてシフトチェンジのタイミングを変更して，運転者のフットブレーキを踏む回数を低減します。

⚠注意

- エンジンブレーキの効きが弱いと感じた時は，必要に応じてフットブレーキを踏んだり，スポーツモードを使ってシフトダウンしてください。なお，滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップする恐れがありますので，常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

スポーティ走行では

急加速，急減速をくりかえすスポーティな走行を行うと，通常走行に比べてシフトアップしにくくなります。これにより大きな駆動力で走行することができます。

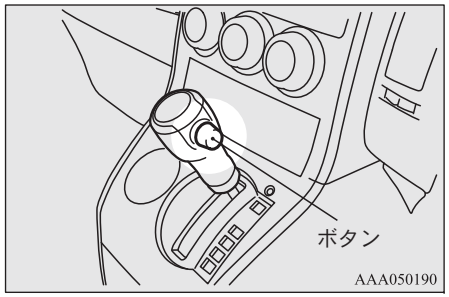
スポーツモード

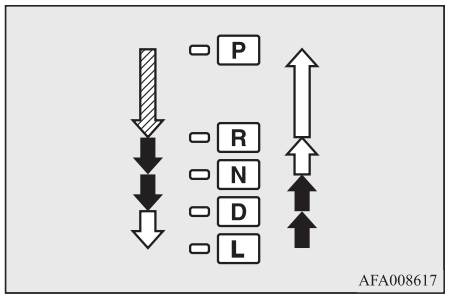
「スポーツモード」では，マニュアルトランスミッション感覚でスポーティな運転を楽しむことができます。
→「スポーツモード」P.7-23

「安全なドライブのために：オートマチック車，CVT 車の取り扱い」も合わせてお読みください。
→P.2-11

セレクターレバーの動かし方

J00702001596





⇩ ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押して操作します。

⬇ ボタンを押さずに操作します。

⇩ ボタンを押したまま操作します。

⚠警告

- ⬇の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤ってⓅ, Ⓡに入れてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクターレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，エンジンスイッチが LOCK または ACC 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- ⇩の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ, ⒹからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

セレクターレバーをⓅから操作できないときは

万一，エンジンスイッチが ON の位置でブレーキペダルを踏んだ状態でも，Ⓟから他の位置に操作できないときは，バッテリー上がりやシフトロック装置の故障が考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
また，お車を移動させる必要がある場合はつぎの手順でセレクターレバーを操作してください。

1. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンをかけている場合は，エンジンを切ります。
3. ブレーキペダルを右足で踏みます。
4. エンジンスイッチをACCに回します。

アドバイス

- バッテリー上がりのときはエマージェンシーキーを使って，エンジンスイッチをACC に回します。

5. シフトロック解除ボタンを押しながらセレクターレバーをⓃに入れます。

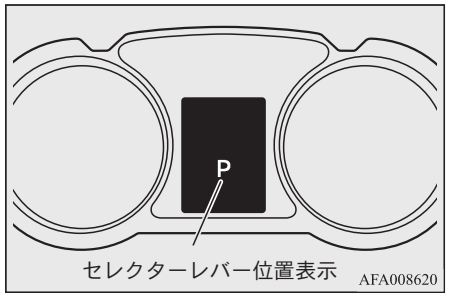
アドバイス

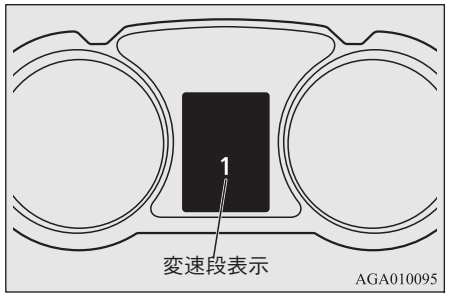
- シフトロック解除ボタンが押しにくい場合は，先の細い物（ドライバーなど）を使って押してください。

セレクターレバー位置表示灯

J00702100141

セレクターレバーの位置をマルチインフォメーションディスプレイに表示します。
スポーツモードで走行中は変速段を表示します。





警告表示

J00702301065

マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたときは，つぎの方法で処置してください。

ⓘ警告表示しているとき

オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなっています。
車を安全な場所に止めて，セレクターレバーをⓅに入れてエンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。しばらくしたらⓘ警告表示が消えていることを確認します。表示が消えればもとのように走行できます。
警告表示が消えないときは，ただちに三菱自動車販売会社にご連絡ください。

ⓘ警告表示しているとき

トランスミッションに何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

セレクターレバーの位置・働き

J00702501487

P	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。 Ⓟでのみエンジンスイッチを LOCK まで回すことができます。
R	（リバース） 後退させるとき	Ⓡにするとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のため Ⓟで行ってください。
D	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで自動的に変速されます。 （1 速から 6 速まで自動的に変速されます。）
L	（ロー） 急な下り坂走行	強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。

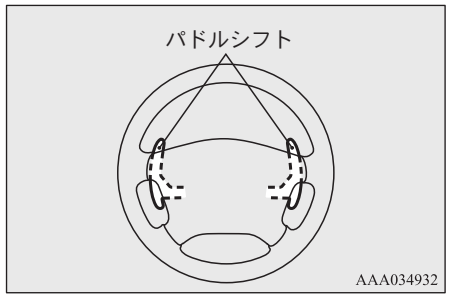
⚠警告

- ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

スポーツモード

J00702600250

スポーツモードでは，パドルシフトを操作するだけで，ハンドルから手を離さずに素早くシフトチェンジすることができます。



マニュアルトランスミションと違って，アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。

カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速とすばやいコーナーの立ち上がりなど，スポーティなドライブを楽しむことができます。

⚠注意

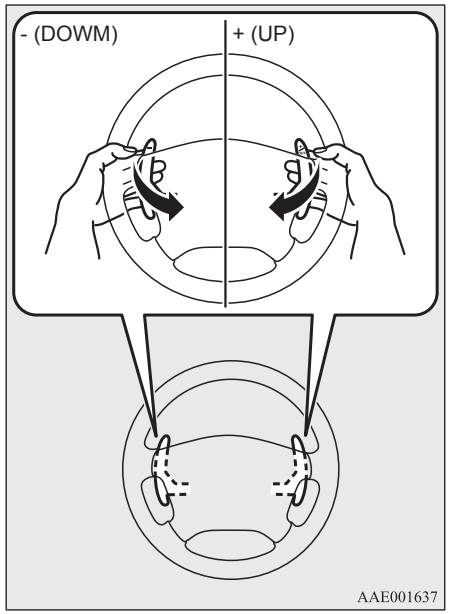
- スポーツモードで走行中は，道路状況に合わせて，エンジン回転がレッドゾーンに入らないよう適切にシフトチェンジしてください。
- 滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップする恐れがありますので，常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

⚠注意

- 左右のパドルシフトを同時に操作すると，シフトチェンジしないことがあります。

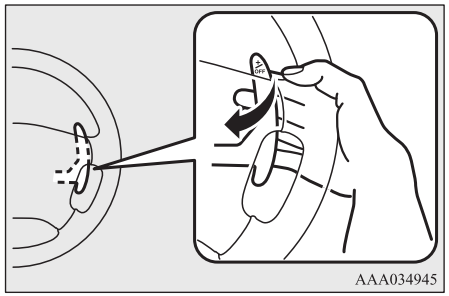
スポーツモードを選択するときは

セレクターレバーがⒹまたはⒶの位置で走行中にパドルシフトを手前に引くことで，スポーツモードが選択されます。



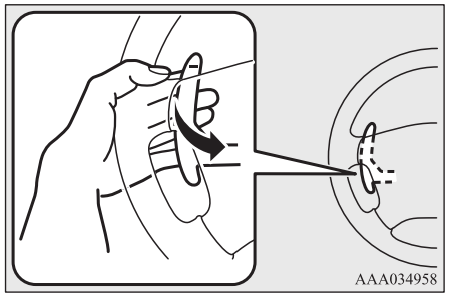
シフトアップするときは

パドルシフトの +(UP) 側を引くごとに 1 段ずつシフトアップします。



シフトダウンするときは

パドルシフトの - (DOWN) 側を引くごとに 1 段ずつシフトダウンします。

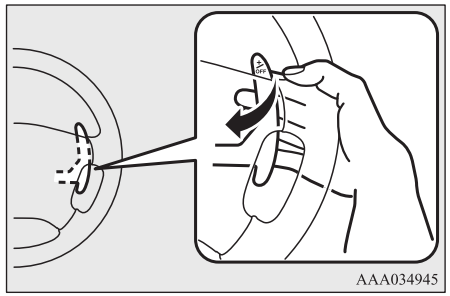


アドバイス

- 1 速から 6 速の前進しか選択できません。後退，駐車するときはセレクターレバーを Ⓡ, Ⓟに入れてください。
- スポーツモードで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし，停車前に 1 速に入ります。
- パドルシフトを連続して操作すると変速段が連続して切り換わります。
- 滑りやすい路面での発進性を良くするため，停止中に + (UP) 側へ 1 回操作すると 2 速で発進できます。- (DOWN) 側へ操作すると 1 速に戻ります。
- 走行性能を確保するため，車速によっては + (UP) 側へ操作してもシフトアップしない場合があります。また，エンジンの過回転を防止するため，車速によっては - (DOWN) 側へ操作してもブザーが鳴ってシフトダウンしない場合があります。
- エンジン回転数がレッドゾーン付近まで上昇すると，自動的にシフトアップすることがあります。

Ⓓ走行またはⓁ走行に戻すときは

パドルシフトの +(UP) 側を 2 秒以上手前に引くと，セレクターレバー位置表示灯がスポーツモードを選択する前の表示（ⒹまたはⓁ）に切り換わり，Ⓓ走行またはⓁ走行に戻ります。



アドバイス

- セレクターレバーをⒹの位置に入れてスポーツモードを選択しているときは，停車すると自動的にⒹ走行へ戻ります。
- セレクターレバーをⓁの位置に入れてスポーツモードを選択しているときは，停車してもスポーツモードが選択されたままⓁ走行へは戻りません。
- スポーツモード走行中にセレクターレバーをⒹからⓁまたはⓁからⒹへ操作すると，スポーツモードが解除され通常のⒹ走行またはⓁ走行に切り換わります。

CVT

タイプ別装備　J00701401476

INVECS-III CVT

INVECS: Intelligent & Innovative Vehicle Electronic Control System

CVT: Continuously Variable Transmission

INVECS-III CVT は，路面や走行状況に応じて，常に適切な変速比を無段階に自動選択し，低燃費で変速ショックのないスムーズな走行を実現します。

上り坂では

アクセルペダルを戻しても不必要なシフトアップを防止し，スムーズな走りを実現します。

下り坂では

状況に応じて変速比を変更して，運転者のフットブレーキを踏む回数を低減します。

⚠注意

- エンジンブレーキの効きが弱いと感じた時は，必要に応じてフットブレーキを踏んだり，スポーツモードを使ってシフトダウンしてください。なお，滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップする恐れがありますので，常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

7

スポーティ走行では

急加速，急減速をくりかえすスポーティな走行を行うと，通常走行に比べてシフトアップしにくくなります。これにより大きな駆動力で走行することができます。

スポーツモード

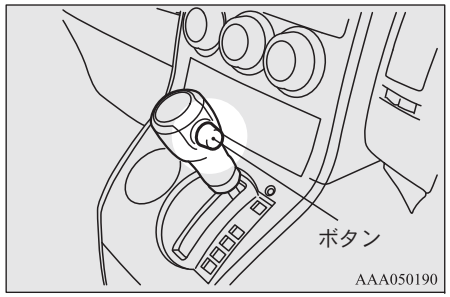
タイプ別装備

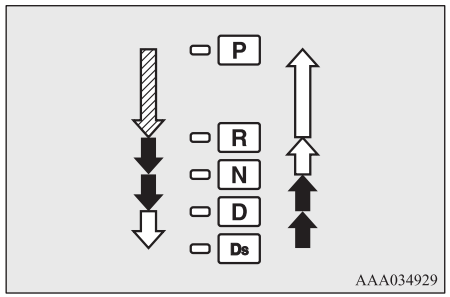
「スポーツモード」では，マニュアルトランスミッション感覚でスポーティな運転を楽しむことができます。
→「スポーツモード」P.7-29

「安全なドライブのために：オートマチック車，CVT 車の取り扱い」も合わせてお読みください。
→P.2-11

セレクターレバーの動かし方

J00701501679





⇩ ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押して操作します。

⬇ ボタンを押さずに操作します。

⇩ ボタンを押したまま操作します。

⚠警告

- ⬇の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤ってⓅ，Ⓡにいれてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクターレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，エンジンスイッチが LOCK または ACC 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- ⇩の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ，ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

セレクターレバーをⓅから操作できないときは

万一，エンジンスイッチが ON の位置でブレーキペダルを踏んだ状態でも，Ⓟから他の位置に操作できないときは，バッテリー上がりやシフトロック装置の故障が考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
また，お車を移動させる必要がある場合はつぎの手順でセレクターレバーを操作してください。

1. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンをかけている場合は，エンジンを切ります。
3. ブレーキペダルを右足で踏みます。
4. エンジンスイッチをACCに回します。

アドバイス

- バッテリー上がりのときはエマージェンシーキーを使って，エンジンスイッチをACC に回します。

5. シフトロック解除ボタンを押しながらセレクターレバーをⓃに入れます。

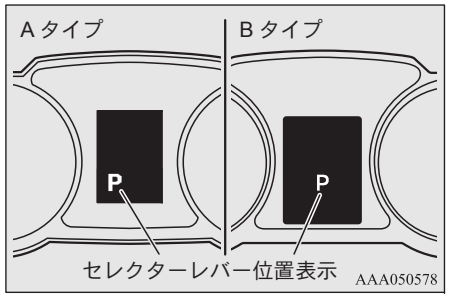
アドバイス

- シフトロック解除ボタンが押しにくい場合は，先の細い物（ドライバーなど）を使って押してください。

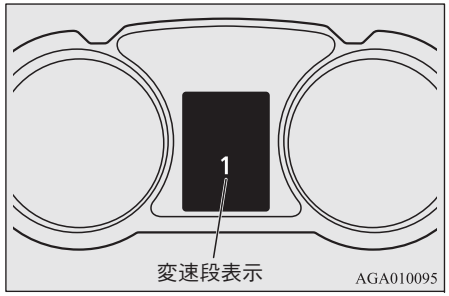
セレクターレバー位置表示

J00701600413

セレクターレバーの位置をマルチインフォメーションディスプレイに表示します。
また，スポーツモード付き車は，スポーツモードで選択した変速段を表示します。



スポーツモード付き車



警告表示

J00712201429

A タイプ

B タイプ

マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたときは，つぎの方法で処置してください。

ⓘ警告表示しているとき

オートマチックトランスミッション(CVT)オイルの温度が高くなっています。高くなったオートマチックトランスミッション (CVT) オイルの温度を下げるためにエンジン制御が働き，エンジン回転数と車速が下がることがあります。
このようなときは，つぎのいずれかの方法で処置してください。

- 車速を下げて走行します。
- 車を安全な場所に止めてセレクターレバーをⓅに入れ，エンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。

しばらくしたらⓘ警告表示が消えるか確認します。
表示が消えればもとのように走行できます。
警告表示が消えないときは，ただちに三菱自動車販売会社にご連絡ください。

ⓘ警告表示しているとき

CVT に何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

7

セレクターレバーの位置・働き

J00701701479

P	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。 Ⓟでのみエンジンスイッチを LOCK まで回すことができます。
R	（リバース） 後退させるとき	Ⓡにするとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。

D	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで無段階に自動変速されます。
Ds	（ダウンシフト＆ドライブスポーティ）坂道走行	エンジンブレーキが必要なとき，力強いスポーティ走行を行うときに使います。

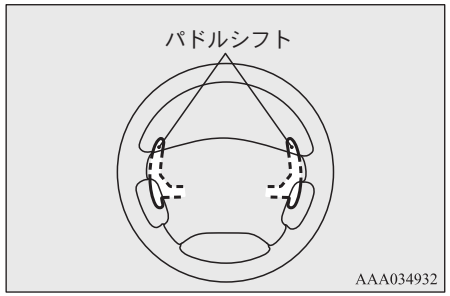
アドバイス

- 高速道路の長い下り坂，山道や登降坂路などの走行に有効です。

スポーツモード

タイプ別装備　J00701800356

スポーツモードでは，パドルシフトを操作するだけで，ハンドルから手を離さずに素早くシフトチェンジすることができます。



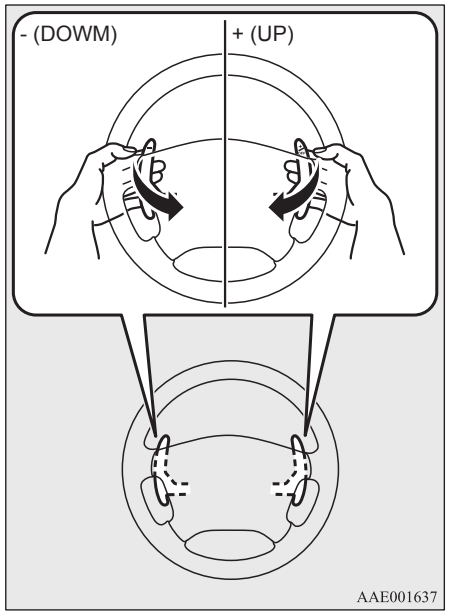
マニュアルトランスミションと違って，アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。
カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速とすばやいコーナーの立ち上がりなど，スポーティなドライブを楽しむことができます。

⚠注意

- スポーツモードで走行中は，道路状況に合わせて，エンジン回転がレッドゾーンに入らないよう適切にシフトチェンジしてください。
- 滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップする恐れがありますので，常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。
- 左右のパドルシフトを同時に操作すると，シフトチェンジしないことがあります。

スポーツモードを選択するときは

セレクターレバーがⒹまたはⒹsの位置で走行中にパドルシフトを手前に引くことで，スポーツモードが選択されます。

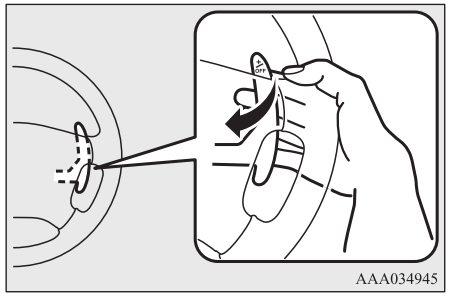


アドバイス

- セレクターレバーを Ds の位置に入れているときは，停車中でもスポーツモードを選択することができます。
  停車中に選択できる変速段は 1 速のみです。

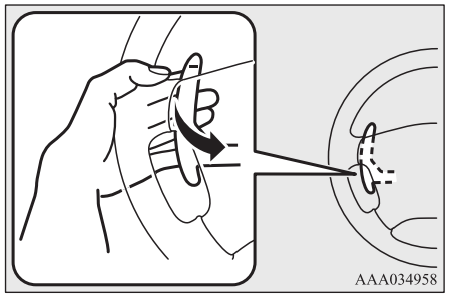
シフトアップするときは

パドルシフトの +(UP) 側を引くごとに 1 段ずつシフトアップします。



シフトダウンするときは

パドルシフトの - (DOWN) 側を引くごとに 1 段ずつシフトダウンします。

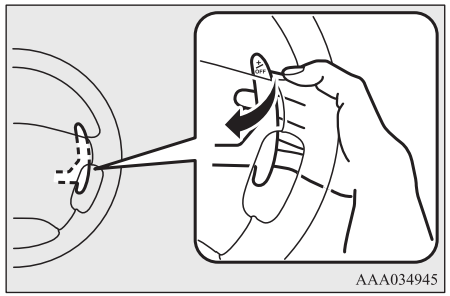


アドバイス

- 1 速から 6 速の前進しか選択できません。後退，駐車するときはセレクターレバーを R, P に入れてください。
- スポーツモードで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし，停車前に 1 速に入ります。
- パドルシフトを連続して操作すると変速段が連続して切り換わります。
- 走行性能を確保するため，車速によっては + (UP) 側へ操作してもシフトアップしない場合があります。また，エンジンの過回転を防止するため，車速によっては - (DOWN) 側へ操作してもブザーが鳴ってシフトダウンしない場合があります。

Ⓓ走行またはⒹⓢ走行に戻すときは

パドルシフトの +(UP) 側を 2 秒以上手前に引くと，セレクターレバー位置表示灯がスポーツモードを選択する前の表示（ⒹまたはⒹⓢ）に切り換わり，Ⓓ走行またはⒹⓢ走行に戻ります。



アドバイス

- セレクターレバーをⒹの位置に入れてスポーツモードを選択しているときは，停車すると自動的にⒹ走行へ戻ります。
- セレクターレバーをⒹⓢの位置に入れてスポーツモードを選択しているときは，停車してもスポーツモードが選択されたままⒹⓢ走行へは戻りません。

アドバイス

- スポーツモード走行中にセレクターレバーをⒹからⒹⓢまたはⒹⓢからⒹへ操作すると，スポーツモードが解除され通常のⒹ走行またはⒹⓢ走行に切り換わります。

オートマチック車，CVT 車の運転のしかた

J00702901322

発 進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
  特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P.2-11

2. セレクターレバーを前進はⒹ，Ⓓⓢまたは Ⓛ，後退はⓇに入れます。

⚠警告

- セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

3. セレクターレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認してから，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

⚠警告

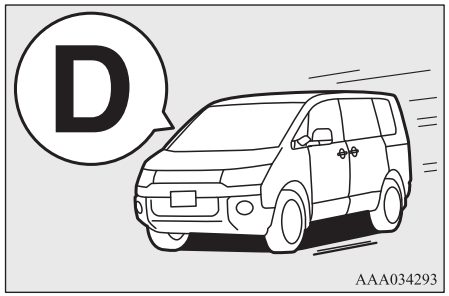
- 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

- セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
  坂道などで，前進の位置（Ⓓ，ⒹS，Ⓛまたはスポーツモード）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
  エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

通常走行

セレクターレバーをⒹで走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。



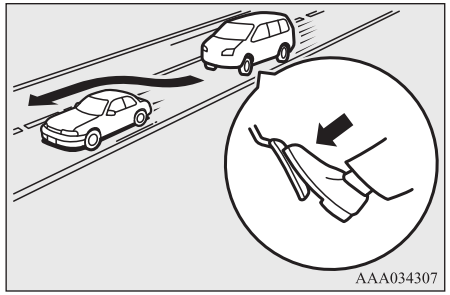
アドバイス

- パドルシフトを操作すると，スポーツモードが選択され，マニュアルトランスミッションのような走行が楽しめます。
  →「スポーツモード」P.7-23，7-29
- CVT 車は，上り坂では，セレクターレバーをⒹSに入れると，通常走行に比べてシフトアップしにくくなるため，より大きな駆動力で走行することができます。
  下り坂では，オートマチック車はセレクターレバーをⓁに，CVT 車はⒹSに入れると，より強いエンジンブレーキを使うことができます。
  →「下り坂ではエンジンブレーキを併用」P.2-9

急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。

自動的に変速比が切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。



停 車

1. セレクターレバーはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーをⓃに入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクターレバーがⒹ位置にあることを確認してから発進してください。

駐 車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをⓅに入れます。

⚠注意

- Ⓟでは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーがⓅに入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道で駐車ブレーキをかける前にセレクターレバーをⓅに入れると，発進時のセレクターレバー操作が重くなることがあります。

4. エンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーがⓅ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

電子制御 4WD 機構

タイプ別装備　J00711900060

電子制御 4WD 機構は, スイッチの操作により走行状況に合わせて 3 種類のドライブモードを選択できる 4WD システムです。

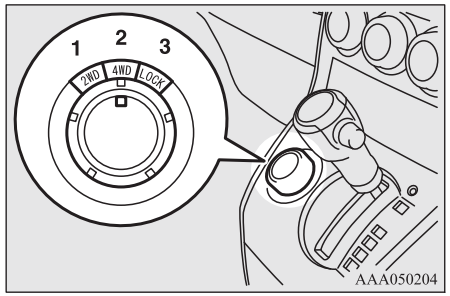
つぎのドライブモードが選択できます。

ドライブモード	働き
2WD	乾いた一般道路や高速道路を経済的に走行するときの位置です。 前輪駆動で走行します。
4WD オート	基本位置です。 走行状況に合わせて, 4 輪すべての駆動力の配分を自動的にコントロールします。
4WD ロック	雪道または砂地など，タイヤがスリップしやすいときに使用する位置です。 大きな駆動力を後輪にも伝えるため，脱出を容易にするとともに全域で力強い走行ができます。

ドライブモードセレクター（ダイヤル）

J00712000228

エンジンスイッチが ON のときダイヤルを回すとドライブモードが切り換わります。



1- 2WD
2- 4WD オート
3- 4WD ロック

ドライブモードを切り換えるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に，割り込み表示でドライブモードが表示されます。
インフォメーション画面のドライブモードの表示は数秒後にもとの画面に戻ります。

ドライブモード	表示	
	A タイプ	B タイプ
2WD	2WD	2WD
4WD オート	4WD AUTO	4WD AUTO
4WD ロック	4WD LOCK	4WD LOCK

⚠注意

- 雪道等で前輪を空転させたまま，ダイヤルを操作しないでください。車両が思わぬ方向に飛び出すおそれがあります。
- 乾いた舗装道路を「4WD ロック」モードで走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音を発生することがあります。
- 「2WD」モードで前輪を空転させたまま走行しないでください。
  駆動系部品が発熱して破損するおそれがあります。

アドバイス

- 走行中でも停車中でもドライブモードを切り換えることができます。

ドライブモードインジケーター

J00712101314

A タイプ

B タイプ

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，エンジンをかけると数秒後にドライブモードを表示します。
各ドライブモードでのインジケーターの表示状態はつぎの通りです。

ドライブモード	ドライブモードインジケーター	
	「4WD」表示	「LOCK」表示
2WD	消灯	消灯
4WD オート	点灯	消灯
4WD ロック	点灯	点灯

⚠注意

- 選択されているドライブモードの表示が点滅した場合は，駆動系部品を保護するため自動的に前輪駆動になり，ダイヤルによるドライブモードの切り換えはできなくなります。
  このとき，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されます。
  A タイプ　　B タイプ

  速度を控えめにし，しばらく走行して表示が消灯すればもとのように走行できます。
- ドライブモードの表示が点滅し，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたときは，電子制御 4WD 機構に何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  A タイプ　　B タイプ

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品の保護機能が働いて，ドライブモードが「4WD オート」モードに固定したり，「4WD」表示および「LOCK」表示が交互に点滅することがあります。

4WD 車の上手な運転

7

J00707400253

4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。
2WD 車と同様，ハンドル，ブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

⚠注意

- 無理な運転はしないでください。
  - 砂地やぬかるみ等タイヤが空転しやすいところでの走行は避けてください。タイヤの空転を続けると駆動系部品に無理がかかり，重大な故障の原因となるおそれがあります。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。

⚠注意

- ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル，急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

4WD 車取り扱い上の注意

J00706602034

乾燥した舗装道路を走行するときは

⚠注意

- 乾いた舗装道路を「4WD ロック」モードで走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音を発生することがあります。

急なカーブを回るときは

「4WD ロック」モード時に急なカーブを低速で旋回した場合，ブレーキをかけた状態と同じような現象が発生することがあります。
これはタイトコーナーブレーキング現象と呼ばれているもので，4 輪の軌跡（回転差）が違うために発生する 4 輪駆動車特有の現象です。

このような現象が発生したときには，ハンドルを直進状態に戻すか「2WD」または「4WD オート」モードに切り換えることによって解消することができます。

⚠注意

- 急旋回したときは，タイトコーナーブレーキング現象を起こし，運転しにくくなりますので，急な旋回は避けてください。

アドバイス

- タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。

タイヤ，ホイールについて

4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤには細心の注意をしてください。

- 4 輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ，ホイールのサイズ」P.14-9
- タイヤ，ホイールを交換するときは 4 輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P.11-4
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  →「タイヤの空気圧」P.14-10

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

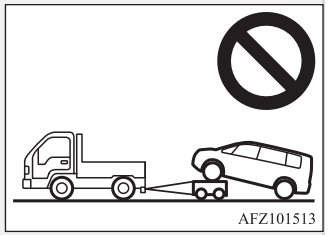
けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
4WD 車は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか，4 輪接地の状態でけん引してください。
ただし，つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

⚠注意

- 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
  →「けん引」P.13-24



- ドライブモードを「2WD」モードにしても，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
  接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

緊急制動信号システム

J00721300113

急ブレーキ時に，非常点滅灯を自動的に速く点滅させることで後続車に注意をうながし，追突の可能性を低減させる装置です。
緊急制動信号システムが作動すると，メーター内の非常点滅表示灯も同時に速く点滅します。

⚠注意

- ABS警告またはASC警告が表示されているときは，緊急制動信号システムが作動しないことがあります。
  →「ABS 警告」P.7-40
  →「ASC 警告表示」P.7-44

アドバイス

- [緊急制動信号システムの作動条件]
  つぎの条件がそろったときに作動します。
  - 車速が約 55km/h 以上のとき
  - ブレーキペダルが踏み込まれ，車両の減速度やアンチロックブレーキシステム (ABS) の作動状況から，システムが急ブレーキだと判断したとき

  [緊急制動信号システムの作動停止条件]
  つぎのいずれかの条件で作動を停止します。
  - ブレーキペダルから足を離したとき
  - 非常点滅灯スイッチを押したとき
  - 車両減速度やABSの作動状況から，システムが急ブレーキではないと判断したとき

ヒルスタートアシスト

J00721800059

ヒルスタートアシストは，急な上り坂で発進するときに起こる車両の後退を防止し，発進を容易にする装置です。ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えるとき，ブレーキをかけた状態を約 2 秒間保持します。

⚠注意

- ヒルスタートアシストを過信しないでください。
  極端に急な上り坂，凍結した上り坂，ぬかるんだ上り坂など路面の状態によっては車両が後退することがあります。
  また，停止するときにブレーキペダルの踏み方が不十分であったり，乗員の人数，荷物の重さなどによってヒルスタートアシストが作動しないことがあります。
- ヒルスタートアシストは 2 秒以上車両の後退を防止することはできません。
- 上り坂でブレーキペダルを踏み込まずに，ヒルスタートアシストを使って停止状態を保つことはしないでください。
  思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヒルスタートアシストが作動中にエンジンスイッチを ACC または LOCK にしないでください。ヒルスタートアシストが作動を停止し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

使い方

J00721900092

1. ブレーキペダルを踏んで車両を完全に停止させます。
2. ブレーキペダルから足を離します。
   ヒルスタートアシストがブレーキ力を保持し，車両の後退を約 2 秒間防止します。
3. アクセルペダルを踏み込みます。

ヒルスタートアシストは，車両の発進に合わせて，徐々にブレーキ力をゆるめます。

アドバイス

- ヒルスタートアシストは，つぎの条件がそろったときに作動します。
  - エンジンがかかっている。
    （エンジン始動中および始動直後はヒルスタートアシストは作動しません。）
  - セレクターレバーがⓅまたはⓃ以外の位置に入れてある。
  - ブレーキペダルを踏んで，車両が完全に停止している。
  - 駐車ブレーキを解除している。
- ヒルスタートアシストは，ブレーキペダルから足を離す前にアクセルペダルを踏み込むと作動しません。
- ヒルスタートアシストは，坂道を後ろ向きに登るときにも作動します。
- ヒルスタートアシスト作動中に車体下から作動音がすることがあります。これはヒルスタートアシストが正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

警告表示

J00722000175

システムに異常があると，つぎの表示／表示灯が点灯します。

- ASC 作動表示灯

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

アドバイス

- 表示の組み合わせは，お車によって異なります。

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，表示／表示灯が消えるか確認します。

表示／表示灯が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありません

が，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 表示／表示灯が表示されるとヒルスタートアシスト が作動を停止します。慎重に発進してください。

ブレーキアシスト

J00722200021

ブレーキアシストは，緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し，より大きな制動力を確保する装置です。
ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くかかるようになります。

⚠注意

- ブレーキアシストはブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

アドバイス

- いったんブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルをゆるめても大きな制動力を保持します。
  ブレーキアシストの作動を停止させたいときは，ブレーキから完全に足を離してください。
- ブレーキペダルを素早く踏み込んだとき以外でも，いっぱいまで強く踏み込むとブレーキアシストが作動することがあります。
- 走行中にブレーキアシストが作動すると，ブレーキペダルが軽く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり，車体やハンドルに振動を感じることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行中に限らず停車中であってもブレーキペダルを素早く踏み込んだり，いっぱいまで踏み込むと，ブレーキアシストの作動音が聞こえることがあります。
  これは，装置が正常に作動していることを示すもので，異常ではありません。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

J00703000408

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4 輪とも同一サイズ, 同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。（車載の応急用スペアタイヤは使用できます。）
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABS が作動すると車体, ハンドル, ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチを ON にしたとき
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき

アドバイス

- ABSは, 発進後車速が約 10km/h になるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

ABS 警告

J00704500787

警告灯

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

システムに異常があると警告灯が点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも警告表示が表示されます。

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると警告灯のみ点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 警告灯が点灯したままのとき，または点灯しないときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

走行中に警告を表示したときは

J00704601785

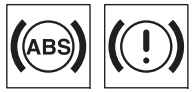
ABS 警告のみ表示したときは

- 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
  エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，その後しばらく走行して警告表示しなければ異常ありません。
  しばらく走行しても警告表示したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABS は作動せず，普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告を表示することがありますが ABS の故障ではありません。

このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
充電しても警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ABS 警告とブレーキ警告を表示したときは

警告灯



警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け，ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

アドバイス

- 警告灯は同時に点灯し，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面には，交互に表示します。

油圧パワーステアリング

J00703100412

エンジン回転中にパワーアシストが作動し，ハンドルの操作力を軽くする装置です。
もしパワーアシストが作動しなくなったときは，ハンドルが重くなります。この場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。エンジンを止めると，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- ハンドルをいっぱいに回した状態を長く続けないでください。装置が損傷するおそれがあります。

アクティブスタビリティコントロール (ASC)

J00710300331

アクティブスタビリティコントロール (ASC) はトラクションコントロール機能とスタビリティコントロール機能を持ち，アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。
→「アンチロックブレーキシステム (ABS)」P.7-39
→「トラクションコントロール機能」P.7-42
→「スタビリティコントロール機能」P.7-42

⚠注意

- ASC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。ASC を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4 輪とも同一サイズ, 同一種類の指定タイヤを装着してください。
サイズや種類の異なるタイヤを混用すると，ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠注意

- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ASC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチを ON にしたとき
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき
- ASC が作動すると，車体に振動を感じたり，エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ASC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400202

トラクションコントロール機能は，滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に，旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠注意

- 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710500144

スタビリティコントロール機能は，急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる機能です。

アドバイス

- スタビリティコントロール機能は，車速が約 15km/h 以上で作動します。

ASC の ON/OFF 作動切り換え

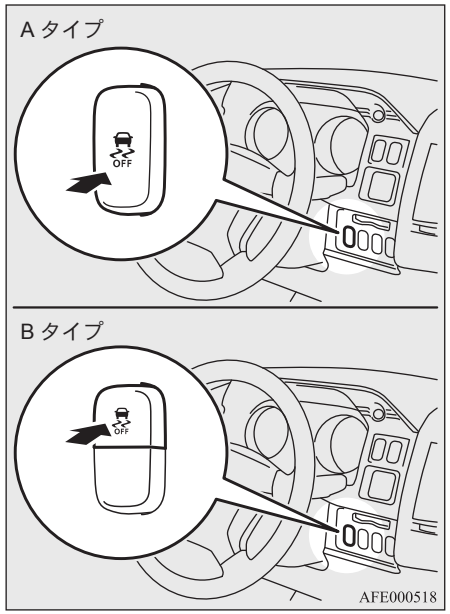
J00710800482

アドバイス

- ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでも ASC の働きによりエンジン回転が上がらないことがあります。このようなときは，ASC OFF スイッチで ASC を OFF にすると抜け出しやすくなります。

エンジンスイッチを ON にすると自動的に ASC は ON になります。ASC を OFF にしたいときはASC OFFスイッチを3秒以上押し続けます。

スイッチを押し続けると3秒後に，OFF 表示／表示灯が表示されます。もう一度押すと ON になります。



⚠注意

- 安全のため，ASC OFF スイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ず ASC を ON にしてください。

アドバイス

- ASC OFF スイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方が OFF になります。
- ASC を OFF にしたあとも ASC OFF スイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いて ASC は ON に戻ります。
- ASCをOFFにしたあとも車両挙動に応じて，ASC が作動する場合があります。

ASC作動表示／ASC OFF表示

J00711600256

- ASC作動表示／ASC作動表示灯
  ASC が作動すると点滅します。
- ASC OFF 表示／ ASC OFF 表示灯
  ASC OFF スイッチで ASC を OFF にすると点灯します。

アドバイス

- 表示の組み合わせは，お車によって異なります。

⚠注意

- 作動表示／作動表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。
  アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。
- 滑りやすい路面などでブレーキ制御が連続で作動し，ブレーキ装置の温度が上昇しすぎた場合は，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能の作動を一時停止します。これはブレーキ装置を保護するためで通常走行に問題ありません。（エンジン出力の制御によるトラクションコントロール機能は作動します。）
  この場合は表示／表示灯が点滅し，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能が停止していることを運転者に知らせます。車をいったん停車し，点滅が消えればブレーキ制御によるトラクションコントロール機能は再び作動します。

アドバイス

- スペアタイヤ装着時は，タイヤのグリップ力が低下するため作動表示／作動表示灯が点滅しやすくなります。

ASC 警告表示

J00715700239

システムに異常があると，つぎの表示／表示灯が点灯します。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると，システムチェックのため作動表示灯／表示／表示灯が点灯し，数秒後に消灯します。

7

- ASC 作動表示灯
- ASC OFF 表示／ ASC OFF 表示灯

警告表示　A タイプ

警告表示　B タイプ

アドバイス

- 表示の組み合わせは，お車によって異なります。

アドバイス

- システムチェック終了後にエンジンをかけると，作動表示灯／表示／表示灯が点灯することがあります。これはエンジン始動時にバッテリーの電圧が一時的に低下したためで，すぐに消灯すれば故障ではありません。

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，表示／表示灯が消えるか確認します。

表示／表示灯が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

クルーズコントロール（自動定速走行装置）

タイプ別装備

J00704000069

クルーズコントロールはアクセルペダルを踏まずに一定のスピード（約40km/h~100km/h）で定速走行する装置です。

⚠注意

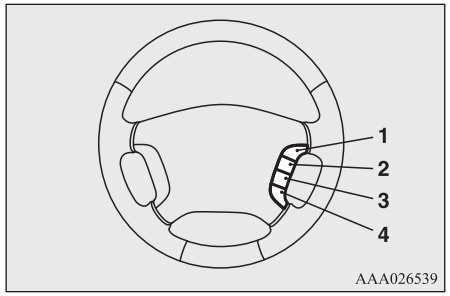
- つぎのような道路では安全のため，使用しないでください。
  - 交通量が多く車間距離が十分取れない道路
  - 急なカーブや見通しの悪い道路
  - 滑りやすい道路（凍結路，積雪路，砂利路，濡れた道路）
  - 長い急な下り坂
- 定速走行しないときは，安全のためクルーズコントロール機能を停止してください。

アドバイス

- 上り坂や下り坂では，状況により一定の速度を保てない場合があります。
- 上り坂では，設定した車速を下回ることがあります。
  このような場合は，アクセルペダルを踏んで希望の車速まで加速してください。
- 下り坂では，設定した車速を上回ることがあります。
  ブレーキペダルを踏んで減速してください。
  この場合，定速走行は終了します。

クルーズコントロールスイッチ

J00705600046



1- ACC RES スイッチ
設定車速を上げたり，定速走行を終了した後，元の設定車速に戻すときに使用します。
2- COAST SET スイッチ
設定車速を下げたり，定速走行する車速をセットするときに使用します。
3- ON OFF スイッチ
クルーズコントロール機能を作動または停止するときに使用します。
4- CANCEL スイッチ
定速走行を終了するときに使用します。

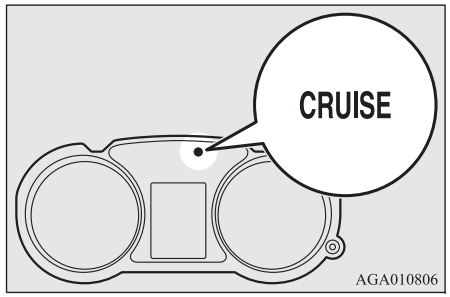
アドバイス

- クルーズコントロールスイッチを操作するときは，個々のスイッチを確実に押してください。
  2 個以上のスイッチを同時に押すと，定速走行が自動的に終了することがあります。

クルーズコントロール表示灯

J00705700193

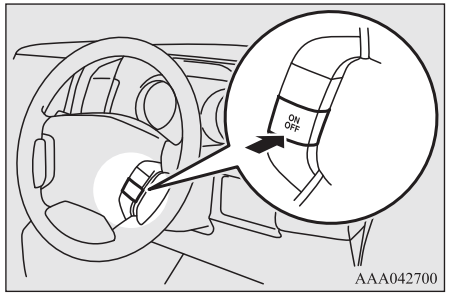
エンジンスイッチまたは電源モードが ON の状態のときに，ON OFF スイッチを押してクルーズコントロール機能を作動させると点灯します。



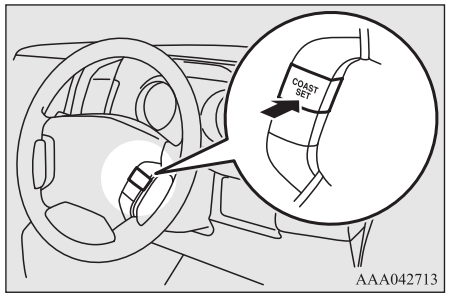
希望車速をセットし，定速走行するときは

J00705800080

1. エンジンスイッチが ON のとき ON OFF スイッチを押すとクルーズコントロール機能が作動し，メーター内の表示灯が点灯します。



2. 希望する車速まで加速または減速し，COAST SET スイッチを押して手を離すと，定速走行が開始されます。



アドバイス

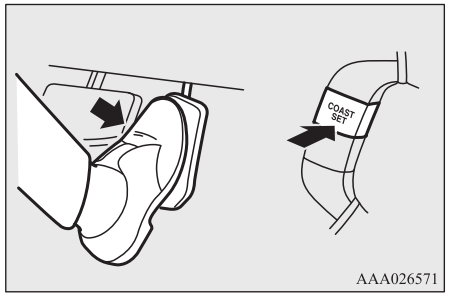
- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- エンジンを止めるとクルーズコントロール機能は自動的に停止します。

設定車速を変更するときは

J00705900094

アクセルペダルを使って

希望する車速まで加速し，COAST SET スイッチを押して手を離します。

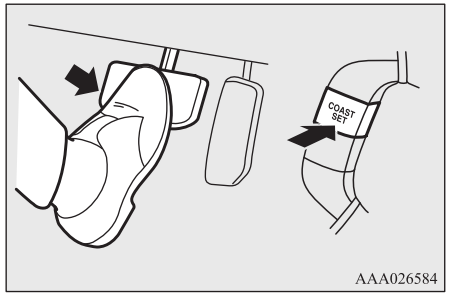


アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

ブレーキペダルを使って

希望する車速まで減速し，COAST SET スイッチを押して手を離します。

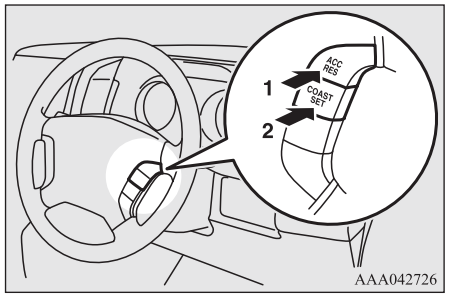


アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

クルーズコントロールスイッチを使って

ACC RESスイッチまたはCOAST SETスイッチを押し続け，希望する車速になったら手を離します。



1- 加速したいとき
2- 減速したいとき

アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- ACC RESスイッチまたはCOAST SETスイッチを押してすぐに手を離すと，設定車速を約 1.5km/h ずつ微調整することができます。

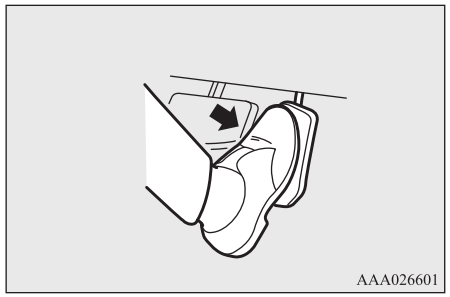
一時的に加速または減速したいときは

J00712900012

一時的に加速したいときは

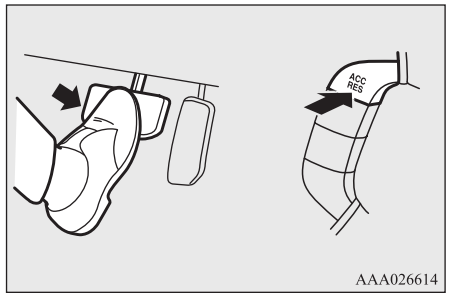
アクセルペダルを踏んで加速します。

アクセルペダルから足を離すと自動的に元の設定車速に戻ります。



一時的に減速したいときは

ブレーキペダルを踏んで減速します。
元の設定車速に戻すときは, ACC RES スイッチを押します。
→「定速走行終了前の設定車速に戻すときは」P.7-48

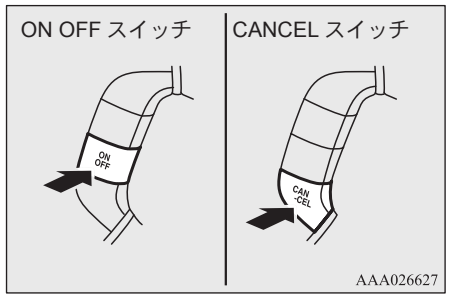


定速走行を終了するときは

J00706000076

つぎのいずれかの操作で定速走行が終了します。

- ON OFF スイッチを押す
- CANCEL スイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む



また，つぎの場合も自動的に定速走行が終了します。

- セットした速度より車速が約 15km/h 以上下がったとき
- 車速が約 40km/h 以下になったとき
- アクティブスタビリティコントロール (ASC) が作動したとき
  →「アクティブスタビリティコントロール (ASC)」P.7-41

⚠警告

- セレクターレバーをⓃにしても定速走行は自動的に終了しますが，走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

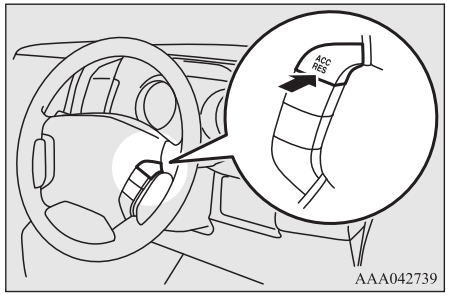
アドバイス

- 上記以外のときに定速走行が自動的に終了した場合は，クルーズコントロールに何らかの異常が発生していると考えられます。
  ON OFF スイッチを押してクルーズコントロール機能を停止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

定速走行終了前の設定車速に戻すときは

J00706100110

定速走行を終了した後でも車速が約 40km/h 以上であれば，ACC RES スイッチを押すことにより，元の設定車速に戻すことができます。



ただし，つぎの場合は ACC RES スイッチを押しても，元の設定車速に戻すことはできません。もう一度車速をセットし直してください。

- エンジンを切ったとき
- ON OFF スイッチを押したとき
- 車速が約 40km/h 以下になったとき
- クルーズコントロール表示灯が消灯しているとき

マルチアラウンドモニター

タイプ別装備

J00704100057

マルチアラウンドモニターは「ノーズビューカメラ」,「サイドビューカメラ」および「リヤビューカメラ」の 3 つのカメラの映像を組み合わせて，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) の画面に表示させる装置です。

⚠注意

- マルチアラウンドモニターは，車両周囲の安全を確認するための補助装置です。映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず，マルチアラウンドモニターがついていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
  マルチアラウンドモニターだけを頼りに運転しないでください。

アドバイス

- マルチアラウンドモニターは，サイドアンダーミラー（タイプ別装備）の機能も含んでいます。

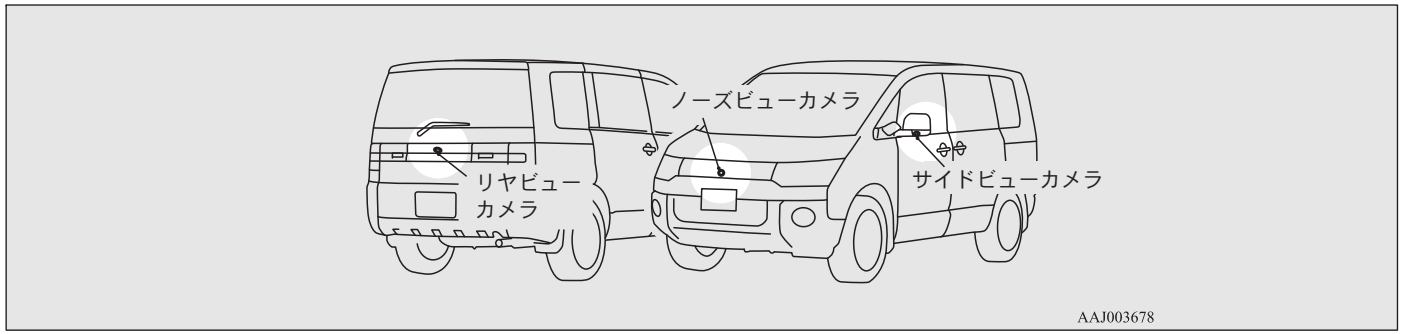
画面に表示できる範囲

J00713300026

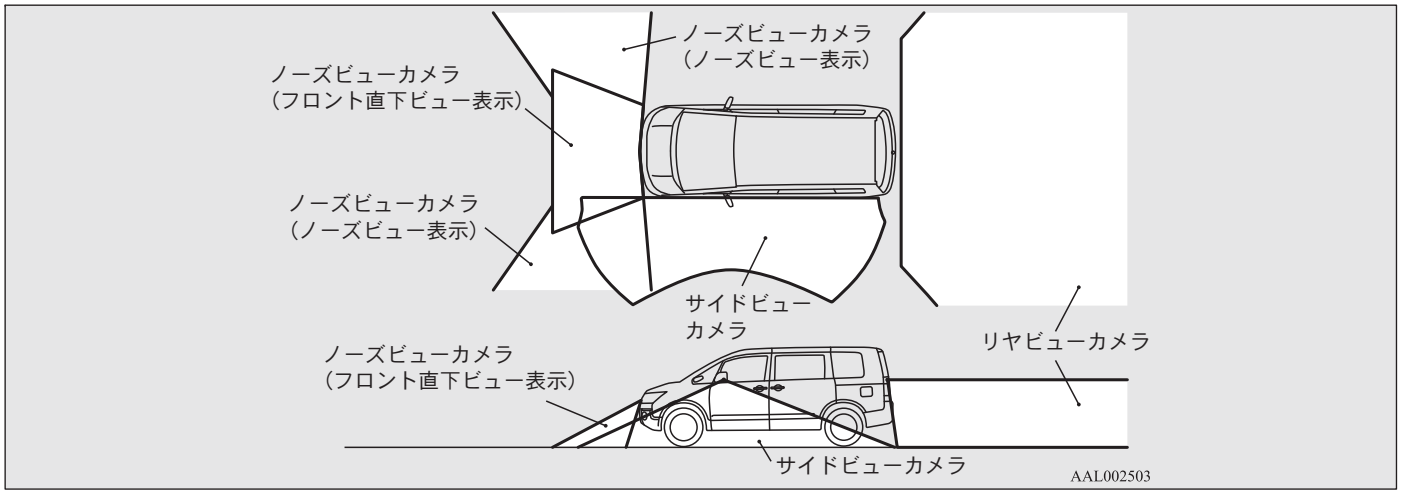
カメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また，運転席側車両側方，助手席側車両側方の後端，前後バンパーの両端周辺および下部などは表示できませんので，必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

カメラの取り付け位置

カメラはつぎの位置に内蔵されています。


ノーズビューカメラ
リヤビュー
カメラ
サイドビューカメラ
AAJ003678

カメラの表示範囲


ノーズビューカメラ
（ノーズビュー表示）
ノーズビューカメラ
（フロント直下ビュー表示）
ノーズビューカメラ
（ノーズビュー表示）
サイドビュー
カメラ
リヤビューカメラ
ノーズビューカメラ
（フロント直下ビュー表示）
サイドビューカメラ
AAL002503

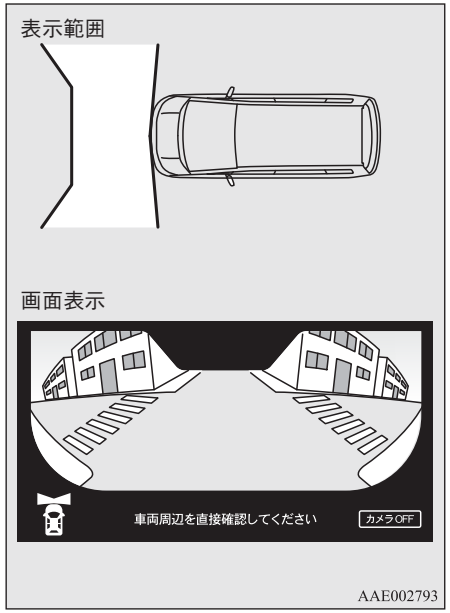
画面に表示できる映像の種類

J00713401109

ノーズビューカメラ，サイドビューカメラおよびリヤビューカメラの映像を組み合わせて三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) の画面に表示することができます。

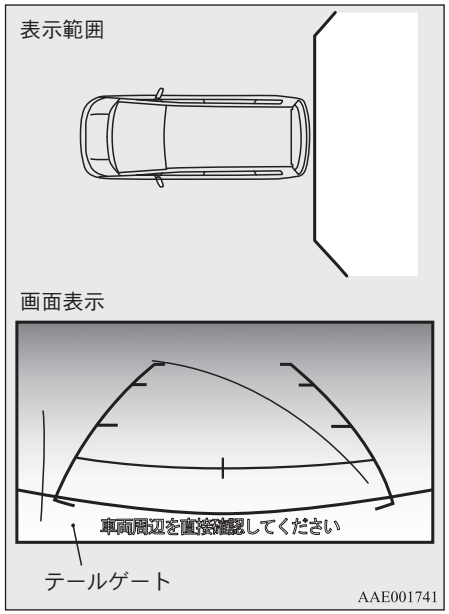
ノーズビュー表示

車両前方左右方向の映像を表示します。



リヤビュー表示

車両後方の映像を表示します。

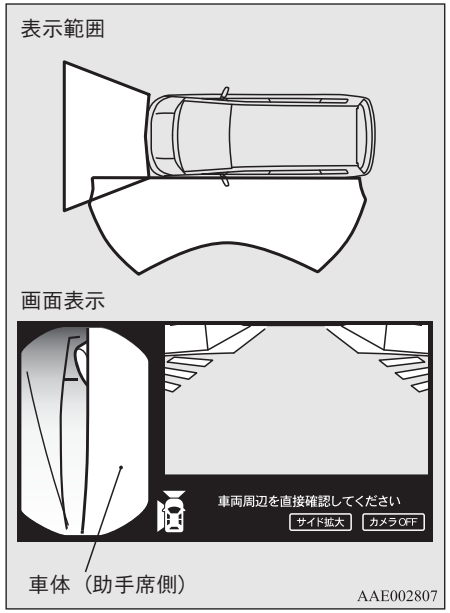


マルチビュー表示

複数のカメラの映像を組み合わせて表示します。

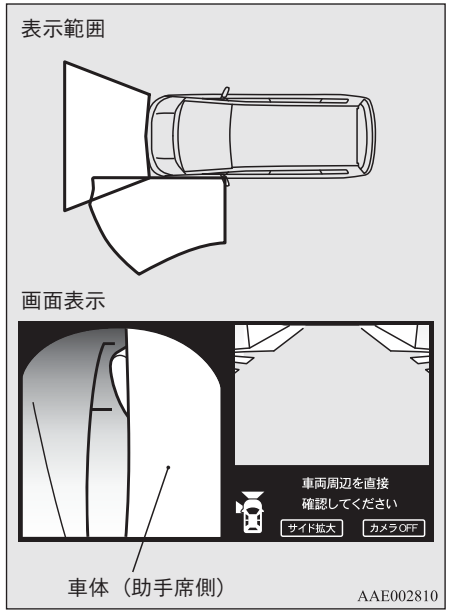
ノーズビューカメラ（フロント直下ビュー表示）およびサイドビューカメラの全画面表示

フロントバンパー直前および助手席側車両側方の映像を表示します。



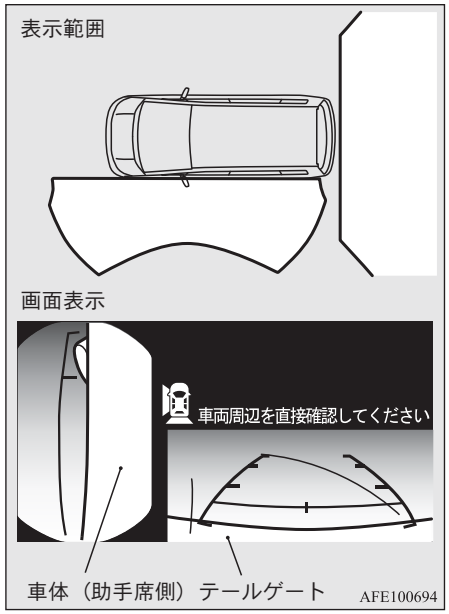
ノーズビューカメラ（フロント直下ビュー表示）およびサイドビューカメラの拡大表示

フロントバンパー直前および助手席側前輪周辺の映像を拡大して表示します。



リヤビューカメラおよびサイドビューカメラ

車両後方および助手席側車両側方の映像を表示します。



⚠注意

- カメラは特殊レンズを使用しているため，画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

⚠注意

- ドアミラーを格納した状態や，助手席ドアが完全に閉まっていない状態では使用しないでください。適切な範囲を映すことができません。

アドバイス

- リヤビューカメラおよびサイドビューカメラは特殊なレンズを使用しているため，駐車場などの区画線は，画面内では平行に見えないことがあります。
- つぎのような場合，画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間）
  - 太陽やヘッドライトなどの非常に明るい光がカメラのレンズに入ったとき

  → 高輝度の点が画面に映ると CCD カメラ特有のスミヤ現象 *1 が発生することがあります。

  *1 スミヤ現象とは …

  高輝度の点（バンパーに反射した太陽等）が画面に映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象
  - つぎのような場合にレンズが曇ったとき
    - 雨天時など湿度が高いとき
    - カメラが熱いときに，雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなったとき
  - レンズ付近の温度が高いときまたは低いとき

アドバイス

- 夜間などに画面全体が白くなったり，青い点が映ることがあります。
- 周囲の明るさなど状況によっては，それぞれの画面で映像の明るさ，色合いが異なることがあります。
- 夜間走行のときなどに，前方にある車のランプや建物の照明などが，ノーズビュー表示に映り込むことがあります。
- カメラのレンズが汚れていると，障害物が十分に確認できません。水滴，雪，泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 衝撃を与えない
  - ワックスを付着させない
  - 熱湯をかけない
  - 分解しない

画面の見方

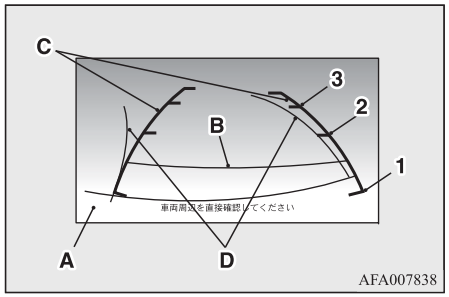
J00713500057

リヤビューカメラおよびサイドビューカメラの表示画面は，画面内の線でつぎのことを表示しています。
目安としてお使いください。

リヤビューカメラの表示

距離と車幅の目安となる線とテールゲート（A）が画面に表示されます。

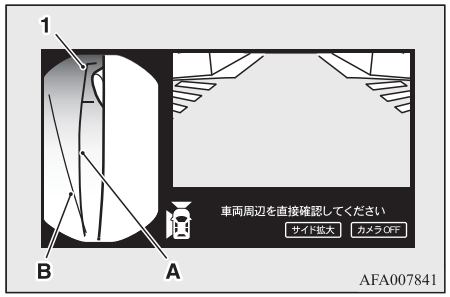
- 赤色の線（B）は，リヤバンパーから約 50cm の地点を示しています。
- 2 本の緑色の線（C）は，車体幅から外側に約 20cm の地点を示しています。
- 2 本の黄色の線（D）は，現在のハンドルの切り具合から予想される，車両の進行方向を示しています。



1- おおよそのリヤバンパー後端位置
2- リヤバンパー後端から約 100cm
3- リヤバンパー後端から約 200cm

サイドビューカメラの表示

- 緑色の線（A）は，ドアミラー先端から外側に約 20cm の地点を示しています。
- 黄色の線（B）は，現在のハンドルの切り具合から予想される，車両の進行方向を示しています。



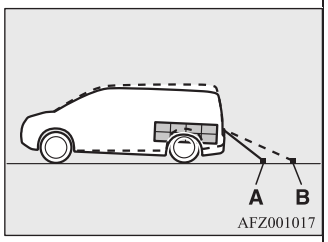
1- フロントバンパー前端から約 20cm

⚠注意

- カメラおよびカメラの周辺をぶつけたときは，映像および画面内の線が正しく表示されないことがあります。
  必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

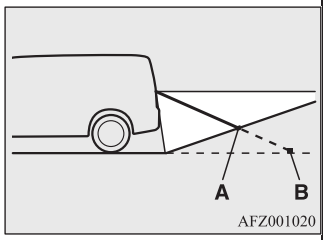
- 乗車人数，積み荷の状態または路面の状態などにより車両が傾いている場合，画面内の線の表示が実際と異なることがあります。
  画面内の線は水平な路面上などを基準としています。このため，つぎの場合，画面に映る障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。
  - 人や荷物の重みで車両後部が下がっているとき



A- 実際の障害物
B- 画面に映る障害物

アドバイス

- 車両後方に上り坂があるとき

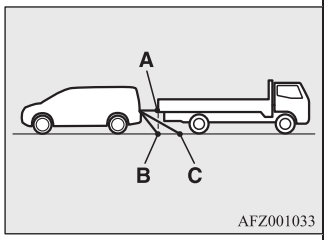


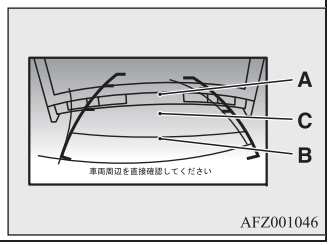
A- 実際の障害物
B- 画面に映る障害物

7

アドバイス

- 画面内の線は道路などの平面物を対象にしています。このため張り出し部分のある立体物との間の距離感覚が実際と異なることがあります。画面内の線を立体物までの距離の目安にしないでください。
  例：画面の映像では手前からの B，C，A の順に見えますが，実際には A，B が同じ距離，C が A，B よりも遠い距離にあります。





使い方

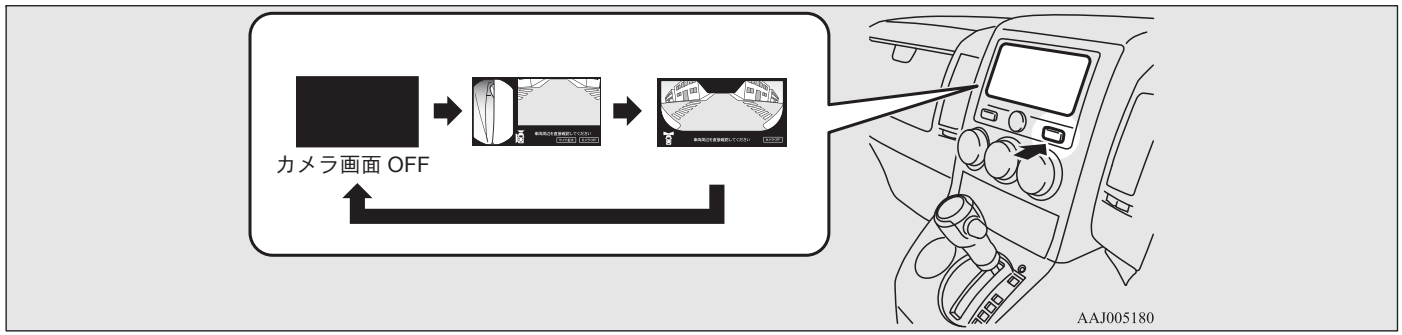
J00713601084

エンジンスイッチが ON で車速が約 10km/h 以下のとき，つぎの操作でカメラの映像が画面に表示されます。

操作方法および表示される映像は，セレクターレバーの位置により異なります。

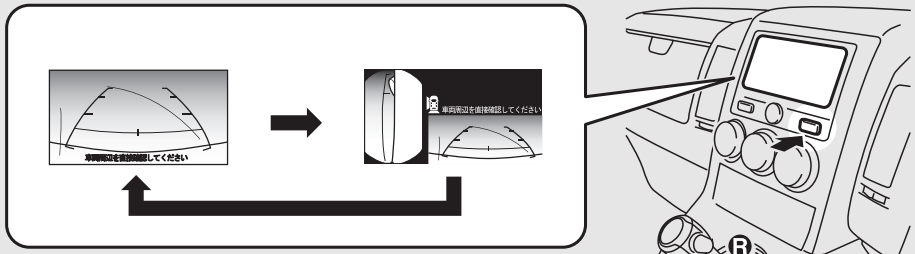
セレクターレバーがⓇ以外の位置のとき

カメラスイッチを押すとブザーが鳴り，カメラの映像が画面に表示されます。
カメラスイッチを押すごとに，「カメラ画面 OFF」→「マルチビュー表示［ノーズビューカメラ（フロント直下ビュー表示）およびサイドビューカメラの全画面表示］」→「ノーズビュー表示」→「カメラ画面 OFF」の順に切り換わります。



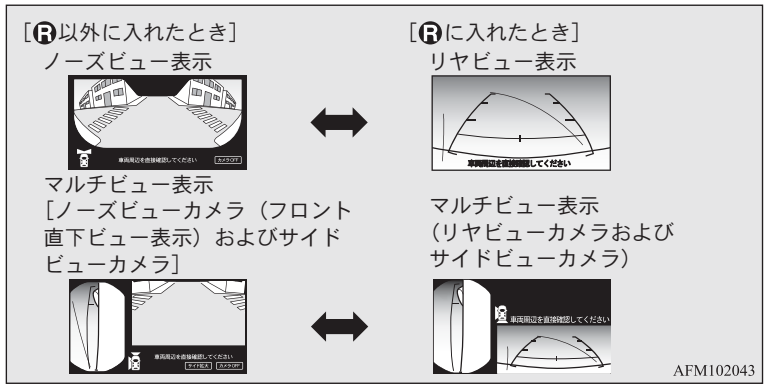
セレクターレバーがⓇの位置のとき

セレクターレバーをⓇに入れると「リヤビュー表示」の映像が自動的に表示されます。
また，「リヤビュー表示」の映像を表示中カメラスイッチを押すごとに，「リヤビュー表示」→「マルチビュー表示（リヤビューカメラおよびサイドビューカメラ）」→「リヤビュー表示」の順に画面表示を切り換えることができます。



アドバイス

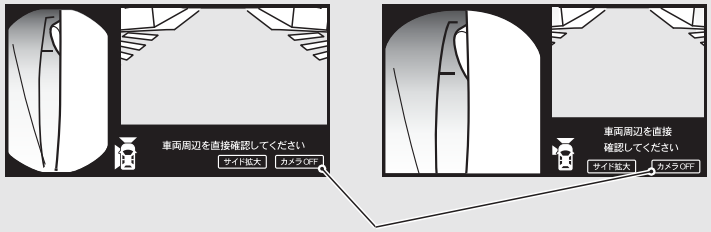
- カメラの映像を表示中に，セレクターレバーをⓇ以外の位置からⓇ，またはⓇからⓇ以外の位置に動かすと，つぎの通り画面表示が切り換わります。
  切り換わる画面はセレクターレバーを動かす前に表示されていた画面によって異なります。



アドバイス

- エンジンスイッチを ON にした際，最初に「マルチビュー表示」の映像を自動的に表示させることもできます。
  →「カメラ映像の自動表示」P. 7-58
- 同じカメラの映像が連続で約 4 分 30 秒以上続くと，自動的に「カメラ画面 OFF」に切り換わります。再度カメラの映像を表示させたいときは，もう一度カメラスイッチを押します。
- カメラ画面表示中，つぎのいずれかの操作で自動的に「カメラ画面 OFF」に切り換わります。
  - 車速が約 10km/h 以上になったとき
  - 表示画面右下に表示されるタッチスイッチ（カメラOFF）を押したとき

タッチスイッチの表示例

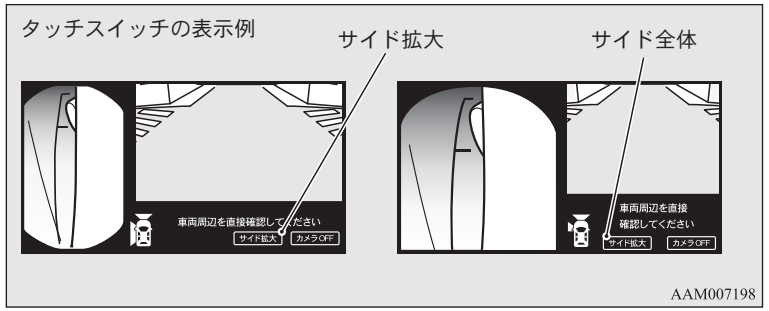


操作するときは，指先で画面を軽く触れるように押してください。
タッチスイッチは，エンジンスイッチを ON にしてから約 10 秒後に表示されます。

- 三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) の操作をしたとき
- セレクターレバーを再度Ⓟに入れたとき

アドバイス

- 表示画面右下に表示されるタッチスイッチ（サイド拡大または サイド全体）を指先で画面を軽く触れるように押すと，画面表示がつぎの通り切り換わります。
  サイド拡大:「(拡大表示)」に切り換わります。
  サイド全体:「(全画面表示)」に切り換わります。
  タッチスイッチは，エンジンスイッチを ON にしてから約 10 秒後に表示されます。



カメラ映像の自動表示

J00713700059

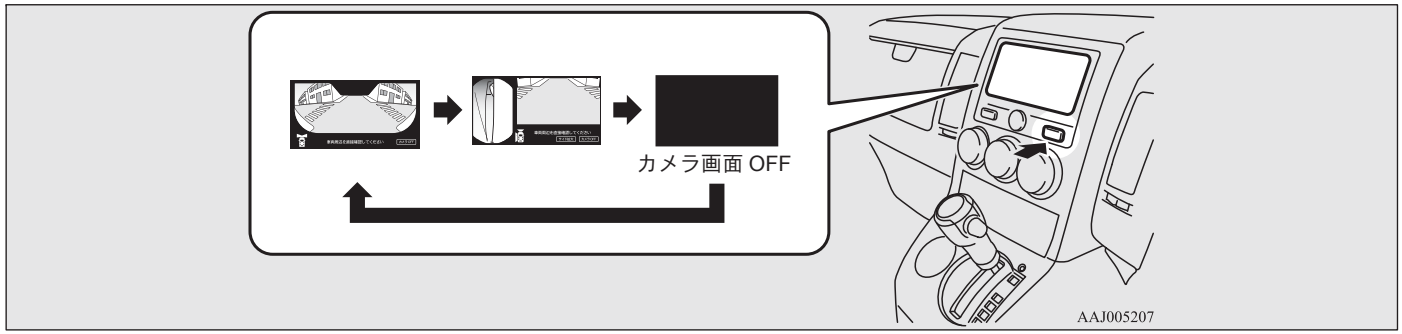
カメラの映像を自動的に表示させるよう設定を変更することができます。
自動表示には「ノーズビュー減速時自動表示」,「マルチビュー起動時自動表示」の 2 種類があり，工場出荷時には「自動表示しない」に設定されています。
「自動表示する」にしたいときは，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) の操作で変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ノーズビュー減速時自動表示

つぎの場合，自動的にノーズビューカメラの映像を画面に表示します。

- セレクターレバーがⓇ以外の位置で走行中に車速が約 10km/h 以下になったとき
- セレクターレバーをⓅまたはⓇからⓃ, ⒹまたはⒹsに動かしたとき

また，ノーズビューカメラの映像を表示中カメラスイッチを押すごとに「ノーズビュー表示」→「マルチビュー表示［ノーズビューカメラ（フロント直下ビュー表示）およびサイドビューカメラ］」→「カメラ画面 OFF」の順に表示画面を切り換えることができます。



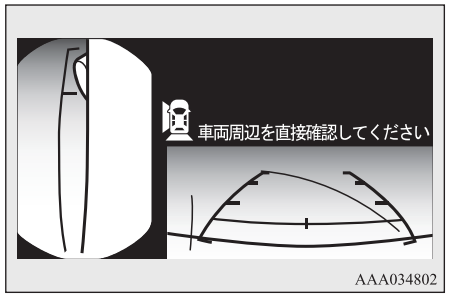
アドバイス

- 約 6km/h から約 10km/h の車速で走行中に「ノーズビュー表示」が約 3 秒以上続くと，自動的に「カメラ画面 OFF」に切り換わります。
- 同じカメラの映像が連続で約 4 分 30 秒以上続くと，自動的に「カメラ画面 OFF」に切り換わります。
  つぎのいずれかの操作で映像の再表示をすることができます。
  - 再度カメラスイッチを押す。
  - 車速を約 10km/h 以上に上げてから，再度約 10km/h 以下に下げる。
  - セレクターレバーをⓅまたはⓇに入れてから，再度セレクターレバーをⓅまたはⓇ以外に入れる。

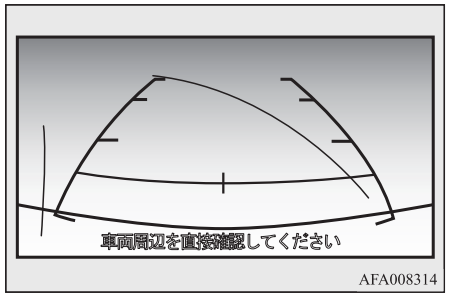
マルチビュー起動時自動表示

エンジンスイッチを ON にした後，最初にセレクターレバーをⓅから他の位置に動かしたとき自動的に「マルチビュー表示」の映像を画面に表示します。
セレクターレバーの位置によって，つぎの映像が表示されます。

［ⓅからⓇに入れたとき］
「マルチビュー表示（リヤビューカメラおよびサイドビューカメラ）」の映像が表示されます。

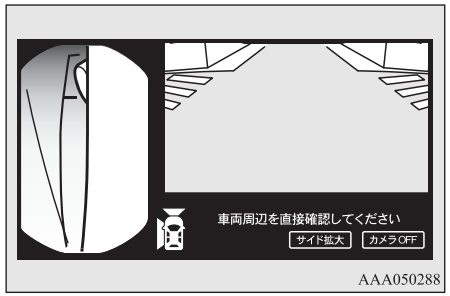


エンジンをかけたまま，次にセレクターレバーをⓅからⓇに入れたときは，「リヤビュー表示」の映像のみ表示されます。



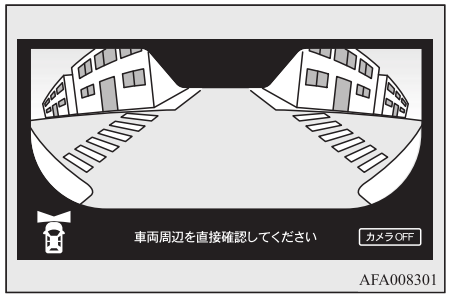
［ⓅからⓇ以外の位置に入れたとき］

「マルチビュー表示［ノーズビューカメラ（フロント直下ビュー表示）およびサイドビューカメラ］」の映像が表示されます。



AAA050288

エンジンをかけたまま，次にセレクターレバーをⓅからⓇ以外の位置に入れたときは，「ノーズビュー表示」の映像のみ表示されます。



AFA008301

アドバイス

- 「マルチビュー表示」の映像が自動的に表示されるのは，エンジンスイッチを ON にした後，最初にセレクターレバーを動かしたときの 1 回に限られます。
- カメラの画像が表示された後に走行し，車速が約 10km/h 以上になると自動的に画面が OFF になります。

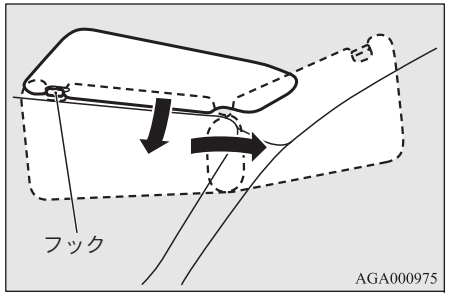
室内装備

サンバイザー 8-2
アクセサリーソケット 8-2
AC パワーサプライ 8-3
室内灯 8-5
小物入れ 8-11
カップホルダー 8-15
ボトルホルダー 8-16
コンビニフック 8-17
アシストグリップ 8-17
荷物固定用フック 8-18
フロアマット 8-19
ETC 8-20
USB 入力端子 8-32

サンバイザー

J00900100295

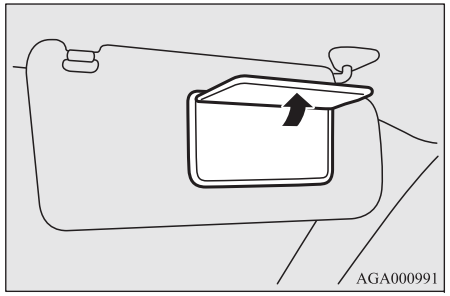
前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。



バニティーミラー

J00912700197

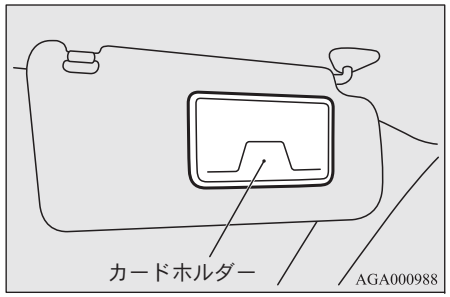
サンバイザーの裏側にあります。



カードホルダー

J00912800101

バニティーミラーのリッドの表側に通行券などをはさむことができます。



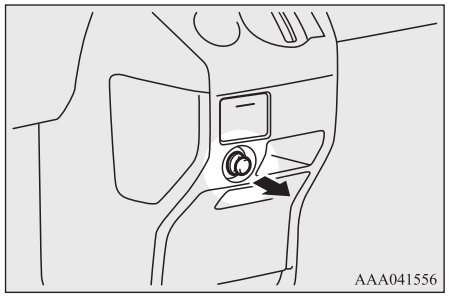
アクセサリーソケット

J00900500462

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。
プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず，12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。

フロント

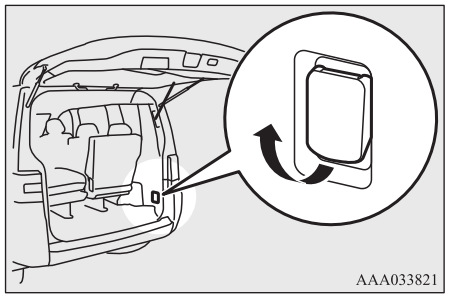
ノブを引き抜いて使用します。



リヤ

タイプ別装備

フタを開けて使用します。



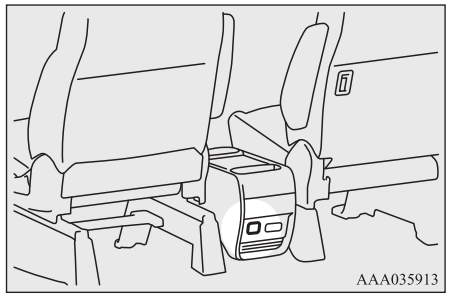
アドバイス

- 両方のソケットを同時に使用するときは，2 つのソケットをあわせて 12V で電気容量が 120W 以下の電気製品を使用してください。それ以上の容量の電気製品を使用すると，ヒューズが切れるおそれがあります。
- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやアクセサリーソケットが過熱し，火災を招くおそれがあります。
- ノブをソケットから外したまま放置したり，ソケットのフタを開けたまま放置しないでください。アクセサリーソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

AC パワーサプライ

タイプ別装備　J00900600258

フロアコンソールボックス後部にあります。



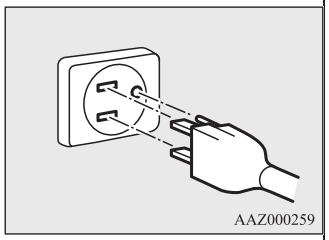
エンジンスイッチが ON のときに家庭用電気製品の電源として使用できます。
必ず，AC100V で消費電力が 100W 以下の電気製品を使用してください。

使用例

- ビデオカメラの充電
- 携帯電話の充電
- 電気シェーバー

アドバイス

- アース付きプラグも使用できます。



- オートストップ＆ゴー(AS&G) 付き車は，エンジンが自動的に再始動した際に，一時的に給電が停止する場合がありますが，故障ではありません。
- つぎのようなときは，保護回路が働き給電が停止する場合があります。使用中，給電が停止した場合は自動で復帰しますが，復帰しない場合はエンジンスイッチを一度 LOCK にしてから，再度 ON にしてご使用ください。
  - 最大消費電力が100Wを越える電気製品を使用したとき
  - バッテリーの充電が不十分なとき
  - 車内が高温のとき
- エンジンスイッチが ON のときに使用できますが，できるだけエンジンをかけて使用してください。エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。
- 消費電力が 100W 以下でもつぎのような電気製品は正常に作動しないことがあります。

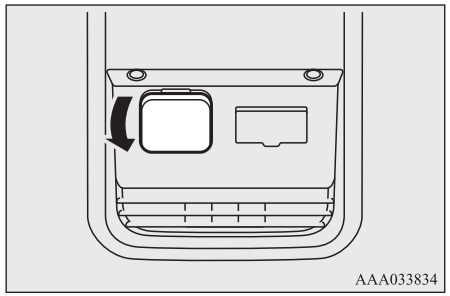
アドバイス

- 最大消費電力が 100W を越える製品（ブラウン管式テレビ，コンプレッサー式冷蔵庫，電気ポンプ，電動工具など）
- 電源周波数の切り換え (50/60Hz) のある製品（時計，オーディオ，AC アダプターなど）
- 精密なデータを測定する製品（測定器など）
- その他（電気毛布，照明器具など）

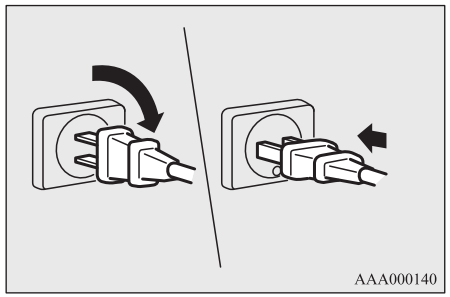
● 使用する電気製品によっては，ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。
● AC パワーサプライの電圧は，市販のテスターでは電圧を正確に測定できません。電圧の測定が必要な場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
● 医療機器のご使用は，絶対に避けてください。
● 使用する電気製品に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

使用するときは

1. フタを開けます。



2. コンセントを矢印の方向に 90 度回してから，プラグを奥まで差し込みます。
   差し込み後は，プラグが確実に固定されていることを確認します。



使用後は，プラグを抜き取りフタを閉めます。

⚠注意

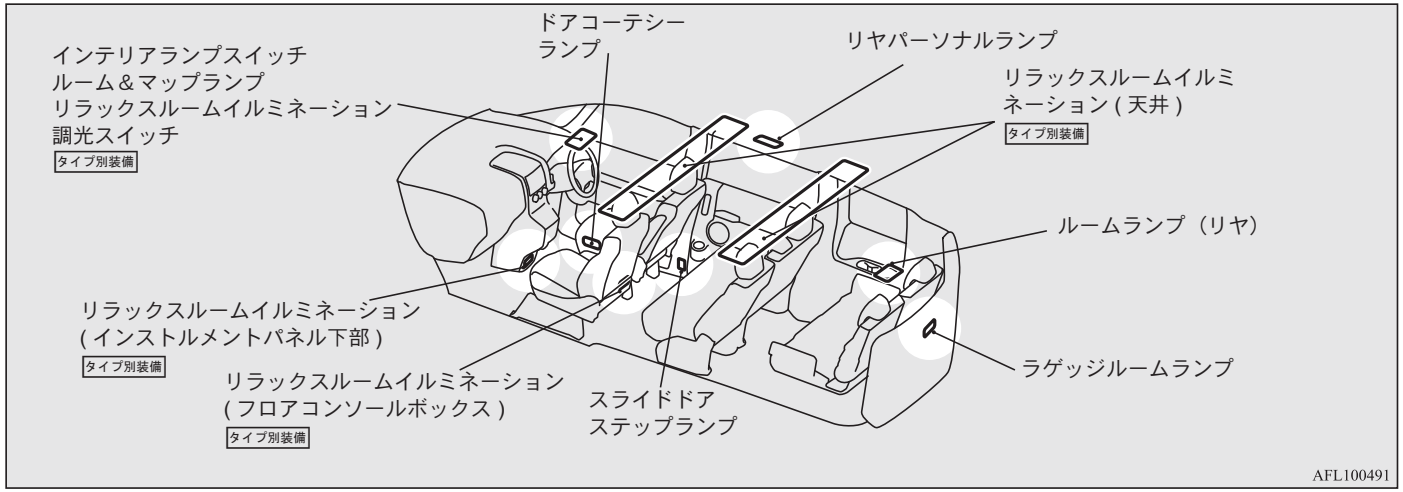
● コンセントの改造や分解，修理などは絶対にしないでください。
● 濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
● AC パワーサプライを使用するときは，セカンドシート用カップホルダーに飲み物を置かないでください。
飲み物がこぼれて AC パワーサプライにかかると，故障やショートの原因となるおそれがあります。

アドバイス

● AC パワーサプライを使わないときは，プラグを抜き取りフタを閉めてください。コンセントにたまったほこりにより，ショートするおそれがあります。
● プラグタイプ以外のものが差し込まれると，故障したり，ショートする可能性があります。

室内灯

J00900801909

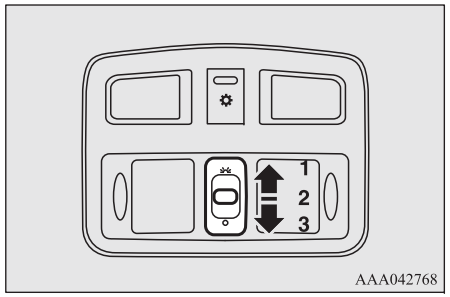


アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

インテリアランプスイッチ

J00906500174



スイッチを操作することにより，ルーム＆マップランプ，リヤパーソナルランプおよびルームランプ（リヤ）の点灯・消灯ができます。
除く，リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車は，スイッチを操作することにより，リラックスルームイルミネーションの消灯ができます。

アドバイス

- ルームランプ（リヤ）のスイッチの位置によって，ルームランプ（リヤ）の作動は異なります。
→「ルームランプ（リヤ）」P.8-8

1- （）
ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく，ルーム＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが点灯します。

2- （DOOR）
いずれかのドアまたはテールゲートを開けるとルーム＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
- ドアおよびテールゲートを閉じてエンジンスイッチを ON にしたとき
- ドアおよびテールゲートを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
- キーレスオペレーションシステムの操作で施錠したとき

アドバイス

- エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびテールゲートが閉まっているときに，キーを抜くと点灯し，約 15 秒後に消灯します。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびテールゲートが閉まっているときエンジンスイッチを LOCK にすると点灯し，約 15 秒後に消灯します。

アドバイス

- ルーム＆マップランプのスイッチが ON のときは，ドアおよびテールゲートを閉めても消灯しません。
- 消灯までの時間を調整することができます。消灯までの時間を調整すると，ルームランプ（リヤ）およびリラックスルームイルミネーションの消灯時間も同時に変更されます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

3- （○）
ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく，ルーム＆マップランプおよびリヤパーソナルランプが消灯します。
除く，リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車は，ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく，リラックスルームイルミネーションが消灯します。

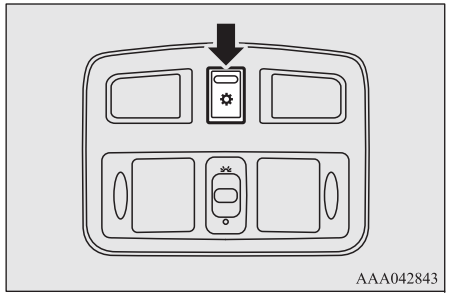
アドバイス

- ルーム＆マップランプのスイッチが ON のときは，インテリアランプスイッチでルーム＆マップランプを消灯することはできません。

リラックスルームイルミネーション調光スイッチ

タイプ別装備

J00909400086



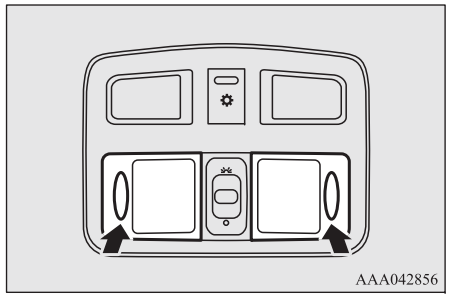
エンジンスイッチがONまたはACCのときに，リラックスルームイルミネーションの光量を 3 段階に調整することができます。
スイッチを押すごとに「光量（多）」→「光量（中）」→「光量（少）」→「消灯」→「光量（多）」の順に切り換わります。

アドバイス

- エンジンスイッチがLOCKのときでも，リラックスイルミネーションが点灯している間は光量を調整することができます。

ルーム ＆マップランプ

J00900901405



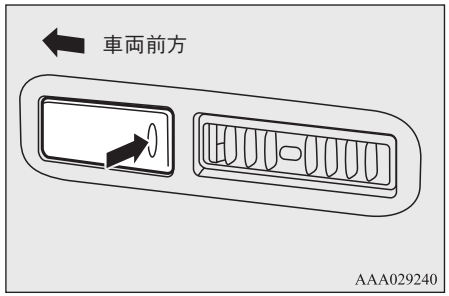
ドアおよびテールゲートを閉じてインテリアランプスイッチの位置がDOORまたは〇のときに，レンズを押すとランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。
インテリアランプスイッチの位置がDOORのときに，いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します。

アドバイス

- いずれかのドアまたはテールゲートが開いているとき，またはインテリアランプスイッチの位置が☼のときは，レンズを押してもルーム＆マップランプは消灯しません。

リヤパーソナルランプ

J00901400194



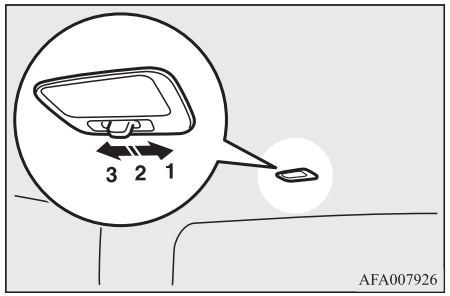
ドアおよびテールゲートを閉じてインテリアランプスイッチの位置がDOORのときに，レンズを押すとランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。
いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します。

アドバイス

- インテリアランプスイッチの位置が〇のときは，レンズを押したり，いずれかのドアまたはテールゲートを開けても点灯しません。

ルームランプ（リヤ）

J00900901489



1-（）
インテリアランプスイッチの位置が（）または DOOR のときに，ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯します。

2-（●）
インテリアランプスイッチの位置が DOOR のときに，いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。

- ドアおよびテールゲートを閉じてエンジンスイッチを ON にしたとき
- ドアおよびテールゲートを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
- キーレスオペレーションシステムの操作で施錠したとき

アドバイス

- インテリアランプスイッチの位置が（）のときは，ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯し，（○）のときは消灯します。
- エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびテールゲートが閉まっているときにキーを抜くと点灯し，約 15 秒後に消灯します。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびテールゲートが閉まっているときエンジンスイッチを LOCK にすると点灯し，約 15 秒後に消灯します。

アドバイス

- 消灯までの時間を調整することができます。消灯までの時間を調整すると，ルームランプ＆マップランプ，リヤパーソナルランプおよびリラックスルームイルミネーションの消灯時間も同時に変更されます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

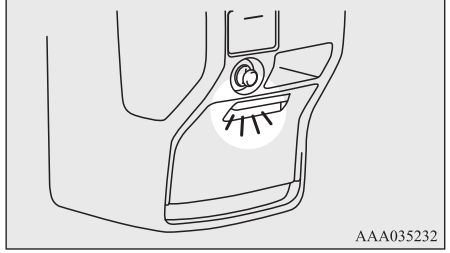
3-（○）
ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。

リラックスルームイルミネーション

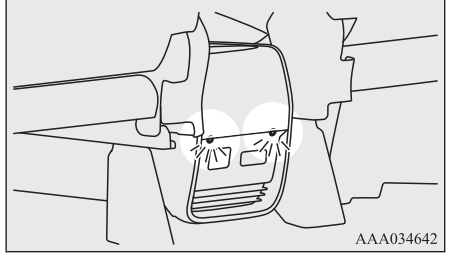
タイプ別装備　J00909501169

除く，リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車

インストルメントパネル下部



フロアコンソールボックス



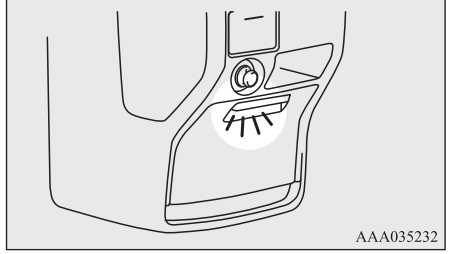
ライトスイッチが AUTO の位置でランプ類が点灯しているとき，または⁝◐◐⁝, ≣◐の位置のときに点灯します。

アドバイス

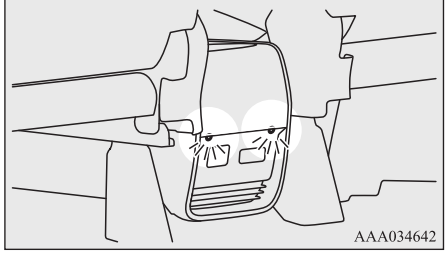
- インテリアランプスイッチの位置が○（消灯）のときは点灯しません。
  →「インテリアランプスイッチ」P.8-6

リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車

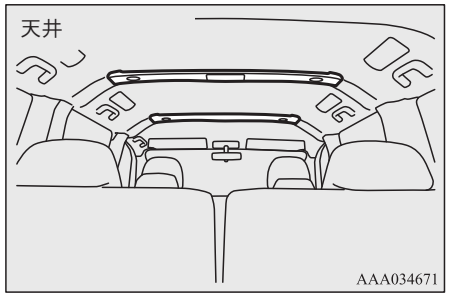
インストルメントパネル下部



フロアコンソールボックス



天井



エンジンスイッチが ON または ACC のときに点灯します。

アドバイス

- リラックスルームイルミネーション調光スイッチが「消灯」に設定されているときは点灯しません。
  →「リラックスルームイルミネーション調光スイッチ」P.8-7

リラックスルームイルミネーションが点灯しているときに，つぎの操作をすると，約 15 秒後に消灯します。
除く，リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車は，インテリアランプスイッチの位置が○（消灯）以外で，リラックスルームイルミネーションが消灯しているときに，つぎの操作をすると点灯し，約 15 秒後に消灯します。

- エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけているときに，すべてのドアおよびテールゲートを閉めた状態でキーを抜く
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときに，すべてのドアおよびテールゲートを閉めた状態でエンジンスイッチをLOCKにする

アドバイス

- 消灯までの時間を調整することができます。消灯までの時間を調整すると，ルーム＆マップランプ，リヤパーソナルランプおよびルームランプ（リヤ）の消灯時間も同時に変更されます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

また，エンジンスイッチが LOCK のときでも，いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します。
ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。

- ドアおよびテールゲートを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
- キーレスオペレーションシステムの操作で施錠したとき

アドバイス

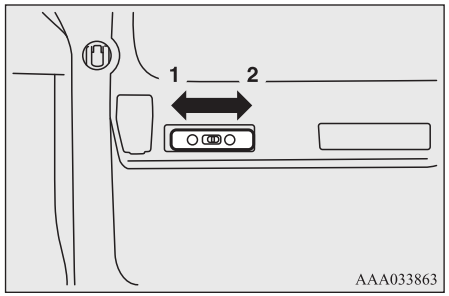
- リラックスルームイルミネーション調光スイッチ（リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車）または，インテリアランプスイッチ（除く，リラックスルームイルミネーション調光スイッチ付き車）が「消灯」に設定されているときは点灯しません。
- 消灯までの時間を調整することができます。消灯までの時間を調整すると，ルーム＆マップランプ，リヤパーソナルランプおよびルームランプ（リヤ）の消灯時間も同時に変更されます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ラゲッジルームランプ

J00901500179

スイッチを操作することによりラゲッジルームランプの点灯・消灯ができます。

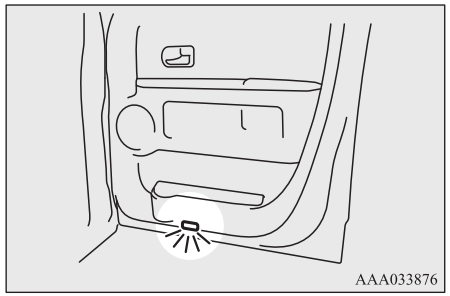
1- テールゲートを開けるとランプが点灯，閉めると消灯します。
2- テールゲートの開閉に関係なく消灯します。

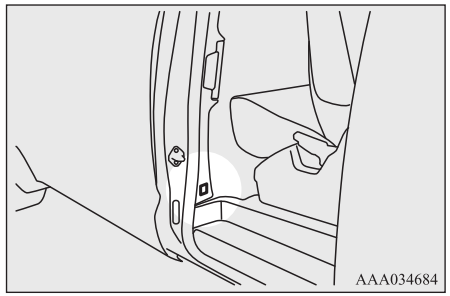


ドアコーテシーランプ

J00906300071

ドアを開けると点灯し，閉じると消灯します。





スライドドアステップランプ

J00901600024

スライドドアを開けると点灯し，閉じると消灯します。

インテリアランプ *1 オートカット機能（自動消灯）

J00901700517

*1 ルーム＆マップランプなどの車内照明

- エンジンスイッチが LOCK の位置で，車内照明を点灯したままにすると，約 30 分後に照明が自動的に消灯します。
- エンジンスイッチをONまたはACCの位置にしたり，ドアまたはテールゲートの開閉やキーレスオペレーションシステムの操作をすると再び点灯します。

アドバイス

- インテリアランプオートカット機能（自動消灯）を働かなくすることができます。また，自動消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

小物入れ

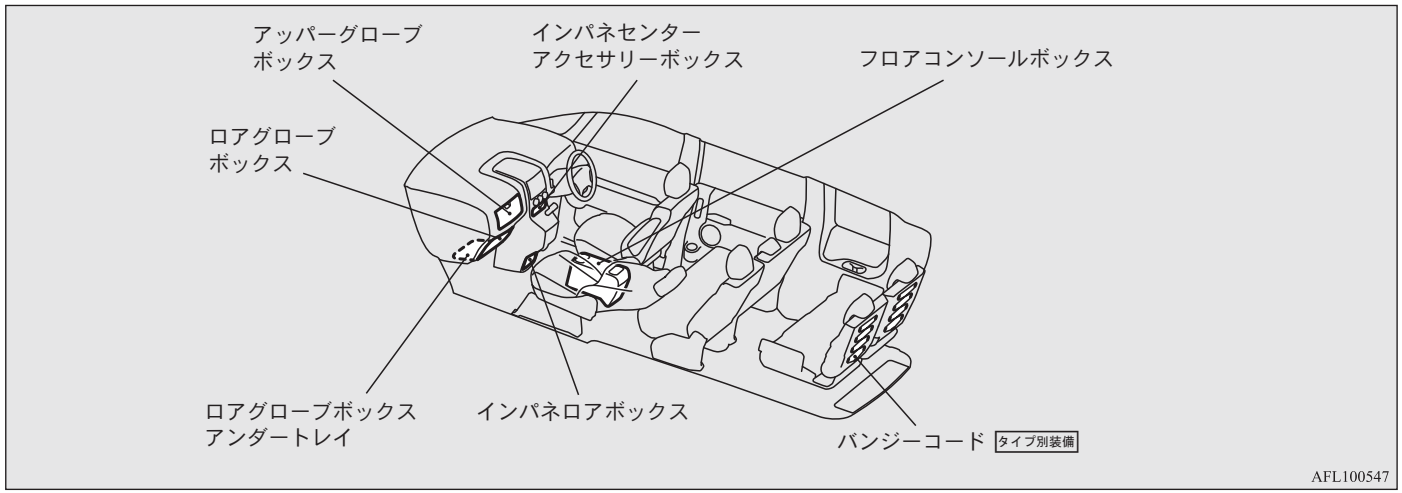
J00906701971

⚠注意

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
  ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

- 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。



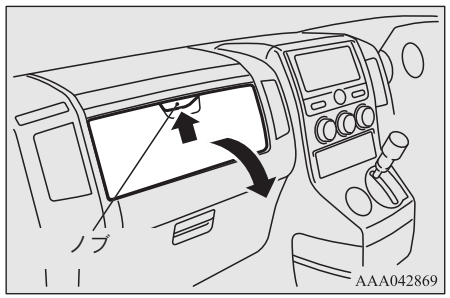
グローブボックス

J00907200400

アッパーグローブボックス

J00911300040

ノブを押し，手前に引くと開きます。



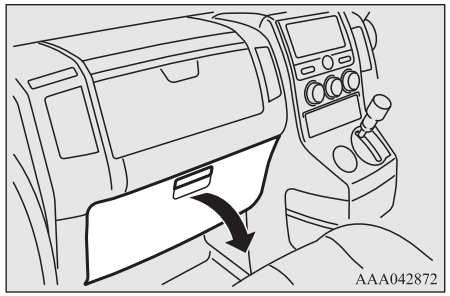
アドバイス

- 開けたリッドの上に物を置かないでください。リッドが破損するおそれがあります。
- ライトスイッチが AUTO の位置でランプ類が点灯しているとき，または，の位置のときにグローブボックス内のランプが点灯します。

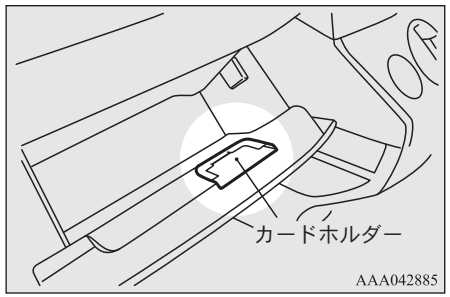
ロアグローブボックス

J00911400041

レバーを引くと開きます。



リッドの裏側にカードを収納することができます。

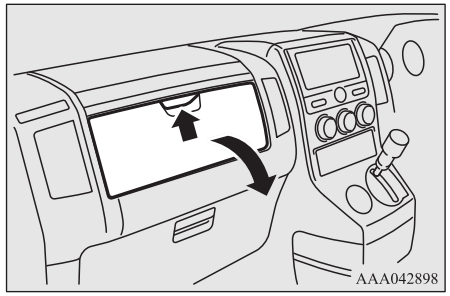


アッパーグローブボックスとロアグローブボックスをつなげて使用するときは

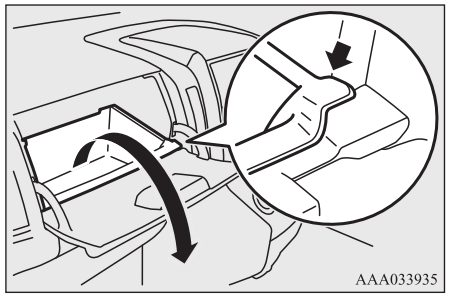
J00911500026

アッパーグローブボックスとロアグローブボックスをつなげて，大きな荷物を収納することができます。

1. アッパーグローブボックスを開けます。



2. アッパーグローブボックス内のトレイを取り外します。
   取り外すときは，トレイの両端を持ち上げます。



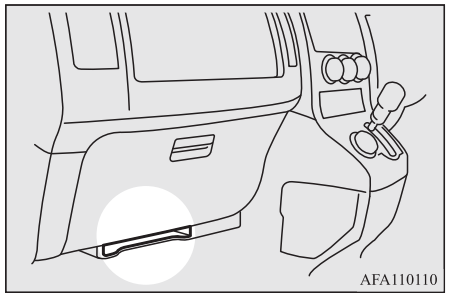
アドバイス

- 取り外したトレイは運転の妨げにならない場所に置いてください。
- 大きな荷物を収納しているときは，ロアグローブボックスのリッドを開けないでください。
  収納物やリッドが破損するおそれがあります。

ロアグローブボックスアンダートレイ

J00972600022

自動車検査証や取扱説明書を収納することができます。

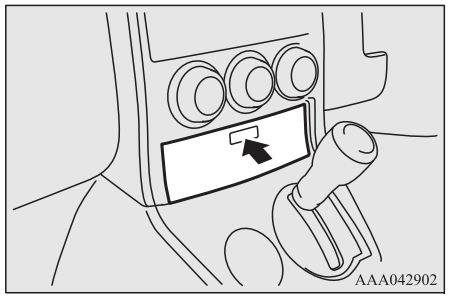


8

インパネセンターアクセサリーボックス

J00907600130

リッドを押すと開きます。



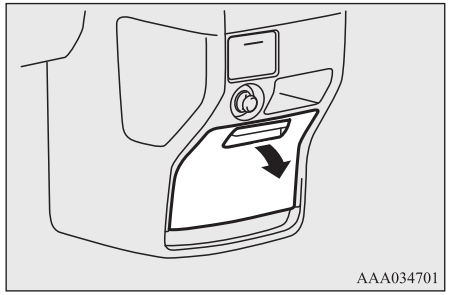
アドバイス

- ライトスイッチが AUTO の位置でランプ類が点灯しているとき，または，の位置のとき，インパネセンターアクセサリーボックス内のランプが点灯します。

インパネロアボックス

J00909600017

インストルメントパネル下部にあります。
リッドを手前に引くと開きます。



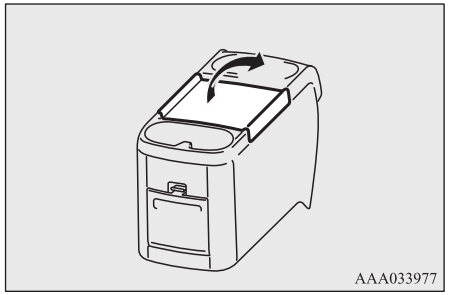
フロアコンソールボックス

J00908200032

上段ボックスと下段ボックスがあります。
上段ボックスのリッドはセンターテーブルとしても使用できます。

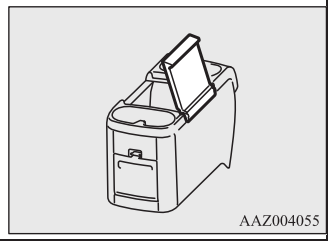
上段ボックス

リッドの運転席側を持ち上げて開きます。



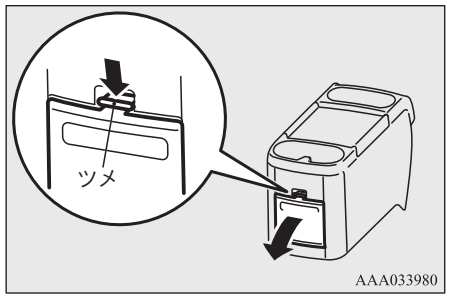
アドバイス

- 開いたリッドは図の位置でとまります。



下段ボックス

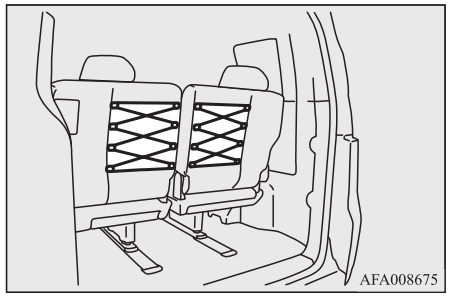
ツメを下げながらリッドを開けます。



バンジーコード

タイプ別装備　J00911000063

サードシート背面のコードに荷物を収納することができます。
コードの長さは，収納する荷物の大きさにあわせて調整することができます。

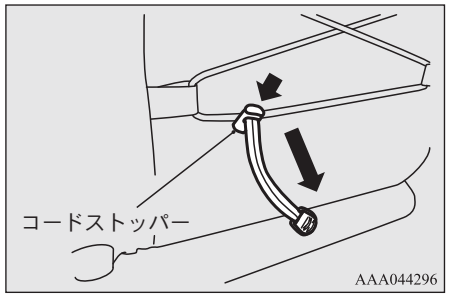


⚠警告

- 荷物を収納したままサードシートをはね上げないでください。
  SRS カーテンエアバッグが膨らむときに荷物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

コードの長さを調整するときは

コードストッパーのボタンを押しながら，コードの長さを調整します。



カップホルダー

8

J00903801971

⚠警告

- 車内に水をかけたり，飲み物などをこぼしたりしないでください。スイッチ類，配線や電気部品にかかると，故障や車両火災の原因になります。
  万一，飲み物などをこぼした場合は，可能な限り水分を取り除き，すみやかに三菱自動車販売会社にご相談ください。

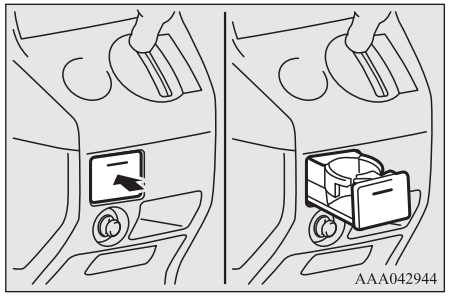
⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

A タイプ

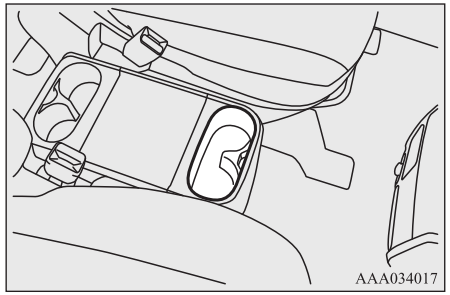
インストルメントパネル下部にビルトインカップホルダーがあります。
中央部を押すと自動的にカップホルダーが出てきます。



アドバイス

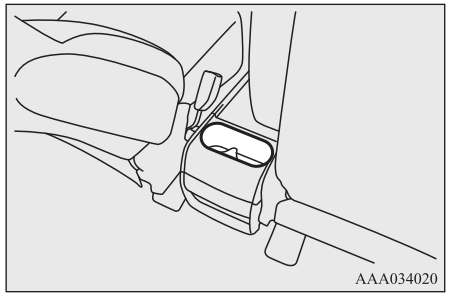
- ペットボトルは形状によりしっかり固定されない場合があります。不安定なまま走行するとペットボトルが落下するおそれがありますので，確実に固定されていることを確認してからご使用ください。
- ホルダーを使用しないときは押して格納しておいてください。

B タイプ



セカンドシート用

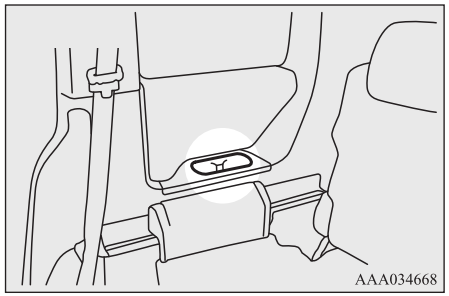
J00908700138



サードシート用

J00909800019

カップやペットボトルなどを収納することができます。



ボトルホルダー

J00905901367

⚠警告

- 車内に水をかけたり，飲み物などをこぼしたりしないでください。スイッチ類，配線や電気部品にかかると，故障や車両火災の原因になります。
  万一，飲み物などをこぼした場合は，可能な限り水分を取り除き，すみやかに三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

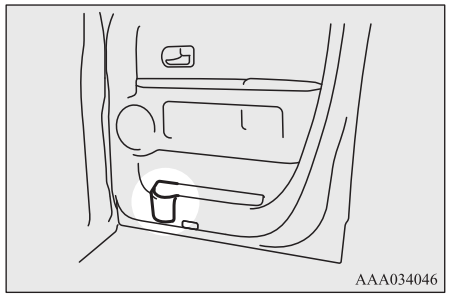
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

アドバイス

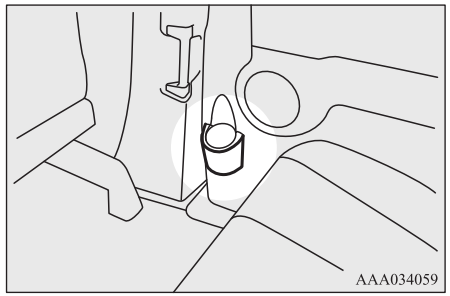
- ペットボトルなどはフタを確実に閉めて収納してください。
- ペットボトルの大きさ，形状によっては収納できないことがあります。

ペットボトルなどを入れることができます。

フロントシート用



セカンドシート用



コンビニフック

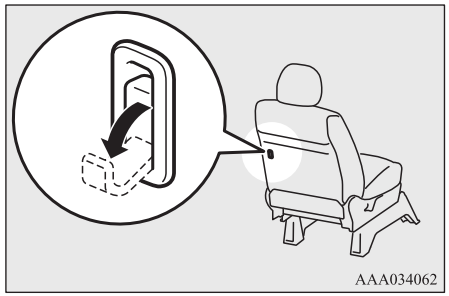
J00905000127

運転席側

軽い荷物をかけることができます。

アドバイス

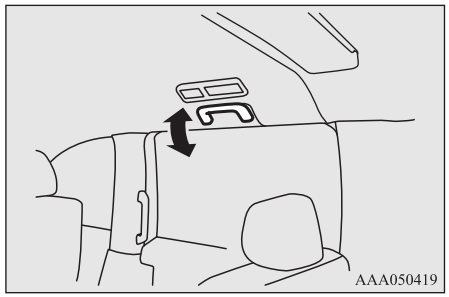
- フックには約 4kg 以上の荷物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。
- 使用しないときはフックを格納しておいてください。



アシストグリップ

J00912900320

座ったときに，手で身体を支えるためのグリップがあります。



⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないで下さい。
  アシストグリップがはずれて思わぬ事故につながるおそれがあります。

荷物固定用フック

J00905101516

天井，荷室の側面，床面およびテールゲートの両側にフックがあります。
荷物の固定用としてご使用ください。

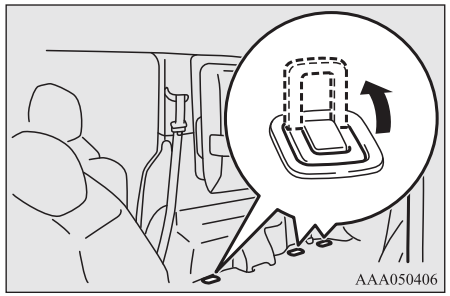
⚠警告

- SRS カーテンエアバッグ付き車では，側面ガラス付近に荷物を積まないでください。SRS カーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

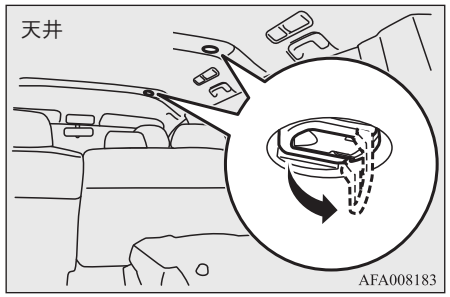
⚠注意

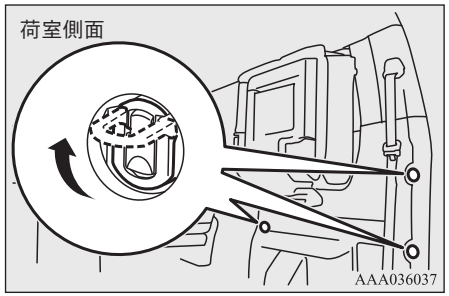
- 荷室にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また，荷物は確実に固定してください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

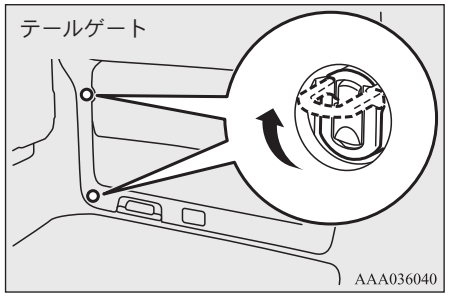
ラゲッジフック



マルチユースフック







⚠注意

- 天井のフックに三菱自動車純正以外のものをかけたまま走行しないでください。
  落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 開けたテールゲートのフックに三菱自動車純正以外のものを取り付けないでください。また，テールゲートのフックに物をかけたまま，テールゲートの開閉操作をしないでください。
  物の重みでテールゲートが正常に開かなかったり，開いた状態で保持できず思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 天井，荷室の側面およびテールゲートのフックには約 6kg 以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。
- 使用しないときはフックを格納しておいてください。

フロアマット

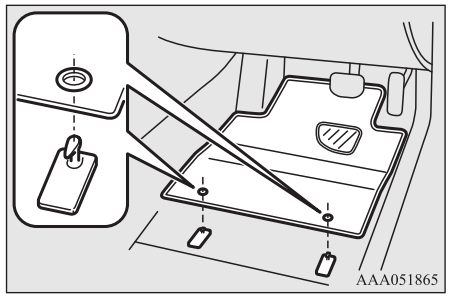
タイプ別装備　J00922800074

お客様のお車には，専用のフロアマットが設定されています。
フロアカーペットに装着されている固定クリップを使用し，つぎの手順で確実に固定してください。

固定のしかた

J00922900206

1. フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。
2. フロアマットの取り付け穴に固定クリップを通し，確実に固定します。



アドバイス

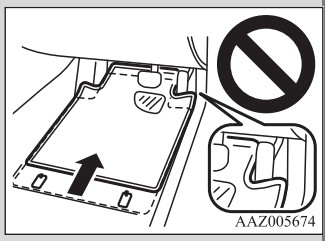
- 車種により，フロアマットの形状や固定クリップの数が異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマットの取扱説明書をお読みください。

⚠警告

- 運転席にフロアマットを敷くときは，つぎのことを必ずお守りください。お守りいただかないと，フロアマットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
  - 固定クリップを使用し確実に固定する

⚠警告

- フロアマットを前後逆さまにしたり，裏返して使用しない
- フロアマットでペダルをおおわない
- フロアマットの上または下に，別のフロアマットを重ねて敷かない
- アクセルペダルの下に敷かない
- 三菱純正フロアマットであっても，他車種または年式の異なるフロアマットを使用しない



- 運転する前につぎのことを確認してください。
  - フロアマットがすべての固定クリップで正しく固定されていることを定期的に確認し，車内の清掃などでフロアマットを取り外した後は必ず確認する
  - エンジン停止時およびセレクターレバーがⓅのときに，各ペダルをいっぱいに踏み込み，フロアマットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する

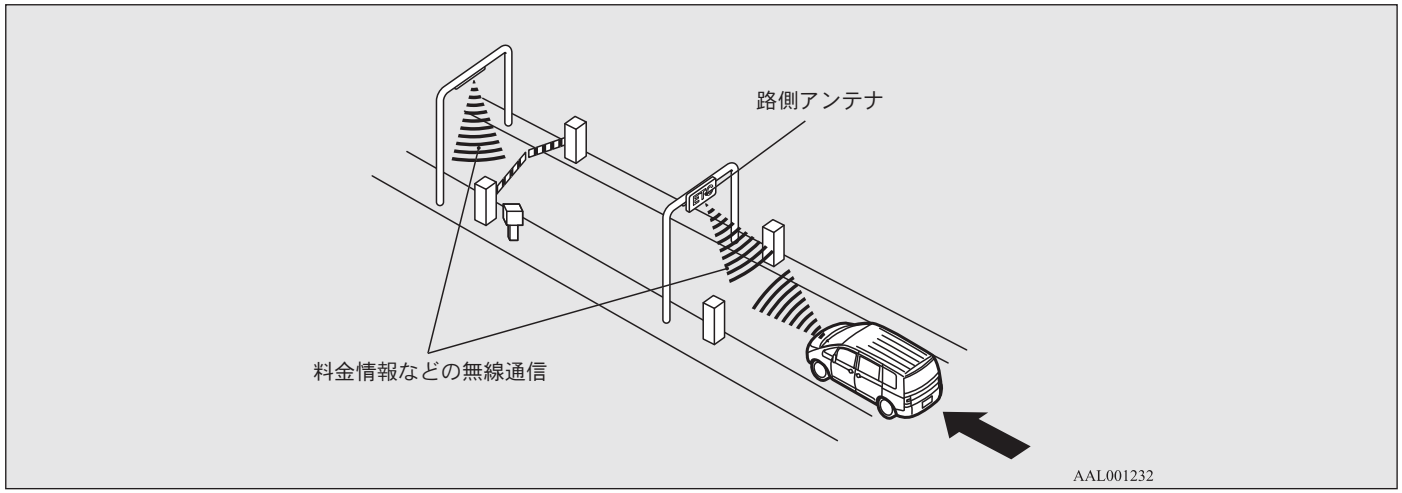
ETC

タイプ別装備

J00909900049

ETC システムについて

ETC (Electronic Toll Collection) システムは，有料道路の料金を自動で精算し，料金所の通過をスムーズに行うためのシステムです。料金所に設置された路側アンテナと，車両に装着した ETC 車載器との間で，料金情報などの無線通信を行い自動的に料金の精算を行います。



ETC システムを利用するときは，つぎのことに注意してください。

ETC カードを ETC 車載器に差し込む前に

- ETC カードには有効期限があります。使用する前に必ず有効期限を確認してください。→P.8-23

ETC カードを ETC 車載器に差し込んだ後

- ETC カードが ETC 車載器に確実に差し込まれていることおよび ETC 車載器が正常に作動していることを確認してください。→P.8-23
- 料金所付近でETC車載器からETCカードを抜いたり, 差し込んだりしないでください。ETC車載器がETCカードを確認するまでに数秒かかるため, 料金所を通過するとき通信エラーの原因になります。→P.8-24

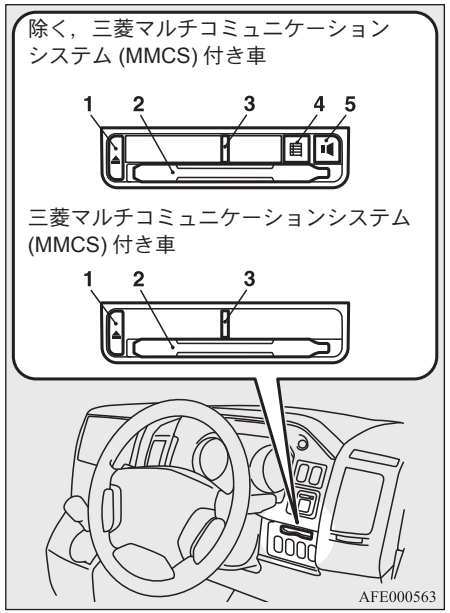
料金所を通過するときは

- ETC 車線を走行するときは前の車との車間距離を十分にとり 20km/h 以下の速度で走行してください。→P.8-24
- ETC車線に設置されている開閉バーは, ETC車載器と料金所間のデータ処理にエラーが発生すると開かないことがありますので注意して走行してください。→P.8-24
- 開閉バーの手前では十分に減速し, 開閉バーが開いたことを確認してから通過してください。→P.8-24

各部の名称

J00910100067

ETC 車載器

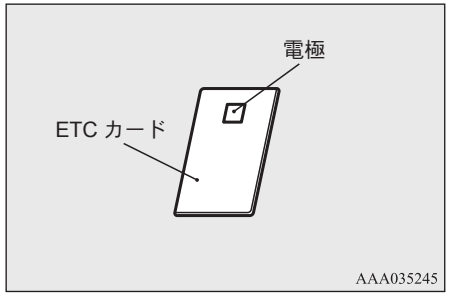


1- ETC カード取り出しボタン
2- ETC カード差し込み口
3- 作動表示灯
4- 利用履歴確認ボタン
5- 音量調整ボタン

⚠注意

- ETC 車載器は精密な電子機器部品です。故障や火災，感電の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 分解，改造をしない
  - 異物を内部に入れない
  - ぬれた手で操作しない
  - 水やジュースなどをこぼさない

ETC カード



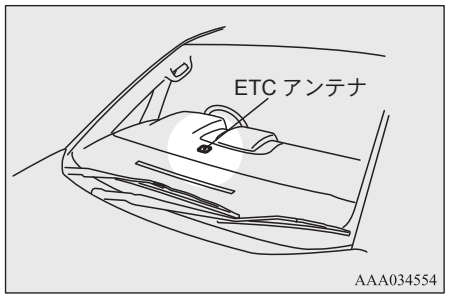
アドバイス

- ETCカードの取り扱いはETCカード発行会社が提示する注意事項にしたがってください。
- ETC カードには有効期限があります。使用する前にETCカードの有効期限をご確認ください。

アドバイス

- ETC カードは精密な電子機器部品です。故障や誤作動を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - 無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
- ETC カードを破損したり，紛失したときは，すみやかに ETC カード発行会社に連絡してください。

ETC アンテナ



アドバイス

- ETC アンテナ付近に物を置かないでください。通信エラーの原因になります。

ETC を初めて利用するための準備

J00910000011

ETC を利用するには, 事前に ETC カードの発行と，ETC 車載器のセットアップをしておく必要があります。

ETC カードの発行

ETC カードの発行には，お客様ご自身によるお申し込みが必要です。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ETC 車載器のセットアップ

正しく通行料金を精算するため，ナンバープレートなどお客様のお車の情報を ETC 車載器に登録する必要があります。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 一度セットアップをした後でも住所変更によりナンバープレートが変わる場合など再度セットアップが必要になることがあります。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

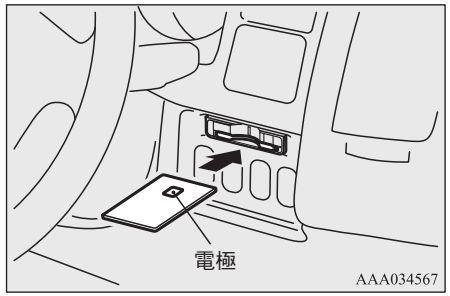
ETC を利用するときは

J00910300072

ETC は，ETC 車載器に ETC カードを差し込み，料金所に設置された ETC ゲートを通過することにより利用することができます。

運転する前に

1. エンジンスイッチを ON にします。
   ブザーが鳴った後「カードを入れてください」と音声で案内します。
2. ETC 車載器の作動表示灯が橙色に点灯したことを確認します。
3. ETC カード取り出しボタンが押し込まれていることを確認し，図の方向で ETC カードを ETC 車載器に差し込みます。



⚠注意

- ETC カード取り出しボタンが押し込まれていない状態で，無理に ETC カードを差し込まないでください。ETC 車載器および ETC カードが破損するおそれがあります。

4. ブザーが鳴った後「カードを確認しました」と音声で案内します。
   ETC 車載器の作動表示灯が橙色から緑色に切り換わったことを確認します。
   これで運転する前の準備は完了です。

⚠注意

- ETC カードには有効期限があります。
  使用する前に必ず有効期限を確認してください。
- ETC カードを ETC 車載器に差し込んだ後，作動表示灯が橙色から緑色に切り換わるまでは ETC カードを取り出さないでください。
  ETC カードまたはカード内のデータが破損するおそれがあります。

車から離れるときは

1. 安全な場所に停車します。
2. ETC 車載器の作動表示灯が緑色に点灯していることを確認します。

3. ETC カード取り出しボタンを押して，ETC カードを取り出します。

⚠注意

- ETC車載器からETCカードを取り出すときは，必ず ETC カード取り出しボタンを押してください。
  無理に引き抜くと ETC カードや ETC 車載器が破損するおそれがあります。
- ETCカードをETC車載器に入れたままにしたり，車内に放置したまま車から離れたりしないでください。
  炎天下の車内は高温になり，ETC カードが変形したり，ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

ETC カード抜き忘れ警告ブザー

ETC車載器にETCカードを差し込んだままエンジンスイッチを LOCK にすると，ETC カード抜き忘れ警告ブザーが鳴り，ETC カードの抜き忘れを知らせます。

アドバイス

- ETCカードをETC車載器に入れたままエンジンスイッチを ON または ACC にすると，ETC カード抜き忘れ警告ブザーが鳴ることがあります。

料金所を通過するときは

J00910400057

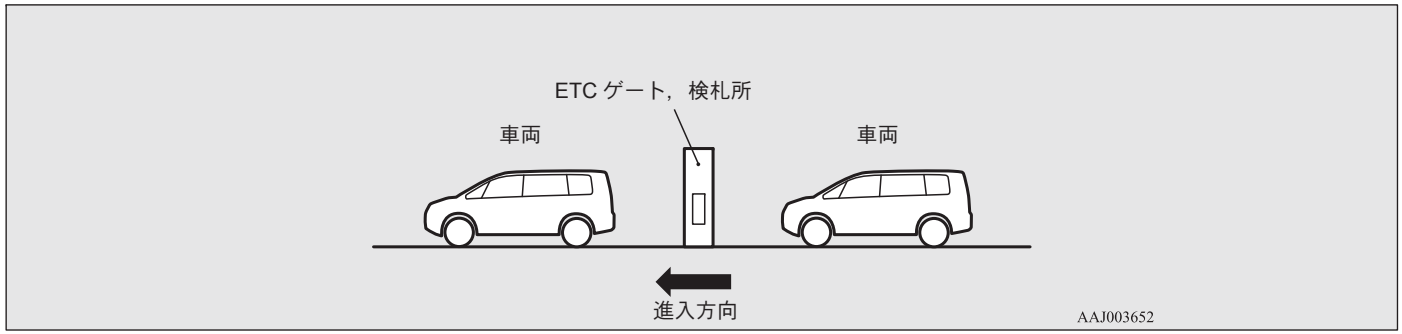
ETC 車載器と料金所の間での通信状態を，作動表示灯と音声案内で運転者に知らせます。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，案内のしかたが異なります。詳しくは，別冊の取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

- ETC 車線を走行するときはつぎのことを必ず守り，安全を確認しながら運転してください。
  - 前の車との車間距離を十分にとる
  - 20km/h 以下の速度で走行する
  - 開閉バーの手前では安全に停車できるように十分に減速する
  - 開閉バーが開いたことを確認してから通過する
- 料金所付近では ETC 車載器から ETC カードを抜いたり，差し込んだりしないでください。
  ETC カード内のデータが破損したり，通信エラーの原因となります。
- 開閉バーが開かないなどの理由により ETC 車線内で停車したときは，絶対に車をバックさせないでください。
  インターホンなどで係員を呼び，指示にしたがってください。

料金所（入り口）を通過するとき

ETC ゲート（入り口），検札所を通過します。



通行できるとき

ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できます」と音声で案内します。（除く，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車）

通行できないとき

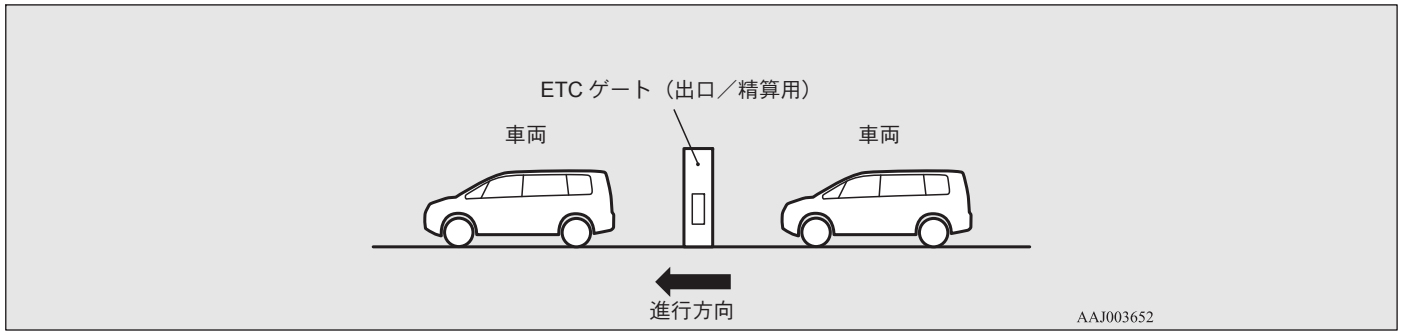
ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できません」と音声で案内します。
停車して料金所係員の指示にしたがってください。

⚠注意

- 後ろから他の車両が近づいている場合があるため，バックしないでください。

料金所（出口）を通過するとき

ETC ゲート（出口／精算用）を通過します。



アドバイス

- ETC ゲート（出口）を通過するときは，必ず ETC ゲート（入り口）で使用した ETC カードで通行してください。

通行できるとき

- ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できます」と音声で案内します。（除く，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車）
- 料金所を通過すると「〇〇〇円利用しました」または「払い戻し料金は〇〇〇円です」と音声で案内します。

アドバイス

- 音声で案内される通行料金は，割り引きなどにより実際と異なる場合があります。

通行できないとき

ETC 車載器の作動表示灯は緑色に点灯したまま，ブザーが鳴った後，「通行できません」と音声で案内します。
停車して料金所係員の指示にしたがってください。

⚠注意

- 後ろから他の車両が近づいている場合があるため，バックしないでください。

料金所付近で異常が発生したときは

ETC カードの差し込み異常

ETC 車載器の作動表示灯が橙色で点滅し，長めにブザーが鳴った後，「コード 01：カードを確認してください」と音声で案内します。
ETC カードが正しく差し込まれているかを確認し，再度差し込んでください。
開閉バーが開かないときは，インターホンなどで係員を呼び，指示にしたがってください。

ETC カードのデータ処理異常

ETC 車載器の作動表示灯が橙色で点滅し，ブザーが鳴った後，「コード 02：カードを確認してください」と音声で案内します。
ETC 車載器が ETC カードのデータを読み出せていません。
再度 ETC カードを差し込んでください。
開閉バーが開かないときは，インターホンなどで係員を呼び，指示にしたがってください。

通信データ異常

ETC 車載器の作動表示灯が橙色で点滅し，ブザーが鳴った後，「コード 06：ETC を利用できません」と音声で案内します。
ETC 車載器と料金所間のデータ処理にエラーが発生しています。
開閉バーが開かないときは，インターホンなどで係員を呼び，指示にしたがってください。

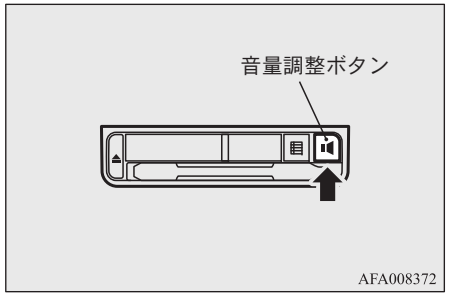
音量を調整するときは

J00910500045

除く，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車

ブザーおよび音声案内の音量を 4 段階に調整することができます。

音量調整ボタンを押すごとに「0 番」（消音）→「1 番」（小）→「2 番」（中）→「3 番」（大）→「0 番」（消音）の順に切り換わり，設定状態を音声（例：「0 番」「1 番」）で案内します。



アドバイス

- 工場出荷時，音量は「2 番」（中）に設定されています。
- 音量を「0 番」（消音）に設定していても，ETC車載器やETCカードに異常が発生した場合は，ブザーが鳴り，音声案内で運転者に異常を知らせます。

三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車

音声案内の音量を調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

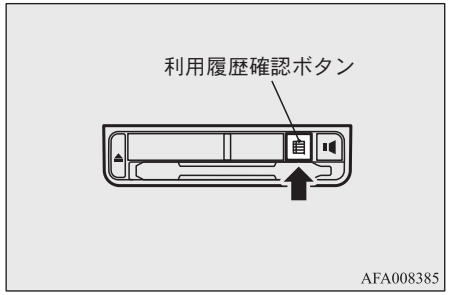
- ブザーの音量を調整することはできません。

利用履歴を確認するときは

J00910600059

除く，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車

利用履歴を確認することができます。
利用履歴確認ボタンを押すとつぎの通り音声で案内します。



ETC 車載器に ETC カードが差し込まれていないとき

ETC 車載器に記録されている現在までに ETC を利用した料金の合計を，音声で案内します。

アドバイス

- 料金の合計は 999,999 円まで記録できます。
- 利用履歴ボタンを 3 秒以上押し続けると料金の記録は消去され，「累積 0 円です」と音声で案内します。

ETC 車載器に ETC カードが差し込まれているとき

ETC システムを利用した日付および通行料金を音声で案内します。
利用履歴確認ボタンを押すごとに，日付の新しい履歴から順に音声で案内します。

アドバイス

- 利用日と通行料金の利用履歴はETCカードに記録されています。
  記録できる件数はETCカードにより異なります。

アドバイス

- 利用履歴が登録されていない場合は，「履歴はありません」と音声で案内します。
- いったん利用履歴ボタンの操作をとめて，再度利用履歴ボタンを押すと最新の利用履歴を音声で案内します。

アドバイス

- 一番古い利用履歴の案内をした後に利用履歴確認ボタンを押すと「履歴はありません」と音声で案内します。

三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車

利用履歴を確認することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

エラーコード

J00910801159

使用中にエラーが発生すると，ブザーが鳴り，エラーコードを音声で案内するとともに，作動表示灯が点灯または点滅します。下表で内容を確認し処置してください。
処置しても再度エラーが発生するときや，たびたびエラーが発生するとき，または下表以外のエラーが発生したときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，案内のしかたが異なります。詳しくは，別冊の取扱説明書をご覧ください。

音声案内	ブザー	作動表示灯（橙色）の状態	エラーの内容と処置方法
コード 01：カードを確認してください	ピー	1 回点滅します。	ETC カードが正しく差し込まれていません。 ETC カードが正しく差し込まれているかを確認し再度差し込んでください。

音声案内	ブザー	作動表示灯（橙色）の状態	エラーの内容と処置方法
コード 02：カードを確認してください	ピーピーピー	2 回点滅します。	●ETC 車載器に ETC カードを差し込んだとき 差し込まれた ETC カードのデータが読み出せていません。 再度 ETC カードを差し込んでください。 再度エラーが発生するときは三菱自動車販売会社にご連絡ください。 ●ETC 利用時 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 停車して料金所係員の指示にしたがってください。
コード 03：カードを確認してください	ピー	3 回点滅します。	差し込んだカードが ETC カードであることを認識できていません。差し込んだカードや差し込み方向に間違いがないかを確認し，再度 ETC カードを差し込んでください。 再度エラーが発生するときは，ETC カード発行会社にご相談ください。
コード 04：ETC を利用できません	ピー	4 回点滅します。	ETC 車載器が故障しています。三菱自動車販売会社にご相談ください。
コード 05：カードを確認してください	ピー	約 1 秒間点灯してから消灯します。	差し込んだカードが ETC カードであることを認識できていません。 差し込んだカードや差し込み方向に間違いがないかを確認し，再度 ETC カードを差し込んでください。 再度エラーが発生するときは，ETC カード発行会社にご相談ください。

音声案内	ブザー	作動表示灯（橙色）の状態	エラーの内容と処置方法
コード 06：ETC を利用できません	ピーピーピー	約 1 秒間点灯し，その後 1 回点滅します。	ETC 車載器と料金所の間でデータ処理にエラーが発生しています。 料金所係員の指示にしたがってください。 たびたびエラーが発生するときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
コード 07：	ピーピーピー	長めに 1 回点灯してから消灯し，その後 2 回点滅します。	
コード 09：	ピー	長めに 1 回点灯してから消灯し，その後 4 回点滅します。	ETC 車載器が故障しています。 三菱自動車販売会社にご相談ください。
コード 10：	ピー	2 回連続で点灯してから消灯します。	
コード 11：	ピーピーピー	2 回連続で点灯し，その後 1 回点滅します。	料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。停車して料金所係員の指示にしたがってください。

アドバイス

- 作動表示灯は，約 1 分間点滅を繰り返してから消灯します。
- エラーが発生したときは，音量調整ボタンを押して音量を「0 番」（消音）に設定していても，ブザーが鳴り音声案内で運転者に異常を知らせます。

故障かなと思ったら

J00910900010

下表で内容を確認し処置してください。
処置しても元に戻らないときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

現象	処置
エンジンスイッチを ON にしたとき，作動表示灯が緑色または橙色に点灯しない	三菱自動車販売会社にご相談ください。
作動表示灯が橙色に点灯する	ETC 車載器に ETC カードが差し込まれているか確認し，再度 ETC カードを差し込んでください。
作動表示灯が橙色に点滅する	エラーコードの内容を確認し処置してください。 →「エラーコード」P.8-29 たびたびエラーが発生するときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
料金所の開閉バーが開かない	停車して料金所係員の指示にしたがってください。その後，ETC アンテナの周囲に電波をさえぎる物がないか確認してください。
ETC 車載器に ETC カードを差し込むことができない	ETC 車載器に異物が入ったときは，異物を取り除いてください。 ETC カードが変形したときは，無理に差し込まず ETC カード発行会社に再発行を申請してください。
ETC 車載器から ETC カードが取り出せない	無理に ETC カードを引き抜かずに三菱自動車販売会社にご相談ください。 取り出した ETC カードが変形しているときは，ETC カード発行会社に再発行を申請してください。
請求金額が音声案内の内容と異なる	利用履歴確認ボタンで ETC カードの履歴を確認してください。 →「利用履歴を確認するときは」P.8-28 料金についてはカード発行会社にお問い合わせください。
ETC 車載器から異音がする	三菱自動車販売会社にご相談ください。
音声案内の内容がおかしい	利用履歴確認ボタンと，音量調整ボタンを同時に 3 秒以上押し続けてください。 音声案内の内容が元に戻らないときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

USB 入力端子

J00965100041

タイプ別装備

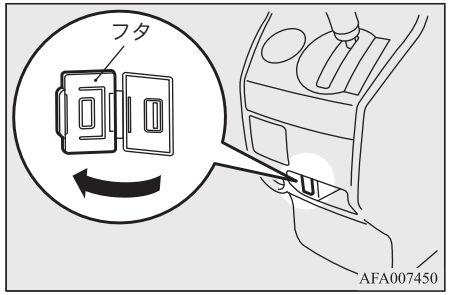
USB デバイスまたは iPod* を接続し，保存されている音楽ファイルを再生することができます。

ここでは USB デバイスまたは iPod の接続方法および取り外し方法について説明します。
*: “iPod” は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

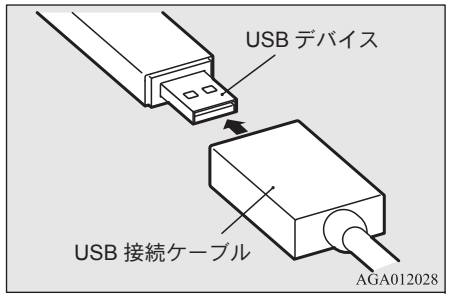
USB デバイス (機器) の接続のしかた

J00971500167

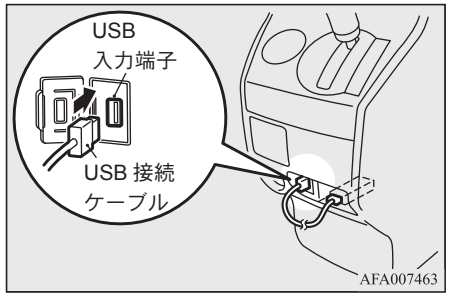
1. 安全な場所に車両を停車して，エンジンスイッチを LOCK にします。
2. USB 入力端子のフタを開けます。



3. 市販の USB 接続ケーブルを USB デバイスに接続します。



4. USB 接続ケーブルを USB 入力端子に接続します。



アドバイス

- USBデバイスをUSB入力端子に直接接続しないでください。

5. USB 接続ケーブルを取り外すときは，エンジンスイッチを LOCK にしてから，取り付けるときと逆の手順で取り外します。

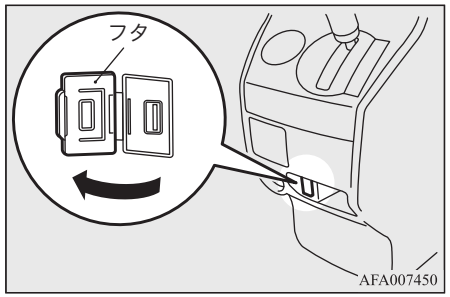
アドバイス

- USB 入力端子のフタを開けたまま放置しないでください。
  飲み物がこぼれてUSB入力端子にかかると，ショートの原因となるおそれがあります。

iPod の接続のしかた

J00971601123

1. 安全な場所に車両を停車して，エンジンスイッチを LOCK にします。
2. USB 入力端子のフタを開けます。

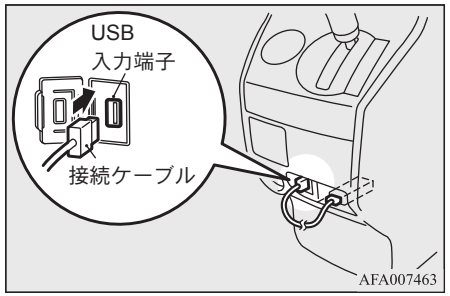


3. 接続ケーブルを iPod に接続します。

アドバイス

- 接続ケーブルは Apple Inc. 純正品を使用してください。

4. 接続ケーブルを USB 入力端子に接続します。



5. 接続ケーブルを取り外すときは，エンジンスイッチを LOCK にしてから，取り付けるときと逆の手順で取り外します。

アドバイス

- USB 入力端子のフタを開けたまま放置しないでください。
  飲み物がこぼれてUSB入力端子にかかると，ショートの原因となるおそれがあります。

接続できるデバイス（機器）の種類および対応可能なファイルの仕様

J00971700068

接続できるデバイスの種類および対応可能なファイルの仕様については，別冊の「三菱マルチコミュニケーションシステム」取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

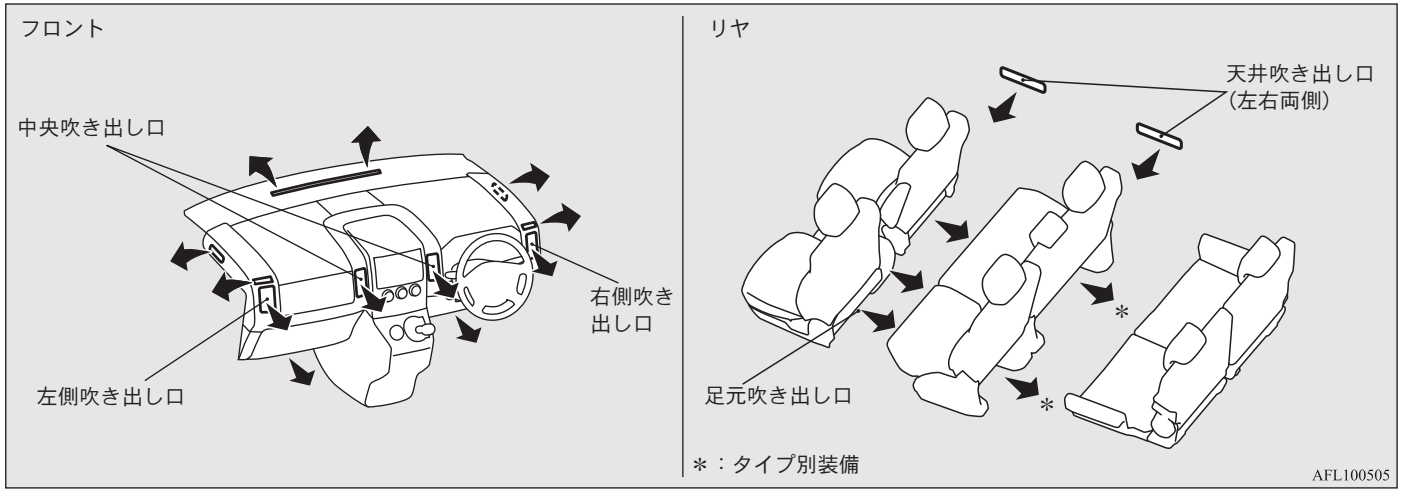
- 接続されているUSBデバイスまたはその他のデバイスの種類によっては，正しく機能しなかったり，ご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 最新のファームウェアにしたiPodの使用をおすすめします。
- iPod はエンジンスイッチが ACC または ON のときに USB 入力端子に接続することで充電することができます。
- USBデバイスまたはiPodを車内に置いたままにしないでください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- 接続可能なデバイス以外の機器（ハードディスク，カードリーダー，メモリーリーダー etc）を USB 入力端子に接続しないでください。デバイスおよびデータが破損するおそれがあります。誤って接続した場合はエンジンスイッチを LOCK にしてから取り外してください。

エアコン

吹き出し口 9-2
オートエアコン 9-4
スタートアップヒーター（フロント）..... 9-14
リヤマニュアルクーラー 9-16
リヤマニュアルクーラー／
　スタートアップヒーター（リヤ）..... 9-18
エアコン・クーラーの上手な使い方 9-20
クリーンエアフィルター 9-21

吹き出し口

J01000101854



風量・風向き調整

J01000300602

アドバイス

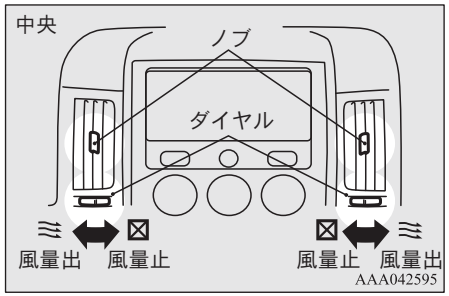
- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

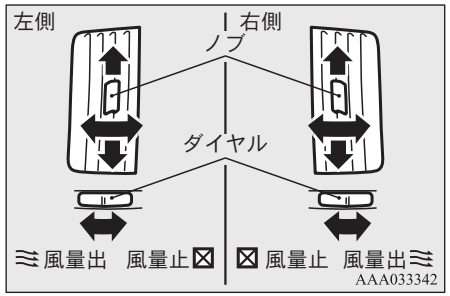
アドバイス

- 吹き出し口から飲み物などが入らないようにしてください。エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

フロント

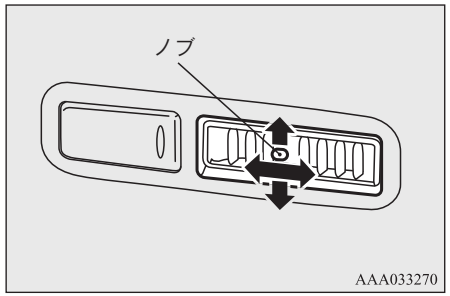
風量調整ダイヤル，風向き調整ノブを動かして調整します。





リヤ

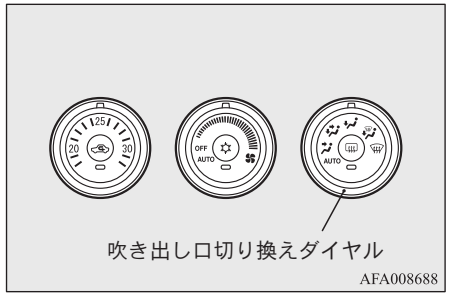
風向き調整ノブを動かして調整します。



吹き出し口の切り換え

J01000402014

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。



→「吹き出し口切り換えダイヤル」P.9-5

アドバイス

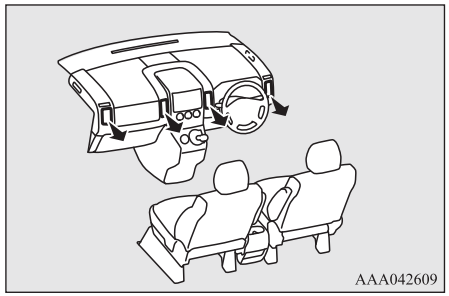
- オートストップ＆ゴー(AS&G) 付き車は，AS&G 作動中にウインドウガラスが曇ることがあります。
  ウインドウガラスが曇ったときは，吹き出し口切り換えダイヤルを にして曇りを取ってください。

→: 風量少

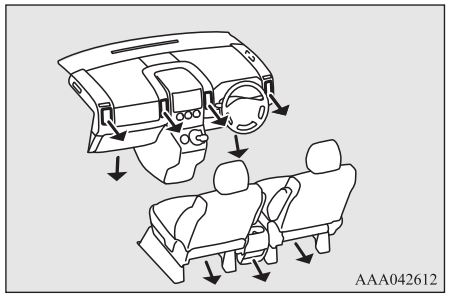
→: 風量中

→: 風量多

上半身に送風したいとき



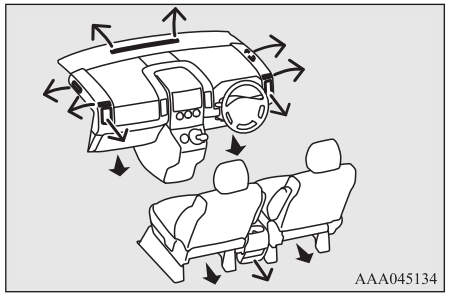
上半身と足元に送風したいとき



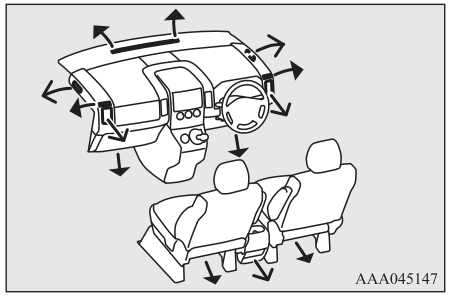
アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く，と の間にすると足元へ多く送風されます。

足元に送風したいとき



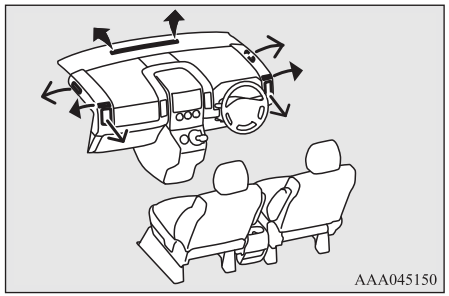
足元とウインドウガラスに送風したいとき



アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると足元へ多く，と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

ウインドウガラスに送風したいとき



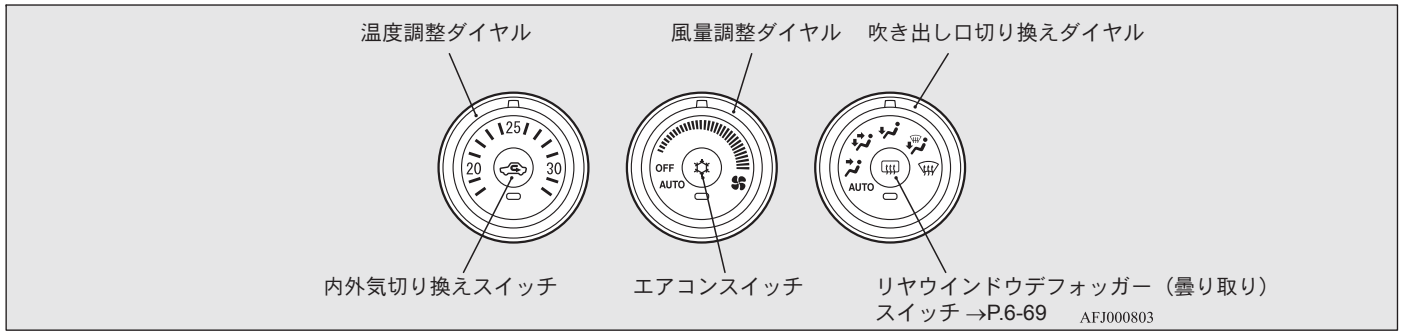
オートエアコン

J01002402063

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。

⚠注意

- エアコン作動中はエンジン回転数が高くなることがあります。オートマチック車，CVT 車は，停車中にエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象とは …」P.2-11



- スイッチの使い方 P.9-5
- 通常の使い方（自動で使うとき）P.9-9
- 手動で使うとき
  - ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは P.9-11
  - 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは P.9-14

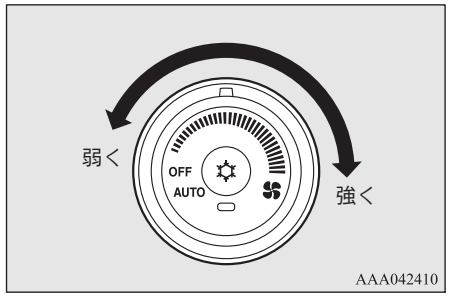
スイッチの使い方

J01002500099

風量調整ダイヤル

J01002800340

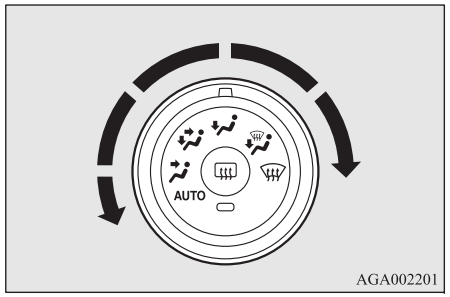
風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

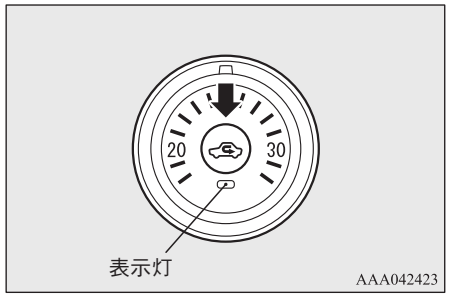


吹き出し口切り換えダイヤル

J01003200442

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P.9-3





⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
→「内外気切り換えスイッチ」P.9-6

内外気切り換えスイッチ

J01003400330

スイッチを押すと音が鳴り，外気導入と内気循環が切り換わります。

- 外気導入（表示灯：消灯）
  外気を車内に入れます。
- 内気循環（表示灯：点灯）
  車内の空気を循環させ，外気をしゃ断します。

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

アドバイス

- 手動操作後，再度吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルを AUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

内外気切り換えのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- 内外気自動制御許可：
  吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルを AUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。
- 内外気自動制御拒否：
  吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルをAUTOにしても内外気切り換えスイッチは自動制御されません。
- 設定変更方法
  内外気切り換えスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
  設定が変更されると音が鳴り，表示灯が点滅します。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ピピピッ”と鳴り，表示灯が 3 回点滅する。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ピピッ”と鳴り，表示灯が 3 回点滅する。

アドバイス

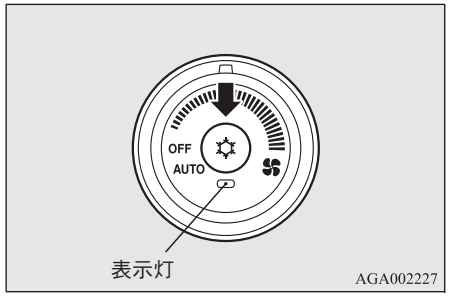
- 工場出荷時は「内外気自動制御許可」に設定されています。
- 吹き出し口切り換えダイヤルを にしているときは，窓の曇りを防止するため，「内外気自動制御拒否」に設定していても自動的に外気導入に切り換わります。

エアコンスイッチ

J01003501761

スイッチを押すと音が鳴り，エアコン（冷房・除湿機能）の作動と停止が切り換わります。

- エアコン作動（表示灯：点灯）
  エアコンが作動し，冷房・除湿機能が働きます。
- エアコン停止（表示灯：消灯）
  エアコンが停止しているため，冷房・除湿機能は働きません。



アドバイス

- エアコン作動表示灯が点滅したときは，エアコン装置に何らかの異常が考えられます。いったんエアコンを停止し，再度作動させてください。しばらくたってもエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。
  再び点滅する場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 高圧洗車機などを使用して，大量の水がコンデンサに付着した場合は，洗車後エアコン作動表示灯が一時的に点滅することがありますが，異常ではありません。しばらくたってから，いったんエアコンを停止し，再度作動させてください。水分が蒸発していれば点滅は止まります。

エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- エアコン自動制御許可：
  吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルをAUTOにした場合や温度調整ダイヤルを最低温度にした場合，エアコンスイッチの自動制御をします。
- エアコン自動制御拒否：
  エアコンスイッチを操作しない限り，エアコンスイッチの自動制御をしません。
- 設定変更方法
  エアコンスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
  設定が変更されると音が鳴り，表示灯が点滅します。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ ピピピッ ”と鳴り，表示灯が 3 回点滅する。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ピピッ”と鳴り，表示灯が 3 回点滅する。

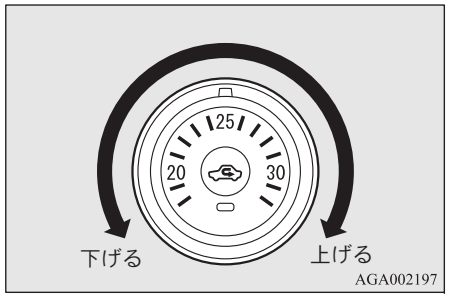
アドバイス

- 工場出荷時は「エアコン自動制御許可」に設定されています。
- 吹き出し口切り換えダイヤルを にしているときは，窓の曇りを防止するため，「エアコン自動制御拒否」に設定していてもエアコンは自動的に作動します。

温度調整ダイヤル

J01003000264

室内温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。



アドバイス

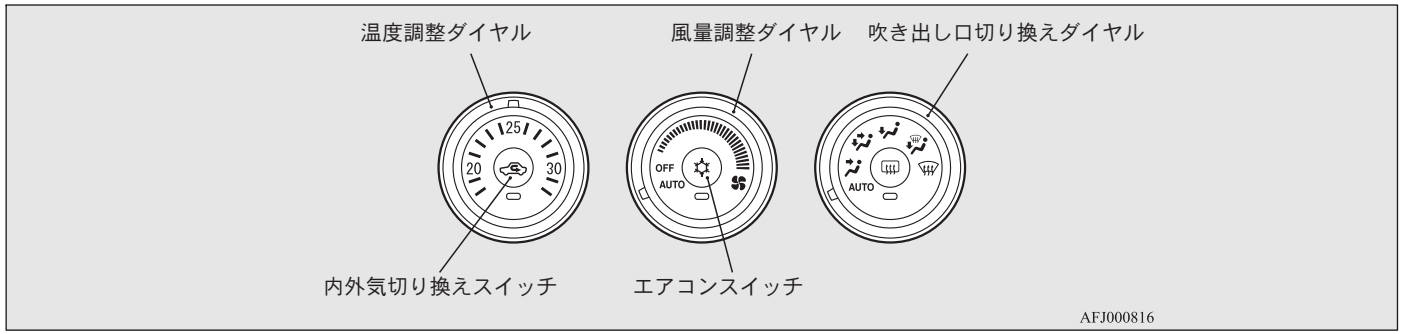
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- 温度を最高または最低に設定すると，内外気およびエアコンがつぎのとおり自動的に切り換わります。
  自動的に切り換わった後に手動操作した場合は，操作した機能が優先されます。
  - 急速暖房（最高温度に設定）
    外気導入，エアコン停止
  - 急速冷房（最低温度に設定）
    内気循環，エアコン作動

アドバイス

工場出荷時は上記のように設定されています。内外気切り換え／エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）した時や，操作条件によっては外気およびエアコンの自動切り換えを，お好みにあわせて変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
→「エアコンスイッチ」P.9-7
→「内外気切り換えスイッチ」P.9-6

通常の使い方（自動で使うとき）

J01004002047

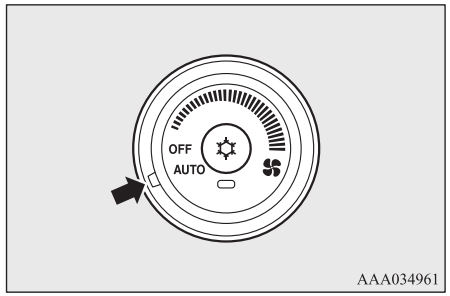


吹き出し口，風量，エアコンの作動／停止および，内外気の切り換えを自動的に調整します。

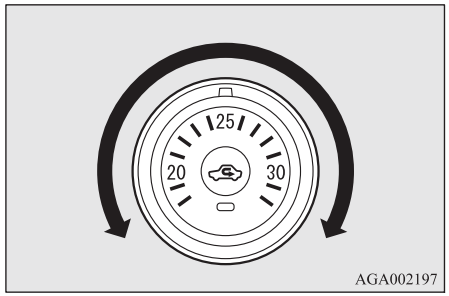
アドバイス

- AUTO 作動中にエアコンスイッチまたは内外気切り換えスイッチを操作すると操作した機能が優先します。操作した機能以外は自動制御されます。
- 外気温が低いときは，暖房効果を高めるために，通常の走行時よりもエンジン回転数が高くなることがありますが異常ではありません。

1. 風量調整ダイヤルを AUTO にします。



2. 温度調整ダイヤルで希望温度を設定します。設定温度を 18 ～ 32 の間で調整できます。



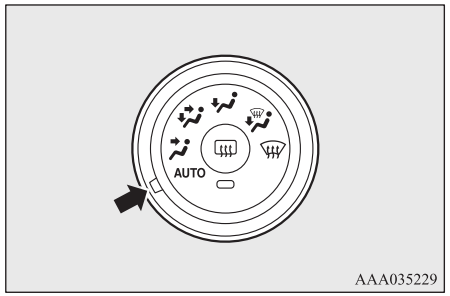
アドバイス

- 25 を基準に，お好みの温度に調整してください。
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。

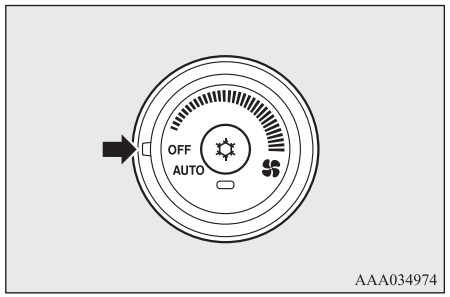
アドバイス

- AUTO 作動中に温度調整ダイヤル以外の各ダイヤル／スイッチを操作すると，操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。

3. 吹き出し口切り換えダイヤルをAUTOにします。

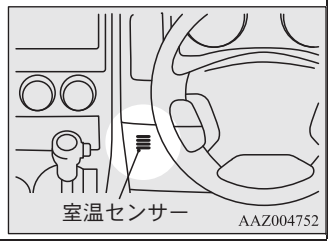


4. 作動を止めたいときは風量調整ダイヤルを OFF にします。



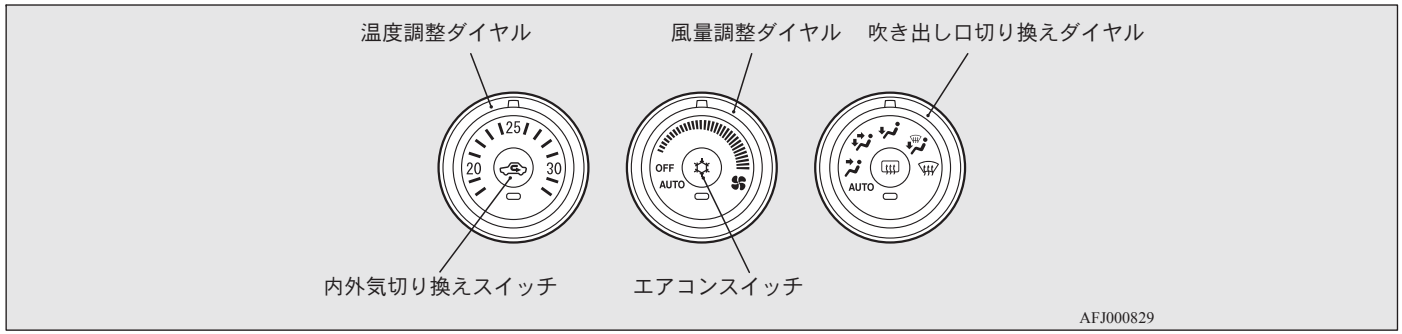
アドバイス

- 室温センサーをふさいだりしないでください。



手動で使うとき

J01004101647



お好みに合わせてダイヤルを操作してください。AUTO（自動）作動中でも，操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。
停止するときは風量調整ダイヤルを OFF にします。

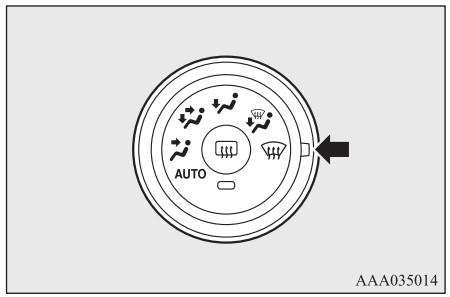
ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01004200713

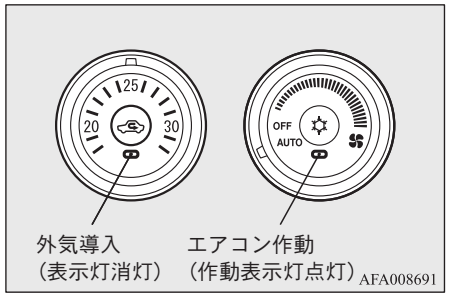
⚠注意

- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にします。



エアコンが自動的に作動し，外気導入（表示灯消灯）に切り換わります。



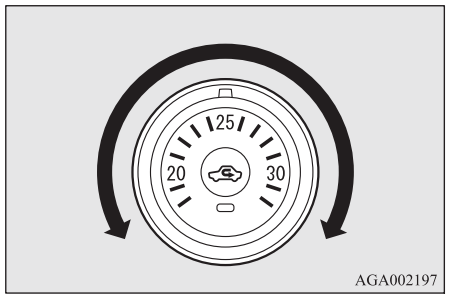
⚠注意

- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にしてもウインドウガラスの曇り，霜を取ることができますが，自動的にエアコンは作動しません。
  また, 外気導入にも切り換わりません。エアコンの作動および外気導入への切り換えは，エアコンスイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作して行ってください。

アドバイス

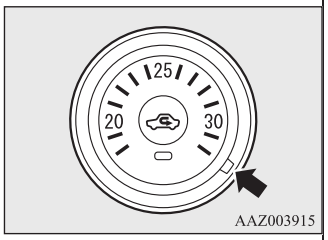
- オートストップ＆ゴー(AS&G) 付き車は，吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）の位置にすると，AS&G が作動せず，停車してもエンジンは自動で停止しません。これは十分な視界を確保するためです。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。



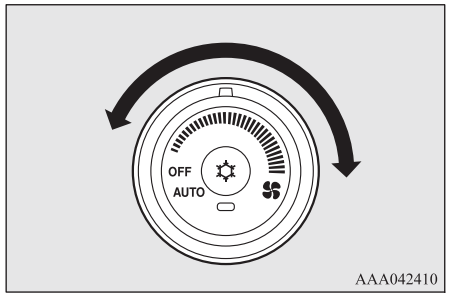
アドバイス

- 早く曇り，霜を取りたいときは温度を最高に設定します。



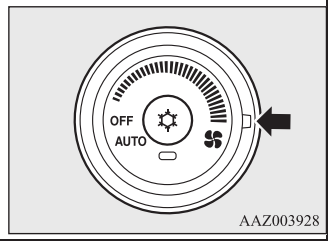
- 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にしたときは設定温度を最低温度付近にしないでください。
  ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



アドバイス

- 早く曇り，霜を取りたいときは風量を最大に設定します。



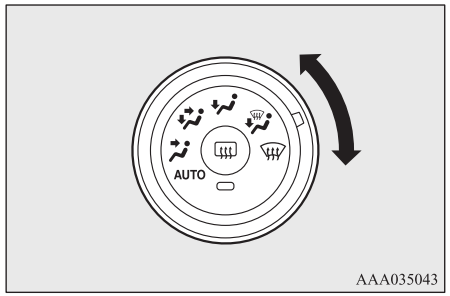
曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01011100163

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

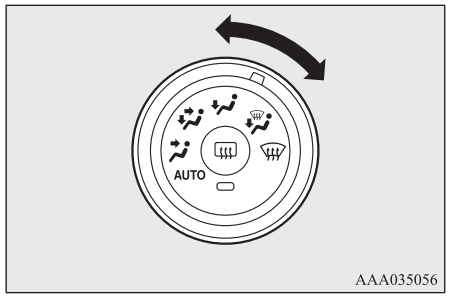
曇り止めを優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。



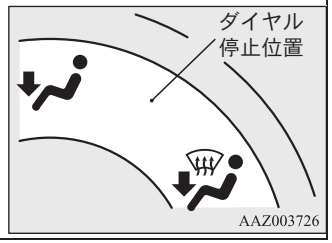
暖房を優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

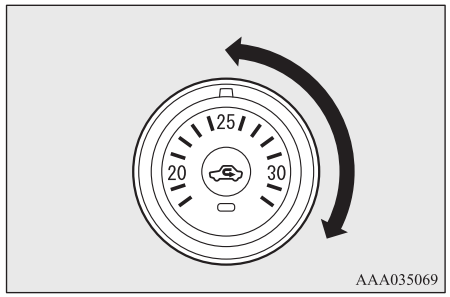


アドバイス

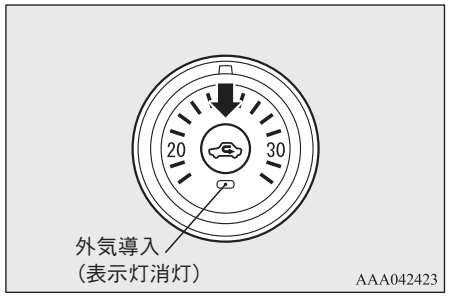
- 各シンボルの間にはそれぞれダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。



2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。



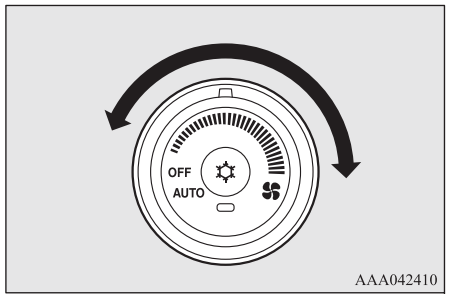
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。



⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



アドバイス

- エアコンを使用すると除湿効果があります。

排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

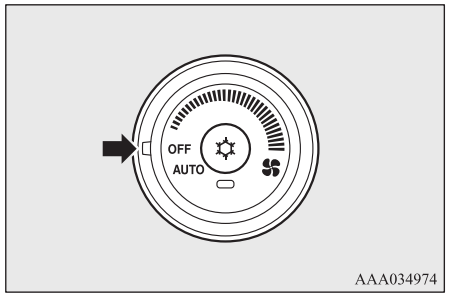
J01004300017

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。
→「内外気切り換えスイッチ」P.9-6

すべての作動を停止したいときは

J01004400177

風量調整ダイヤルを OFF にします。



AAA034974

スタートアップヒーター（フロント）

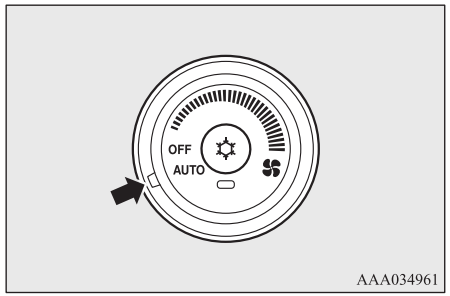
タイプ別装備

J01010901204

エンジン冷却水の温度が低いとき，暖房性能を向上させるための電気式ヒーターです。

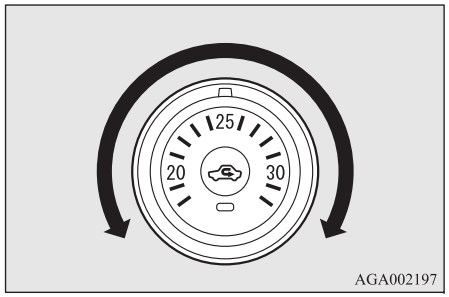
自動で使うとき

1. 風量調整ダイヤルを AUTO にします。



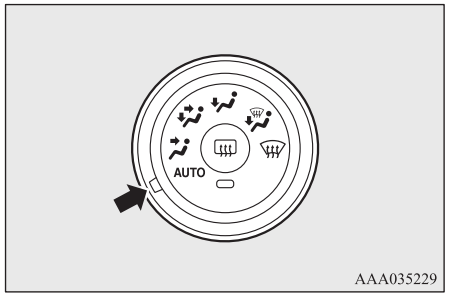
AAA034961

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。



AGA002197

3. 吹き出し口切り換えダイヤルをAUTOにします。

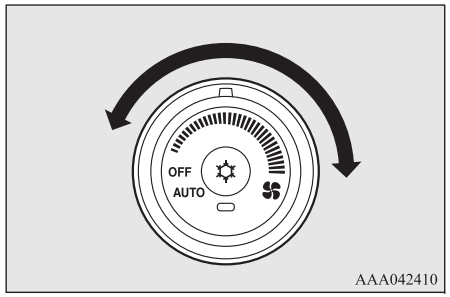


AAA035229

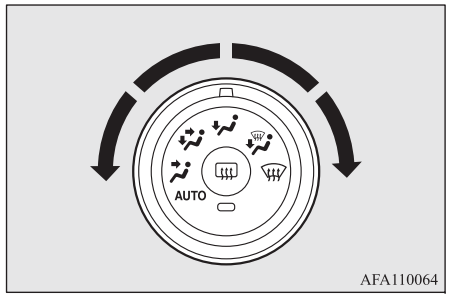
エンジン冷却水と車室内の温度から判断して自動で作動，停止を行います。

手動で使うとき

1. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

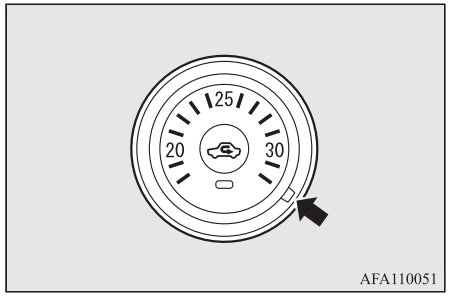


AAA042410



AFA110064

2. 温度調整ダイヤルで設定温度を最高に設定します。



AFA110051

3. 吹き出し口切り換えダイヤルで吹き出し口をお好みに設定します。

アドバイス

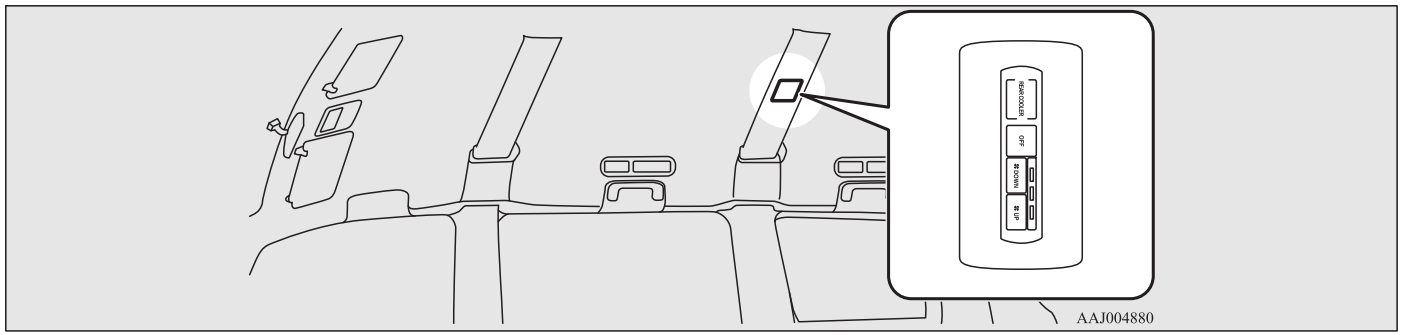
- エンジン冷却水の温度が十分に上昇すると，自動で停止します。

リヤマニュアルクーラー

タイプ別装備

J01007001184

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。
フロントエアコン（冷房・除湿機能）を作動していないと冷房できませんので，作動させてから使用してください。
→「エアコンスイッチ」P.9-7



アドバイス

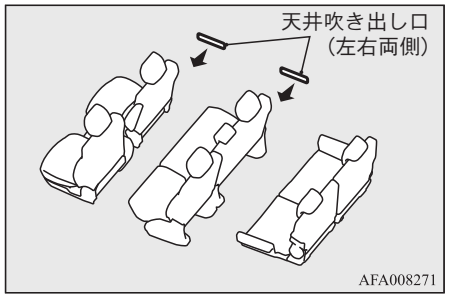
- フロントエアコンが作動していないときは送風のみになります。

- 吹き出し口 P.9-16
- スイッチの使い方 P.9-17
- 使い方 P.9-17

吹き出し口

J01011800128

天井吹き出し口から送風されます。



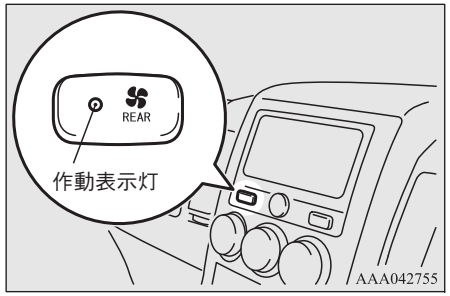
スイッチの使い方

J01007100061

前席用リヤファンスイッチ

J01010000110

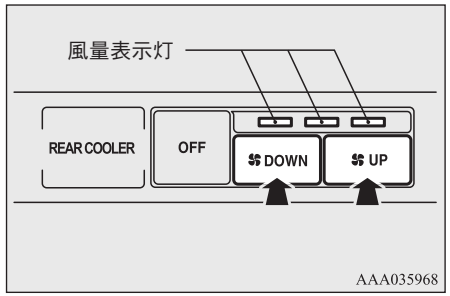
リヤファンスイッチを押すとリヤマニュアルクーラーが作動し，作動表示灯が点灯します。
もう一度押すと作動は停止します。



風量調整ボタン

J01010100078

風量を強くするときは UP ボタンを，弱くするときは DOWN ボタンを押します。
選択した風量は，風量表示灯に表示されます。



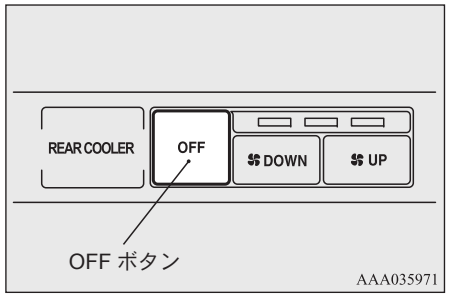
アドバイス

- エンジンを切っても風量を記憶しています。
  ただし，バッテリーを外すと記憶は消去され，自動的に風量弱になります。
- リヤマニュアルクーラーが停止しているときに，風量調整ボタンを押して作動させた場合，風量弱になります。

OFF ボタン

J01012000026

OFF ボタンを押すと，リヤマニュアルクーラーは停止します。



使い方

J01011900015

作動させるときは

1. 前席用リヤファンスイッチまたは風量調整ボタンを押します。
2. 風量調整ボタンを押して，お好みの風量に調整します。

作動を停止したいときは

前席用リヤファンスイッチまたはOFFボタンを押します。

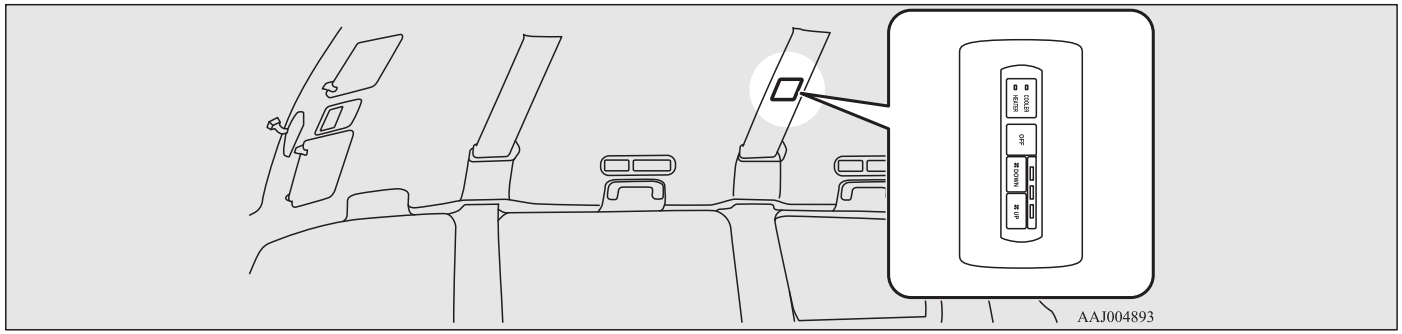
リヤマニュアルクーラー／スタートアップヒーター（リヤ）

タイプ別装備

J01007001197

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。
［リヤマニュアルクーラーを使用する前に］
フロントエアコン（冷房・除湿機能）を作動させます。
→「エアコンスイッチ」P.9-7
［スタートアップヒーター（リヤ）を使用する前に］
吹き出し口切り換えダイヤルを, , のいずれかの位置にして，フロントエアコンを作動させます。
→「吹き出し口切り換えダイヤル」P.9-5
→「エアコンスイッチ」P.9-7

9



アドバイス

- フロントエアコンが作動していないときは送風のみになります。

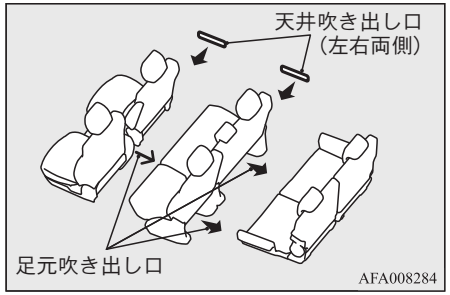
- 吹き出し口 P.9-18
- スイッチの使い方 P.9-19
- 使い方 P.9-20

吹き出し口

J01011800131

［リヤマニュアルクーラーを使用しているとき］
天井吹き出し口から送風されます。

[スタートアップヒーター（リヤ）を使用しているとき]
足元吹き出し口から送風されます。



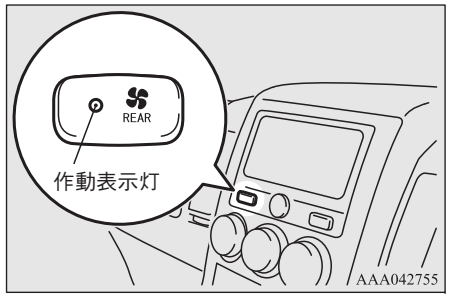
スイッチの使い方

J01007100074

前席用リヤファンスイッチ

J01010000123

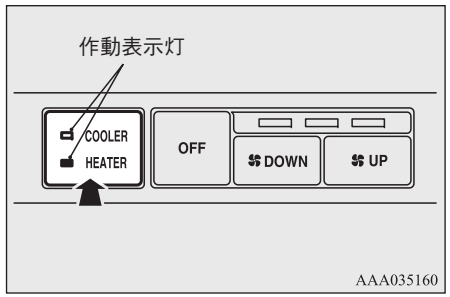
リヤファンスイッチを押すとリヤマニュアルクーラーまたはスタートアップヒーター（リヤ）が作動し，作動表示灯が点灯します。
もう一度押すと作動は停止します。



クーラー／ヒーター切り換えスイッチ

J01012100014

スイッチを押すごとにリヤマニュアルクーラーとスタートアップヒーター（リヤ）が切り換わり，作動しているモードの作動表示灯が点灯します。



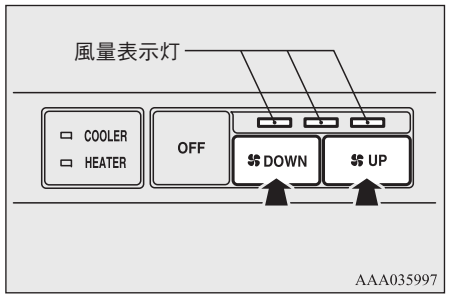
アドバイス

- クーラー／ヒーター切り換えスイッチを押してリヤマニュアルクーラーまたはスタートアップヒーター（リヤ）を作動させた場合，前席用リヤファンスイッチ内の作動表示灯も同時に点灯します。
- リヤマニュアルクーラーとスタートアップヒーター（リヤ）の同時作動はできません。
- スタートアップヒーター（リヤ）の作動中にクーラー／ヒーター切り換えスイッチを押すと，風量を記憶したままリヤマニュアルクーラーに切り換わります。

風量調整ボタン

J01010100065

風量を強くするときは UP ボタンを，弱くするときは DOWN ボタンを押します。
選択した風量は，風量表示灯に表示されます。



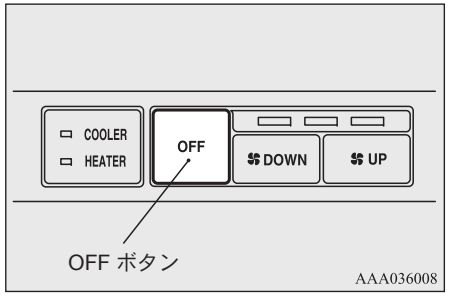
アドバイス

- エンジンを切っても風量を記憶しています。ただし，バッテリーを外すと記憶は消去され，自動的に風量弱になります。
- リヤマニュアルクーラーおよびスタートアップヒーター（リヤ）が停止しているときに，風量調整ボタンを押して作動させた場合，風量弱になります。

OFF ボタン

J01012000013

OFF ボタンを押すと，リヤマニュアルクーラーおよびスタートアップヒーター（リヤ）は停止します。



アドバイス

- OFF ボタンを押してリヤマニュアルクーラーおよびスタートアップヒーター（リヤ）を停止した場合，前席用リヤファンスイッチ内の作動表示灯も同時に消灯します。

使い方

J01011900028

作動させるときは

1. 前席用リヤファンスイッチ，クーラー／ヒーター切り換えスイッチまたは風量調整ボタンのいずれかを押します。
2. クーラー／ヒーター切り換えスイッチを押して，お好みのモードに切り換えます。

アドバイス

- スタートアップヒーター（リヤ）の作動中にフロントエアコンをつぎのように操作すると，スタートアップヒーター（リヤ）の作動は停止します。
  フロントエアコンの状態を解除すると，スタートアップヒーター（リヤ）は停止する直前の風量で再び作動します。
  - 風量調整ダイヤルを OFF にしたとき
  - 吹き出し口切り換えダイヤルを または の位置にしたとき

3. 風量調整ボタンを押してお好みの風量に調整します。

作動を停止したいときは

前席用リヤファンスイッチまたはOFFボタンを押します。

エアコン・クーラーの上手な使い方

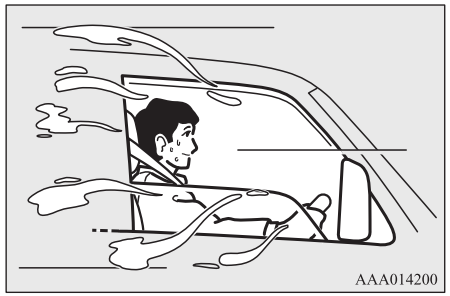
J01009400693

スタートアップヒーター（リヤ）の上手な使い方

効率よくスタートアップヒーター（リヤ）をお使いいただくために，フロントエアコンの内外気切り換えスイッチを外気導入に設定することをおすすめします。
→「内外気切り換えスイッチ」P.9-6

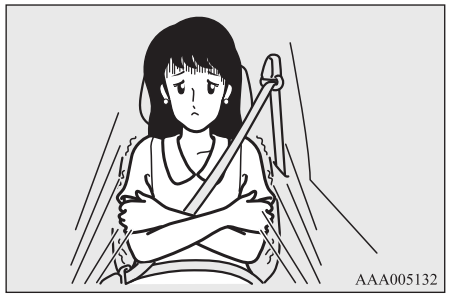
長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してください。



冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。



定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンフード（ボンネット）に貼り付けてあるエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサーが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

クリーンエアフィルター

J01009500694

花粉やほこり，粉じんなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換することをおすすめします。

→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P.11-5

アドバイス

- 使用地域やエアコンの使用頻度によってはフィルターの寿命が短くなります。吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは交換時期ですので三菱自動車販売会社にご相談ください。
（交換時期の目安:1年または12,000kmのいずれか早いとき）

オーディオ

アンテナ 10-2

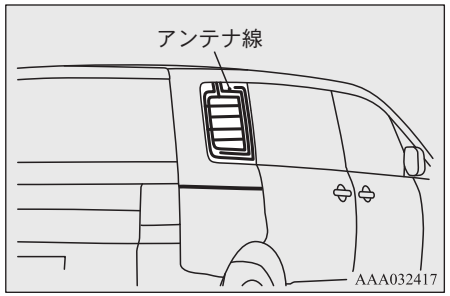
- 三菱マルチコミュニケーションシステム付き車のオーディオの操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

アンテナ

J01102200808

ガラスアンテナ

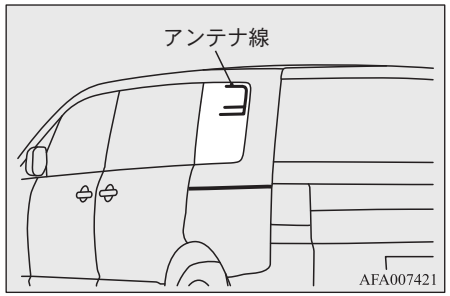
ラジオ用アンテナ線が右のリヤクォーターガラスの内側にプリントされています。



テレビアンテナ

タイプ別装備

テレビ用アンテナ線が左右のリヤクォーターガラスの内側にプリントされています。



アドバイス

- リヤクォーターガラスを清掃するときは，アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。
- リヤクォーターガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると，受信感度が低下する原因となります。
  また，フィルムを貼り付ける際，カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

簡単な整備・車のお手入れ

エンジンオイルの補給 11-2
ウォッシャー液の点検・補給 11-2
バッテリー液の点検・補給 11-3
タイヤメンテナンス 11-4
クリーンエアフィルターの交換のしかた 11-5
内装品のお手入れ 11-6
外装品のお手入れ 11-7

エンジンオイルの補給

J01200100703

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱自動車純正エンジンオイルまたはオイル缶に ILSAC 認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。
→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P.1-8
→「オイル類の量と種類」P.14-3

ILSAC 認証マーク

AAA005581

アドバイス

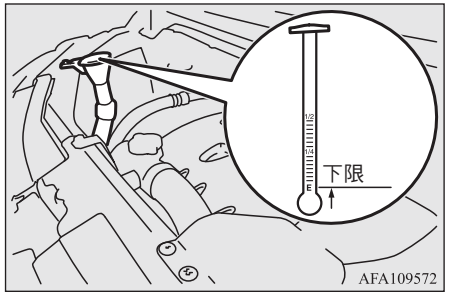
- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの補給については，ジョッキを使用してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200201958

ウォッシャータンクのキャップを開け，レベルゲージで液量を点検します。

フロント・リヤ共用



ウォッシャー液が不足している場合は，三菱自動車純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液 1 に水 2	-10 ℃程度
寒冷地の冬期	原液 1 に水 1	-20 ℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50 ℃程度

⚠注意

- ウォッシャー液以外の液体を，タンクに入れないでください。ポンプの故障，ノズルの詰まり，塗装のしみなどの原因になることがあります。
- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

バッテリー液の点検・補給

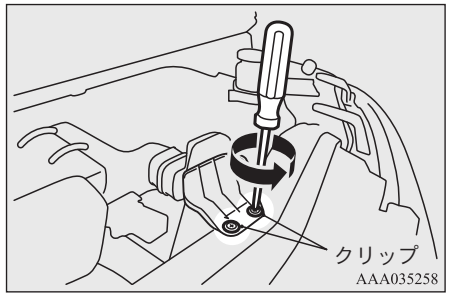
J01202200115

バッテリー液を点検し，液が不足している場合は補給してください。

点検および補給方法については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

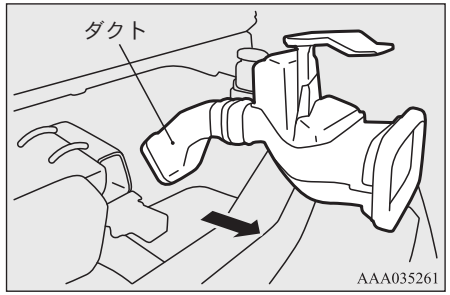
バッテリー液を点検・補給するときは，つぎの手順でバッテリー上部にあるダクトを外します。

1. ダクトのクリップ（2 箇所）をドライバーで取り外します。

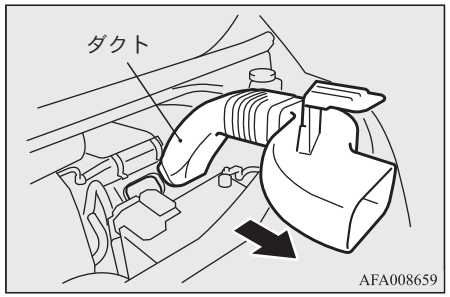


2. ダクトを手前に引き抜きます。

ガソリン車



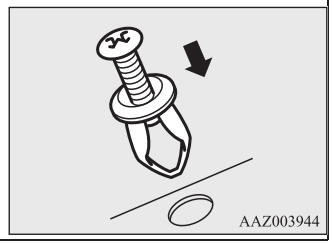
ディーゼル車



3. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順でダクトを取り付けます。

アドバイス

- クリップを取り付けるときは図の状態で差し込み，押さえつけます。



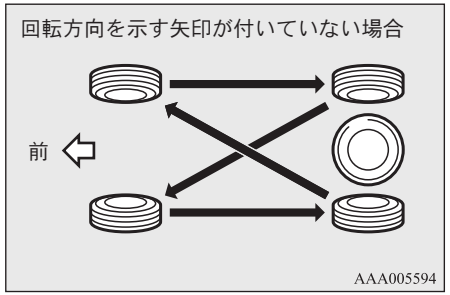
タイヤメンテナンス

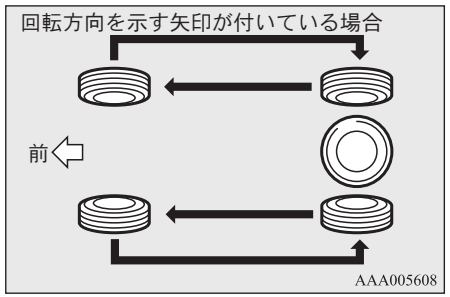
J01202100143

タイヤローテーション

J01202401358

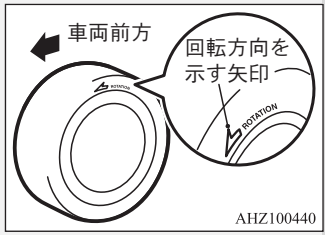
タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。





⚠注意

- 応急用スペアタイヤはローテーション作業を行うとき，外したタイヤの代わりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。
- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4 輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

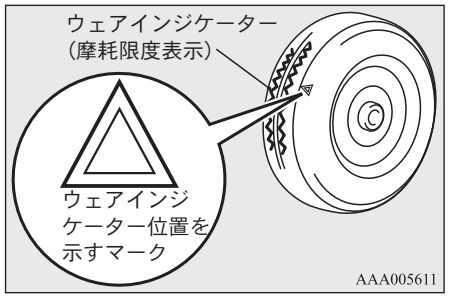


- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202500017

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。



アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600018

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P.14-10

⚠警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。

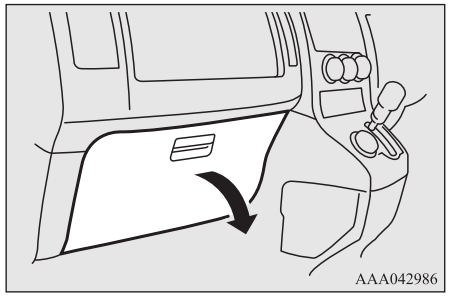
アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

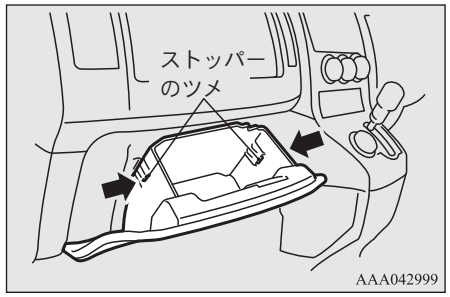
クリーンエアフィルターの交換のしかた

J01202000432

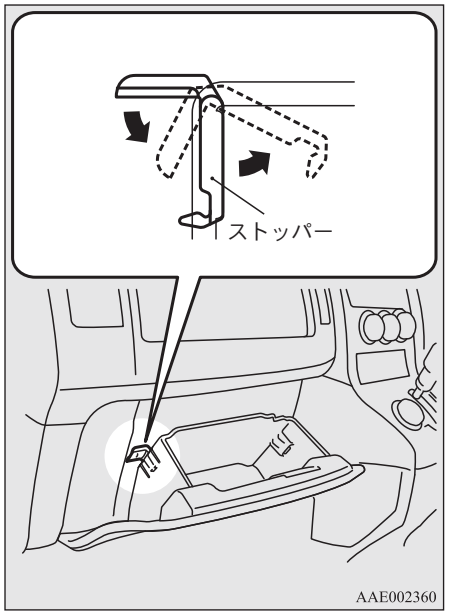
1. エンジンスイッチを LOCK にし，ロアグローブボックスを開けます。



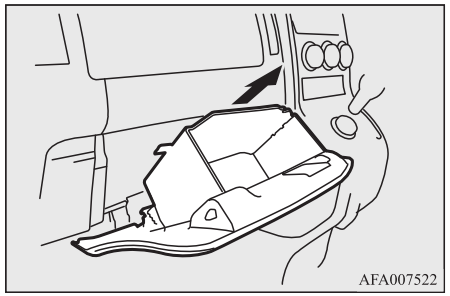
2. 左右にあるストッパーのツメを手前に引きつつ内側に押し込み，ストッパーを外します。



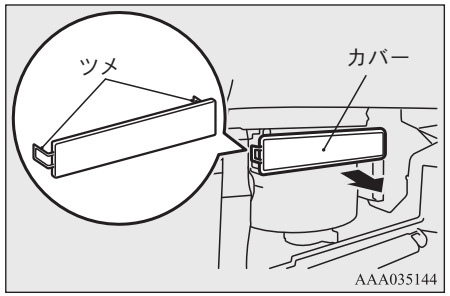
3. ロアグローブボックスを少し閉じます。
   手順2.で外したストッパーをボックス内側の方向に押して約 90 度回転させます。



4. ロアグローブボックスを斜め上に強く引いて取り外します。



5. ロアグローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。
   カバー左右にあるツメを外し，手前に引いて外します。



6. クリーンエアフィルターを取り外して新品と交換します。
7. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200602223

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
  また，各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- 見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

J01202700123

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200702341

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下まわりやホイール，スライドドアのレール周辺を洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202801815

1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠注意

- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。

⚠注意

- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがあります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約 50cm 以上）
  - ドアガラス回りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約 50cm 以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，ドアミラーおよびサイドアンダーミラーを格納してください。

ワックスのかけ方

J01202900398

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスかけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面やメッキ面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色むらなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。

アドバイス

- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000237

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線やアンテナ線を傷つけないよう線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100016

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

樹脂部品のお手入れ

J01201500137

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

タイプ別装備　J01201600141

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. 柔らかい布またはセーム皮で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，しみの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

塗装の補修

J01201700113

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 12-2
走行前の点検 12-2
雪道，凍結路の走行 12-4
寒冷地での駐車 12-4
ディーゼル車の使用燃料 12-5
タイヤチェーン 12-5

冬期前の点検と準備

J01300102447

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P.14-3

冷却水

冷却水の凍結を防ぐため外気温に適した不凍液濃度にします。
→「冷却水の量と種類」P.14-6

不凍液濃度	凍結保証温度
30%	約 -15°C
50%	約 -35°C

アドバイス

- 4WD 車および寒冷地仕様車は，工場出荷時に不凍液濃度 50% の冷却水を充填しているため，濃度の調整は不要です。
- 不凍液濃度の点検は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を 50% 以上にします。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P.11-2

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。
→「バッテリー液の点検・補給」P.11-3

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
→「タイヤチェーン」P.12-5
冬用タイヤに取り替えるときは，4 輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P.13-16

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

走行前の点検

J01300201845

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ガラス，ランプ類，車の屋根の雪や霜を落とす

走行前にガラスやランプ類に付いた雪や霜および車の屋根に積もった雪を落としてください。
また，ワイパーブレードがガラスに凍りついていないか確認してください。

⚠注意

- 車の屋根に雪が積もったまま走行すると，走行中ガラスに雪が落ちて視界の妨げとなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ワイパー作動中に雪が落ちた場合，ワイパーの故障の原因となります。

⚠注意

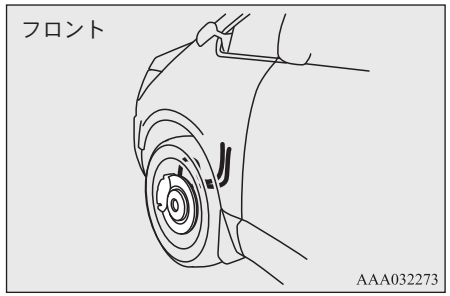
- 冬期はワイパーブレードが凍結しガラスに張り付くことがあります。ガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを痛めたり，ワイパーモーターの故障の原因となります。
  フロントガラスの場合は，ヒーターで暖めてください。
  →『ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは』P.9-11

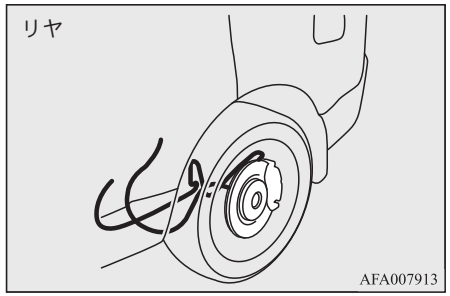
足回りの確認

足回りに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足回りにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。





ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドア周りのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300621

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。
環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度は控えめにし，タイヤチェーンを前輪に装着，または 4 輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。
車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下回りを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300401645

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，セレクターレバーをⓅ に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで屋根などのへこみや車体が損傷するおそれがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

ディーゼル車の使用燃料

J01300600031

ディーゼル車の使用燃料（軽油）は，外気温が低くなると凍結し，燃料パイプなどが詰まってエンジンの始動ができなくなったり，停止するなど故障の原因になります。
寒冷地域（スキー場など）に移動するときは，現地に着くまでに燃料の残量が 1/2 以下になるようにしておき，到着後はできるだけ早く下表の寒冷地用の燃料を補給してください。

アドバイス

- フェリーを利用して寒冷地域に移動するときは，到着後すぐに寒冷地用の燃料を補給できるよう，乗船前の燃料の残量を 1/2 以下にしておいてください。
- 使用温度範囲は，使用条件や環境により多少異なります。

使用温度範囲	使用燃料
-5 ℃以上	JIS2 号　低硫黄軽油（S10ppm 以下）
-5 ℃～ -15 ℃	JIS3 号　低硫黄軽油（S10ppm 以下）
-15 ℃～ -25 ℃	JIS 特 3 号　低硫黄軽油（S10ppm 以下）

タイヤチェーン

J01300701101

前輪駆動車ですので，タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。
4WD車も前輪駆動を主とした四輪駆動なので，タイヤチェーンは前輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用タイヤにはタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクしたときは後輪を前輪に取り付けてからチェーンを装着してください。

⚠注意

- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。
  また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- スチールホイール付き車は，ホイールカバーを外してからタイヤチェーンを取り付けてください。ホイールカバーを付けたままタイヤチェーンを取り付けると，ホイールカバーが傷つくおそれがあります。
  →「ホイールカバー」P.13-19
- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着したときは 30km/h 以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ 13-2
こんなことでお困りのときは！..... 13-4
故障したときは！ 13-8
発炎筒を使うときは！ 13-9
工具とジャッキ 13-9
ジャッキアップのしかた 13-10
スペアタイヤ 13-13
タイヤ交換のしかた 13-16
バッテリー上がりのときは！ 13-20
オーバーヒートしたときは！ 13-22
けん引 13-24
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ 13-27
ヒューズが切れたときは！ 13-27
バルブ（電球）が切れたときは！ 13-32

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400102624

アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイ内の警告表示は「インフォメーション画面表示一覧」の項をご覧ください。→P.6-48

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P.6-57

ただちに最寄りの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	エンジン警告灯	P.7-15
	DPF 警告表示	

ただちに最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P.5-44

急ブレーキや高速走行を避け，ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。
駐車ブレーキをかけたままのときも点灯します。
駐車ブレーキを解除し，消灯すれば異常ではありません。

	ブレーキ警告灯	P.6-56

安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
ただし，ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは，急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に停めて最寄りの三菱自動車販売会社に連絡してください。

	ABS 警告灯	P.7-40

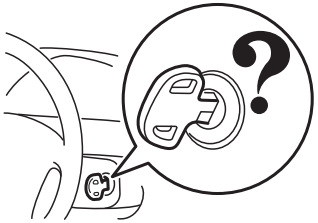
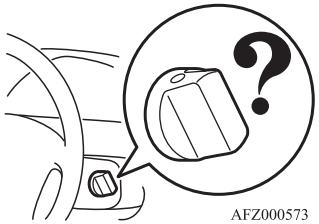
参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P.5-24

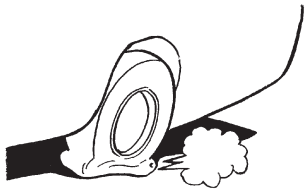
こんなことでお困りのときは！

J01400303229

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P.2-8
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一，走行中にエンストしたときは」→ P.2-10

現象	処置
エンジンスイッチが回らない。 （エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるとき）  （キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるとき）  AFZ000573	［エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるとき］ **LOCK から ACC に回らない** ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。 **ACC から LOCK に回らない** セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 「エンジンスイッチ：ACC から LOCK に回すときは」→ P.7-9 ［キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるとき］ **LOCK (PUSH OFF) から ACC に回らない** キーレスオペレーションキーが車室内にあることを確認します。 →「エンジンを始動するときの作動範囲」P.4-7 再度エンジンスイッチを押してハンドルを左右に動かした後，エンジンスイッチを回してください。 **ACC から LOCK に回らない** セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 「エンジンスイッチ：ACC から LOCK に回すときは」→ P.7-7
キーレスオペレーション機能が作動しない。	エマージェンシーキーを使ってドアの施錠・解錠操作，エンジンの始動操作を行ってください。 「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」→P.4-12 「エンジンのかけ方・止め方」→P.7-9
セレクターレバーがⓅから動かない。	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチが ON になっているか確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P.7-20，7-26

13

現象	処置
雨の日，湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」→ P.9-11
パンクした。 	1. あわてずに，ハンドルをしっかり持ち，安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P.13-16
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない，暗い。 ホーンが鳴らない，音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは！」→ P.13-20

現象	処置
マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたあとエンジン冷却水温表示が点滅していたり，エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。 Aタイプ 点検して下さい または 031105 km Bタイプ オーバーヒート警告 安全な場所に停車してください または H C AGZ001267	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは！」→ P.13-22
タイヤがスリップして発進できない。 （ぬかるみ，雪道，凍結路などの発進時）	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 ● 1. 毛布か布などがあるときは，それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. 4WD 車は，ドライブモードセレクター（ダイヤル）を「4WD オート」モードまたは「4WD ロック」モードに設定します。 3. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進します。 ● 何も滑り止めにするものがないときは，前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは，車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。また，エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。

現象	処置
オートマチックトランスミッションまたはCVT が変速しない。	オートマチックトランスミッションまたは CVT に異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
加速が鈍い。	オートマチックトランスミッションまたは CVT に異常が発生し，安全装置が働いているか，エンジン制御装置に異常が発生していると考えられます。高速走行を避けてただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 オートマチックトランスミッション車で発進しにくいときは，セレクターレバーをスポーツモードの２速に入れて発進し，その後はⒹに戻して走行してください。 故障の内容によってはこの方法でも効果がないときもあります。
オートストップ＆ゴー (AS&G) が作動しない。もしくは作動頻度が落ちた。	バッテリー性能が劣化などの理由により，低下している可能性があります。 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- マルチインフォメーションディスプレイ内の警告表示や警告表示が消えないときやたびたび表示するとき，またはエンジン警告灯が点灯や点滅したとき，走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，クリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

13 故障したときは！

J01400401893

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，セレクターレバーをⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- オートマチック車，CVT 車は，マニュアル車と構造が異なるため，エンジンスイッチを START の位置で保持しても，緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

修理の連絡先

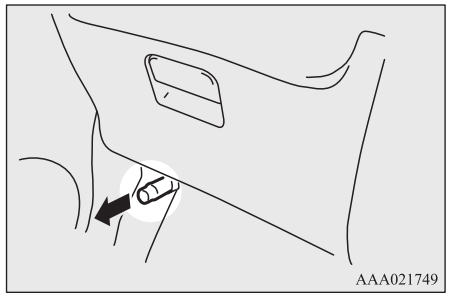
別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！

J01400500158

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。

使用したときや期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，ロアグローブボックスの左下部に備えつけてあります。



警告

- お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。
  煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P.6-65
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600609

注意

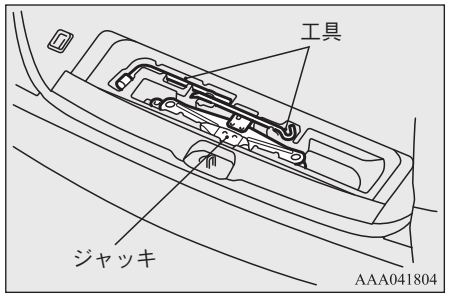
- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

ラゲッジルーム内のラゲッジフロアボード下に格納されています。

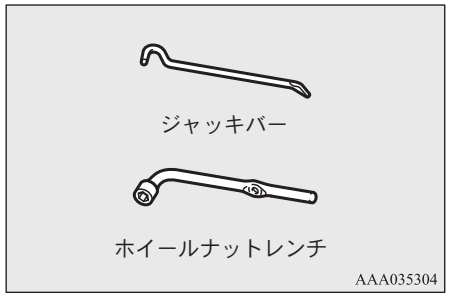


⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300327

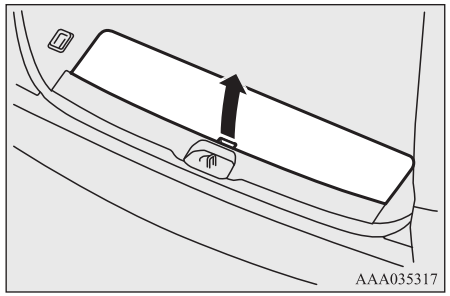


ジャッキ，工具の脱着

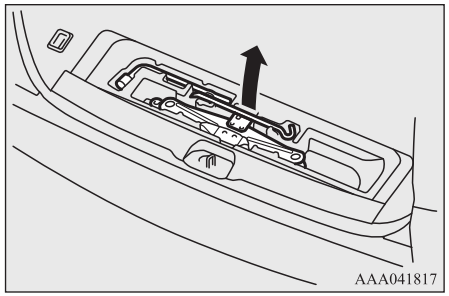
J01404200557

取り出すときは

1. ラゲッジフロアボードを持ち上げます。



2. ジャッキ，工具を指定の位置から取り出します。



格納するときは

1. ジャッキを縮めます。
2. ジャッキ，工具を元の位置に戻します。
3. ラゲッジフロアボードを元の位置に戻します。

ジャッキアップのしかた

J01400702789

⚠警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

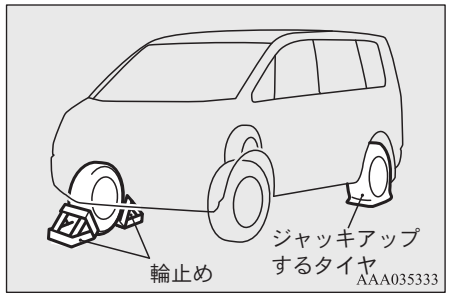
- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。
  万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - エンジンをかけたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



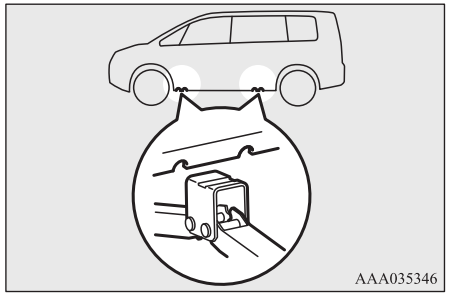
⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

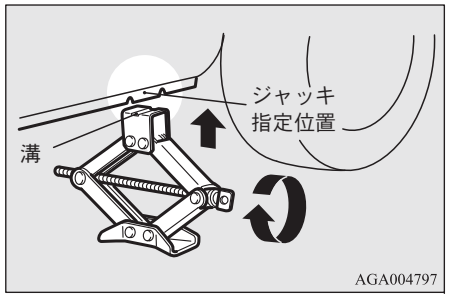
アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P.13-9
6. ROADEST　車の場合，リヤタイヤのジャッキアップポイントが見えづらいため，ジャッキアップする側のスライドドアを開けてください。
7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。



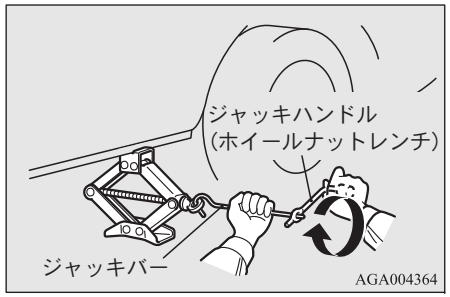
8. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置に当たるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。
9. ROADEST 車の場合，ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置に当たった後，さらに 5 回転程度右に回してください。



⚠警告

- ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

10. ROADEST 車の場合，手順 6. で開けたスライドドアを静かに閉めてください。
11. ジャッキ頭部の溝が，指定位置に当たっていることを確認します。
    ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。



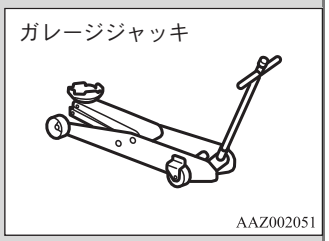
⚠注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。
  必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ガレージジャッキを使用するときは

⚠警告

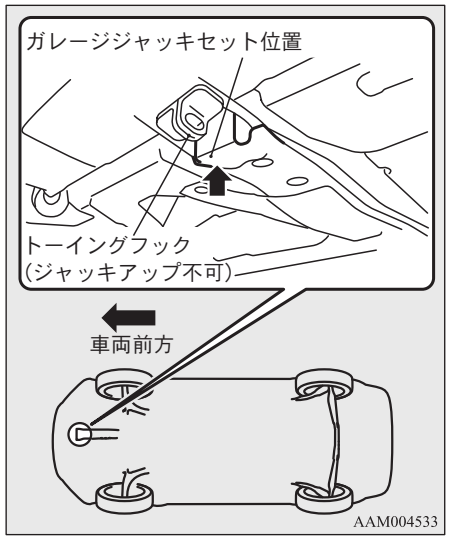
- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



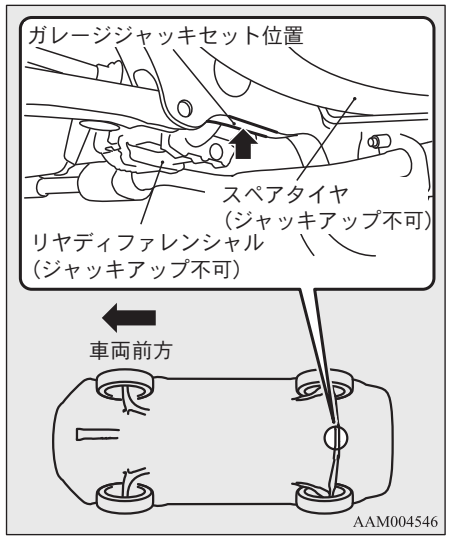
- 4WD車のリヤ側をジャッキアップするときは，リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。

ガレージジャッキセット位置

フロント



リヤ



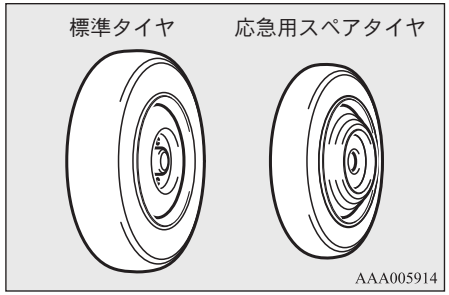
スペアタイヤ

J01400800731

応急用スペアタイヤ

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

応急用スペアタイヤは，図のように標準タイヤに比べて，直径がいくぶん小さくなっています。



⚠注意

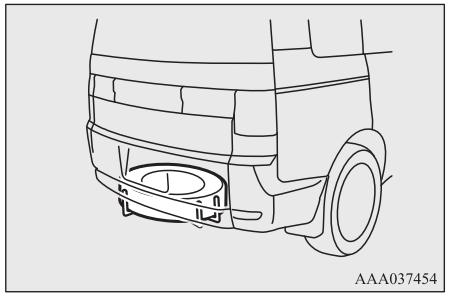
- 応急用スペアタイヤを装着したときは，100km/h 以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは，標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。特に車高が少し低くなりますので，突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは，応急用スペアタイヤを後輪に装着し，外した後輪タイヤを前輪に取り付け，これにタイヤチェーンを装着してください。

⚠注意

- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。
- 空気圧は，定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは，最寄りの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P.14-10

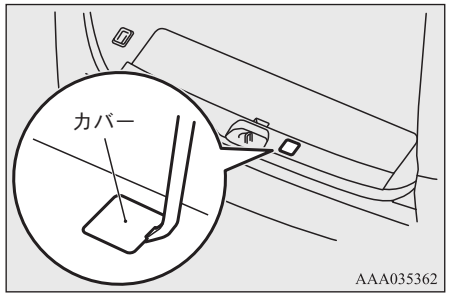
格納場所

応急用スペアタイヤは，ラゲッジルーム床下に格納されています。

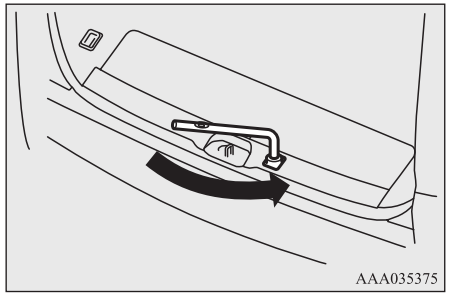


取り出すときは

1. テールゲートを開けて，ジャッキバーでタイヤハンガー取り付けボルトのカバーを外します。
→「テールゲート」P.4-31



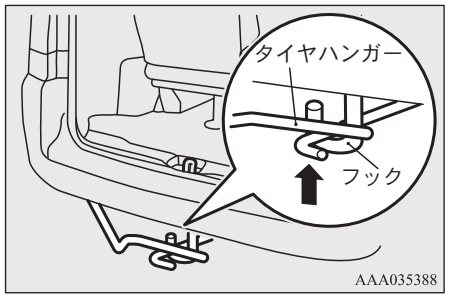
2. ホイールナットレンチでタイヤハンガー取り付けボルトを反時計回りに回してゆるめます。



⚠注意

- タイヤハンガー取り付けボルトをゆるめすぎると，フックが抜けて応急用スペアタイヤが落ちる場合がありますので確認しながら行ってください。

3. タイヤハンガーの図の矢印部分を持ち上げてフックから外し，下に降ろしてタイヤを取り出します。

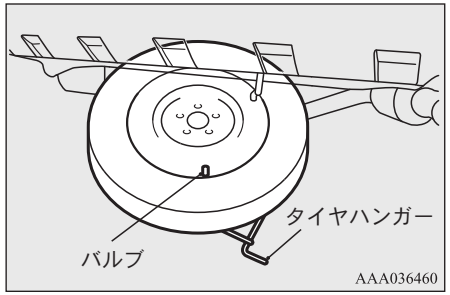


⚠注意

- フックからタイヤハンガーを外すときは，ハンガーを足の上などに落とさないよう確実にタイヤハンガーを持って行ってください。

格納するときは

1. バルブが上向きになるようにして，タイヤハンガーの中央にタイヤを置きます。



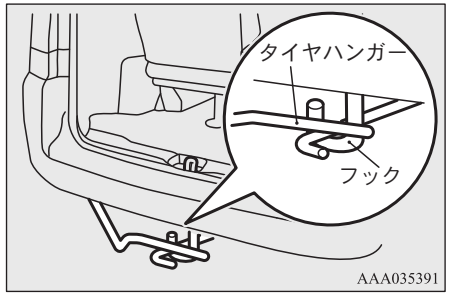
⚠注意

- 応急用スペアタイヤを格納するときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが上を向くように格納してください。
  また，リヤバンパーに干渉しないよう，タイヤハンガーの中央に格納してください。
  タイヤの裏表を間違えて格納したり，タイヤハンガーの中央からずれた位置に格納すると，ホイールやタイヤハンガーの損傷などの原因となります。
  損傷などが見つかった場合は，そのまま使用せずに三菱自動車販売会社へ連絡してください。

アドバイス

- タイヤハンガーは応急用スペアタイヤ専用のため，他のタイヤは格納できません。パンクタイヤはラゲッジルームに格納してください。

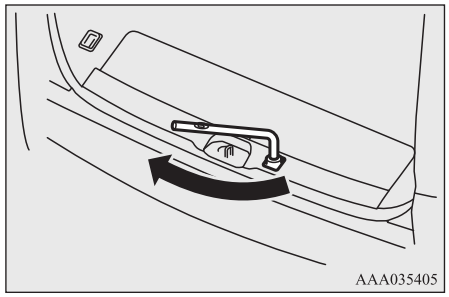
2. タイヤハンガーを持ち上げ，フックにタイヤハンガーをかけます。



⚠注意

- フックにタイヤハンガーをかけるときは，ハンガーを足の上などに落とさないよう確実にタイヤハンガーを持って行ってください。
- タイヤハンガーの正位置以外にフックをかけないでください。フックが車体を傷つけたり，走行中にタイヤが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

3. ホイールナットレンチでタイヤハンガー取り付けボルトを時計回りに回して確実に締め付けます。



⚠注意

- 応急用スペアタイヤを格納した後は，タイヤハンガーが確実に固定されていることを確認してください。タイヤハンガーが固定されていないと走行中に脱落して思わぬ事故につながるおそれがあります。

4. タイヤハンガー取り付けボルトのカバーを取り付けます。

アドバイス

- 応急用スペアタイヤを手または足でゆすってがたつかないことを確認してください。がたついているときはタイヤハンガーやフックの変形などが考えられますので，タイヤを車内に保管し，三菱自動車販売会社で修理してください。

タイヤ交換のしかた

J01400901508

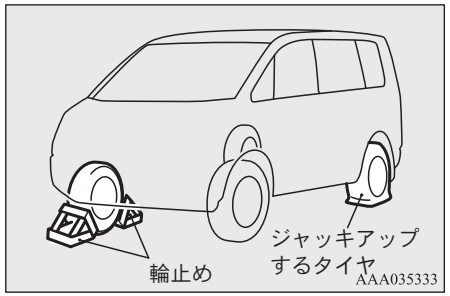
タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

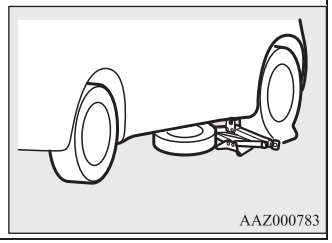
アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

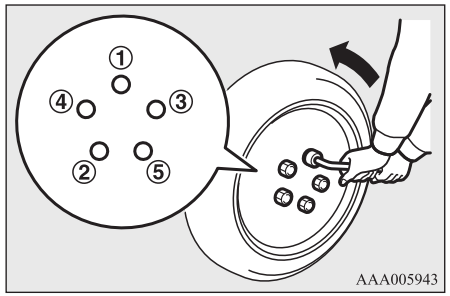
5. スペアタイヤ，工具およびジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P.13-9
   →「スペアタイヤ」P.13-13

アドバイス

- 取り出したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。



6. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り外します。
   →「ホイールカバー」P.13-19
7. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P.13-10
8. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで反時計回りに回してゆるめます。



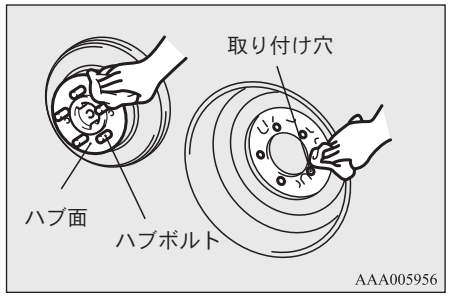
9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
10. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
  下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

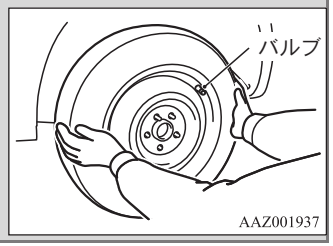
1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

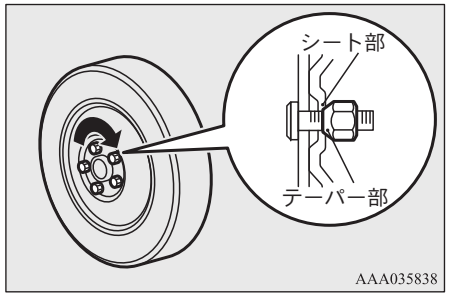
- タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。
  タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。



3. 手でホイールナットを時計回りに回して仮締めします。

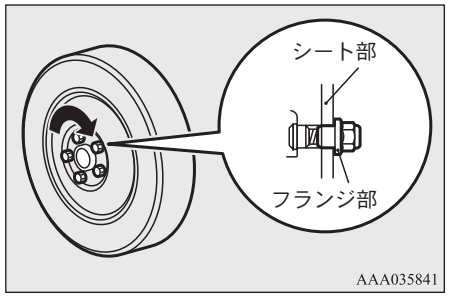
スチールホイール付き車

- **標準タイヤおよび応急用スペアタイヤ**
  ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。
  応急用スペアタイヤを取り付けるときも同様に仮締めします。



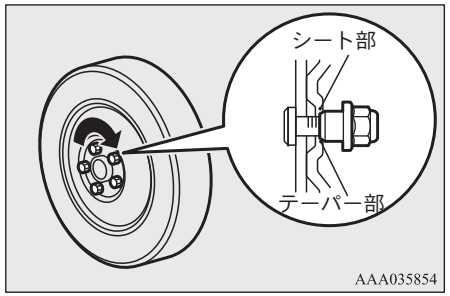
アルミホイール付き車

- **標準タイヤ**
  標準タイヤは，ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



・応急用スペアタイヤ

応急用スペアタイヤは，ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



⚠警告

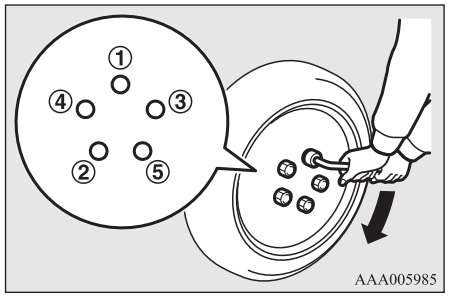
- ハブボルト，ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。
  必要以上に締め付けられてボルトが破損したり，ホイールが損傷するおそれがあります。また，ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- アルミホイールにはフランジナットが装着されていますが，フランジナットは応急用スペアタイヤにも使用できます。
- アルミホイールを 4 輪ともスチールホイールに変更するときは，テーパーナットを三菱自動車販売会社でお買い求めの上，ご使用ください。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3 回に分けて, 徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク： 88~108N•m
{9~11kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で350~420N {35~42kgf} の力）



⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車は，ホイールカバーを取り付けます。
   →「ホイールカバー」P.13-19
6. タイヤの空気圧を点検します。
   →「タイヤの空気圧」P.14-10
7. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
   →「格納場所」P.13-9
8. 交換したタイヤは，ラゲッジルームに格納します。

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

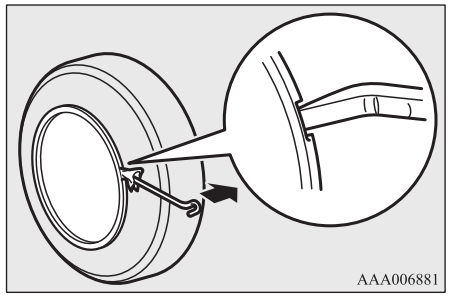
- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

ホイールカバー

タイプ別装備　J01402801615

取り外すときは

1. ジャッキバーの先に布をかぶせて，ホイールカバーの切り欠き部へ深く差し込み，タイヤ側にこじてカバーを少し浮かせます。



2. カバーが浮いたら，ホイールカバーの周囲に沿ってジャッキバーの差し込み位置を変えながら，少しずつこじてカバーを取り外します。

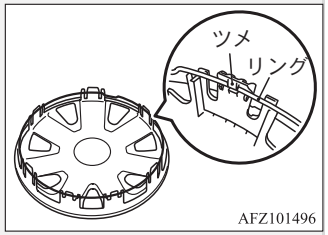
⚠注意

- ホイールカバーが外れるまでジャッキバーを使ってください。手でこじるとホイールカバーの端などでけがをするおそれがあります。

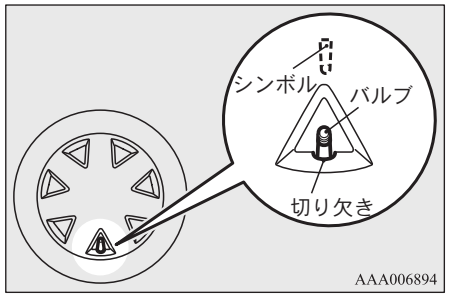
取り付けるときは

⚠注意

- ホイールカバーを取り付ける前に，裏面のツメがリングに正しく組み付いていることを確認してください。また，ツメが折れているときはホイールカバーを取り付けないでください。正しく組み付いていなかったり，ツメが折れていると，走行中にホイールカバーが外れるおそれがあります。



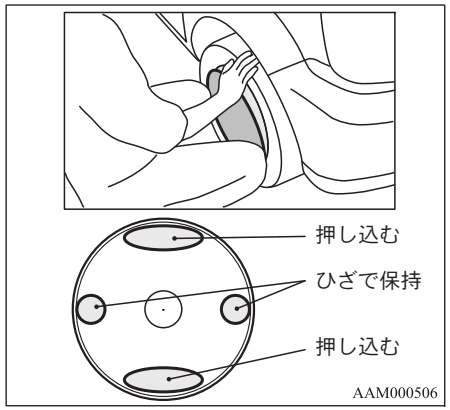
1. タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。



アドバイス

- カバー裏側に切り欠き部の位置を表示するシンボルがあります。

2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。
3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み，両ひざで保持します。
4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。



バッテリー上がりのときは！

J01401002662

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターモーターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

- 救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

- 救援車は必ず 12V で，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを Ⓝ，CVT 車，オートマチック車はセレクターレバーを Ⓟ に入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠警告

- ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。
  ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
- 冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。

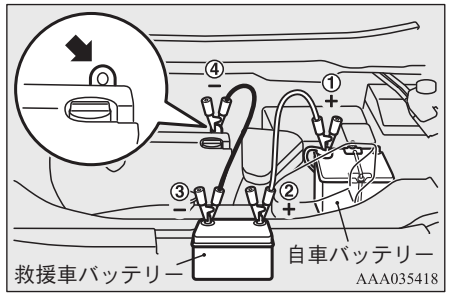
4. バッテリー液量を確認します。
   →「バッテリー液の点検・補給」P.11-3

⚠警告

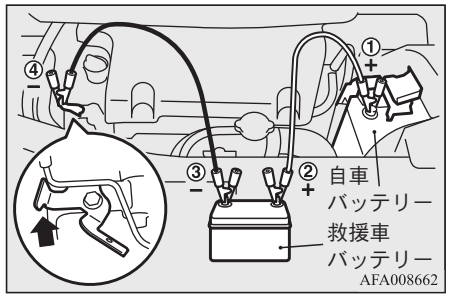
- バッテリー液量が下限(LOWER LEVEL) 以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車のバッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）

ガソリン車



ディーゼル車



⚠警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの－端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と－端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルは，バッテリーの＋と－端子を正しく接続してください。逆に接続すると，車の電装品が故障するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。

アドバイス

- ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。
  ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。

アドバイス

- オートストップ＆ゴー(AS&G) 付き車は，AS&G OFF スイッチを押して AS&G を停止し，バッテリーが十分に充電される前にエンジンが自動的に停止することがないようにしてください。
  →「AS&G を非作動にするには」P.7-19

13

8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

警告

- バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。
- 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
- 充電するときは，すべてのキャップを外してください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

アドバイス

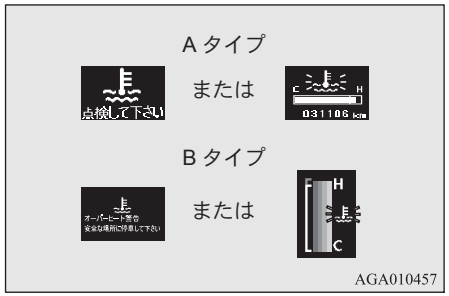
- オートマチック車，CVT 車は，マニュアル車と構造が異なるため，押しがけやけん引によりエンジンをかけることはできません。
- 充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
  →「走行中に警告を表示したときは」P.7-40

オーバーヒートしたときは！

J01401102591

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示が表示されたあとエンジン冷却水温表示が点滅していたり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。



1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

   [蒸気が出ていないとき]
   エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通し

をよくします。

アドバイス

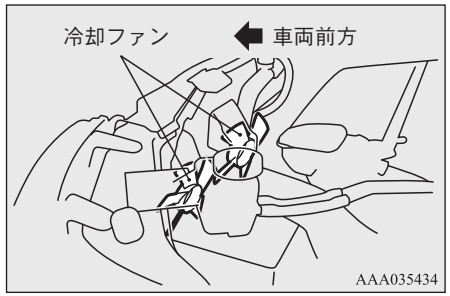
- オートストップ＆ゴー(AS&G) 付き車は，AS&G OFF スイッチを押して，停車前に AS&G を停止してください。
→「AS&G を非作動にするには」P.7-19

［蒸気が出ているとき］
エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。

3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。



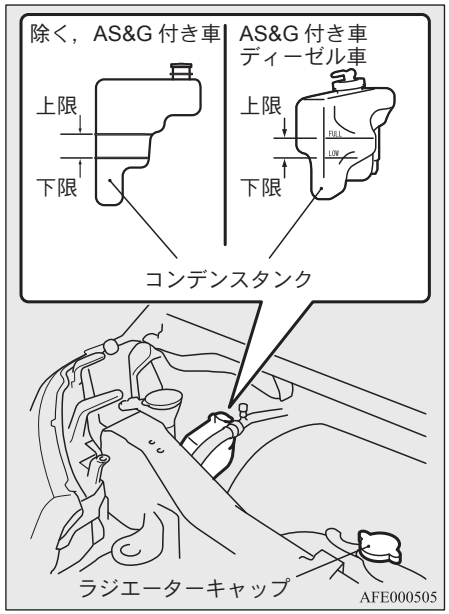
⚠警告

- 冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

アドバイス

- 冷却ファンが作動していないときは，エンジンを止めて自然冷却します。その後，すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4. マルチインフォメーションディスプレイ内のエンジン冷却水温表示のバーグラフが下がってきたら，エンジンを止めます。
5. エンジンが十分冷えてから，冷却水の有無を点検します。



⚠警告

- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401202622

けん引はできるだけ JAF など専門業者に依頼してください。

つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼してください。

アドバイス

- JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

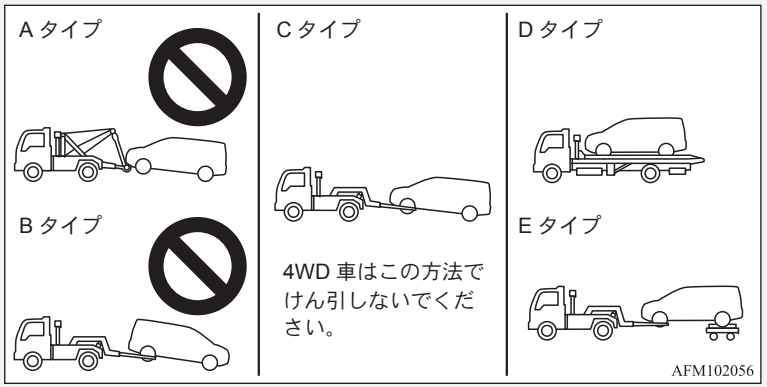
レッカー車に搬送してもらうとき

⚠注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でけん引しないでください（A タイプ）。
  バンパーや車体が破損するおそれがあります。
- 2WD 車は，必ず駆動輪（前輪）を持ち上げてけん引するか，4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください（C，D，E タイプ）。
  後輪だけを持ち上げてけん引すると，トランスミッション内部のオイル切れを起こし，トランスミッション故障の原因になります（B タイプ）。
- 2WD 車でアクティブスタビリティコントロール (ASC) 装着車は，エンジンスイッチを ON にして前輪だけを持ち上げたけん引（C タイプ）を行うと，ASC が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。前輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチを LOCK または ACC にしてください。

⚠注意

- 4WD 車は必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください（D，E タイプ）。
  前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります（B，C タイプ）。



- 4WD 車はドライブモードを「2WD」モードにしても，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

他車にけん引してもらうとき

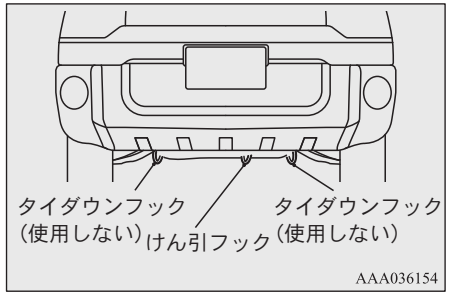
J01403902766

やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領で行ってください。

除く，ROADEST 車

⚠注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。



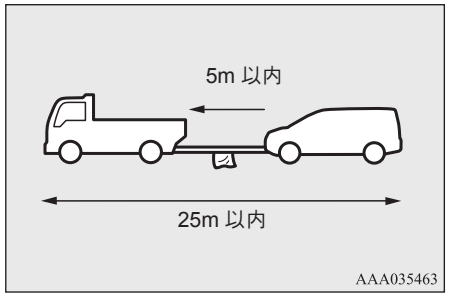
⚠注意

- タイダウンフックは，車両を輸送するときに使用するものです。けん引には使用しないでください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損するおそれがあります。

アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，車体を傷つけるおそれがあります。

1. けん引ロープをけん引フックにかけます。
2. けん引ロープには，30cm 平方（タテ 30cm× ヨコ 30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



3. エンジンはできるだけかけておいてください。

エンジンがかからないときは，エンジンスイッチを ON にします。

⚠警告

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。

⚠注意

- エンジンスイッチがLOCK位置にあると，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- オートストップ＆ゴー(AS&G) 付き車は，AS&G OFF スイッチを押して，停車前に AS&G を停止してください。
→「AS&G を非作動にするには」P.7-19

4. セレクターレバーをⓃに入れます。
5. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
→「非常点滅灯スイッチ」P.6-65

⚠警告

- けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- けん引するときの速度は30 km/h以下，けん引する距離は 40km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

ROADEST 車

けん引フックを使用する場合は，フロントバンパーの取り外しが必要です。専門業者に連絡してください。

他車のけん引

J01404100019

アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300137

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

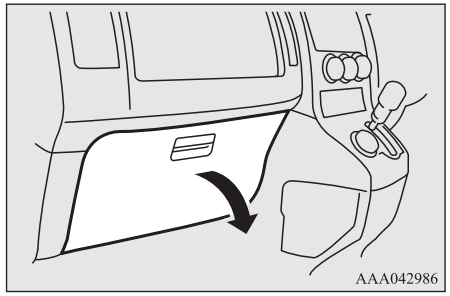
J01401501178

各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

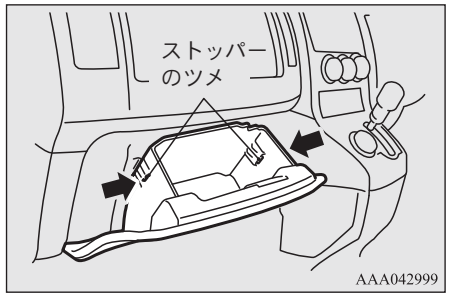
ヒューズボックスの位置

室内／ロアグローブボックス裏側

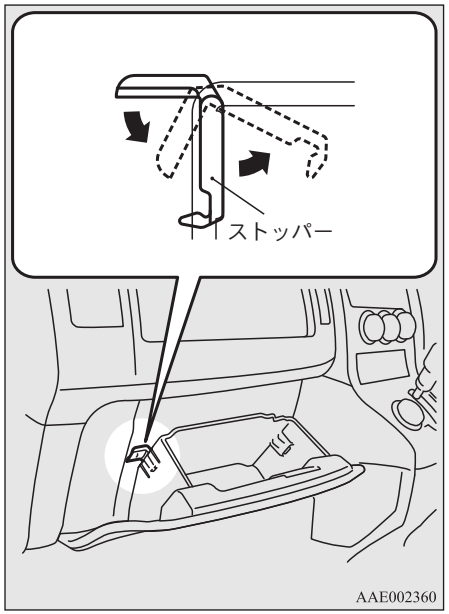
1. エンジンスイッチを LOCK にし，ロアグローブボックスを開けます。



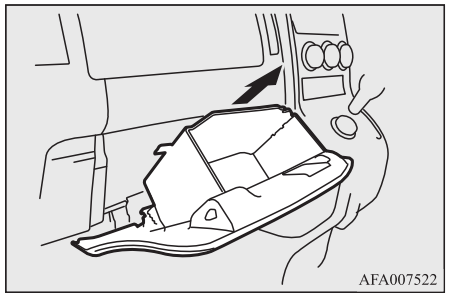
2. 左右にあるストッパーのツメを手前に引きつつ内側に押し込み，ストッパーを外します。



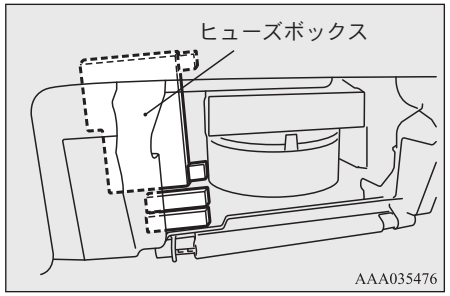
3. ロアグローブボックスを少し閉じます。
   手順2.で外したストッパーをボックス内側の方向に押して約 90 度回転させます。



4. ロアグローブボックスを斜め上に強く引いて取り外します。



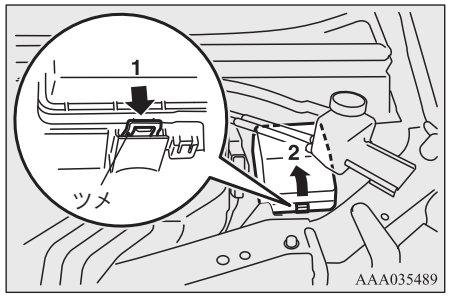
5. ロアグローブボックスの奥にヒューズボックスがあります。



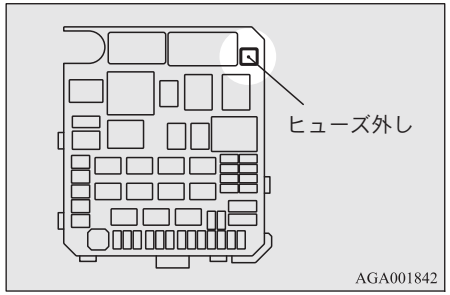
6. ロアグローブボックスを戻すときは，逆の手順で取り付けます。

エンジンルーム内

1. ツメを押してロックを外します。
2. カバーの手前を持ち上げてカバーを取り外します。



ヒューズ外しはヒューズボックス内にあります。



ヒューズの交換

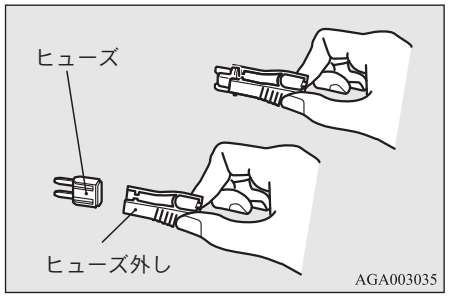
1. エンジンスイッチを LOCK にします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。

→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P.13-29

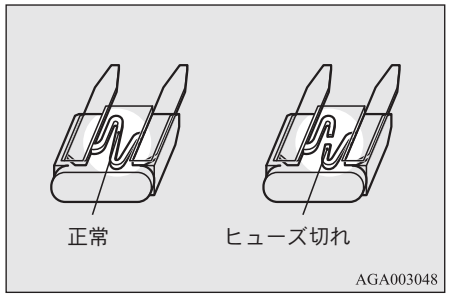
アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，室内はロアグローブボックスの裏側に，エンジンルーム内はヒューズボックスカバーの裏側に記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，エンジンルーム内のヒューズボックス内にあります。



4. ヒューズを点検し，切れているときは予備のヒューズと交換します。



⚠警告

- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。

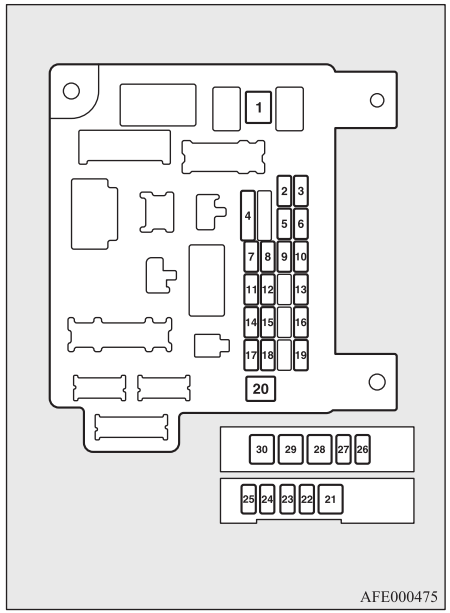
アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403702780

室内／ロアグローブボックス裏側



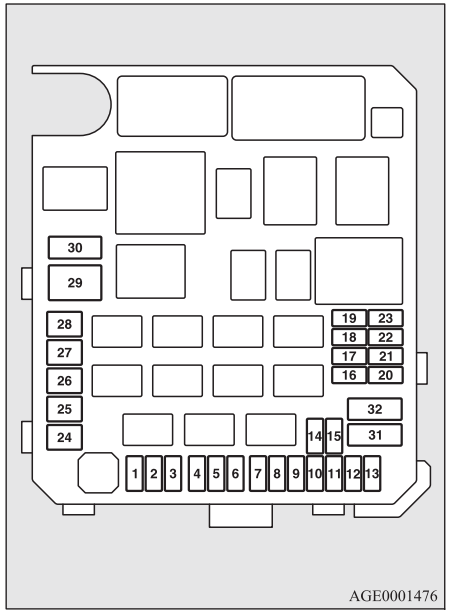
NO.	表示	装備	容量
1		ヒーター	30A

NO.	表示	装備	容量
2	STOP	制動灯（ブレーキランプ）	15A
3		リヤフォグランプ	10A
4		フロントワイパー	30A
5		オプション	10A
6		ドアロック	20A
7		ラジオ	15A
8		コントロールユニットリレー	7.5A
9		室内灯（ルームランプ）	15A
10		非常点滅灯	15A
11		リヤワイパー	15A
12		メーター	7.5A
13		アクセサリーソケット	15A
14		イグニッションスイッチ	10A
15		サンルーフ	20A
16		ドアミラー	10A
17		4WD	10A
18		後退灯（バックアップランプ）	7.5A

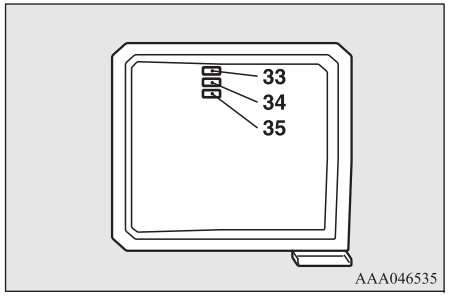
NO.	表示	装備	容量
19		アクセサリーソケット	15A
20		パワーウインドウ	30A
21		デフォッガー	30A
22		ヒーテッドドアミラー	7.5A
23		AC パワーサプライ	15A
24		パワーシート	25A (20A)
25		シートヒーター	30A
26		電動スライドドア（右）	30A
27		電動スライドドア（左）	30A
28	PTC	スタートアップヒーター（リヤ）	40A
29	—	—	—
30		リヤエアコン	30A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

エンジンルーム内



ヒューズボックスカバー裏側



NO.	表示	装備	容量
1		フロントフォグランプ	15A
2		エンジン	7.5A
3	A/T AMT	オートマチックトランスミッション	20A
4		ホーン	10A
5		オルタネーター	7.5A
6		ヘッドランプウォッシャー	20A
7		エアコン	10A

NO.	表示	装備	容量
8		ETV（エンジンコントロールユニット）／オイルクーラーファン（ツインクラッチ SST）	15A
9		セキュリティーホーン	20A
10		ワイパーディアイサー	15A
11	—	—	—
12	P/GATE	エレクトリックテールゲート	30A
13	DRL	デイタイムランニングライト	10A
14		ヘッドライト（上向き）（左）	10A
15		ヘッドライト（上向き）（右）	10A
16		ヘッドライト（下向き）（左）	20A
17		ヘッドライト（下向き）（右）	20A
18		ACL（アクティブコーナリングライト）（左）	10A

NO.	表示	装備	容量
19		ACL（アクティブコーナリングライト）（右）	10A
20		ENG/POWER（エンジンコントロールユニット）	10A
21		イグニッションコイル	10A
22		ENG/POWER	20A
		フューエルラインヒーター	25A
23		フューエルポンプ	15A
24		スターター	30A
25		バルブリフトコントロール	40A
26	ABS	ABS	40A
27	ABS	ABS	30A
28		エアコンコンデンサーファンモーター	30A
29		ラジエーターファン	40A

NO.	表示	装備	容量
30	IOD	IOD（ラジオ，ルームランプ，エアコンコントロールユニットなど）	30A
31		オーディオアンプ	30A
32	EDC	ディーゼル	30A
33	—	スペアヒューズ	10A
34	—	スペアヒューズ	15A
35	—	スペアヒューズ	20A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

7.5A，25A，30A のスペアヒューズはありません。ヒューズが切れたときは，つぎのヒューズで代用してください。
7.5A:10A スペアヒューズ
代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズに交換してください。
25A:20A スペアヒューズ
代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズに交換してください。
30A:30A オーディオアンプヒューズ
代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズを補給してください。

バルブ（電球）が切れたときは！

J01401600909

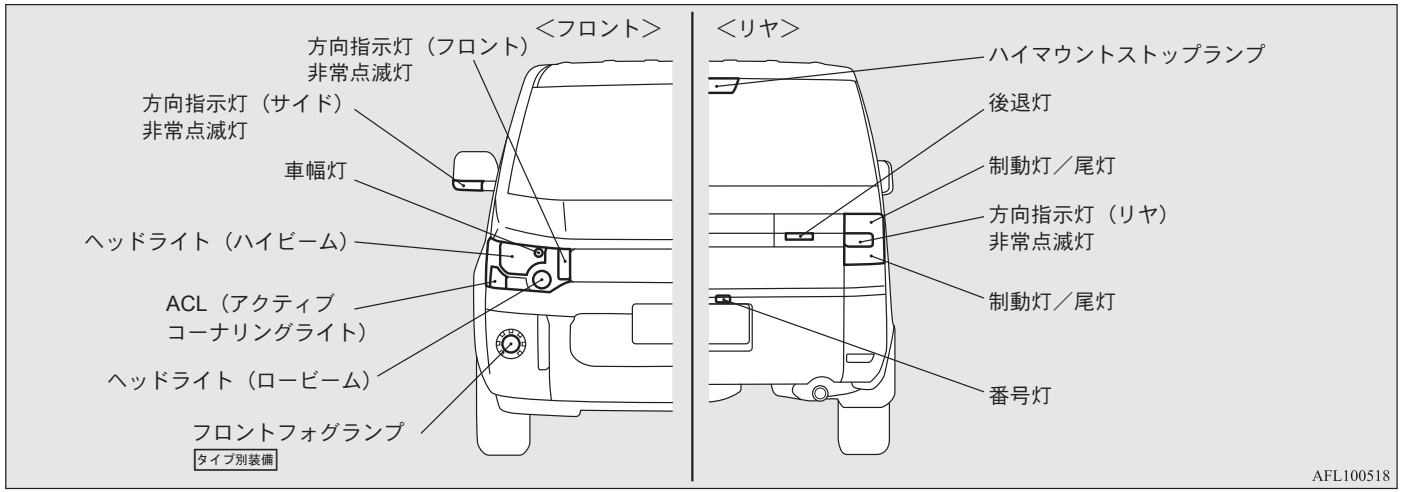
ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

J01406200085

車外照明

J01406801802



ヘッドライト	ハイビーム［ハロゲン球］	60W (HB3)
	ロービーム ［ディスチャージ球］	35W

車幅灯		5W (W5W)
ACL（アクティブコーナリングライト）		35W (H8)
フロントフォグランプ タイプ別装備		55W (H11)
制動灯／尾灯		21/5W (W21/5W)
後退灯		21W (W21W)
番号灯		5W (W5W)
方向指示灯 非常点滅灯	フロント	21W (WY21W)
	リヤ	21W (WY21W)
ハイマウントストップランプ		16W (W16W)

● (　) 内はバルブ（電球）の型式を示しています。

⚠注意

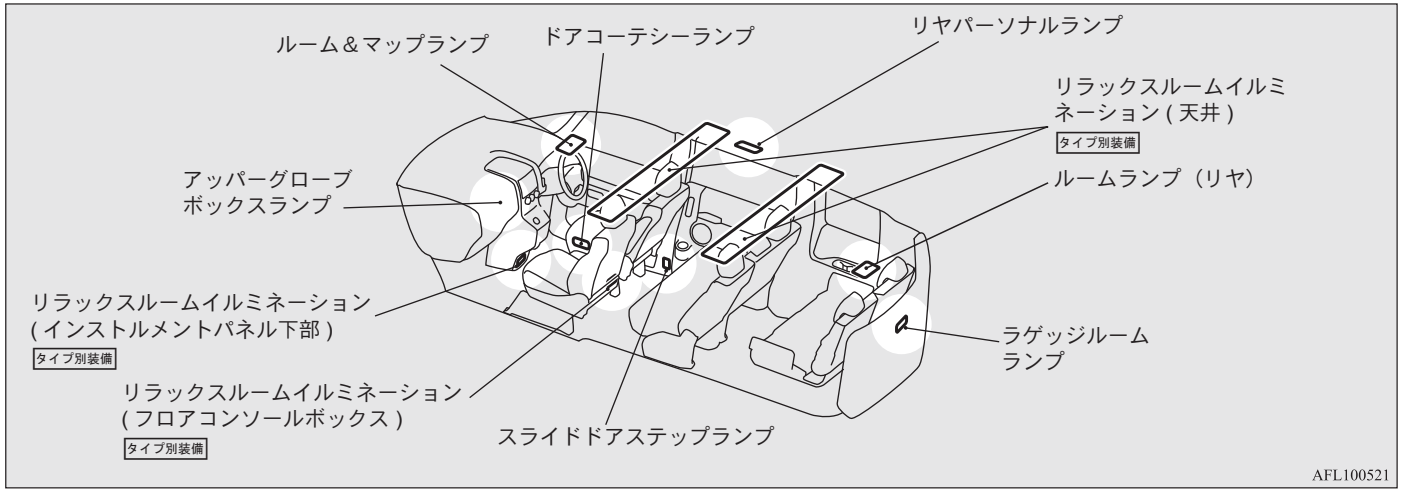
● ディスチャージヘッドライトの修理・バルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

アドバイス

● 方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

車内照明

J01406301676



13

ルーム＆マップランプ	8W
リヤパーソナルランプ	8W
ルームランプ（リヤ）	8W
ラゲッジルームランプ	5W
ドアコーテシーランプ	3.4W

アドバイス

- 上記表に記載のないランプはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

バルブ（電球）の交換

J01401702092

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，エンジンスイッチを LOCK にします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
→「バルブ（電球）のワット数」P.13-32

⚠注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
バルブの表面が十分冷えてから交換してください。
- 市販の LED バルブを取り付けないでください。
走行装置やランプが正常に作動しなくなるなど，車両に悪影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

- バルブを交換するときは，同じワット (W) 数，同じバルブ色のものを使用してください。

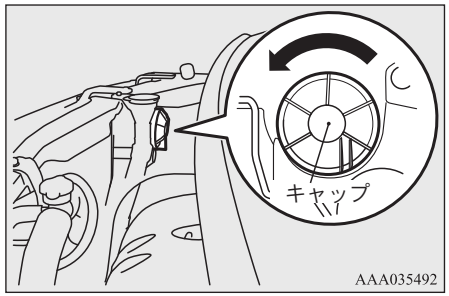
アドバイス

- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

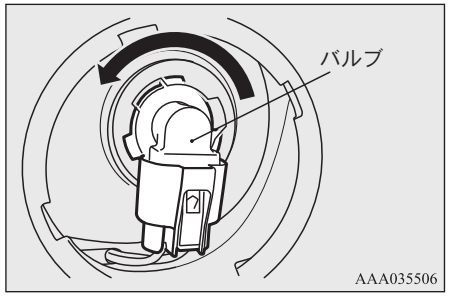
ヘッドライト（ハイビーム）

J01406901151

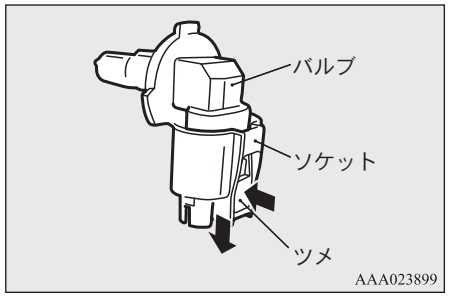
1. キャップを反時計回りに回して外します。



2. バルブを反時計回りに回して外します。



3. ツメを押しながら，ソケットをバルブから引き抜きます。



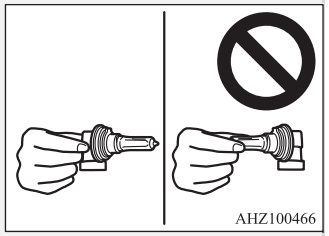
4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

⚠注意

- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の3%水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



ディスチャージヘッドライト（ロービーム）

J01401800099

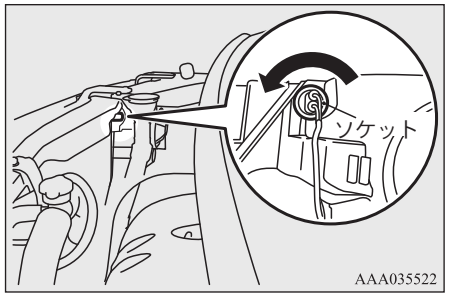
⚠注意

- ディスチャージヘッドライトのバルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
  電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

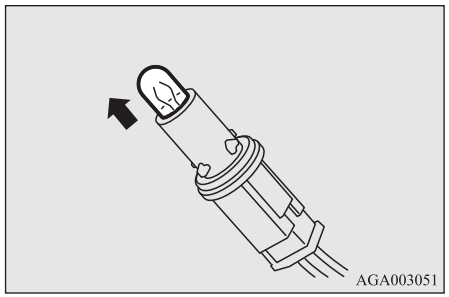
車幅灯

J01402000724

1. ソケットを反時計回りに回して外します。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。

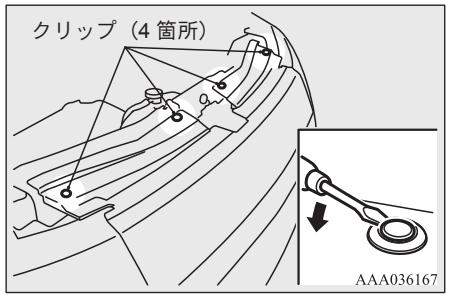


3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

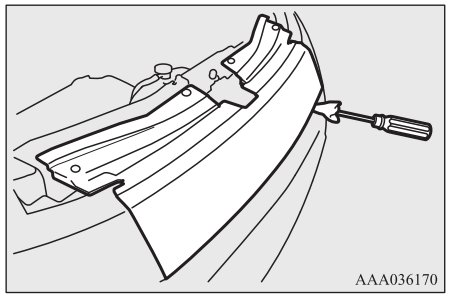
方向指示灯（フロント）

J01402100624

1. クリップの溝にマイナスドライバーなどを差し込み，車体側にこじてクリップ（4 箇所）を取り外します。

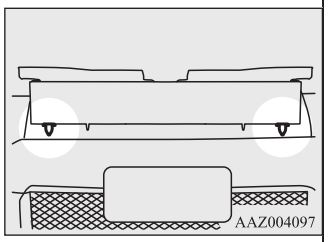


2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをラジエーターグリルとバンパーの間に差し込んで，ラジエーターグリルをこじて取り外します。

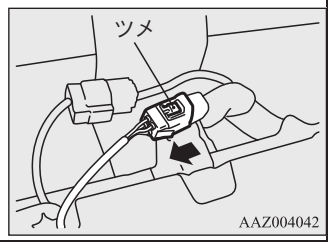


アドバイス

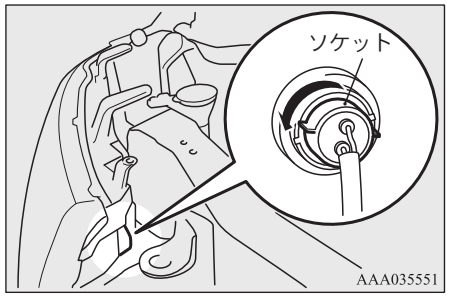
- ラジエーターグリルを固定してあるツメは 2 箇所あります。無理に力を入れて，折らないように注意してください。



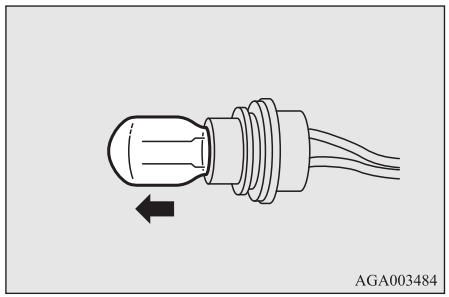
- ノーズビューカメラ付き車は，ラジエーターグリルにカメラ用ハーネスが付いていますので，ツメを押しながらコネクターを引き抜きます。



3. ソケットを反時計回りに回して外します。



4. ソケットからバルブを引き抜きます。



5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

方向指示灯（サイド）

J01402200508

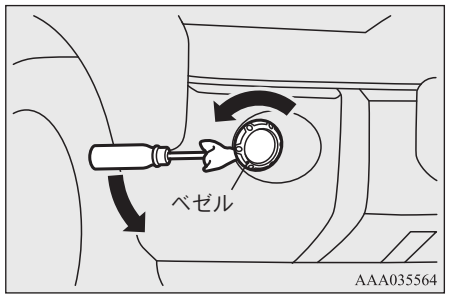
アドバイス

- 方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

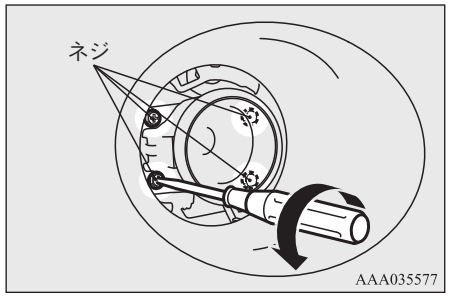
フロントフォグランプ

タイプ別装備　J01403202020

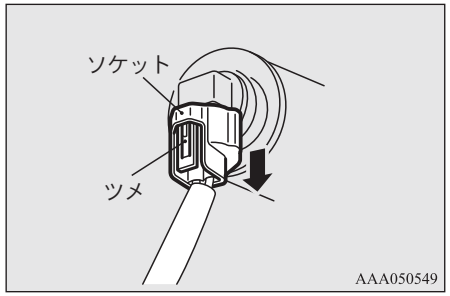
1. ベゼルを反時計回りに回してから，先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，ベゼルをこじて外します。



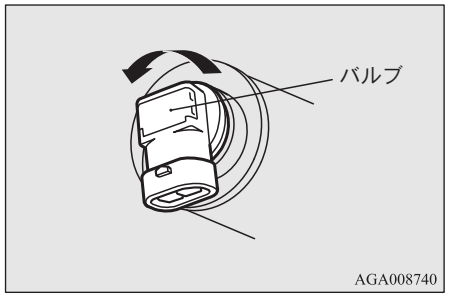
2. ネジ（4 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。



3. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。



4. バルブを反時計回りに回して外します。



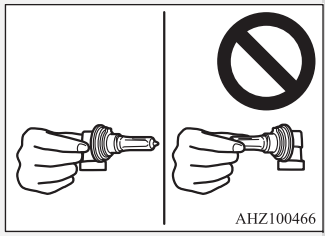
5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

⚠注意

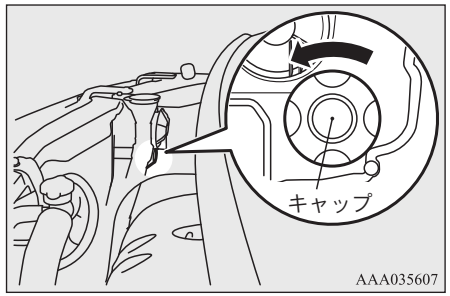
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



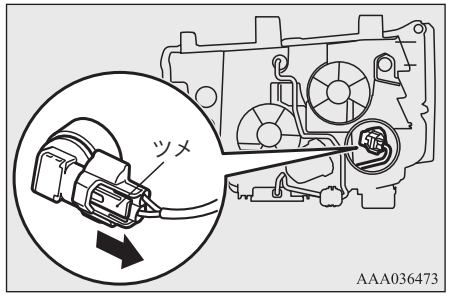
ACL（アクティブコーナリングライト）

J01403100070

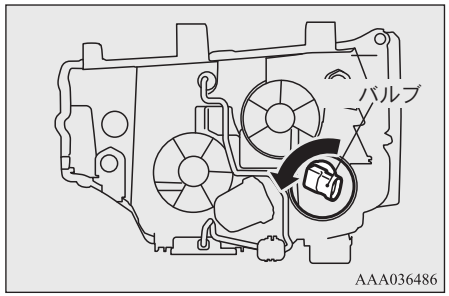
1. キャップを反時計回りに回して外します。



2. ツメを押しながら，バルブからソケットを引き抜きます。



3. バルブを反時計回りに回して外します。

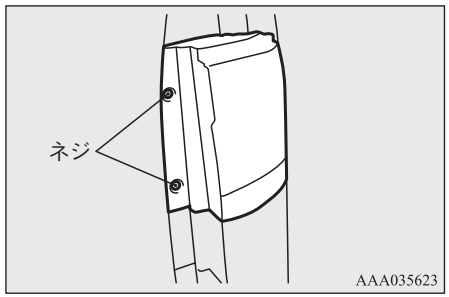


4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

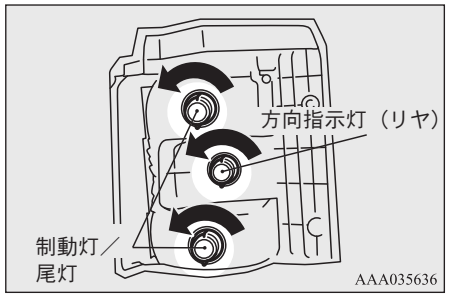
リヤコンビネーションランプ

J01403000617

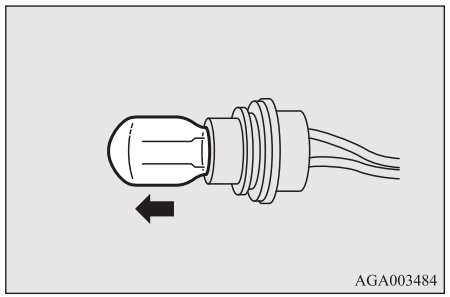
1. ネジ（2 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。



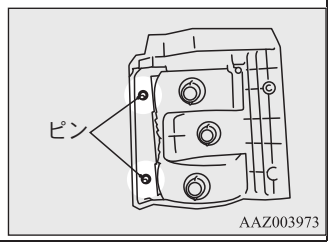
3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

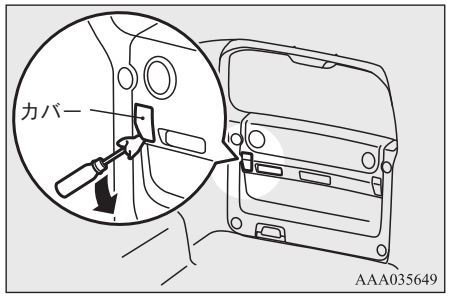
- ランプ本体を取り付ける際はランプ本体のピン（2 箇所）を車体側の穴に合わせ，取り付けます。



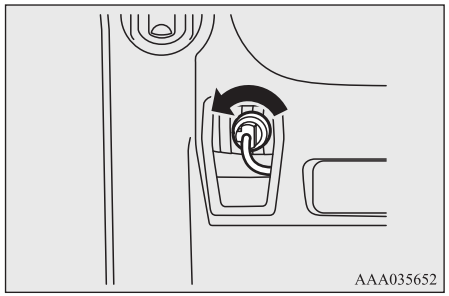
後退灯

J01402500211

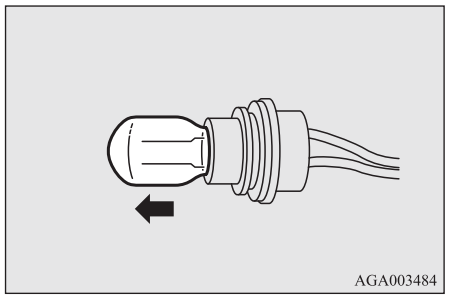
1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをカバーの切り欠き部に差し込み，カバーをこじて外します。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。



3. ソケットからバルブを引き抜きます。

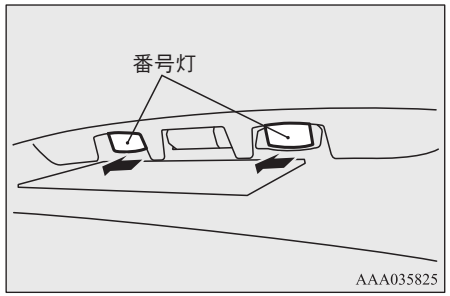


4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

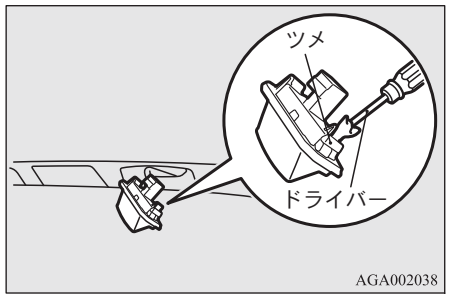
番号灯

J01402600599

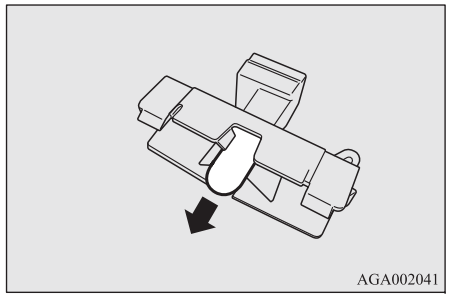
1. ランプ本体を車体左側へ押しながら外します。



2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを使って，ツメをこじてレンズを外します。



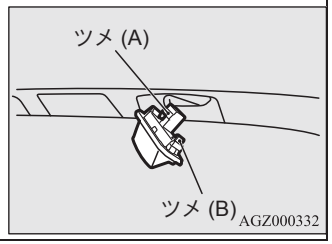
3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- ランプ本体を取り付けるときは，ツメ (A) を先に入れ，ツメ (B) を後で合わせて取り付けます。

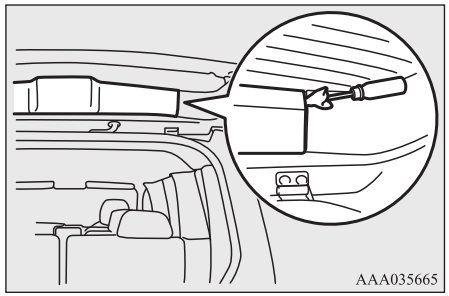


ハイマウントストップランプ

J01402700398

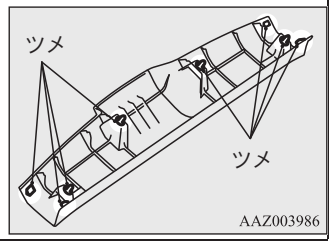
1. テールゲートを開けます。
→「テールゲート」P.4-31

2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを，カバーの端に差し込んで，こじて外します。

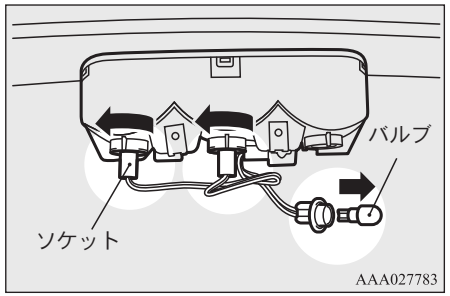


アドバイス

- カバーを固定してあるツメは 8 箇所あります。無理に力を入れて，折らないように注意してください。



3. ソケットを反時計回りに回して外し，バルブを引き抜きます。

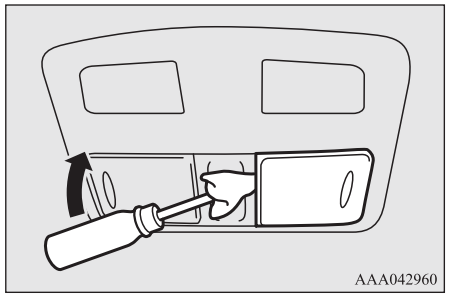


4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

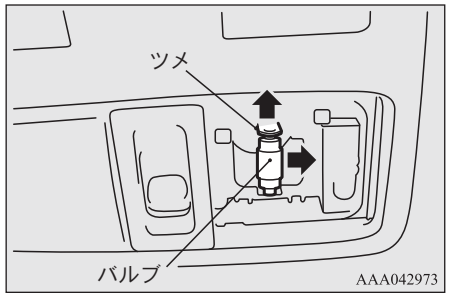
ルーム & マップランプ

J01404400445

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，レンズをこじて外します。



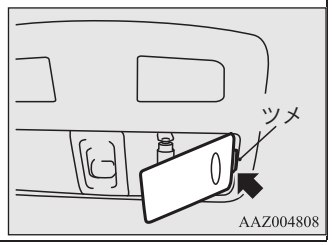
2. ツメを押しながらバルブを取り外します。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

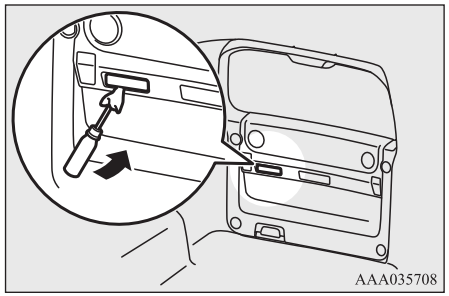
- バルブを交換するときは，インテリアランプスイッチの位置を〇にしてください。
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



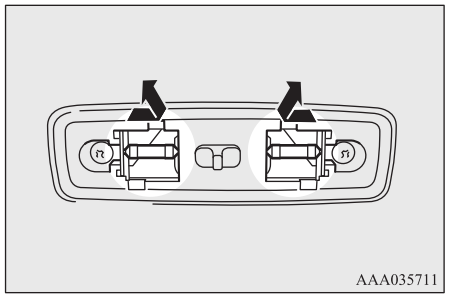
ラゲッジルームランプ

J01404900134

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。



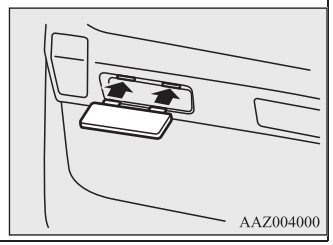
2. ツメを押しながら，バルブを取り外します。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

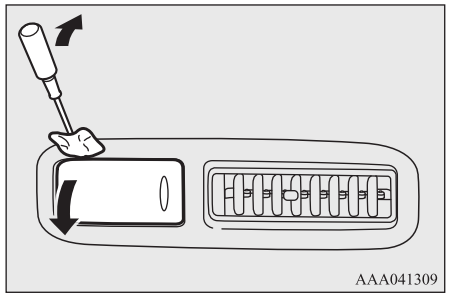
- バルブを交換するときは，ラゲッジルームランプのスイッチ位置をOFFにしてください。
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



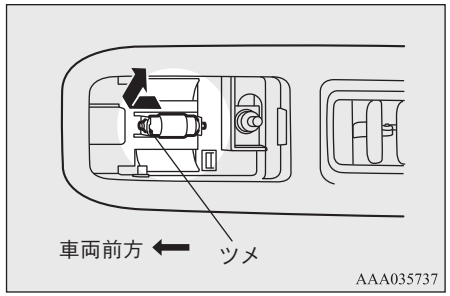
リヤパーソナルランプ

J01404800117

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。



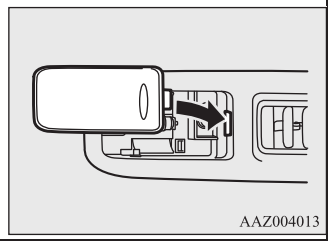
2. ツメを車両前方に押しながら，バルブを取り外します。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

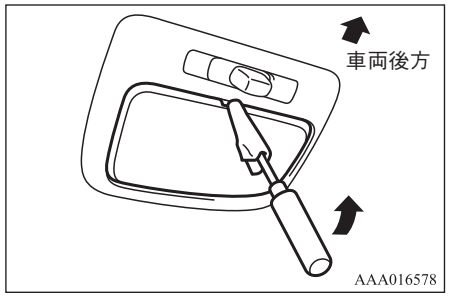
- バルブを交換するときは，インテリアランプスイッチの位置を○にしてください。
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



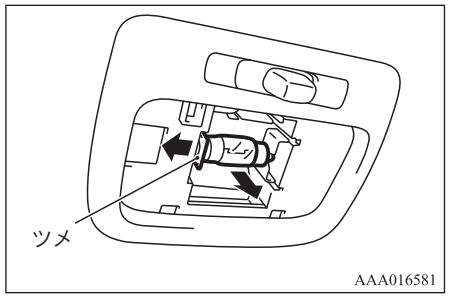
ルームランプ（リヤ）

J01404700318

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，レンズをこじて外します。



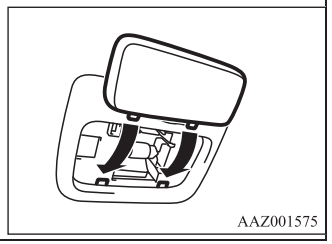
2. ツメを押しながらバルブを取り外します。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

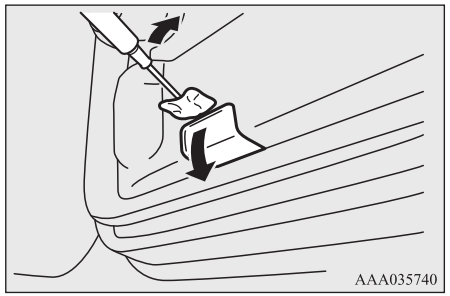
- バルブを交換するときは，ルームランプ（リヤ）スイッチの位置を○にしてください。
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



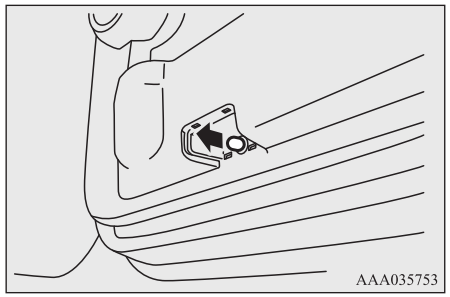
ドアコーテシーランプ

J01405300092

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。



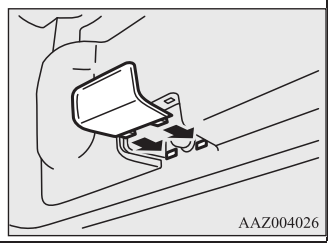
2. バルブを引き抜きます。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



リラックスルームイルミネーション

タイプ別装備

J01406400016

アドバイス

- リラックスルームイルミネーションはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

アッパーグローブボックスランプ

J01405500081

アドバイス

- アッパーグローブボックスランプはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

スライドドアステップランプ

J01405100016

アドバイス

- スライドドアステップランプはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

サービスデータ

メンテナンスデータ 14-2
タイヤ，ホイールのサイズ 14-9
タイヤの空気圧 14-10
カスタマイズ（機能の設定変更）.....14-11

メンテナンスデータ

J01600101300

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

J01600501506

ガソリン車

容量	使用銘柄
約 66L	レギュラーガソリン ● 燃料は指定されたものを補給してください。→P.2-3

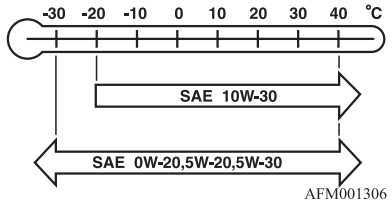
ディーゼル車

容量	使用銘柄
約 64L	軽油 ● 燃料は指定されたものを補給してください。→P.2-3，12-5

オイル類の量と種類

J01601201904

ガソリン車

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">容量</th><th>使用銘柄</th></tr>
<tr><td rowspan="2">エンジンオイル</td><td>2000 車</td><td>約 4.3L（オイルフィルター内約 0.3L を含む）</td><td rowspan="2">
<table>
<tr><th>三菱自動車純正銘柄</th><th>API 分類</th><th>ILSAC 規格</th><th>SAE 粘度番号</th></tr>
<tr><td rowspan="4">ダイヤクイーン SN</td><td rowspan="4">SN</td><td rowspan="4">GF-5</td><td>0W—20</td></tr>
<tr><td>5W—20</td></tr>
<tr><td>5W—30</td></tr>
<tr><td>10W—30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン SL</td><td>SL/CF</td><td>—</td><td>10W—30</td></tr>
</table>
● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。


</td></tr>
<tr><td>2400 車</td><td>約 4.6L（オイルフィルター内約 0.3L を含む）</td></tr>
</table>

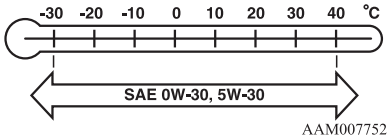
アドバイス

- 0W—20 は最も省燃費性に優れたオイルです。
- 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

アドバイス

- 生産終了などの理由により，該当するオイルが入手できなくなる場合があります。
  その場合は該当するオイルより上のグレードのオイルが使用可能となります。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ディーゼル車

項目	容量	使用銘柄		
		三菱自動車純正銘柄	JASO 規格	SAE 粘度番号
エンジンオイル	約 5.9L（オイルフィルター内約 0.3L，オイルクーラー内約 0.1L を含む）	ダイヤクイーン ディーゼルオイル エコ　スーパー DL-1	DL-1	0W-30
		ダイヤクイーン ディーゼルオイル DL-1		5W-30
		●エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。 		

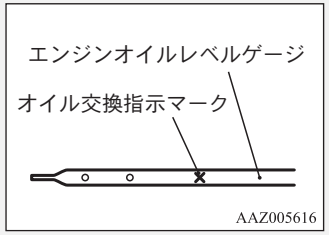
14

注意

- 指定されたエンジンオイルを使用してください。指定外のオイルを使用すると，ディーゼルパティキュレートフィルター(DPF) の劣化が早くなります。
- エンジンオイルの量を点検する場合は，エンジンオイルレベルゲージの表裏の面でエンジンオイルレベルが低い側を確認するようにしてください。

⚠注意

- DPF に集めたすすを燃焼・除去するとき，エンジンオイルに燃料が混ざり，エンジンオイル量が増えることがありますが異常ではありません。ただし，エンジンオイルレベルゲージのオイル交換指示マークに達した場合は，オイルを交換してください。



アドバイス

- 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

オイル類の量と種類

J01600602054

項目		容量	使用銘柄
オートマチックトランスミッションオイル	A/T 車	約 8.2L	三菱自動車純正ダイヤクイーン ATF-J3
	CVT 車	約 7.1L	三菱自動車純正ダイヤクイーン CVTF-J4 または三菱自動車純正ダイヤクイーン CVTF-J4+

⚠注意

- オートマチックトランスミッション (A/T) オイルは指定の純正ダイヤクイーン ATF, オートマチックトランスミッション (CVT) オイルは指定の純正ダイヤクイーン CVTF を必ずご使用ください。
  それ以外のオイルを使用すると，トランスミッションが破損するおそれがあります。

項目	容量	使用銘柄
リヤディファレンシャルオイル（4WD 車）	約 0.4L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE80 (GL-5)
トランスファーオイル（4WD 車）	約 0.5L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE80 (GL-5)
ブレーキ液	所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー 4 (DOT4)
パワーステアリングオイル	所要	三菱自動車純正ダイヤクイーン パワステフルード

冷却水の量と種類

J01600700569

項目	容量	使用銘柄
冷却水 （コンデンスタンク内約 0.65L を含む）	約 7.5L	三菱自動車純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラントプレミアム

ウォッシャー液の量と種類

J01600800401

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約 4.5L	三菱自動車純正ウォッシャー液

点火プラグの種類

J01600900604

項目	使用銘柄	電極部のすきま
2000 車	NGK：日本特殊陶業製：DILKR6D11G	1.0~1.1mm
2400 車	NGK：日本特殊陶業製：DIFR5C11	

● 点火プラグの点検，交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

バッテリーの種類

J01601401980

項目		型式
ガソリン車	2000 車	Q-85[*1]
	2400 車	80D23L[*2]
ディーゼル車		95D31L

[*1]：2000 車には，オートストップ＆ゴー(AS&G) 付き車専用バッテリーが装着されています。専用バッテリーを使用しないとバッテリーが早く消耗したり，AS&G が正常に作動しなくなる原因となります。バッテリーを交換するときは，三菱自動車純正の AS&G 専用バッテリーに交換してください。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

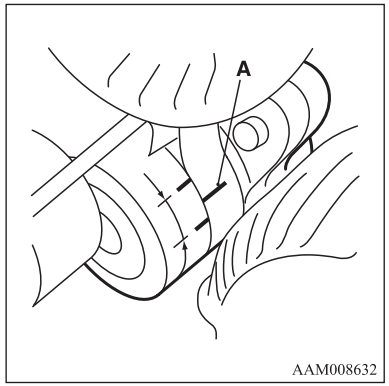
[*2]：2400 車には，低燃費車専用のバッテリーが装着されています。バッテリーを交換するときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

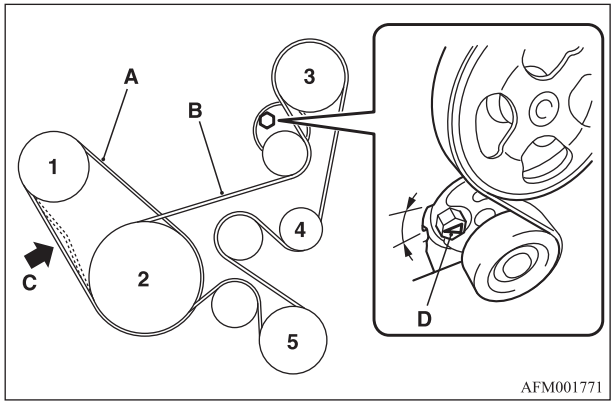
⚠警告

- バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

整備基準値

J01601000686

項目		サービスデータ	
ブレーキペダル		遊び	3~8mm
		踏み込んだときの床板とのすきま （踏力約 500N｛約 50kgf｝）	105mm 以上
駐車ブレーキ		踏みしろ（操作力約 150N｛約 15kgf｝）	1~2 ノッチ
ベルトのたわみ量	ガソリン車		インジケーター (A) が範囲内にあること（ネジ（1 箇所）を外し，コンデンスタンクを取り外した後，鏡を使って確認します。）

項目		サービスデータ	
ベルトのたわみ量	ディーゼル車	 1. ウォーターポンププーリー 2. クランクシャフトプーリー 3. パワーステアリングポンププーリー 4. オルタネータープーリー 5. エアコンコンプレッサープーリー	
		ベルト (A)	20mm 以下 （ベルトの中央部（C）を約 100N｛約 10kgf｝の力で押す。）
		ベルト (B)	インジケーター（D）が範囲内にあること （コンデンスタンクを取り外して確認します。）

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600202946

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4 輪とも同時に交換してください。

- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  タイヤおよびホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

タイヤ	ホイール
215/70R16 99H	16×6 1/2J (38mm) [114.3mm] 5 穴
225/55R18 97H	18×7.0J (38mm) [114.3mm] 5 穴

(　) 内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）
[　] 内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）
冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

タイヤの空気圧

J01600300871

タイヤサイズ		空気圧（kPa {kgf/cm²}）
標準タイヤ	215/70R16 99H 225/55R18 97H	240 {2.4}
応急用タイヤ	T155/90D16	420 {4.2}

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600402922

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム	キーレスオペレーション機能で可能な操作 →P.4-3	ドアおよびテールゲートの施錠・解錠，およびエンジンの始動	○
		ドアおよびテールゲートの施錠・解錠のみ	
		エンジンの始動のみ	
		キーレスオペレーション機能を働かなくする	
	施錠後のテールゲート OPEN スイッチによる解錠禁止時間 →P.4-7	約 3 秒	○
		約 5 秒	
		無し	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能でドアおよびテールゲートを解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間 →P.4-8，4-12	約 30 秒	○
		時間を長くする	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能でドアおよびテールゲートを施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P.4-7，4-12	施錠時 :1 回点滅 解錠時 :2 回点滅	○
		施錠時 :1 回点滅 解錠時 : 点滅しない	
		施錠時 : 点滅しない 解錠時 :2 回点滅	
		施錠時 :2 回点滅 解錠時 :1 回点滅	
		施錠時 :2 回点滅 解錠時 : 点滅しない	
		施錠時 : 点滅しない 解錠時 :1 回点滅	
		点滅しない	
	キーレスオペレーション機能でドアおよびテールゲートを施錠・解錠したときのブザー音による作動確認 →P.4-8	有り	○
		無し	
	キーレスオペレーションキーのスイッチでドアおよびテールゲートを施錠・解錠したときのブザー音による作動確認 →P.4-12	有り	
		無し	○
	キーレスオペレーションキーのスイッチでできるドアミラーの格納・復帰操作 →P.4-12	作動する	○
		作動しない	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム	ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出したときのキーレスオペレーションキー持ち出し監視機構の作動 *1 →P.4-10	作動する	
		作動しない	○

*1：ドアを開閉してキーレスオペレーションキーを車内から持ち出したときの監視機構は，作動しないように変更することはできません。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
セキュリティーアラーム *2	システムの設定 →P.4-40	警報作動する	
		警報作動しない	○
	室内警報時間 →P.4-43	約 10 秒	○
		時間を短くする	

*2：お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「セキュリティーアラームの設定変更のしかた」P.4-40

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
センタードアロック	エンジンスイッチが ON のときにセレクターレバーをⓅに入れると解錠 *3 →P.4-18	解錠する	
		解錠しない	○
	エンジンスイッチを LOCK にすると解錠 *3 →P.4-18	解錠する	
		解錠しない	○

*3：セレクターレバーをⓅにしたときに解錠する機能とエンジンスイッチをLOCKにしたときに解錠する機能は同時に設定できません。

カスタマイズ（機能の設定変更）

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
エンジンスイッチ	エンジンスイッチが ACC のときに自動的に電源をカットする機能 →P.7-9	30 分後にカットする	○
		60 分後にカットする	
		電源をカットしない	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ヘッドライト	自動点灯のタイミング （オートライトコントロールセンサーの感度調整） →P.6-60	標準	○
		早くする	
		遅くする	
	ヘッドライトオートカット機能（自動消灯） →P.6-60	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置 →P.6-60	≣Dのみ	○
		≣D◌≡と≣D	
	ライトスイッチが AUTO の位置でフロントワイパーを動かすと自動的にヘッドライトが点灯 →P.6-66	点灯する	
		点灯しない	○
	ウェルカムライトとして点灯させるライト → P.6-62	車幅灯点灯	○
		車幅灯およびヘッドライト（ロービーム）点灯	
		点灯しない	
	カミングホームライトとしてヘッドライトが点灯する時間 → P.6-62	約 15 秒	
		約 30 秒	○
		約 60 秒	
		約 180 秒	
		機能を働かなくする	

14

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
方向指示灯	車線変更時の 3 回点滅機能 →P.6-63	作動する	○
		作動しない	
	車線変更時の 3 回点滅機能が作動するまでのレバー操作時間 →P.6-63	短い	○
		長い	
	方向指示灯が作動するエンジンスイッチの位置 →P.6-63	ON	○
		ON または ACC	
フロントワイパー	車速感応 →P.6-66	有り	○
		無し	
リヤワイパー	間けつ作動時間 →P.6-68	約 8 秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		連続作動にする	
	連続作動モード →P.6-68	作動する	○
		作動しない	
	セレクターレバーをⓇに入れたときの自動作動モードの作動条件 →P.6-68	フロントワイパー またはリヤワイパーが作動中	○
		リヤワイパーが INT 位置で作動中のみ	

装備	調整機能	設定項目		出荷時の設定
フロントウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動 *4 →P.6-67	連動する	ワイパーが連動作動し，さらに約 3 秒後にワイパーがもう 1 回作動する	○
			ワイパー連動作動のみ	
		連動しない		
	インテリジェントウォッシャー機能 →P.6-67	有り		○
		無し		
リヤウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動 *4 →P.6-68	連動する		○
		連動しない		

*4：フロントウォッシャー・リヤウォッシャーの「連動する」「連動しない」の設定変更はそれぞれ単独で変更されず同時に変更されます。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 →P.7-5	車速約 30km/h 以上で復帰	
		エンジンスイッチに連動（運転席ドアを閉めて ON で復帰，OFF で運転席ドアを開くと格納）	
		キーレスオペレーションシステム機能に連動（LOCK で格納，UNLOCK で復帰）	○
		自動格納・復帰しない	

カスタマイズ（機能の設定変更）

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
マルチアラウンドモニター	カメラ映像の自動表示 →P.7-58	車速 10km/h 以下で表示	
		セレクターレバーの操作に連動して表示	
		自動表示しない	○
ルーム＆マップランプ リヤパーソナルランプ ルームランプ（リヤ） リラックスルームイルミネーション	ドアを閉じたときに消灯するまでの時間（遅延消灯） →P.8-7，8-7，8-8，8-9	約 15 秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする	
室内灯	点灯し続けたとき，自動的に消灯するまでの時間（自動消灯） →P.8-11	約 30 分	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		自動消灯機能を働かなくする	
エアコン	内外気切り換え・ エアコンスイッチの自動制御 →P.9-6，9-7	許可	○
		拒否	

A

ABS（アンチロックブレーキシステム）... 7-39
ABS警告灯 7-40
ACL（アクティブコーナリングライト）... 6-64
ACL（アクティブコーナリングライト）表示 6-65
ACパワーサプライ 8-3
AS&G 7-16
ASC OFF スイッチ（アクティブスタビリティコントロールオフスイッチ）.. 7-42
ASC OFF表示 7-43
ASC（アクティブスタビリティコントロール）..... 7-41
ASC警告表示 7-44
ASC作動表示 7-43

C

CVT
INVECS-III CVT 7-25

E

ETC 8-20
ETC アンテナ 8-22
ETC カード 8-22
ETC 車載器 8-22

I

INFO（マルチインフォメーション メータースイッチ） 6-5
INT 6-66
ISO FIX対応チャイルドシート 5-30

M

MIST 6-66

N

NOx トラップ触媒 7-16

S

SRSエアバッグ 5-38
SRSエアバッグ警告 5-29
SRSカーテンエアバッグ 5-38, 5-43
SRSニーエアバッグ 5-38, 5-43

U

USB入力端子 8-32

Z

「!」マーク表示画面 6-5

ア

アームレスト 5-8, 5-11
アクセサリーソケット 8-2
アクティブコーナリングライト 6-64
アクティブコーナリングライト（ACL）.... 13-39
アクティブコーナリングライト表示 6-65
アクティブスタビリティコントロール（ASC）..... 7-41
アシストグリップ 8-17
アッパーグローブボックス 8-12
アッパーグローブボックスランプ 13-44
アルミホイールのお手入れ 11-9
アンチロックブレーキシステム（ABS）.... 7-39
アンテナ 10-2
ガラスアンテナ 10-2
テレビアンテナ 10-2

イ

ETC

15

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ETC アンテナ..... 8-22
ETC カード 8-22
ETC 車載器 8-22
ISO FIX対応チャイルドシート 5-30
インテリアランプオートカット機能（自動消灯）..... 8-11
インテリアランプスイッチ 8-6
インパネセンターアクセサリーボックス 8-14
インパネロアボックス 8-14
インフォメーション画面..... 6-6, 6-16
INVECS-III CVT 7-25
INVECS-II スポーツモード6A/T 7-20

ウ

ウインカー（方向指示レバー） 6-63
ウインドウガラスのお手入れ 11-8
ウォッシャー
ウォッシャー液..... 14-6
ウォッシャー液の点検・補給 11-2
フロントウォッシャースイッチ.. 6-67
リヤウォッシャースイッチ..... 6-68

15

エ

ASC(アクティブスタビリティコントロール)..... 7-41
ACLアクティブコーナリングライト 13-39
ABS警告灯 7-40
エアコン
エアコン・クーラーの上手な使い方 ... 9-20
オートエアコン 9-4
クリーンエアフィルター 9-21, 11-5
スタートアップヒーター (フロント) . 9-14
吹き出し口..... 9-2
リヤマニュアルクーラー 9-16
リヤマニュアルクーラー／スタートアップヒーター（リヤ）..... 9-18
エアバッグ
SRS エアバッグ 5-38
SRS エアバッグ警告 5-29
SRS カーテンエアバッグ ... 5-38, 5-43
SRS ニーエアバッグ 5-38, 5-43
ABS 7-39
ASC OFF表示..... 7-43
ASC警告表示..... 7-44
ASC作動表示..... 7-43
ACC電源オートカット機能..... 7-9
ACパワーサプライ 8-3
エマージェンシーキー..... 4-12
エラーコード 8-29
エンジンイモビライザー（盗難防止装置） 4-2
エンジンオイル
エンジンオイルの補給 11-2
エンジンオイル量警告表示..... 6-59
エンジンオイル量の点検・補給
ガソリン車 ..... M, 14-3
ディーゼル車..... M, 14-4
エンジン型式..... S
エンジン警告灯 6-57
エンジンスイッチ 7-6
エンジンのかけ方・止め方 7-9
エンジンフード（ボンネット） 4-46
エンジンブレーキ 2-9
エンジンルーム 1-8

オ

オートエアコン 9-4
オートストップ＆ゴー(AS&G)..... 7-16
オートマチックトランスミッション
INVECS-III CVT 7-25
INVECS-II スポーツモード 6A/T. 7-20
オートマチック車，CVT 車の運転のしかた..... 7-31
オートマチックトランスミッションオイル..... 14-5
セレクターレバー 7-20, 7-26

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

パドルシフト..... 7-23, 7-29
オートライトコントロール 6-60
オーバーヒート 13-22
オイル..... 14-3
応急用スペアタイヤ 13-13
お手入れ
アルミホイール 11-9
ウインドウガラス 11-8
樹脂部品 11-8
洗車 11-7
塗装の補修 11-9
本革 11-6
ワイパー 11-8
ワックス 11-8
オドメーター（積算距離計） 6-7

カ

カードホルダー 8-2
外装品のお手入れ..... 11-7
カスタマイズ（機能の設定変更） 14-11
ガソリン（燃料） 14-2
カップホルダー 8-15
ガラスアンテナ 10-2
寒冷時の取り扱い..... 12-2

キ

キー..... 4-2
エマージェンシーキー..... 4-12
キーレスオペレーションシステム..... 4-3
キックダウン 2-11
機能の設定変更（カスタマイズ） 14-11

ク

区間距離計（トリップメーター） 6-7
曇り取り
リヤウインドウデフォッガースイッチ 6-69
クラクション（ホーンスイッチ） 6-69
クリープ現象 2-11
クリーンエアフィルター 9-21, 11-5
クルーズコントロール（自動定速走行装置） 7-44
グロー（予熱）スタート表示灯 6-56
グローブボックス 8-12
アッパーグローブボックス..... 8-12
ロアグローブボックス..... 8-13

ケ

警告
ABS 警告 7-40
シートベルト警告 5-24
警告灯..... 6-47, 6-56
ABS 警告灯 7-40
SRS エアバッグ警告灯 5-29
エンジン警告灯 6-57
充電警告灯 6-57
プリテンショナー警告灯..... 5-29
ブレーキ警告灯 6-56
警告表示
ASC 警告表示..... 7-44
エンジンオイル量警告表示 6-59
充電警告表示..... 6-58
DPF 警告表示..... 7-15
燃料残量警告表示 6-30
半ドア警告表示 6-11, 6-34
フューエルフィルター警告表示.. 6-57
ブレーキ警告表示 6-57
ヘッドライト（光軸調整機構付）警告表示 6-63
油圧警告表示..... 6-58
軽油（燃料） 14-2
けん引..... 13-24

コ

コーナーリングランプ 13-32
交換
タイヤ..... 13-16
バルブ（電球） 13-35
ヒューズ 13-28

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

工具 13-9
後退灯 13-32, 13-40
小物入れ
アッパーグローブボックス 8-12
インパネセンターアクセサリーボックス 8-14
インパネロアボックス 8-14
バンジーコード 8-15
フロアコンソールボックス 8-14
ロアグローブボックス 8-13
コンデンスタンク（冷却水） 1-8
コンビニフック 8-17

サ

サードシート 5-12
サイドアンダーミラー 7-5
サイドビューカメラ 7-53
三角表示板（停止表示板） 13-9
サンバイザー 8-2

シ

シート 5-2
アームレスト 5-8, 5-11
サードシート 5-12
シートアレンジ 5-3
シート調整 5-5
セカンドシート 5-9
チャイルドシート 5-29
フロントシート 5-6
フロントシートヒーター 5-8
ヘッドレスト 5-13
シートベルト 5-22
3 点式シートベルト 5-23
セカンドシートベルト，サードシートベルトの格納のしかた 5-27
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 5-28
シートベルト警告 5-24
CVT
INVECS-III CVT 7-25
室内灯 8-5
インテリアランプスイッチ 8-6
スライドドアステップランプ 8-11
ドアコーテシーランプ 8-10
ラゲッジルームランプ 8-10
リヤパーソナルランプ 8-7
リラックスルームイルミネーション 8-9
リラックスルームイルミネーション調光スイッチ 8-7
ルーム＆マップランプ 8-7
ルームランプ（リヤ） 8-8
自動定速走行装置（クルーズコントロール） 7-44
車検証収納場所 8-13
ジャッキ 13-9
ジャッキアップ 13-10
車幅灯 6-59, 13-32, 13-36
車幅灯表示灯 6-56
車両重量 ..... S
車両寸法 ..... S
充電警告灯 6-57
充電警告表示 6-58
修理の連絡先 ..... M
樹脂部品のお手入れ 11-8

ス

スタートアップヒーター(フロント) 9-14
スタートアップヒーター(リヤ) 9-18
スタビリティコントロール機能 7-42
スピードメーター 6-2
スペアタイヤ 13-13
スポーツモード 7-23, 7-29
スライドドア 4-19
スライドドアイージークローザー . 4-22, 4-29
スライドドアステップランプ 8-11, 13-44

セ

制動灯 13-32

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

セカンドシート 5-9
アームレスト..... 5-11
シートクッション 5-10
積算距離計（オドメーター） 6-7
セキュリティーアラーム..... 4-39
セレクターレバー..... 7-20, 7-26
洗車 11-7
センタードアロック 4-17

タ

ターボ車の取り扱い 7-14
タイヤ
空気圧 14-10
空気圧の点検・調整 11-4
スペアタイヤ（応急用） 13-13
タイヤ，ホイールのサイズ 14-9
タイヤチェーン 12-5
タイヤの摩耗..... 11-4
タイヤメンテナンス..... 11-4
タイヤローテーション 11-4
タイヤ交換 13-16
タコメーター..... 6-2

チ

チェーン（タイヤチェーン） 12-5
チャイルドシート..... 5-29
助手席へのチャイルドシート取り付け時の注意 5-35
チャイルドプロテクション（スライドドア安全施錠装置） 4-30
駐車ブレーキ
駐車ブレーキ 7-2
ブレーキ警告灯..... 6-56
チルトステアリング 7-3

テ

テールゲート 4-31
テールゲートイージークローザー ... 4-38
テールランプ（尾灯） 13-32, 13-39
ディーゼルパティキュレートフィルター（DPF） 7-14
定期点検 ..... M
停止表示板..... 13-9
DPF警告表示..... 7-15
テレビアンテナ..... 10-2
点火プラグ 14-7
電球（バルブ） 13-32
電子制御4WD機構..... 7-34

ト

ドア 4-15
スライドドア 4-19
施錠・解錠..... 4-16
センタードアロック 4-17
チャイルドプロテクション（スライドドア安全施錠装置） 4-30
テールゲート..... 4-31
フロントドア..... 4-16
ドアコーテシーランプ 8-10, 13-34, 13-44
ドアミラー 7-4
ドアミラー調整スイッチ..... 7-4
盗難防止（エンジンイモビライザー）. 4-2
ドライブモードセレクター（ダイヤル） ... 7-34
トラクションコントロール機能..... 7-42
トランスファーオイル 14-5
トリップメーター（区間距離計） 6-7

ナ

内装品のお手入れ..... 11-6

ニ

荷室の作り方 5-14
日常点検 ..... M
荷物固定用フック..... 8-18

ネ

燃料 14-2

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

燃料残量警告表示 6-30
燃料噴射量学習機能..... 7-16
燃料補給口（フューエルリッド）..... 4-47

ノ

ノーズビューカメラ..... 7-50
NOxトラップ触媒..... 7-16

ハ

パーキングブレーキ（駐車ブレーキ）. 7-2
排気量 ..... S
ハイドロプレーニング現象..... 2-9
ハイマウントストップランプ 13-32, 13-41
ハザードランプ（非常点滅灯）..... 6-55, 13-32, 13-37, 13-38
発炎筒 13-9
バックミラー（ルームミラー）..... 7-3
バックランプ（後退灯）..... 13-32, 13-40
バッテリー 11-3, 14-7
　バッテリー液の点検・補給..... 11-3
バッテリー上がり 13-20
バッテリー液量の点検・補給 ..... M
パドルシフト..... 7-23, 7-29
バニティーミラー 8-2
バルブ（電球）
　交換 13-35
　ワット数 13-32
パワーウインドウ 4-44
パワーステアリング
　油圧パワーステアリング 7-41
パワーステアリングオイル 14-5
パンク（タイヤ交換）..... 13-16
番号灯..... 13-32, 13-40
バンジーコード 8-15
半ドア警告表示 6-11, 6-34
ハンドルの上下調整（チルトステアリング）..... 7-3

ヒ

ヒーター
　オートエアコン 9-4
　スタートアップヒーター (フロント) . 9-14
　スタートアップヒーター (リヤ). 9-18
ヒーテッドドアミラー..... 7-5
非常点滅灯..... 6-55, 13-32, 13-37, 13-38
非常点滅灯スイッチ 6-65
非常点滅表示灯 6-55
尾灯 13-32
ヒューズ 13-27
表示
　ASC OFF 表示 7-43
　ASC 警告表示 7-44
　ASC 作動表示 7-43
表示灯 6-47, 6-55
　クルーズコントロール表示灯 7-44, 7-45
　グロー（予熱）スタート表示灯.. 6-56
　車幅灯表示灯..... 6-56
　ドライブモードインジケーター.. 7-35
　非常点滅表示灯 6-55
　フロントフォグランプ表示灯 6-56
　ヘッドライト上向き表示灯..... 6-55
　方向指示表示灯 6-55
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧..... 6-47
日よけ（サンバイザー）..... 8-2
ヒルスタートアシスト 7-37

フ

フェード現象..... 2-9
フォグランプ
　フロントフォグランプ ... 13-32, 13-38
　フロントフォグランプスイッチ.. 6-65
　フロントフォグランプ表示灯 6-56
フューエルフィルター警告表示..... 6-57
フューエルリッド（燃料補給口）..... 4-47

15

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

フラットシートの作り方..... 5-19
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト..... 5-28
プリテンショナー警告灯..... 5-29
ブレーキ
　アンチロックブレーキシステム (ABS) 7-39
　ブレーキ液 14-5
　ブレーキ液量の点検・補給 ..... M
　ブレーキ警告灯 6-56, 6-57
　ブレーキパッドの摩耗 13-27
　ブレーキペダル 14-8
ブレーキアシスト..... 7-39
ブレーキ警告表示..... 6-57
ブレーキランプ（制動灯）..... 13-32
フロアーコンソールボックス
　下段ボックス..... 8-15
　上段ボックス..... 8-14
フロアコンソールボックス 8-14
フロアマット..... 8-19
フロントウォッシャースイッチ..... 6-67
フロントシート 5-6
　アームレスト..... 5-8
フロントシートヒーター..... 5-8
フロントドア..... 4-16
　施錠・解錠 4-16
フロントワイパースイッチ 6-66

へ

ベーパロック 2-9
ヘッドライト . 6-59, 13-32, 13-35, 13-36
　ヘッドライトオートレベリング .. 6-63
ヘッドライト（光軸調整機能付）警告表示 6-63
ヘッドライト上向き表示灯..... 6-55
ヘッドライトオートカット機能（自動消灯）..... 6-60
ヘッドレスト 5-13
ベルトのたわみ量 14-8

ホ

ホーンスイッチ..... 6-69
ホイール
　タイヤ，ホイールのサイズ..... 14-9
　ホイールカバー..... 13-19
方向指示灯..... 13-32, 13-37, 13-38
方向指示表示灯..... 6-55
方向指示レバー..... 6-63
ポジションランプ（車幅灯）.. 6-59, 13-32, 13-36
ボトルホルダー..... 8-16
ボンネット（エンジンフード）..... 4-46

マ

マップランプ..... 13-34, 13-42
マルチアラウンドモニター 7-48
マルチインフォメーション メータースイッチ..... 6-5
マルチインフォメーションディスプレイ 6-3
マルチユースフック 8-18

ミ

ミラー
　サイドアンダーミラー 7-5
　ドアミラー 7-4
　ドアミラー調整スイッチ..... 7-4
　バニティーミラー 8-2
　ヒーテッドドアミラー 7-5
　ルームミラー..... 7-3

メ

メーター
　オドメーター（積算距離計）..... 6-7
　スピードメーター 6-2
　タコメーター..... 6-2
　トリップメーター（区間距離計）.. 6-7
メーター照度調整ボタン..... 6-2
メンテナンスデータ 14-2

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ユ

USB入力端子 8-32
油圧警告表示..... 6-58

ヨ

4WD車取り扱い上の注意 7-36
4WD車の上手な運転..... 7-35

ラ

ライセンスランプ（番号灯） 13-32, 13-40
ライトスイッチ 6-59
ラゲッジフック 8-18
ラゲッジルームランプ 8-10, 13-34, 13-42
ランプ
　スライドドアステップランプ 8-11
　ドアコーテシーランプ 8-10
　バルブ（電球）の交換 13-35
　フロントフォグランプ 6-65
　ラゲッジルームランプ 8-10
　リヤパーソナルランプ 8-7
　リラックスルームイルミネーション ... 8-9
　ルーム＆マップランプ 8-7
　ルームランプ（リヤ）..... 8-8
　ワット数..... 13-32

リ

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ 6-69
リヤコンビネーションランプ..... 13-39
リヤディファレンシャルオイル 14-5
リヤパーソナルランプ. 8-7, 13-34, 13-43
リヤビューカメラ 7-50
リヤマニュアルクーラー 9-16
リヤマニュアルクーラー／スタートアップヒーター（リヤ）..... 9-18
リヤワイパー／ウォッシャースイッチ ... 6-68
リラックスルームイルミネーション 8-9, 13-44
リラックスルームイルミネーション調光スイッチ 8-7

ル

ルーム＆マップランプ..... 8-7
ルームミラー 7-3
ルームランプ 13-34, 13-42, 13-43

レ

冷却水 14-6
　オーバーヒートしたときは 13-22
　コンデンスタンク（冷却水）..... 1-8
　冬期前の点検と準備..... 12-2
　日常点検..... 2-2
　冷却水量の点検・補給 ..... M

ロ

ロアグローブボックス 8-13
ロアグローブボックスアンダートレイ 8-13

ワ

ワイパー 6-66
　フロントワイパースイッチ..... 6-66
　リヤワイパースイッチ 6-68
ワイパーウォッシャースイッチ..... 6-67, 6-68
ワイパーのお手入れ..... 11-8
ワックス..... 11-8
ワット数（バルブ）..... 13-32

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正品をご使用ください。
- 純正品は，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。

- 純正品にはこのマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

● 継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。

● 負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

● 警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。